

長久手市
子育てに関するアンケート調査
調査結果報告書

令和5年度

令和6年3月

長久手市

目次

第1章 調査概要	1
1 調査目的	3
2 調査設計	3
3 回収結果	3
4 標本誤差	4
5 報告書の見方	4
第2章 調査結果	5
1 お住まいの地域について	7
(1) 居住地域	7
2 封筒のあて名のお子さんご家族の状況について	8
(1) 子どもの年齢、性別、第何子	8
(2) 子どもの人数	10
(3) 調査票回答者	11
(4) 調査票回答者の配偶関係	11
(5) 主に子育てをしている人	12
(6) 世帯の総収入	13
3 子どもをめぐる環境について	14
(1) 子どもをみもらえる親族・友人の有無	14
(2) 祖父母等の親族に子どもをみもらっている状況	16
(3) 友人・知人に子どもをみもらっている状況	18
4 保護者の働いている状況について	20
(1) 母親の就労状況	20
(2) 就労している母親の就労日数・就労時間	21
(3) 就労している母親の家を出る時刻・帰宅時刻	22
(4) 父親の就労状況	23
(5) 就労している父親の就労日数・就労時間	24
(6) 就労している父親の家を出る時刻・帰宅時刻	25
(7) パート・アルバイト等で働く親のフルタイムへの転換希望	26
(8) 就労していない親の就労希望	28
5 平日の定期的な幼稚園・保育所などの利用状況について	32
(1) 平日の定期的な幼稚園・保育所などの利用状況について	32
(2) 平日に定期的に利用している幼稚園・保育所などについて	33
(3) 平日に定期的に利用している幼稚園・保育所などの利用状況・利用希望	34
(4) 平日の定期的な教育・保育の事業を利用している場所	36
(5) 平日の定期的な教育・保育の事業を利用する理由	36
(6) 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していない理由	38
(7) 利用したい平日の定期的な教育・保育の事業	40
(8) 幼稚園の強い利用希望	41
(9) 平日の定期的な教育・保育の事業を利用したい場所	42
(10) 0歳児における子育てに対する考え方	42

6	地域の子育て支援事業の利用状況について	43
(1)	地域子育て支援拠点事業の利用状況	43
(2)	地域子育て支援拠点事業を利用していない理由	45
(3)	地域子育て支援拠点事業の利用希望	46
(4)	各種事業の認知度	48
(5)	各種事業の利用状況	51
(6)	各種事業の利用意向	54
7	児童館の利用状況について(小学生のみ)	57
(1)	児童館の利用状況	57
(2)	児童館を利用していない理由	59
(3)	児童館の利用希望	60
8	土曜・休日や長期休暇中の幼稚園や保育所などの「定期的」な利用希望について	62
(1)	定期的な教育・保育の事業の土曜日、日曜・祝日の利用状況	62
(2)	定期的な教育・保育の事業の土曜日、日曜・祝日の利用希望	63
(3)	土曜・日曜・祝日に、たまに利用したい理由	65
(4)	定期的な教育・保育の事業の長期休暇期間の利用希望	66
(5)	長期休暇期間中、たまに利用したい理由	67
9	病気になったときの対応について	68
(1)	病気やケガで通常の事業が利用できなかったこと	68
(2)	事業が利用できなかった場合の対処方法	69
(3)	病児・病後児保育施設等の利用希望(就学前児童)	72
(4)	病気やケガで小学校への登校ができなかったこと	73
(5)	小学校への登校ができなかった場合の対処方法	74
(6)	病児・病後児保育施設等の利用希望(小学生)	77
10	不定期の幼稚園や保育所などの利用や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	78
(1)	利用している不定期の教育・保育の事業	78
(2)	不定期の教育・保育の事業を利用していない理由	80
(3)	私用等の目的での事業の利用希望	81
(4)	望ましいサービス	83
(5)	私用等の目的での事業の利用状況(小学生)	84
(6)	保護者の用事により泊りがけで家族以外にみてもらわなければならない必要(就学前)	86
(7)	保護者の用事により泊りがけで家族以外にみてもらわなかったこと(小学生)	88
(8)	親族・知人にみてもらった場合の困難度(小学生)	90
11	小学校就学後の放課後の過ごし方について【就学前:5歳以上のみ】	91
(1)	希望する低学年時の放課後の過ごし方	91
(2)	希望する高学年時の放課後の過ごし方	93
12	放課後の過ごし方について【小学生:小学校1~3年生のみ】	95
(1)	希望する低学年時の放課後の過ごし方	95
(2)	希望する高学年時の放課後の過ごし方	97
13	情報提供について	99
(1)	情報の入手手段	99
(2)	知りたい情報	100

14 子育てやお子さんについて	101
(1) 受けさせたい教育	101
(2) 家庭内のイベント	103
(3) クラブ活動、習い事等について(小学生).....	105
(4) 相談先.....	106
(5) 相談内容	107
(6) 子育てに感じていること	108
(7) 子どもへの虐待	109
(8) 子どもへの虐待の原因	110
(9) 子どもの成長発達・育児についての困りごと.....	111
(10) ストレスの発散方法.....	112
(11) 自身の健康状態	113
(12) 自身以外の健康状態	113
15 妊娠・出産について(就学前児童のみ)	114
(1) 里帰りの有無.....	114
(2) 里帰りをしなかった理由	114
(3) 妊娠・出産期の困りごと	115
(4) 妊娠・出産期に利用した支援.....	115
(5) 妊娠・出産期にあったらよかった、利用すればよかった支援	116
(6) 産院退院後から産後2か月までの時期に一番困ったこと	117
(7) 産院退院後から産後2か月までの時期に実際に利用した支援	118
(8) 産院退院後から産後2か月までの時期にあったらよかった、利用すればよかった支援	119
(9) 出産子育て応援給付金の用途.....	120
16 子育て全般について.....	121
(1) 両親の子育てへの関わり	121
(2) 育児休暇の取得の有無	123
(3) 自分以外の保護者がした支援	124
(4) 自分以外の保護者に求める支援(就学前).....	125
第3章 自由記述	127
(1) 就学前児童保護者	129
(2) 小学生保護者	138
資料編 調査票.....	141
就学前児童保護者.....	143
小学生保護者	167

第1章 調査概要

1 調査目的

「長久手市子ども・子育て支援事業計画」を策定するにあたって、就学前の児童や小学生の子どもをもつ保護者に対して子育てに関わる実態・意識を伺い、教育・保育事業の需要量の見込みを設定し、長久手市の子育て支援の充実を図るうえでの基礎資料とするために本調査を行いました。

2 調査設計

実施期間：令和5年12月6日～令和5年12月28日

	調査の種類	調査対象者、調査方法
1	就学前児童保護者	・長久手市に在住する就学前児童の保護者（無作為抽出） ・郵送配布、郵送回収及びWeb回答
2	小学生保護者	・長久手市に在住する小学生の保護者（無作為抽出） ・郵送配布、郵送回収及びWeb回答

3 回収結果

	調査対象者	配布数	回収数	回収率
1	就学前児童保護者	2,000人	884件 (うちWeb回答：358件)	44.2%
2	小学生保護者	2,000人	866件 (うちWeb回答：317件)	43.3%

4 標本誤差

この調査は、母集団である18歳以上の全市民から一部の標本を無作為に抽出して行っている。この調査結果からもとの全体の値を推定する標本調査である。この“標本調査の結果”と“全数調査の結果”との差が標本誤差である。今回の調査では下記の式で標本誤差を求めることができます。

$$\text{標本誤差} \quad \sigma = \pm 2 \sqrt{\frac{P(100-P)}{n}} \quad P: \text{回答率}(\%) \quad n: \text{有効回収数(件)}$$

以下の表は、上式にnとPの値を代入して標本誤差を求め、作成したものです。

信頼度 95% (100 回中 95 回はこの範囲に収まる) の場合

	有効 回収数 (件)	回答率(%)									
		5 % (95%)	10% (90%)	15% (85%)	20% (80%)	25% (75%)	30% (70%)	35% (65%)	40% (60%)	45% (55%)	50% (50%)
就学前	884	1.5	2.0	2.4	2.7	2.9	3.1	3.2	3.3	3.3	3.4
小学生	866	1.5	2.0	2.4	2.7	2.9	3.1	3.2	3.3	3.4	3.4

この表の見方について例を挙げると、「就学前の標本数は884人であり、ある設問の1つの選択肢の回答率が50%であった場合、全数調査との誤差の範囲は95%の確率で±3.4%以内であり、実際の割合は46.6%～53.4%の範囲にある」と意味づけられるものです。

5 報告書の見方

- (1) 調査結果の数値は、各質問の回答者数(n)を基数とした百分率(%)で表記しています。ただし、年代別や経年変化などの母数が異なるものを比較する場合は、割合の差(ポイント)で表記しています。
- (2) 集計は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表記しています。このため、回答比率の合計が、100.0%にならない場合があります。また、複数回答可の質問では、回答者数(n)に対する回答比率のため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- (3) 回答があっても、小数点第2位を四捨五入して0.1%に満たない場合は、表・グラフには0.0%と表記しています。
- (4) 本報告書では、なるべく調査票そのままの表現を用いていますが、スペース等の関係から一部省略した表現としている箇所があります。
- (5) 回答者数が少ないものについては、比率が動きやすく分析には適さないため、参考値として示すにとどめている場合があります。

第2章 調査結果

1 お住まいの地域について

(1) 居住地域

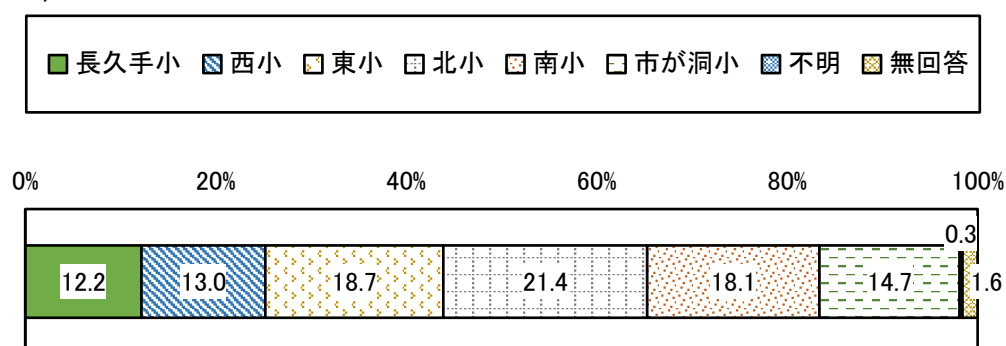
問 お住まいの小学校区はどちらですか。【就学前：問1、小学生：問1】

就学前では、「長久手小」が12.2%、「西小」が13.0%、「東小」が18.7%、「北小」が21.4%、「南小」が18.1%、「市が洞小」が14.7%となっています。

小学生では、「長久手小」が12.2%、「西小」が10.5%、「東小」が11.9%、「北小」が27.4%、「南小」が16.5%、「市が洞小」が19.9%となっています。

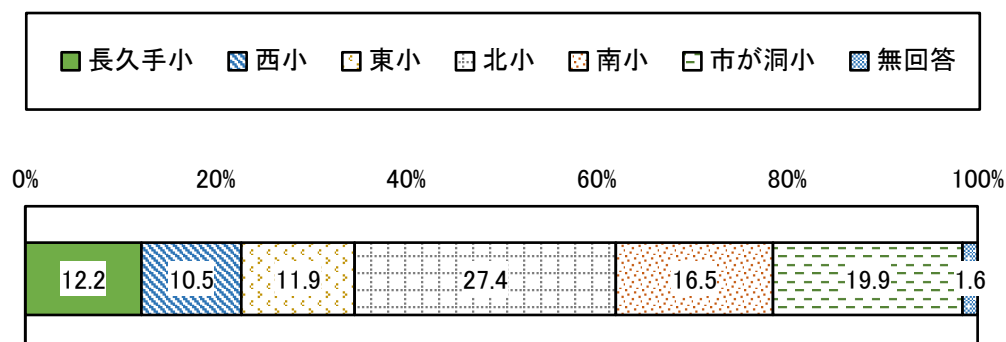
【就学前】

(n=884)



【小学生】

(n=866)



2 封筒のあて名のお子さんご家族の状況について

(1) 子どもの年齢、性別、第何子

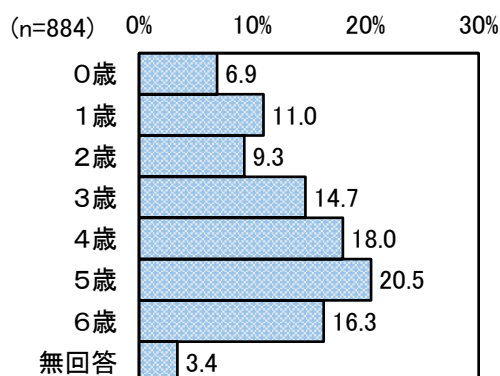
問 封筒のあて名のお子さんについてお聞きます。【就学前：問2、小学生：問2】

①宛名のお子様の生年月をご記入ください。

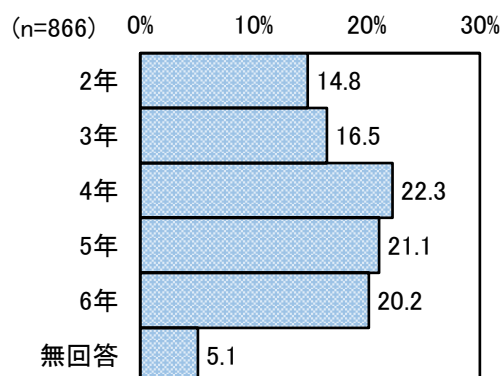
就学前では、「0歳」が6.9%、「1歳」が11.0%、「2歳」が9.3%、「3歳」が14.7%、「4歳」が18.0%、「5歳」が20.5%、「6歳」が16.3%となっています。

小学生では、「2年」が14.8%、「3年」が16.5%、「4年」が22.3%、「5年」が21.1%、「6年」が20.2%となっています。

【就学前】



【小学生】



※「1年」については調査をしていません

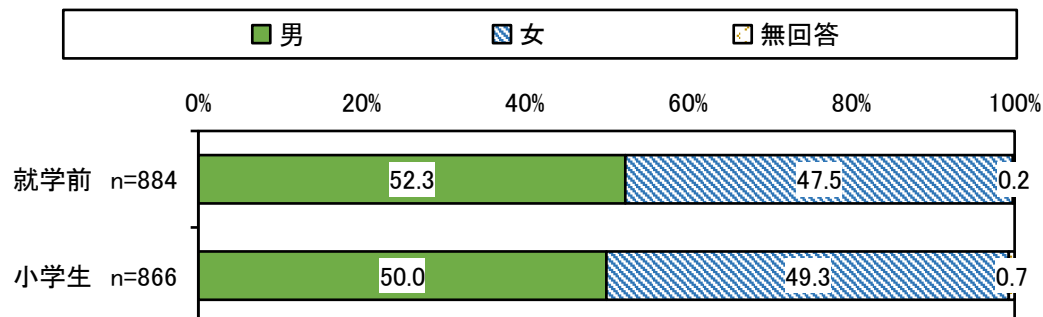
問 封筒のあて名のお子さんについてお聞きます。【就学前：問2、小学生：問2】

②封筒のあて名のお子さんの性別をお答えください。

就学前では、「男」が52.3%、「女」が47.5%となっています。

小学生では、「男」が50.0%、「女」が49.3%となっています。

(n=884)



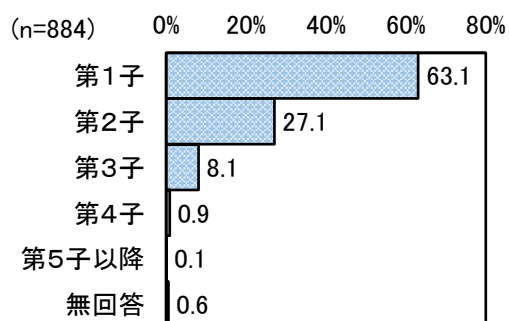
問 封筒のあて名のお子さんについてお聞きします。【就学前：問2、小学生：問2】

③封筒のあて名のおさんは第何子ですか。

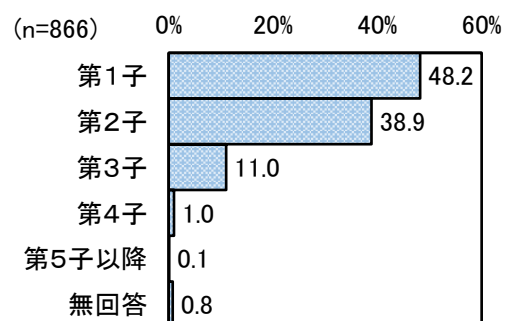
就学前では、「第1子」が63.1%で最も多く、次いで「第2子」が27.1%、「第3子」が8.1%、「第4子」が0.9%、「第5子以降」が0.1%となっています。

小学生では、「第1子」が48.2%で最も多く、次いで「第2子」が38.9%、「第3子」が11.0%、「第4子」が1.0%、「第5子以降」が0.1%となっています。

【就学前】



【小学生】



(2) 子どもの人数

問 封筒のあて名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。封筒のあて名のお子さんを含めた人数をご記入ください。また、2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、一番下の子の方の生年月をご記入ください。【就学前：問3、小学生：問3】

就学前のきょうだいの数は、「2人」が48.3%で最も多く、次いで「1人（宛名の子どものみ）」が35.0%、「3人」が12.7%、「4人以上」が1.7%となっています。

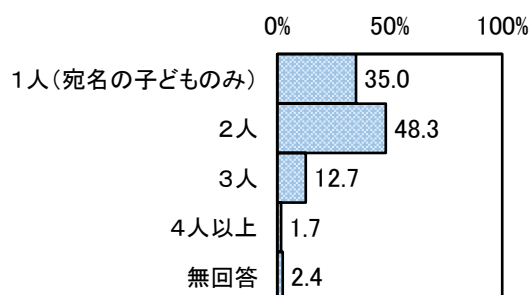
また、就学前の一番下の子の年齢は、「4歳」が10.4%で最も多くなっています。

小学生のきょうだいの数は、「2人」が56.7%で最も多く、次いで「1人（宛名の子どものみ）」が21.2%、「3人」が18.2%、「4人以上」が2.2%となっています。

また、小学生の一番下の子の年齢は、「8歳」が13.9%で最も多くなっています。

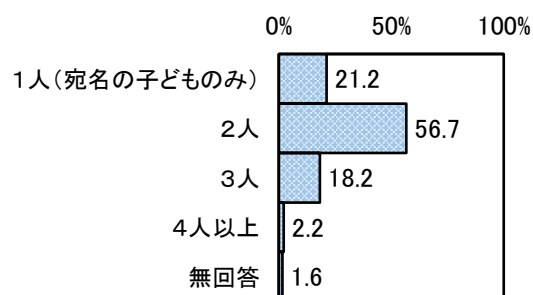
○きょうだいの数【就学前】

(n=884)



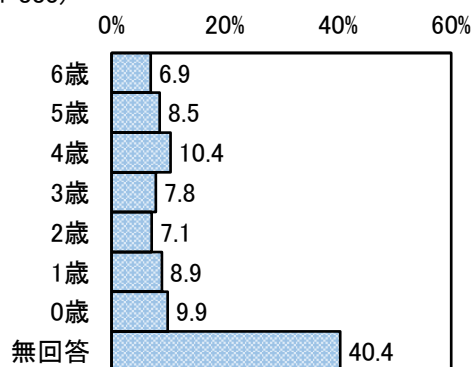
○きょうだいの数【小学生】

(n=866)



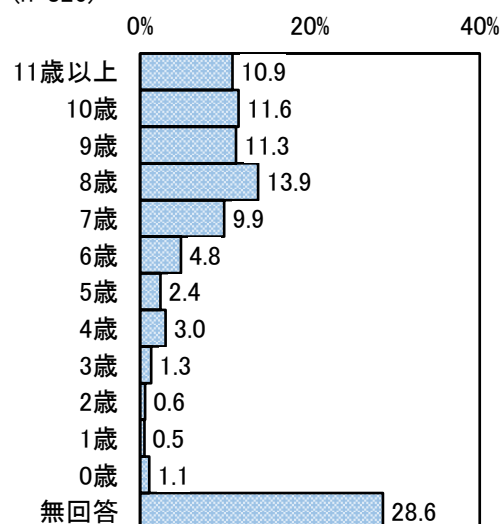
○一番下の子の年齢【就学前】

(n=883)



○一番下の子の年齢【小学生】

(n=826)

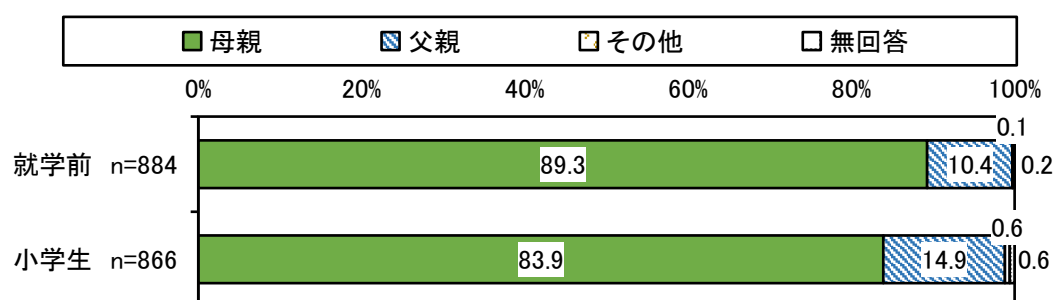


(3) 調査票回答者

問 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。封筒のあて名のお子さんからみた関係でお答えください。【就学前：問4、小学生：問4】

就学前では、「母親」が89.3%、「父親」が10.4%となっています。

小学生では、「母親」が83.9%、「父親」が14.9%となっています。



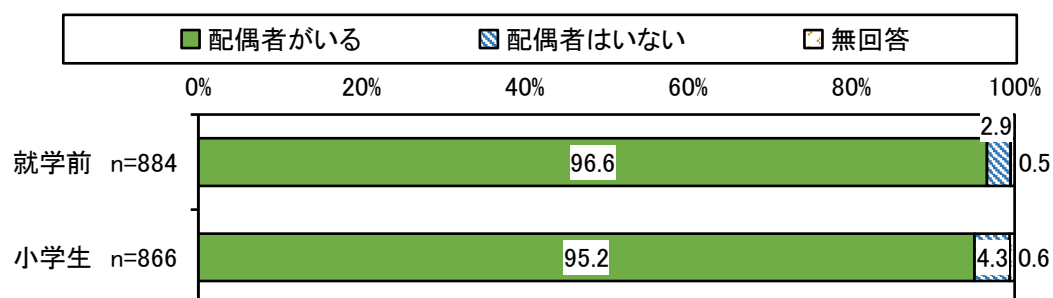
(4) 調査票回答者の配偶関係

問 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。

【就学前：問5、小学生：問5】

就学前では、「配偶者がいる」が96.6%、「配偶者はいない」が2.9%となっています。

小学生では、「配偶者がいる」が95.2%、「配偶者はいない」が4.3%となっています。



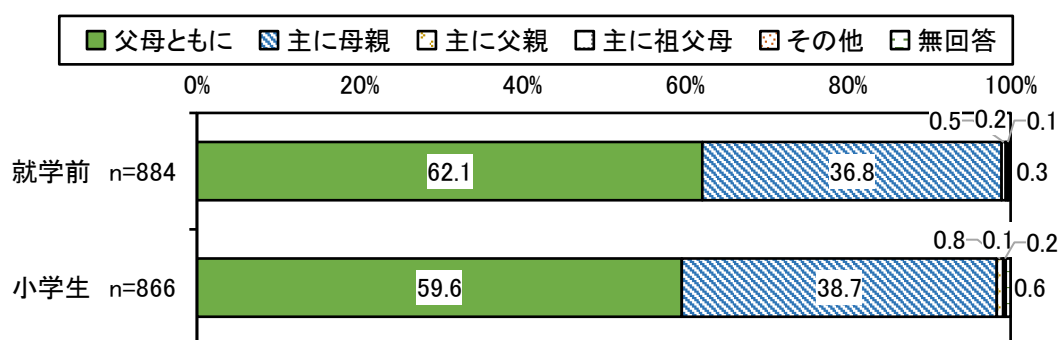
第2章 調査結果

(5) 主に子育てをしている人

問 封筒のあて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。【就学前：問6、小学生：問6】

就学前では、「父母ともに」が62.1%で最も多く、次いで「主に母親」が36.8%、「主に父親」が0.5%、「主に祖父母」が0.2%となっています。

小学生では、「父母ともに」が59.6%で最も多く、次いで「主に母親」が38.7%、「主に父親」が0.8%、「主に祖父母」が0.1%となっています。

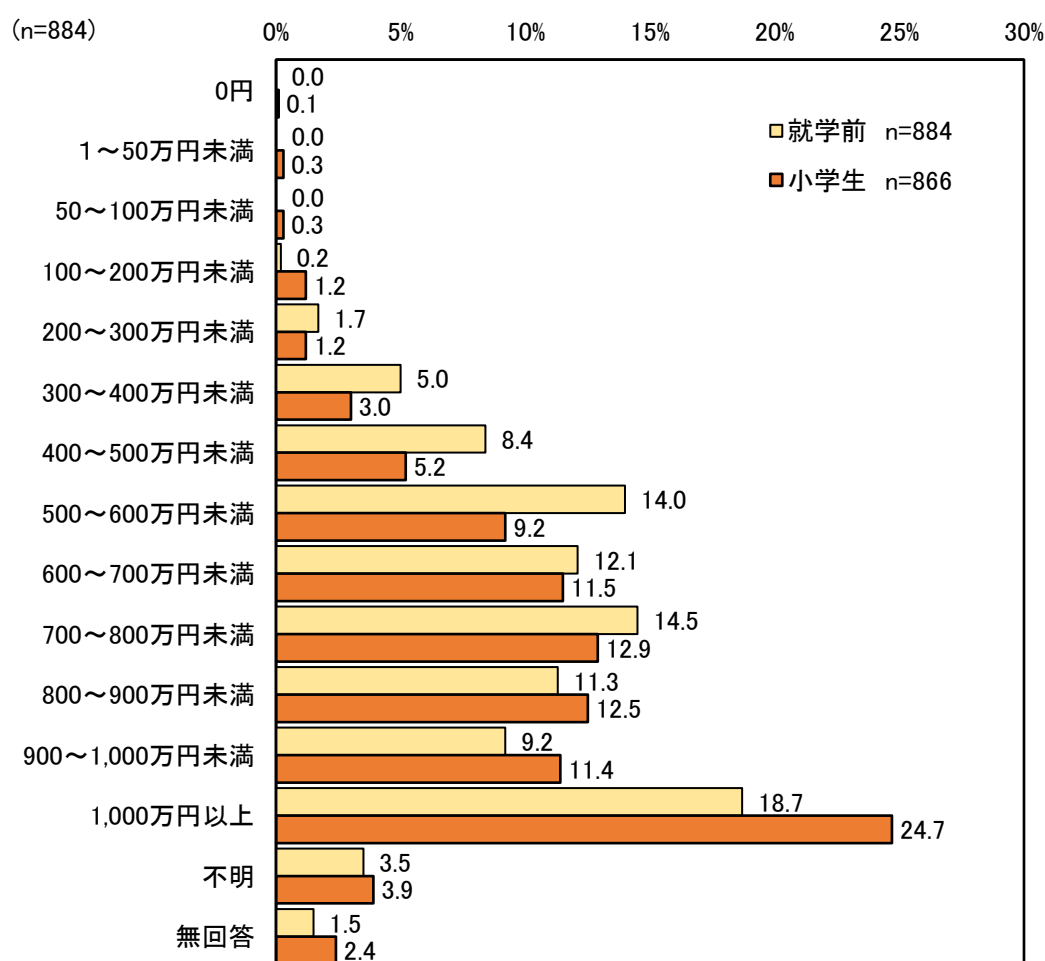


(6) 世帯の総収入

問 お子さんと生計を共にしている方全員の収入を合わせたおおよそ「世帯の総収入（年間のボーナス含む手取り額）」を教えてください。【就学前：問7、小学生：問7】

就学前では、「1,000万円以上」が18.7%で最も多く、次いで「700～800万円未満」が14.5%、「500～600万円未満」が14.0%、「600～700万円未満」が12.1%、「800～900万円未満」が11.3%などとなっています。

小学生では、「1,000万円以上」が24.7%で最も多く、次いで「700～800万円未満」が12.9%、「800～900万円未満」が12.5%、「600～700万円未満」が11.5%、「900～1,000万円未満」が11.4%などとなっています。



3 子どもをめぐる環境について

(1) 子どもをみてもらえる親族・友人の有無

問 日頃、封筒のあて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。

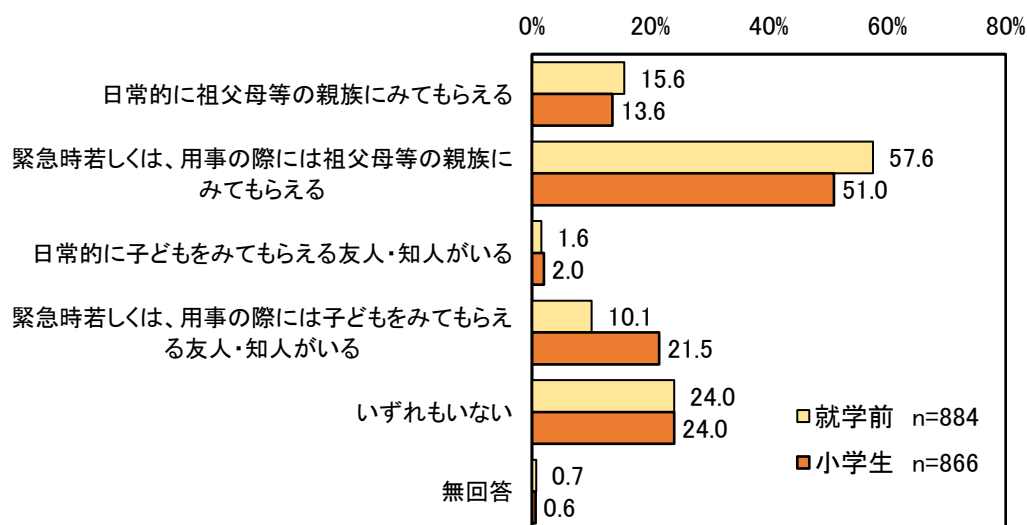
【就学前：問8、小学生：問8】

就学前では、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が15.6%、「緊急時若しくは、用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が57.6%、「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が1.6%、「緊急時若しくは、用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が10.1%、「いずれもない」が24.0%となっています。

年齢別にみると、いずれの年齢も「緊急時若しくは、用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が最も多くなっています。

小学生では、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が13.6%、「緊急時若しくは、用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が51.0%、「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が2.0%、「緊急時若しくは、用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が21.5%、「いずれもない」が24.0%となっています。

学年別にみると、いずれの学年も「緊急時若しくは、用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が最も多くなっています。



●就学前 年齢別

	日常的に 祖父母等 の親族に みてもら える	緊急時若 しくは、 用事の際 には祖父 母等の親 族にみて もらえる	日常的に 子どもを みてもら える友人・知 人がいる	緊急時若 しくは、 用事の際 には子ど もをみて もらえる 友人・知 人がいる	いずれも いない	無回答
全体 (n=884)	15.6	57.6	1.6	10.1	24.0	0.7
0歳 (n=61)	21.3	62.3	1.6	4.9	18.0	0.0
1歳 (n=97)	26.8	46.4	1.0	6.2	30.9	0.0
2歳 (n=82)	14.6	58.5	1.2	7.3	23.2	2.4
3歳 (n=130)	14.6	58.5	0.0	7.7	23.8	1.5
4歳 (n=159)	13.2	57.2	1.9	12.6	27.7	0.0
5歳 (n=181)	11.0	60.8	2.8	13.3	22.1	0.0
6歳 (n=144)	16.7	57.6	2.1	12.5	21.5	0.0

●小学生 学年別

	日常的に 祖父母等 の親族に みてもら える	緊急時若 しくは、 用事の際 には祖父 母等の親 族にみて もらえる	日常的に 子どもを みてもら える友人・知 人がいる	緊急時若 しくは、 用事の際 には子ど もをみて もらえる 友人・知 人がいる	いずれも いない	無回答
全体 (n=866)	13.6	51.0	2.0	21.5	24.0	0.6
2年 (n=128)	14.1	51.6	1.6	18.8	27.3	0.0
3年 (n=143)	14.0	56.6	0.0	19.6	22.4	0.0
4年 (n=193)	13.5	48.7	2.1	26.4	23.8	0.0
5年 (n=183)	12.6	51.4	2.2	19.7	23.5	0.5
6年 (n=175)	13.7	51.4	4.0	23.4	21.7	0.0

※「1年」については調査をしていません

(2) 祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況

問8で「1.」または「2.」を選んだ方にお尋ねします。

問 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

【就学前：問8-1、小学生：問8-1】

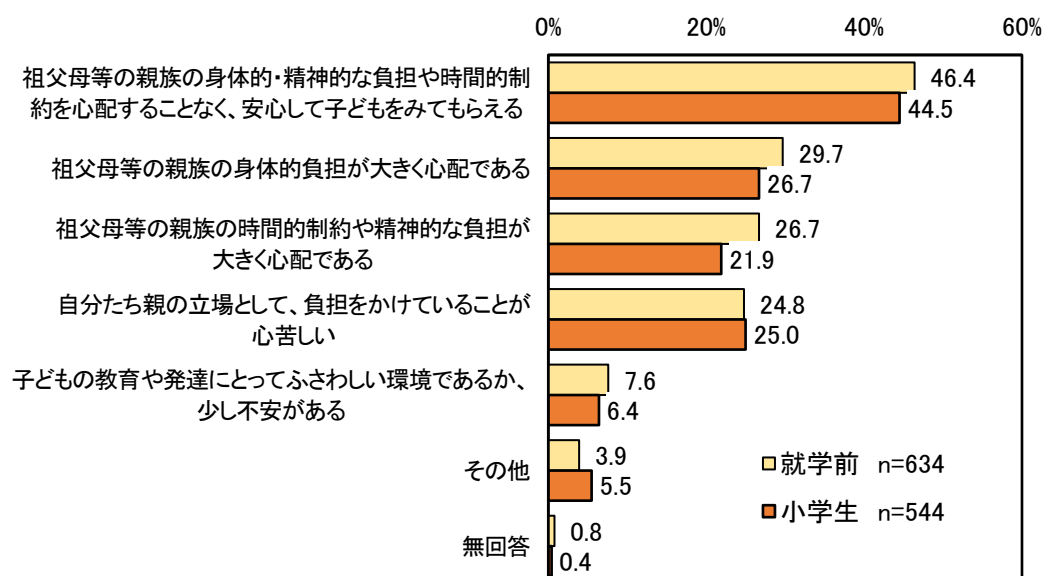
就学前では、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が46.4%で最も多く、次いで「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」が29.7%、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が26.7%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が24.8%、「子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある」が7.6%となっています。

年齢別にみると、いずれの年齢も「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が最も多くなっています。

小学生では、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が44.5%で最も多く、次いで「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」が26.7%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が25.0%、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が21.9%、「子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある」が6.4%となっています。

学年別にみると、いずれの学年も「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が最も多くなっています。

(n=634)



●就学前 年齢別

	祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である	祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	その他	無回答
全体 (n=634)	46.4	29.7	26.7	24.8	7.6	3.9	0.8
0歳 (n=49)	63.3	20.4	20.4	8.2	2.0	6.1	0.0
1歳 (n=67)	55.2	22.4	17.9	17.9	4.5	3.0	3.0
2歳 (n=59)	50.8	22.0	23.7	35.6	3.4	8.5	0.0
3歳 (n=95)	46.3	33.7	29.5	16.8	9.5	1.1	2.1
4歳 (n=109)	41.3	30.3	29.4	33.0	9.2	5.5	0.0
5歳 (n=129)	40.3	32.6	27.9	27.1	10.1	3.1	0.0
6歳 (n=105)	42.9	37.1	30.5	28.6	8.6	3.8	1.0

●小学生 学年別

	祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である	祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	その他	無回答
全体 (n=544)	44.5	26.7	21.9	25.0	6.4	5.5	0.4
2年 (n=79)	39.2	26.6	32.9	35.4	5.1	6.3	0.0
3年 (n=100)	42.0	36.0	21.0	21.0	6.0	5.0	1.0
4年 (n=117)	47.9	22.2	25.6	22.2	6.8	2.6	0.9
5年 (n=113)	47.8	23.9	20.4	25.7	8.0	1.8	0.0
6年 (n=112)	44.6	25.9	13.4	25.9	4.5	10.7	0.0

※「1年」については調査をしていません

(3) 友人・知人に子どもをみてもらっている状況

問8で「3.」または「4.」を選んだ方にお尋ねします。

問 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

【就学前：問8-2、小学生：問8-2】

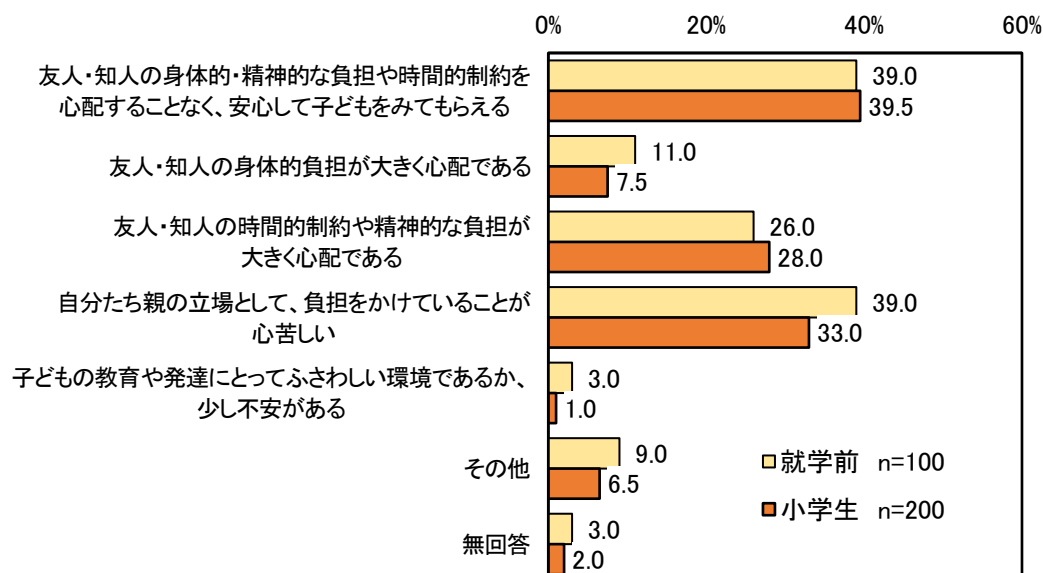
就学前では、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」と「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」がともに 39.0%で最も多く、次いで「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が 26.0%、「友人・知人の身体的負担が大きく心配である」が 11.0%、「子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある」が 3.0%となっています。

年齢別にみると、「0歳」～「4歳」は「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」、「5歳」以上は「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」がそれぞれ最も多くなっています。

小学生では、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が 39.5%で最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が 33.0%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が 28.0%、「友人・知人の身体的負担が大きく心配である」が 7.5%、「子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある」が 1.0%となっています。

学年別にみると、「3年」以上は「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が最も多くなっています。

(n=634)



●就学前 年齢別

	友人・知人の身体的・精神的負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	友人・知人の身体的負担が大きく心配である	友人・知人の時間的制約や精神的負担が大きく心配である	自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	その他	無回答
全体 (n=100)	39.0	11.0	26.0	39.0	3.0	9.0	3.0
0歳 (n=4)	25.0	25.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
1歳 (n=6)	33.3	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0
2歳 (n=7)	28.6	14.3	14.3	28.6	0.0	14.3	28.6
3歳 (n=10)	40.0	20.0	10.0	60.0	10.0	10.0	0.0
4歳 (n=22)	36.4	4.5	22.7	45.5	0.0	13.6	0.0
5歳 (n=29)	41.4	17.2	24.1	27.6	3.4	6.9	3.4
6歳 (n=20)	50.0	5.0	35.0	30.0	5.0	10.0	0.0

●小学生 学年別

	友人・知人の身体的・精神的負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	友人・知人の身体的負担が大きく心配である	友人・知人の時間的制約や精神的負担が大きく心配である	自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	その他	無回答
全体 (n=200)	39.5	7.5	28.0	33.0	1.0	6.5	2.0
2年 (n=25)	32.0	8.0	36.0	36.0	0.0	0.0	4.0
3年 (n=28)	39.3	10.7	39.3	35.7	3.6	0.0	0.0
4年 (n=54)	44.4	9.3	27.8	31.5	1.9	3.7	1.9
5年 (n=40)	42.5	0.0	20.0	42.5	0.0	5.0	2.5
6年 (n=47)	34.0	8.5	25.5	25.5	0.0	17.0	2.1

※「1年」については調査をしていません

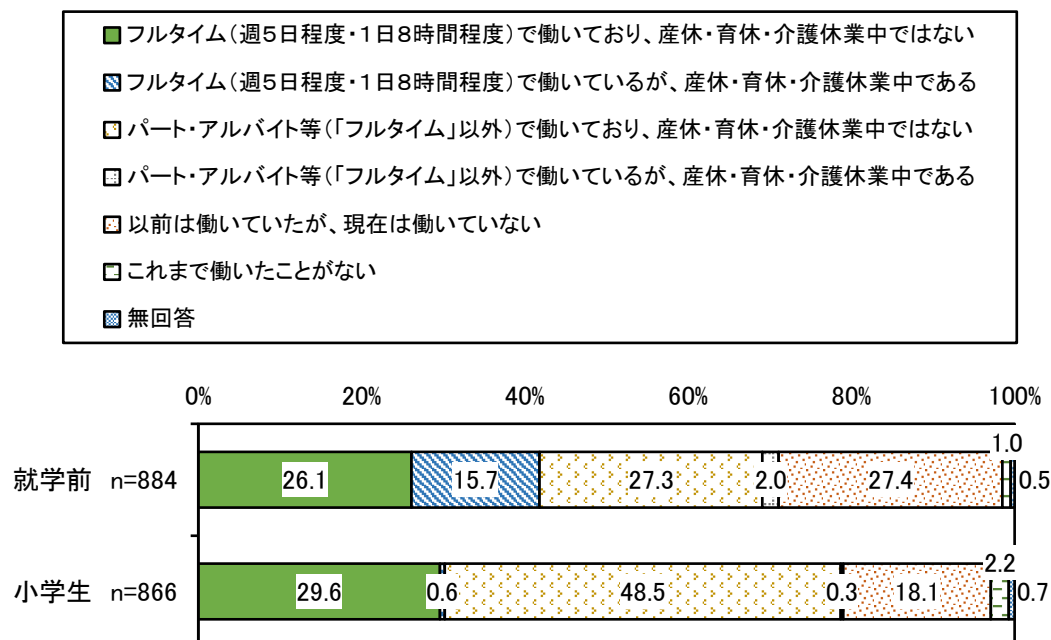
4 保護者の働いている状況について

(1) 母親の就労状況

問 母親の働いている状況（自営業、家族従事者含む）をお尋ねします。（父子家庭の場合は記入は不要です）【就学前：問9、小学生：問9】

就学前では、「フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）で働いており、産休・育休・介護休業中ではない」が26.1%、「フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）で働いているが、産休・育休・介護休業中である」が15.7%、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で働いており、産休・育休・介護休業中ではない」が27.3%、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で働いているが、産休・育休・介護休業中である」が2.0%、「以前は働いていたが、現在は働いていない」が27.4%、「これまで働いたことがない」が1.0%となっています。

小学生では、「フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）で働いており、産休・育休・介護休業中ではない」が29.6%で最も多く、次いで「フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）で働いているが、産休・育休・介護休業中である」が0.6%、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で働いており、産休・育休・介護休業中ではない」が48.5%、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で働いているが、産休・育休・介護休業中である」が0.3%、「以前は働いていたが、現在は働いていない」が18.1%、「これまで働いたことがない」が2.2%となっています。



(2) 就労している母親の就労日数・就労時間

問9で「1.」～「4.」を選んだ方にお尋ねします。

問 1週間あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。
就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産
休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

【就学前：問9-1、小学生：問9-1】

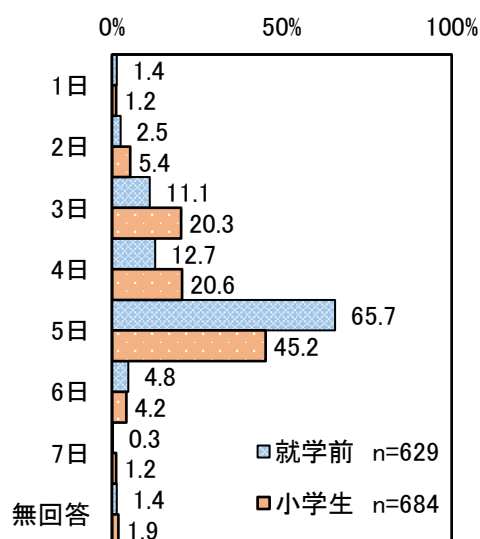
就学前の1週間あたりの就労日数は、「5日」が65.7%で最も多く、次いで「4日」が12.7%となっています。

また、就学前の1日あたりの就労時間は、「8時間」が28.9%で最も多く、次いで「7時間」が16.9%となっています。

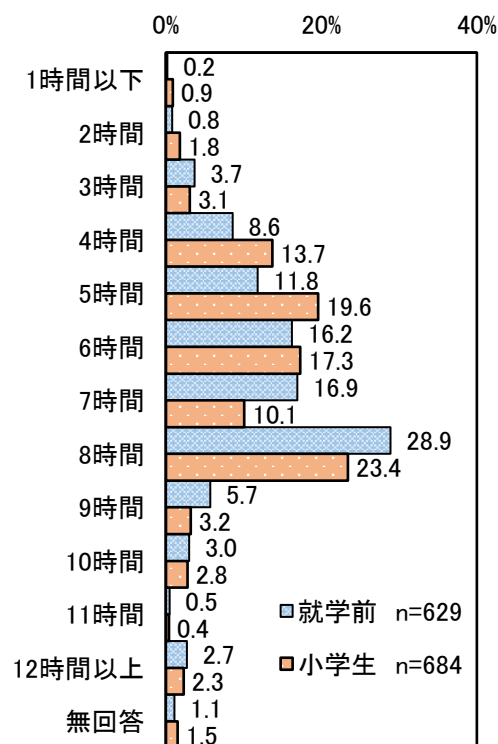
小学生の1週間あたりの就労日数は、「5日」が45.2%で最も多く、次いで「4日」が20.6%となっています。

また、小学生の1日あたりの就労時間は、「8時間」が23.4%で最も多く、次いで「5時間」が19.6%となっています。

○1週間あたりの就労日数



○1日あたりの就労時間



(3) 就労している母親の家を出る時刻・帰宅時刻

問9で「1.」～「4.」を選んだ方にお尋ねします。

問 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。【就学前：問9－2、小学生：問9－2】

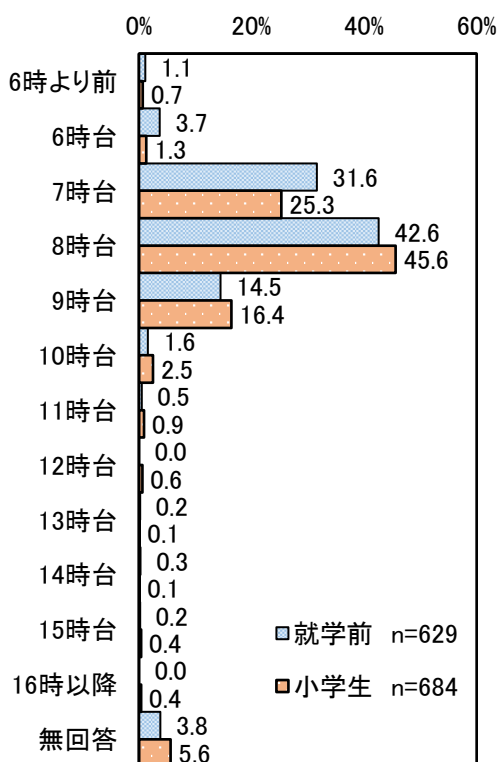
就学前の家を出る時刻は、「8時台」が42.6%で最も多く、次いで「7時台」が31.6%となっています。

また、就学前の帰宅時刻は、「18時台」が28.9%で最も多く、次いで「17時台」が19.9%となっています。

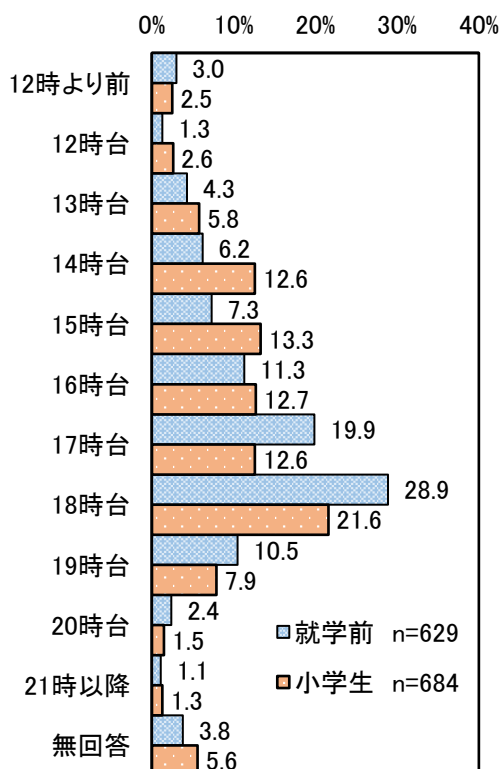
小学生の家を出る時刻は、「8時台」が45.6%で最も多く、次いで「7時台」が25.3%となっています。

また、小学生の帰宅時刻は、「18時台」が21.6%で最も多く、次いで「15時台」が13.3%となっています。

○家を出る時刻



○帰宅時刻

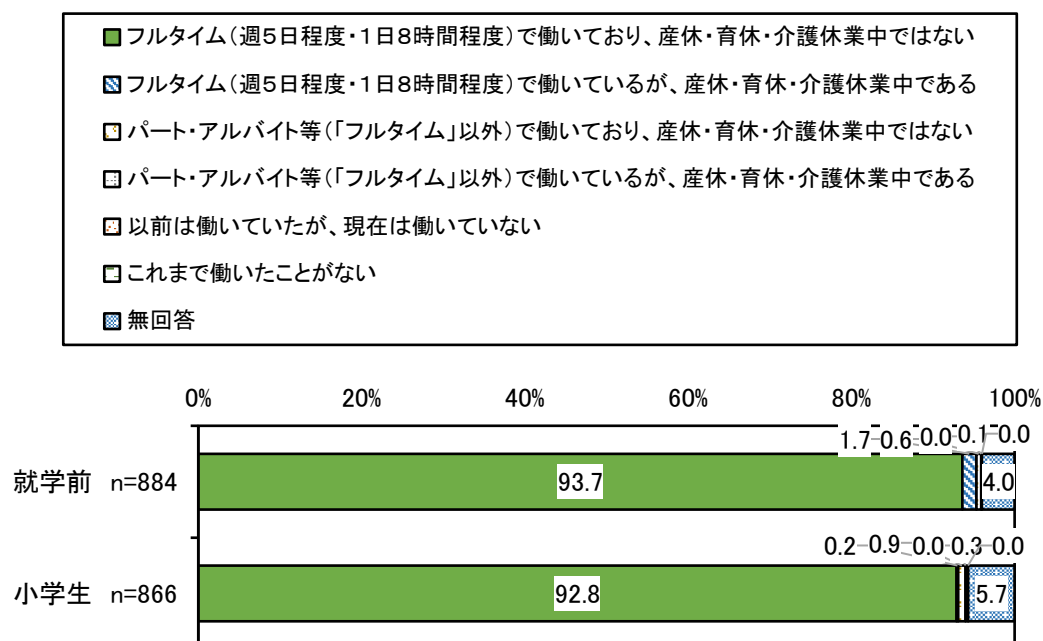


(4) 父親の就労状況

問 父親の働いている状況（自営業、家族従事者含む）をお尋ねします。（母子家庭の場合は記入は不要です）【就学前：問10、小学生：問10】

就学前では、「フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）で働いており、産休・育休・介護休業中ではない」が93.7%で最も多く、次いで「フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）で働いているが、産休・育休・介護休業中である」が1.7%、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で働いており、産休・育休・介護休業中ではない」が0.6%、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で働いているが、産休・育休・介護休業中である」が0.0%、「以前は働いていたが、現在は働いていない」が0.1%、「これまで働いたことがない」が0.0%となっています。

小学生では、「フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）で働いており、産休・育休・介護休業中ではない」が92.8%で最も多く、次いで「フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）で働いているが、産休・育休・介護休業中である」が0.2%、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で働いており、産休・育休・介護休業中ではない」が0.9%、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で働いているが、産休・育休・介護休業中である」が0.0%、「以前は働いていたが、現在は働いていない」が0.3%、「これまで働いたことがない」が0.0%となっています。



(5) 就労している父親の就労日数・就労時間

問10で「1.」～「4.」を選んだ方にお尋ねします。

問 1週間あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。
就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産
休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

【就学前：問10-1、小学生：問10-1】

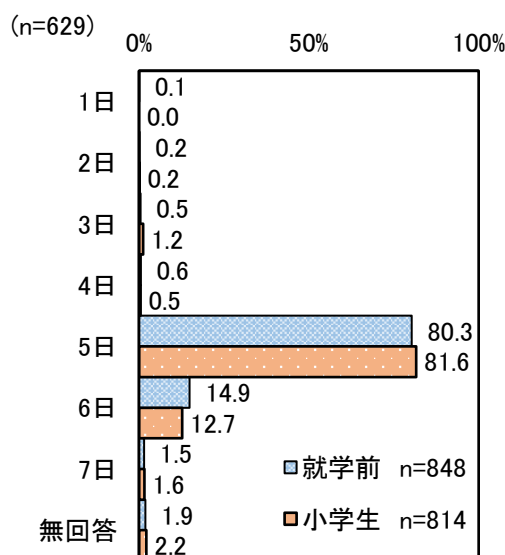
就学前の1週間あたりの就労日数は、「5日」が80.3%で最も多く、次いで「6日」が14.9%となっています。

また、就学前の1日あたりの就労時間は、「8時間」が29.4%で最も多く、次いで「10時間」が27.6%となっています。

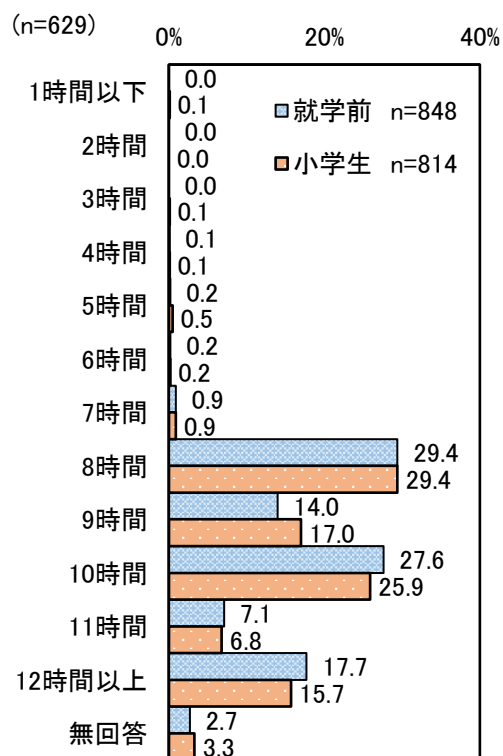
小学生の1週間あたりの就労日数は、「5日」が81.6%で最も多く、次いで「6日」が12.7%となっています。

また、小学生の1日あたりの就労時間は、「8時間」が29.4%で最も多く、次いで「10時間」が25.9%となっています。

○1週間あたりの就労日数



○1日あたりの就労時間【就学前】



(6) 就労している父親の家を出る時刻・帰宅時刻

問10で「1.」～「4.」を選んだ方にお尋ねします。

問 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。【就学前：10-2、小学生：問10-2】

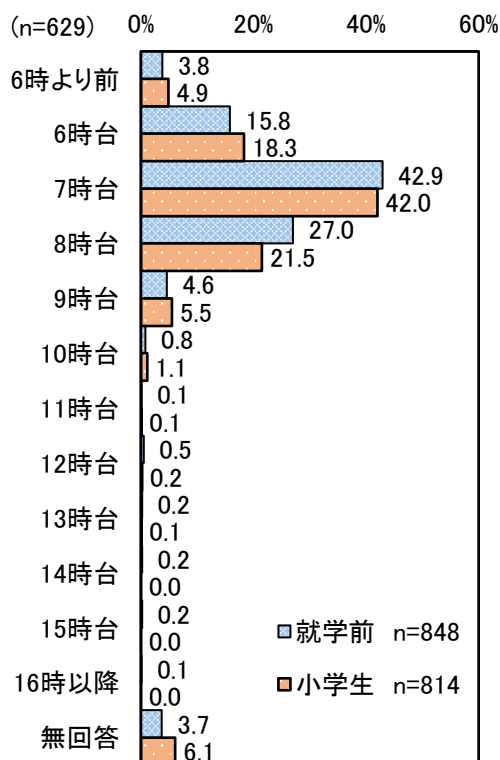
就学前の家を出る時刻は、「7時台」が42.9%で最も多く、次いで「8時台」が27.0%となっています。

また、就学前の帰宅時刻は、「21時以降」が34.6%で最も多く、次いで「19時台」が20.5%となっています。

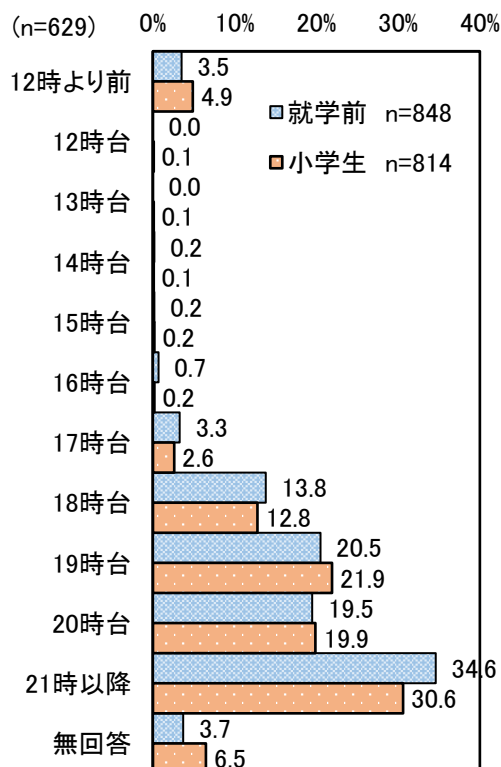
小学生の家を出る時刻は、「7時台」が42.0%で最も多く、次いで「8時台」が21.5%となっています。

また、小学生の帰宅時刻は、「21時以降」が30.6%で最も多く、次いで「19時台」が21.9%となっています。

○家を出る時刻



○帰宅時刻



(7) パート・アルバイト等で働く親のフルタイムへの転換希望

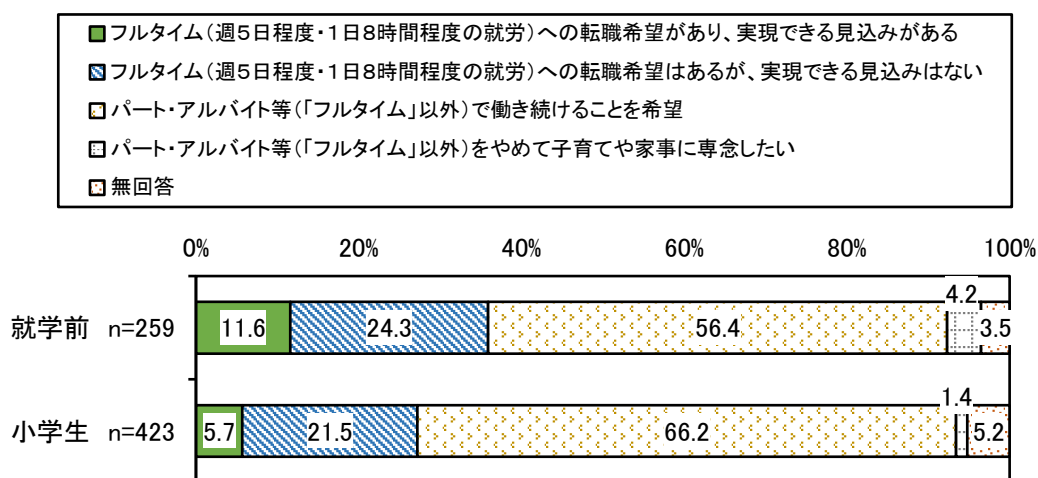
問9または問10で「3.」または「4.」(パート・アルバイト等で働いている)を選んだ方にお尋ねします。

問 フルタイムへの転換希望はありますか。【就学前：問11、小学生：問11】

母親について、就学前では、「フルタイム(週5日程度・1日8時間程度の就労)への転職希望があり、実現できる見込みがある」が11.6%、「フルタイム(週5日程度・1日8時間程度の就労)への転職希望はあるが、実現できる見込みはない」が24.3%、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)で働き続けることを希望」が56.4%、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい」が4.2%となっています。

小学生では、「フルタイム(週5日程度・1日8時間程度の就労)への転職希望があり、実現できる見込みがある」が5.7%、「フルタイム(週5日程度・1日8時間程度の就労)への転職希望はあるが、実現できる見込みはない」が21.5%、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)で働き続けることを希望」が66.2%、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい」が1.4%となっています。

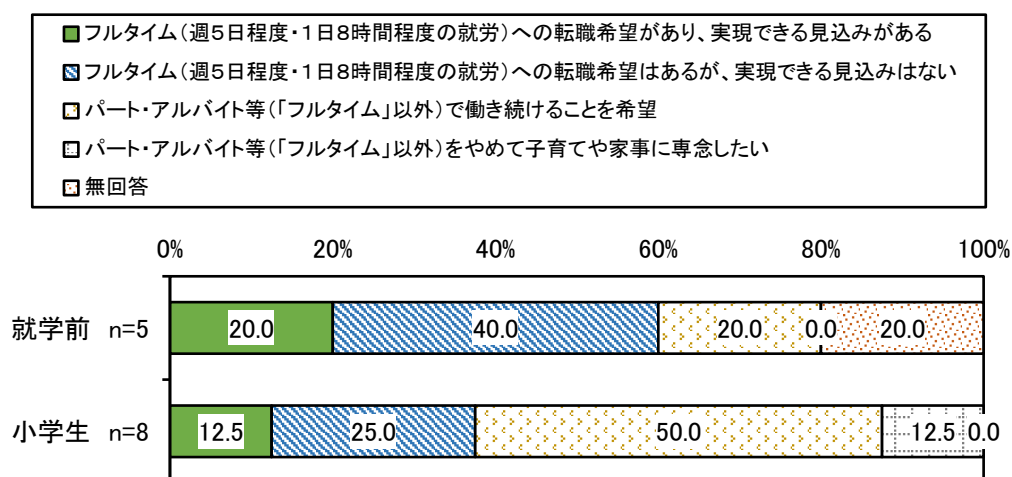
(1) 母親



父親について、就学前では、「フルタイム（週5日程度・1日8時間程度の就労）への転職希望があり、実現できる見込みがある」が20.0%、「フルタイム（週5日程度・1日8時間程度の就労）への転職希望はあるが、実現できる見込みはない」が40.0%、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で働き続けることを希望」が20.0%、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい」が0.0%となっています。

小学生では、「フルタイム（週5日程度・1日8時間程度の就労）への転職希望があり、実現できる見込みがある」が12.5%、「フルタイム（週5日程度・1日8時間程度の就労）への転職希望はあるが、実現できる見込みはない」が25.0%、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で働き続けることを希望」が50.0%、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい」が12.5%となっています。

（2）父親



(8) 就労していない親の就労希望

問9または問10で「5. 以前は働いていたが、現在は働いていない」または「6. これまで働いたことがない」を選んだ方にお尋ねします。

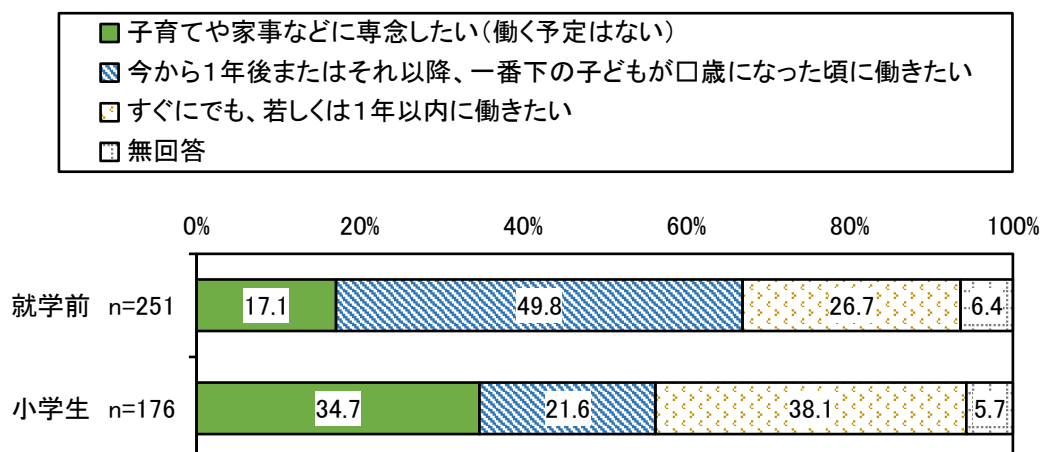
問 働きたいという希望はありますか。また、該当する箇所に数字をご記入ください。

【就学前：問12、小学生：問12】

母親の就労希望について、就学前では、「子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）」が17.1%、「今から1年後またはそれ以降、一番下の子どもが〇歳になった頃に働きたい」が49.8%、「すぐにでも、若しくは1年以内に働きたい」が26.7%となっています。

小学生では、「子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）」が34.7%、「今から1年後またはそれ以降、一番下の子どもが〇歳になった頃に働きたい」が21.6%、「すぐにでも、若しくは1年以内に働きたい」が38.1%となっています。

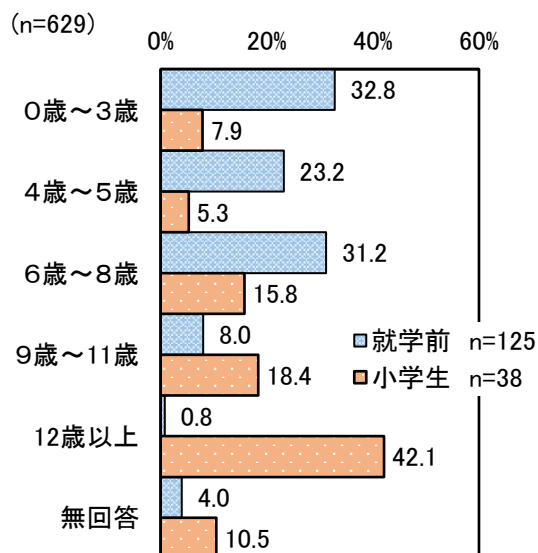
(1) 母親：就労希望



母親の就労希望時の下の子どもの年齢は、就学前では、「0～3歳」が32.8%で最も多くなっています。

小学生では、「12歳以上」が42.1%で最も多くなっています。

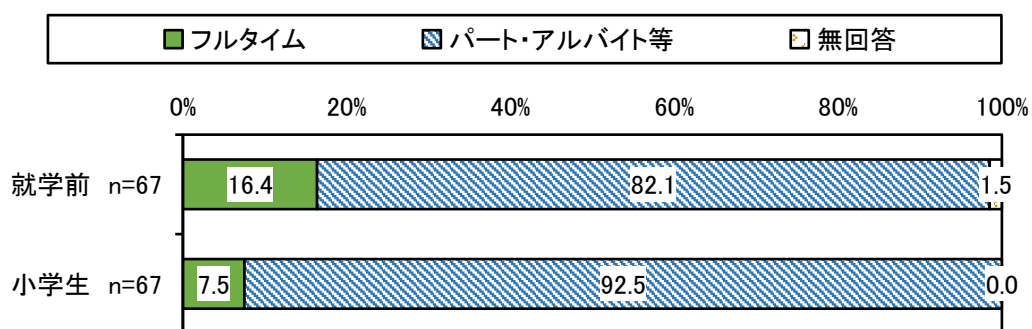
(1) 母親：就労希望時の下の子どもの年齢



母親の希望する働き方は、就学前では、「フルタイム」が16.4%、「パート・アルバイト等」が82.1%となっています。

小学生では、「フルタイム」が7.5%、「パート・アルバイト等」が92.5%となっています。

(1) 母親：希望する働き方



第2章 調査結果

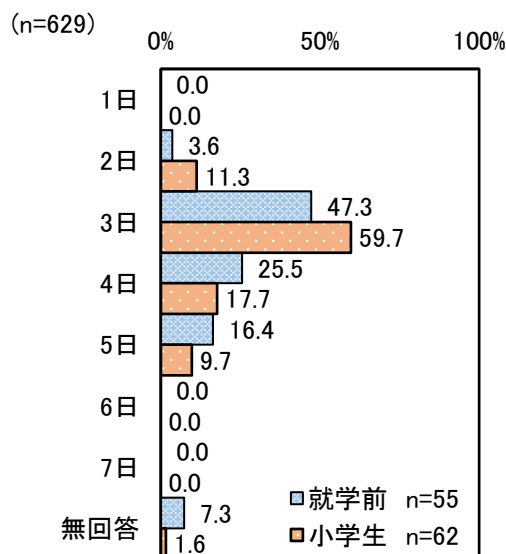
母親の希望する1週当たりの就労日数は、就学前では、「3日」が47.3%で最も多く、次いで「4日」が25.5%、「5日」が16.4%となっています。

小学生では、「3日」が59.7%で最も多く、次いで「4日」が17.7%、「2日」が11.3%となっています。

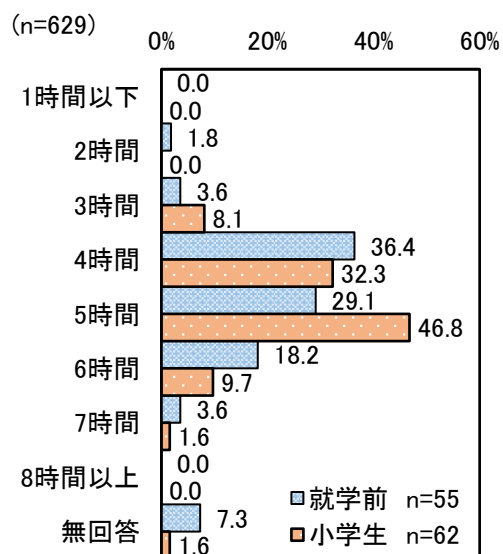
また、母親の希望する1日あたりの就労時間は、就学前では、「4時間」が36.4%で最も多く、次いで「5時間」が29.1%、「6時間」が18.2%となっています。

小学生では、「5時間」が46.8%で最も多く、次いで「4時間」が32.3%となっています。

(1) 母親：1週当たりの就労日数



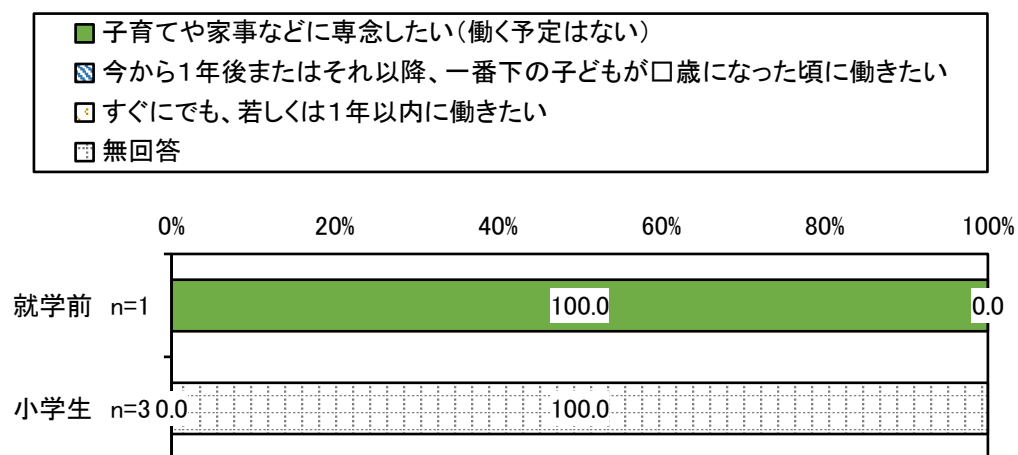
(1) 母親：1日あたりの就労時間



父親の就労希望について、就学前では、「子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）」が100.0%となっています。

小学生では、回答がありませんでした。

(2) 父親：就労希望【就学前】



(2) 父親：就労希望時の下の子どもの年齢

(2) 父親：希望する働き方

(2) 父親：1週当たりの就労日数

(2) 父親：1日あたりの就労時間

回答がありませんでした。

5 平日の定期的な幼稚園・保育所などの利用状況について

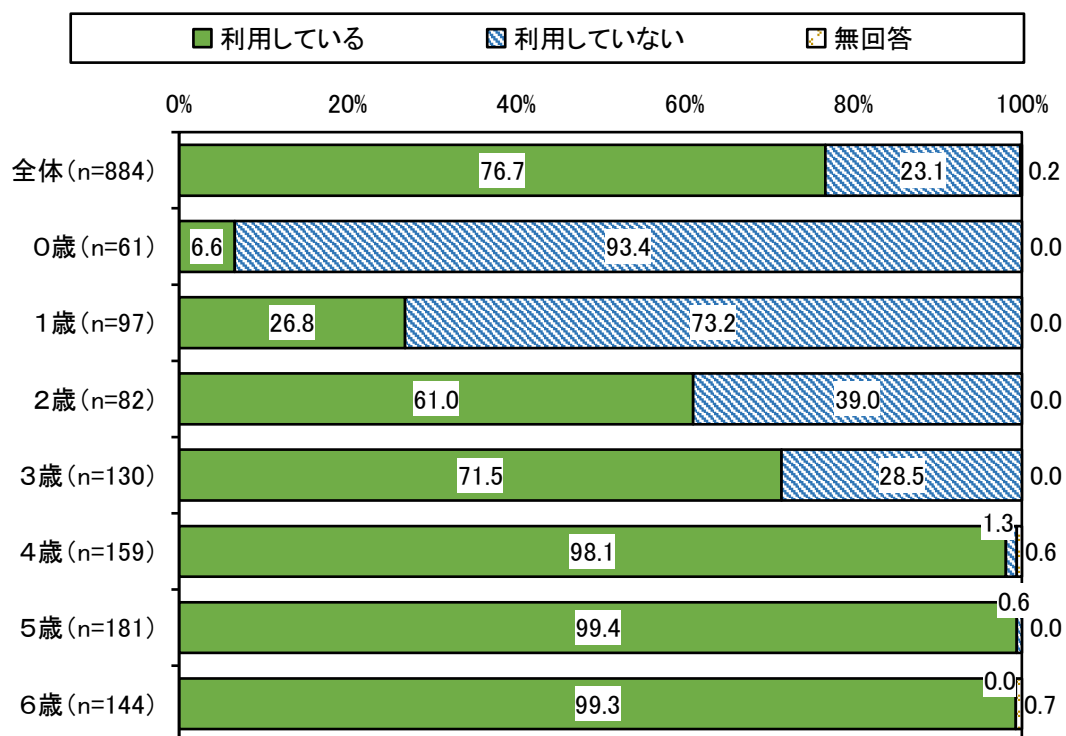
(1) 平日の定期的な幼稚園・保育所などの利用状況について

問 封筒のあて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などを月単位で定期的に利用していますか。
【就学前：問13】

「利用している」が76.7%、「利用していない」が23.1%となっています。

年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて「利用している」が多くなり、「4歳」以上では9割以上が「利用している」と回答しています。

●就学前 年齢別



(2) 平日に定期的に利用している幼稚園・保育所などについて

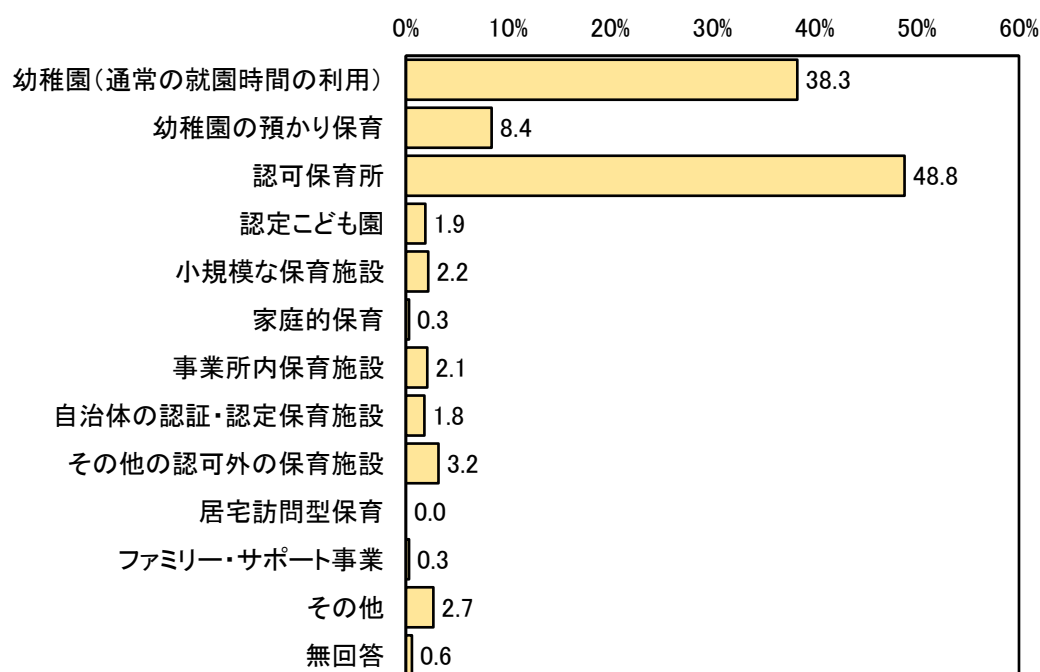
問13-1～4は、問13で「1. 利用している」を選んだ方にお尋ねします。

問 封筒のあて名のお子さんは、平日どのような幼稚園や保育所などを利用していますか。年間を通じて定期的に利用している事業をお答えください。【就学前：問13-1】

「認可保育所」が48.8%で最も多く、次いで「幼稚園（通常の就園時間の利用）」が38.3%、「幼稚園の預かり保育」が8.4%、「その他の認可外の保育施設」が3.2%、「小規模な保育施設」が2.2%となっています。

年齢別にみると、「0歳」は「小規模な保育施設」、「1歳」～「3歳」及び「5歳」は「認可保育所」、「4歳」及び「6歳」は「幼稚園（通常の就園時間の利用）」がそれぞれ最も多くなっています。

(n=678)



●就学前 年齢別

	幼稚園 （通常の 就園時間 の利用）	幼稚園の 預かり保 育	認可保育 所	認定こど も園	小規模な 保育施設	家庭的保 育	事業所内 保育施設	自治体の 認証・認 定保育施 設	その他の 認可外の 保育施設	居宅訪問 型保育	ファミ リー・サ ポート事 業	その他	無回答
全体 (n=678)	38.3	8.4	48.8	1.9	2.2	0.3	2.1	1.8	3.2	0.0	0.3	2.7	0.6
0歳 (n=4)	25.0	0.0	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1歳 (n=26)	0.0	0.0	57.7	0.0	15.4	0.0	3.8	3.8	11.5	0.0	0.0	7.7	3.8
2歳 (n=50)	0.0	0.0	64.0	0.0	8.0	2.0	12.0	8.0	8.0	0.0	2.0	0.0	0.0
3歳 (n=93)	28.0	3.2	54.8	1.1	4.3	1.1	7.5	1.1	5.4	0.0	0.0	6.5	0.0
4歳 (n=156)	48.1	9.6	43.6	3.2	0.0	0.0	0.0	1.9	0.6	0.0	0.0	1.3	1.3
5歳 (n=180)	46.1	8.3	46.7	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	0.6	2.2	0.6
6歳 (n=143)	46.9	16.1	44.1	1.4	0.0	0.0	0.0	2.1	3.5	0.0	0.0	2.8	0.0

(3) 平日に定期的に利用している幼稚園・保育所などの利用状況・利用希望

問13-1~4は、問13で「1. 利用している」を選んだ方にお尋ねします。

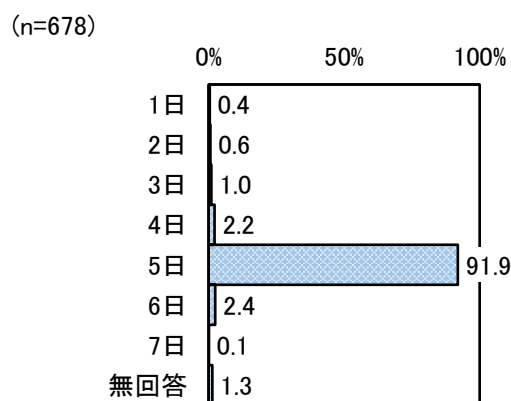
問 平日に定期的に利用している幼稚園や保育所などについて、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週間あたり何日、1日あたり何時間（何時から何時まで）かお答えください。【就学前：問13-2】

1週間あたりの利用日数について、現在の利用日数、希望する利用日数共に「5日」が最も多くなっています。

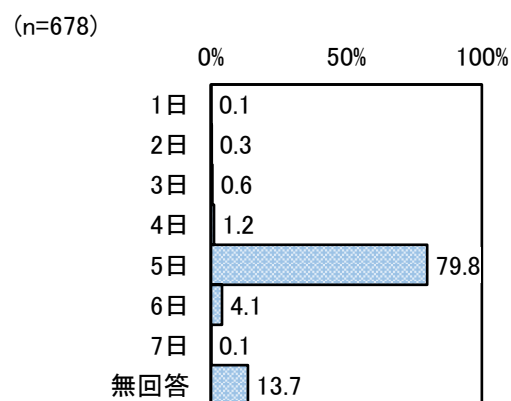
また、1日あたりの利用時間について、現在の利用時間、希望する利用時間ともに「8時間以上」が最も多くなっています。

○1週間あたりの利用日数

(1) 現在

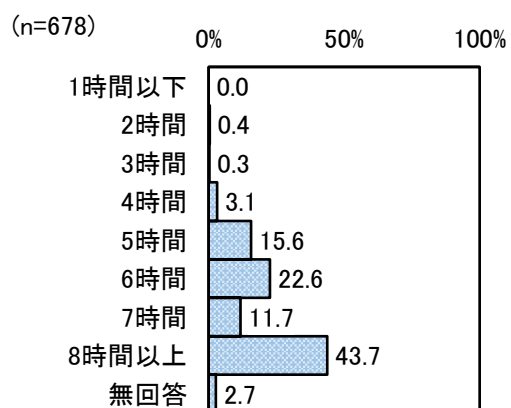


(2) 希望

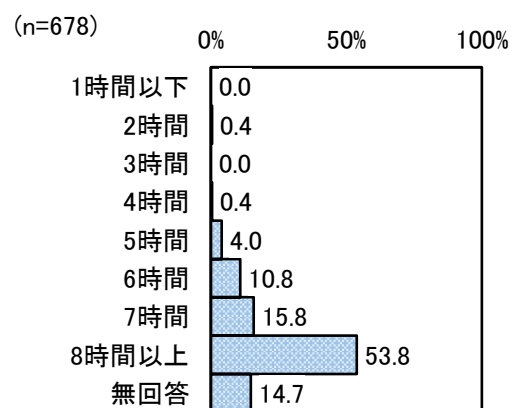


○1日あたりの利用時間

(1) 現在



(2) 希望

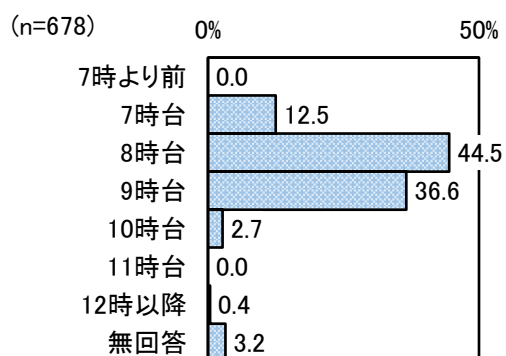


利用開始時刻について、現在の利用開始時刻、希望する利用開始時刻ともに「8時台」が最も多くなっています。

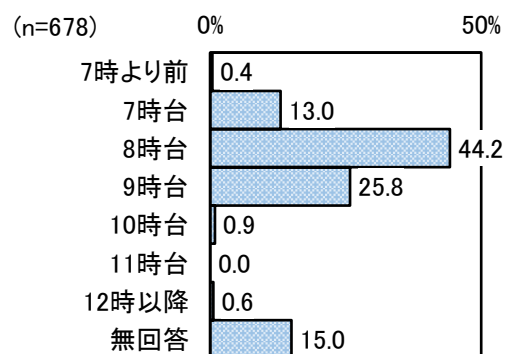
また、利用終了時刻について、現在の利用終了時刻は「14時台」が最も多くなっていますが、希望する利用終了時刻は「16時台」が最も多くなっています。

・利用開始時刻

(1) 現在

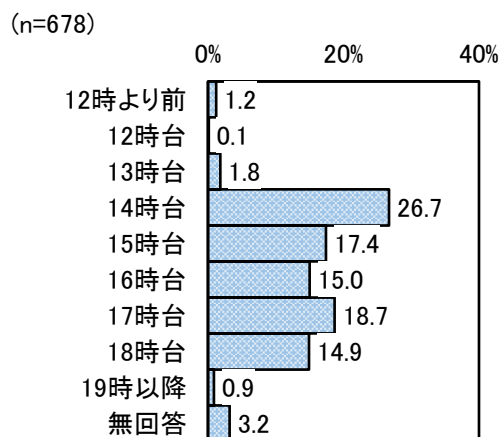


(2) 希望

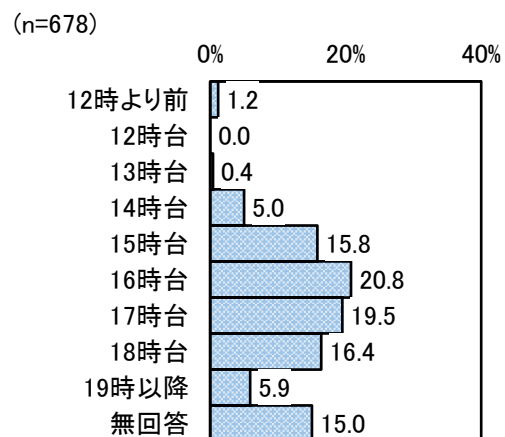


○利用終了時刻

(1) 現在



(2) 希望



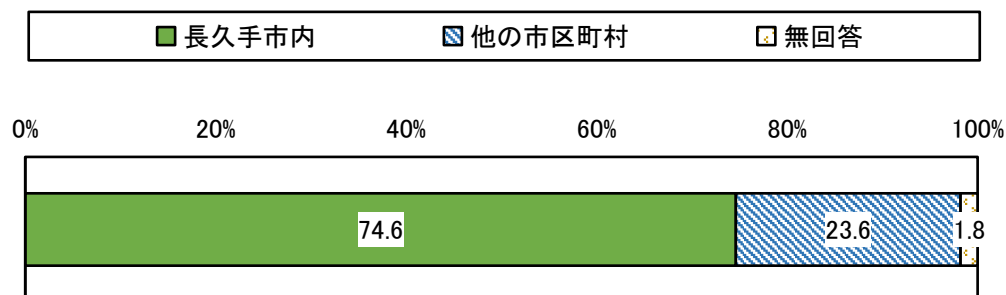
(4) 平日の定期的な教育・保育の事業を利用している場所

問13-1~4は、問13で「1. 利用している」を選んだ方にお尋ねします。

問 現在、利用している幼稚園や保育所などの場所はどこですか。【就学前：問13-3】

「長久手市内」が74.6%、「他の市区町村」が23.6%となっています。

(n=678)



(5) 平日の定期的な教育・保育の事業を利用する理由

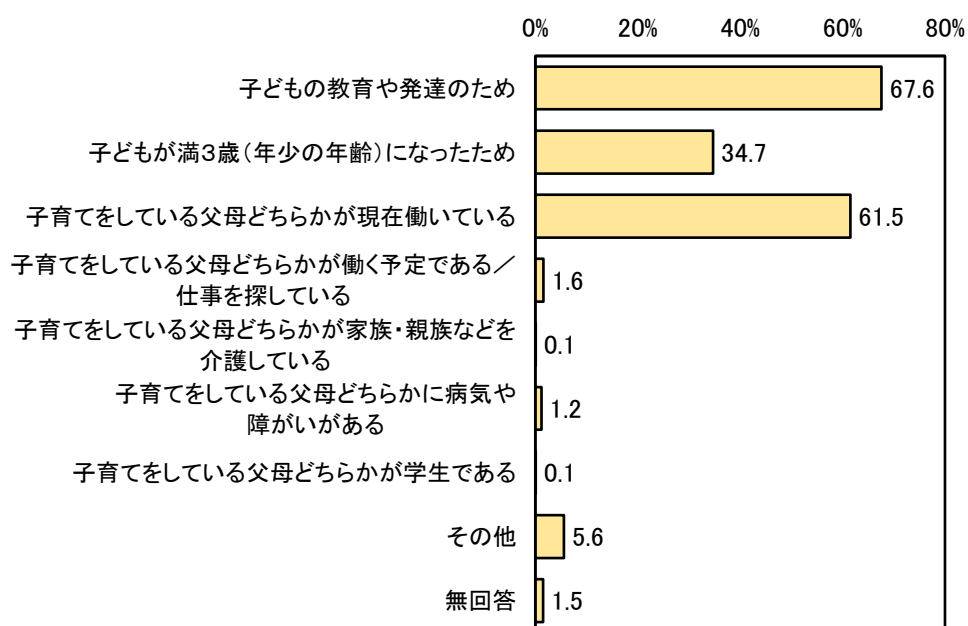
問13-1~4は、問13で「1. 利用している」を選んだ方にお尋ねします。

問 平日に幼稚園や保育所などを利用している理由は何ですか。【就学前：問13-4】

「子どもの教育や発達のため」が67.6%で最も多く、次いで「子育てをしている父母どちらかが現在働いている」が61.5%、「子どもが満3歳（年少の年齢）になったため」が34.7%などとなっています。

年齢別にみると、「0歳」～「3歳」では「子育てをしている父母どちらかが現在働いている」が、「4歳以上」では「子どもの教育や発達のため」がそれぞれ最も多くなっています。

(n=678)



●就学前 年齢別

	子どもの教育や発達のため	子どもが満3歳(年少の年齢)になったため	子育てをしている父母どちらかが現在働いている	子育てをしている父母どちらかが働く予定である／仕事を探している	子育てをしている父母どちらかが家族・親族などを介護している	子育てをしている父母どちらかに病気や障がいがある	子育てをしている父母どちらかが学生である	その他	無回答
全体 (n=678)	67.6	34.7	61.5	1.6	0.1	1.2	0.1	5.6	1.5
0歳 (n=4)	75.0	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1歳 (n=26)	50.0	3.8	88.5	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	3.8
2歳 (n=50)	44.0	0.0	86.0	0.0	0.0	2.0	0.0	10.0	2.0
3歳 (n=93)	58.1	31.2	68.8	4.3	0.0	1.1	0.0	9.7	2.2
4歳 (n=156)	67.3	45.5	51.9	2.6	0.0	1.3	0.0	5.1	1.3
5歳 (n=180)	77.8	41.7	57.8	1.1	0.0	1.1	0.6	3.9	0.6
6歳 (n=143)	73.4	35.7	55.9	0.7	0.7	1.4	0.0	4.9	2.1

(6) 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していない理由

問13-5は、問13で「2. 利用していない」を選んだ方にお尋ねします。

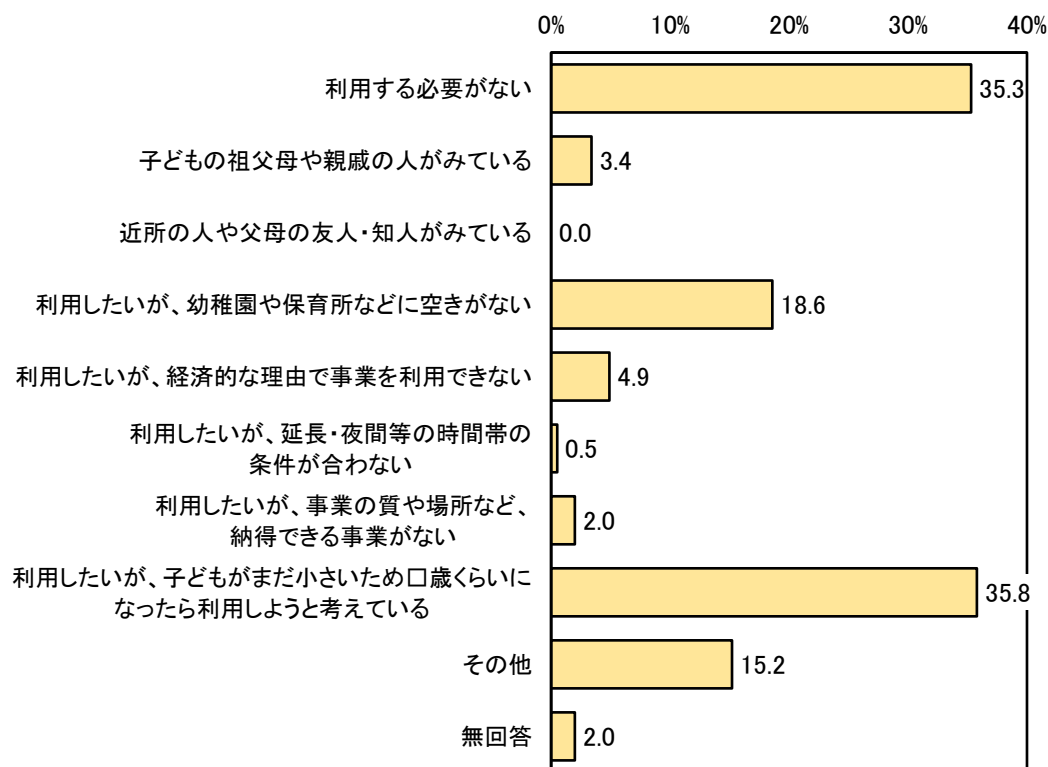
問 定期的に幼稚園や保育所などを利用していない理由は何ですか。【就学前：問13-5】

平日の定期的な教育・保育の事業を利用していない理由は、「子どもがまだ小さいため（□□歳くらいになったら利用しようと考えている）」が35.8%で最も多く、次いで「利用する必要がある」が35.3%、「利用したいが、幼稚園や保育所などに空きがない」が18.6%などとなっています。

年齢別にみると、「0歳」及び「3歳」では「利用したいが、子どもがまだ小さいため□□歳くらいになったら利用しようと考えている」、「1歳」及び「2歳」では「利用する必要はない」が最も多くなっています。

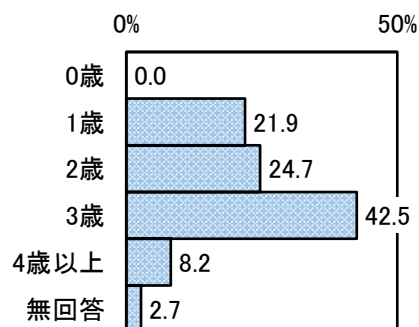
なお、事業の利用を予定している子どもの年齢は、「3歳」が42.5%で最も多くなっています。

(n=204)



○事業の利用を予定している子どもの年齢

(n=73)



●就学前 年齢別

	利用する 必要がない	子どもの 祖父母や 親戚の人が みている	近所の人 や父母の 友人・知 人がみて いる	利用した いが、幼 稚園や保 育所など に空きが ない	利用した いが、経 済的な理 由で事業 を利用で きない	利用した いが、延 長・夜間 等の時間 帯の条件 が合わない	利用した いが、事 業の質や 場所など、 納得でき る事業がない	利用した いが、子 どもがま だ小さい ため〇歳 くらいに なったら 利用しよ うと考 えている	その他	無回答
全体 (n=204)	35.3	3.4	0.0	18.6	4.9	0.5	2.0	35.8	15.2	2.0
0歳 (n=57)	45.6	0.0	0.0	3.5	1.8	0.0	0.0	50.9	8.8	0.0
1歳 (n=71)	35.2	5.6	0.0	26.8	9.9	1.4	2.8	32.4	9.9	1.4
2歳 (n=32)	40.6	0.0	0.0	18.8	0.0	0.0	0.0	31.3	18.8	0.0
3歳 (n=37)	18.9	8.1	0.0	21.6	5.4	0.0	5.4	24.3	29.7	5.4
4歳 (n=2)	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
5歳 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
6歳 (n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

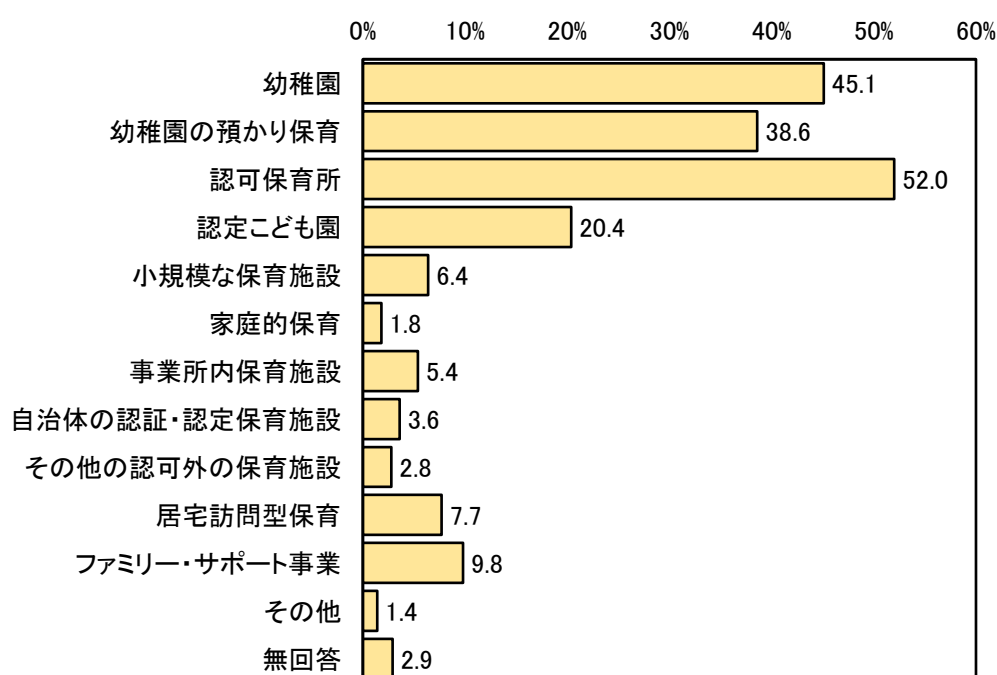
(7) 利用したい平日の定期的な教育・保育の事業

問 現在、利用している、利用していないにかかわらず、封筒のあて名のお子さんの平日の幼稚園や保育所利用などのうち、「定期的に」利用したいものをお答えください。【就学前：問14】

「認可保育所」が52.0%で最も多く、次いで「幼稚園」が45.1%、「幼稚園の預かり保育」が38.6%、「認定こども園」が20.4%、「ファミリー・サポート事業」が9.8%などとなっています。

年齢別にみると、「0歳」～「3歳」では「認可保育所」、「4歳」以上では「幼稚園」がそれぞれ最も多くなっています。

(n=884)



●就学前 年齢別

	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	自治体の認証・認定保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート事業	その他	無回答
全体 (n=884)	45.1	38.6	52.0	20.4	6.4	1.8	5.4	3.6	2.8	7.7	9.8	1.4	2.9
0歳 (n=61)	41.0	32.8	73.8	27.9	14.8	4.9	6.6	4.9	3.3	6.6	8.2	3.3	1.6
1歳 (n=97)	41.2	38.1	70.1	34.0	13.4	2.1	11.3	5.2	3.1	6.2	8.2	0.0	2.1
2歳 (n=82)	31.7	36.6	65.9	31.7	15.9	3.7	11.0	8.5	6.1	9.8	12.2	1.2	2.4
3歳 (n=130)	42.3	41.5	56.2	23.1	9.2	3.1	4.6	5.4	5.4	10.8	9.2	0.8	0.8
4歳 (n=159)	49.1	39.6	45.3	11.3	1.3	1.9	3.1	1.3	1.9	10.1	9.4	0.6	1.9
5歳 (n=181)	50.3	39.8	40.9	16.0	2.8	0.6	5.0	1.7	1.7	6.1	13.3	3.3	4.4
6歳 (n=144)	50.0	41.0	41.0	16.7	1.4	0.0	2.8	2.8	1.4	6.3	8.3	0.7	4.2

(8) 幼稚園の強い利用希望

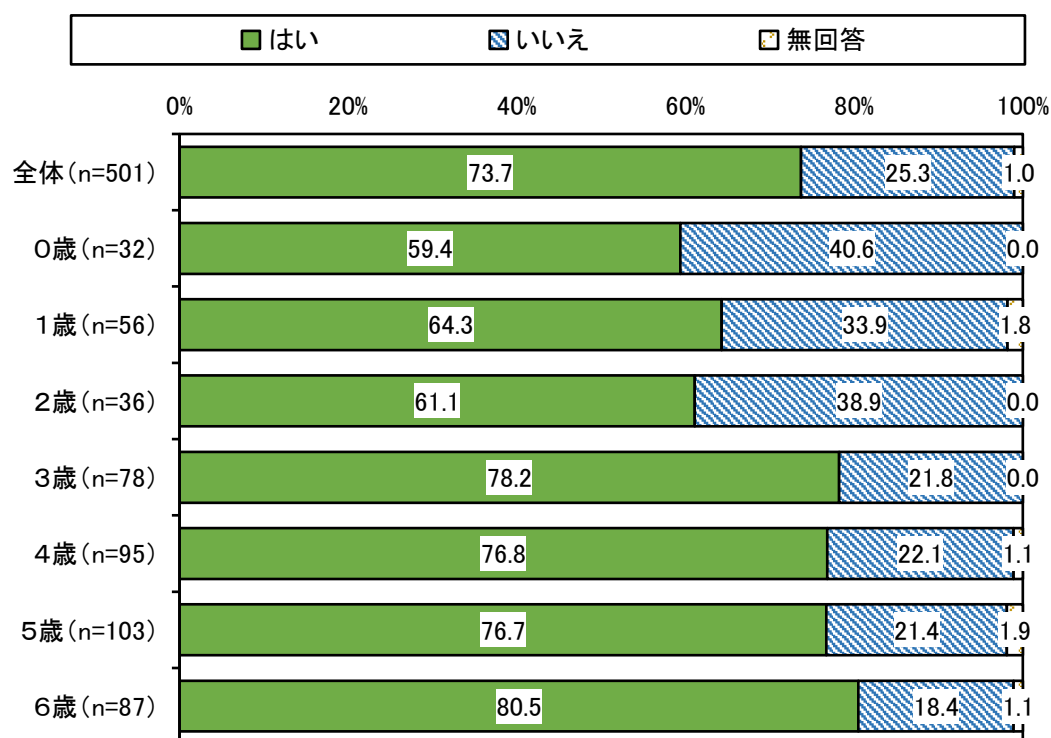
問14-1は、問14で「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「2. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間に利用し、さらに時間を延長して定期的に預かってもらうサービス）」を選んだ方にお尋ねします。

問 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。
【就学前：問14-1】

「はい」が73.7%、「いいえ」が25.3%となっています。

年齢別にみると、「3歳」以上で「はい」が7割以上となっています。

●就学前 年齢別

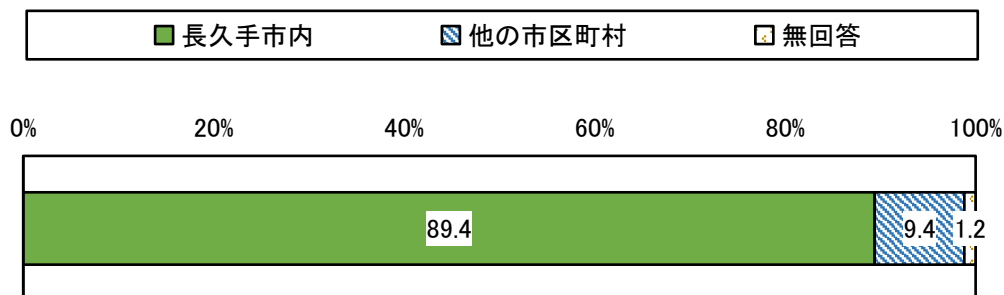


(9) 平日の定期的な教育・保育の事業を利用したい場所

問 幼稚園や保育所などを利用したい場所はどこですか。【就学前：問15】

「長久手市内」が89.4%、「他の市区町村」が9.4%となっています。

(n=884)

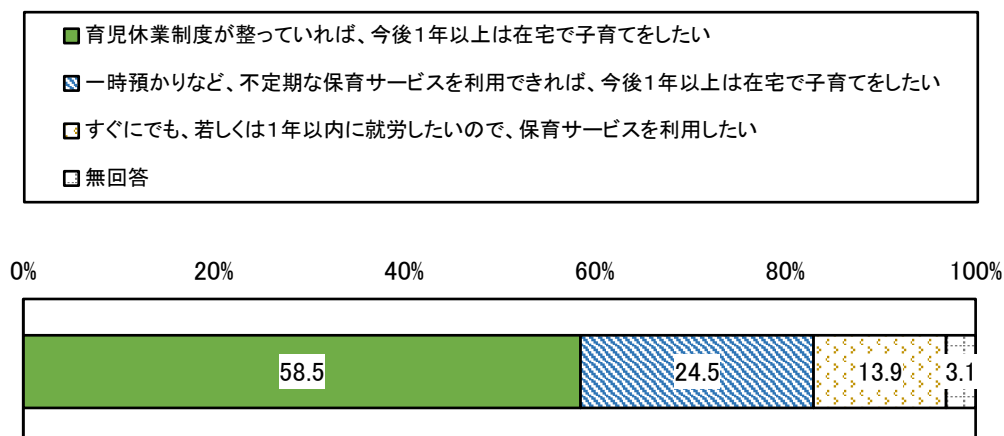


(10) 0歳児における子育てに対する考え方

問 0歳児における子育てに対する考えは以下のどれにあたりますか。現在のあなたの考えに最も近いものをお答えください。対象のお子さんが1歳児以上のときは、0歳児だったときのことを振り返り、お答えください。【就学前 問16】

「育児休業制度が整っていれば、今後1年以上は在宅で子育てをしたい」が58.5%で最も多く、次いで「一時預かりなど、不定期な保育サービスを利用できれば、今後1年以上は在宅で子育てをしたい」が24.5%、「すぐにでも、若しくは1年以内に就労したいので、保育サービスを利用したい」が13.9%となっています。

(n=884)



6 地域の子育て支援事業の利用状況について

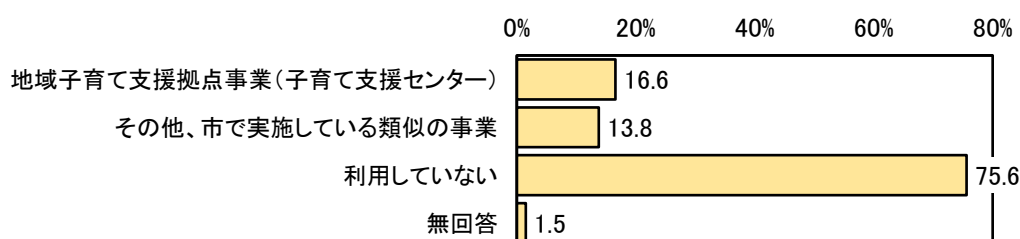
(1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況

問 封筒のあて名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、子育てに関する講座を受講したり、情報提供を受けたりする場で、長久手市では、市役所西庁舎1階に「子育て支援センター」があります）を利用していますか。また、利用している方はおおよその利用回数（頻度）をご記入ください。【就学前：問17】

「地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター）」が 16.6%、「その他、市で実施している類似の事業」が 13.8%、「利用していない」が 75.6%となっています。

年齢別にみると、「1歳」で「地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター）」が 41.2%と他の年齢に比べて多くなっています。

(n=884)



【類似の事業の具体例】児童館、こぐまっこ、たけのこクラブ、青少年児童センター、ちびっこ広場、かいじゅうランド、リトミック教室、共生ステーション、どんぐり教室

●就学前 年齢別

	地域子育て支援拠点事業 (子育て支援センター)	その他、市で実施している類似の事業	利用していない	無回答
全体 (n=884)	16.6	13.8	75.6	1.5
0歳 (n=61)	26.2	18.0	62.3	1.6
1歳 (n=97)	41.2	27.8	48.5	1.0
2歳 (n=82)	22.0	30.5	58.5	2.4
3歳 (n=130)	23.8	17.7	66.2	1.5
4歳 (n=159)	8.8	5.0	88.7	1.3
5歳 (n=181)	5.5	7.2	88.4	2.2
6歳 (n=144)	8.3	5.6	88.9	0.7

「地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター）」の1週あたりの利用日数は、「1回」が最も多くなっています。

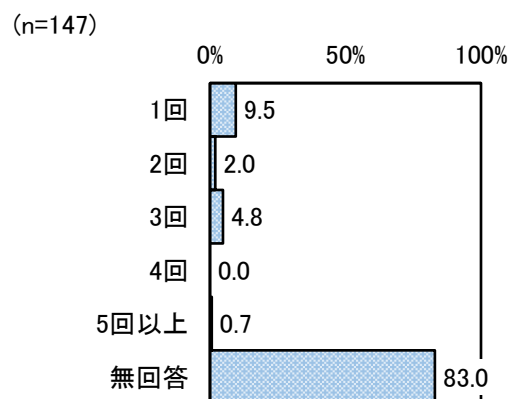
また、1か月あたりの利用回数は、「1回」が最も多くなっています。

「その他、市で実施している類似の事業」の1週あたりの利用日数は、「1回」が最も多くなっています。

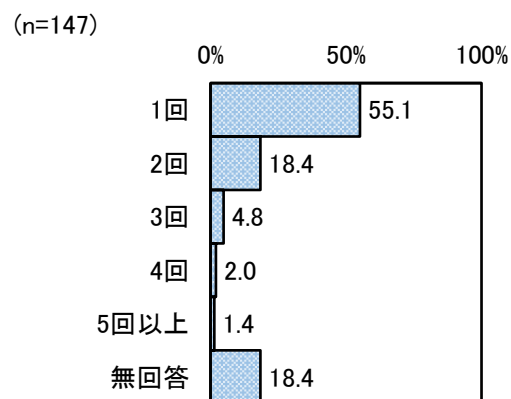
また、1か月あたりの利用回数は、「1回」が最も多くなっています。

【地域子育て支援拠点事業】

○1週あたりの利用日数

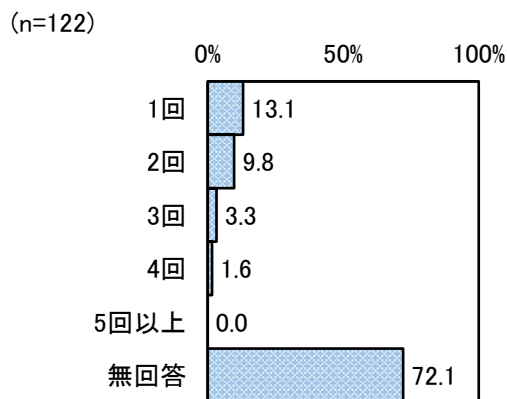


○1か月あたりの利用回数

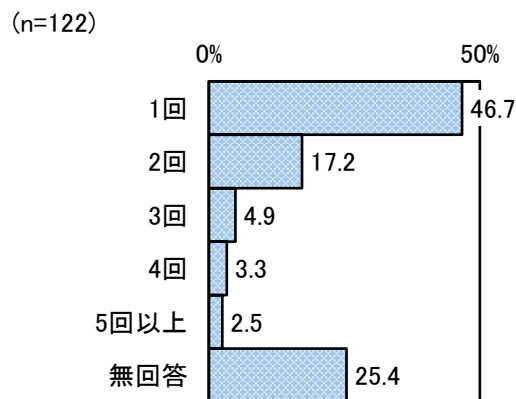


【その他、市で実施している類似の事業】

○1週あたりの利用日数



○1か月あたりの利用回数



(2) 地域子育て支援拠点事業を利用していない理由

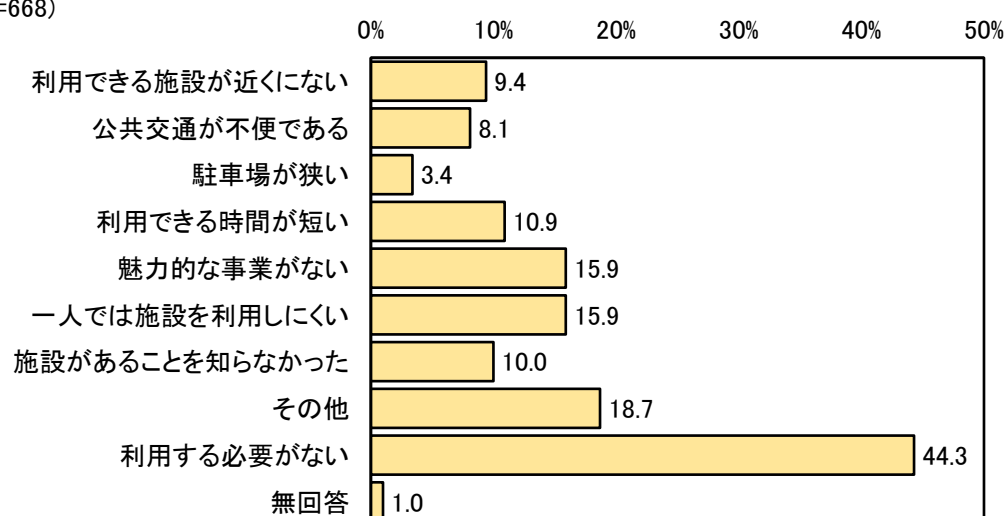
問 封筒のあて名のお子さんが地域子育て支援拠点事業を利用していない理由は何ですか。

【就学前：問17-1】

「利用する必要がない」が44.3%で最も多く、次いで「魅力的な事業がない」が15.9%、「一人では施設を利用しにくい」が15.9%、「利用できる時間が短い」が10.9%、「施設があることを知らなかった」が10.0%となっています。

年齢別にみると、「0歳」では「一人では施設を利用しにくい」、「1歳」以上では「利用する必要がない」がそれぞれ最も多くなっています。

(n=668)



●就学前 年齢別

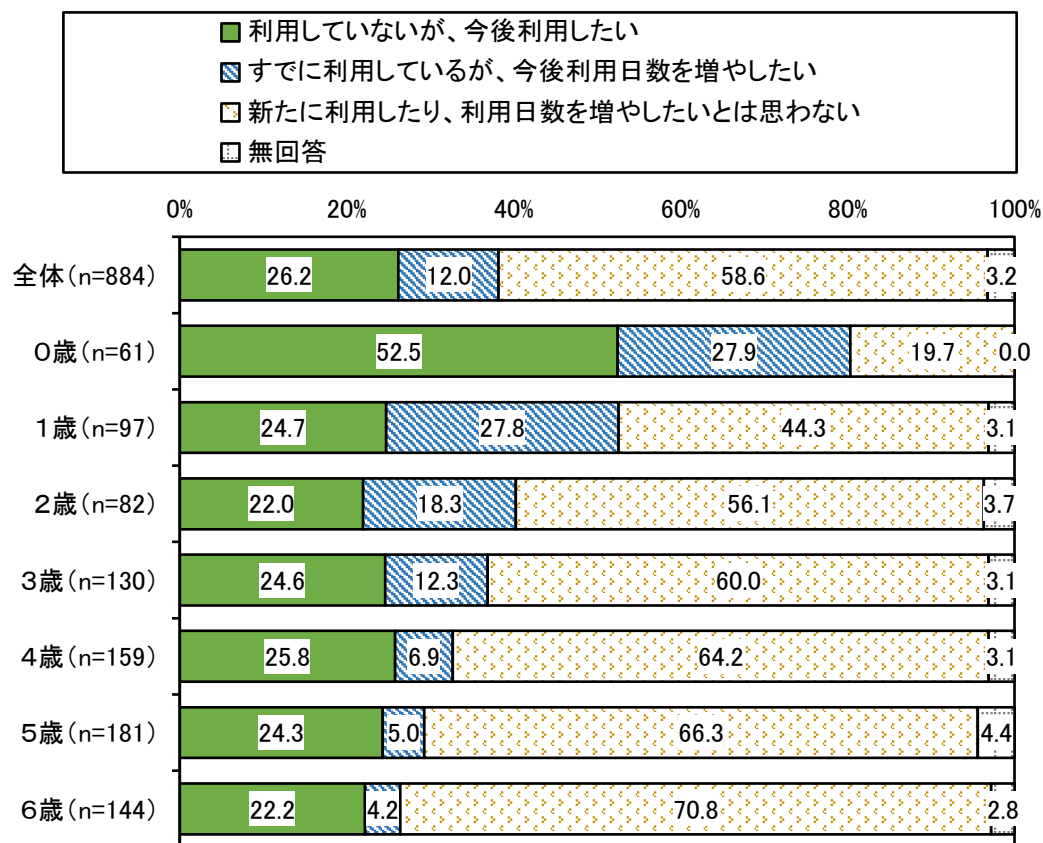
	利用できる施設が近くにない	公共交通が不便である	駐車場が狭い	利用できる時間が短い	魅力的な事業がない	一人では施設を利用しにくい	施設があることを知らなかった	その他	利用する必要がない	無回答
全体 (n=884)	9.4	8.1	3.4	10.9	15.9	15.9	10.0	18.7	44.3	1.0
0歳 (n=61)	10.5	5.3	0.0	5.3	10.5	34.2	10.5	36.8	21.1	0.0
1歳 (n=97)	12.8	6.4	0.0	8.5	6.4	27.7	6.4	25.5	31.9	4.3
2歳 (n=82)	10.4	12.5	2.1	4.2	18.8	12.5	14.6	22.9	39.6	0.0
3歳 (n=130)	8.1	9.3	4.7	15.1	14.0	14.0	11.6	22.1	47.7	0.0
4歳 (n=159)	7.1	9.2	3.5	8.5	12.1	13.5	11.3	19.9	51.8	0.0
5歳 (n=181)	7.5	8.1	2.5	12.5	20.0	13.1	8.8	16.9	45.6	1.9
6歳 (n=144)	14.1	6.3	6.3	11.7	18.8	14.8	8.6	10.9	45.3	0.8

(3) 地域子育て支援拠点事業の利用希望

問 子育て支援センターで行っているような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。また、おおよその利用回数（頻度）をご記入ください。【就学前：問18】

「利用していないが、今後利用したい」が26.2%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が12.0%、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が58.6%となっています。

年齢別にみると、「0歳」で「利用していないが、今後利用したい」が52.5%と他の年齢と比べて多くなっています。



「利用していないが、今後利用したい」人の1週あたりの利用日数について、「1回」が最も多くなっています。

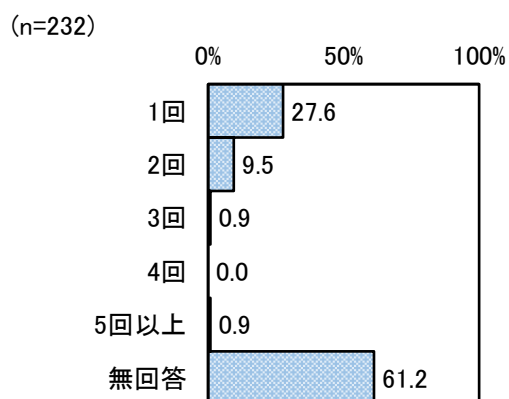
また、1か月あたりの利用回数について、「1回」が最も多くなっています。

「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」人の1週あたりの利用日数について、「1回」が最も多くなっています。

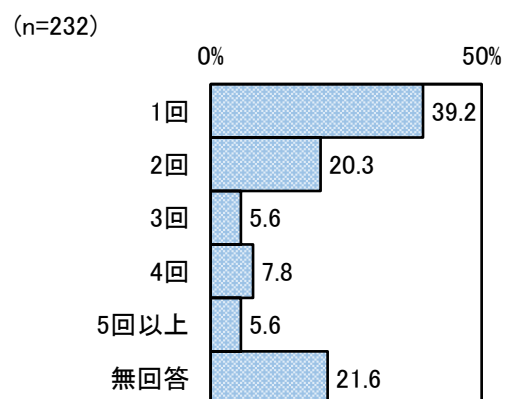
また、1か月あたりの利用回数について、「2回」及び「3回」がともに最も多くなっています。

【利用していないが、今後利用したい】

○ 1週あたりの利用日数

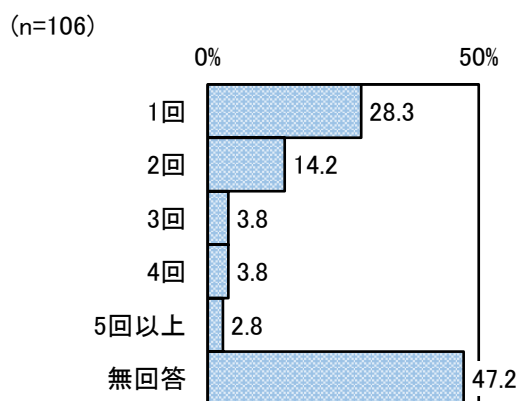


○ 1か月あたりの利用回数

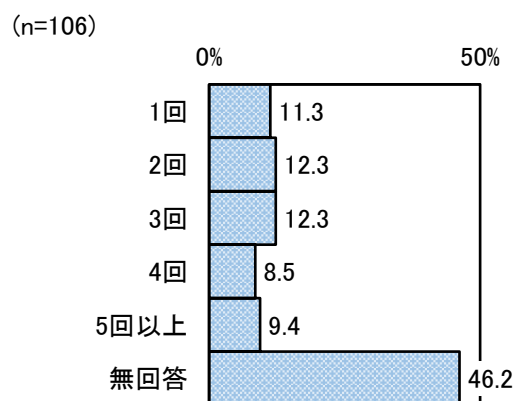


【すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい】

○ 1週あたりの利用日数



○ 1か月あたりの利用回数



(4) 各種事業の認知度

問 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものはありますか。①～㉔の事業ごとに、A～Cのそれぞれについてお答えください。

【就学前：問19、小学生：問15】

就学前の「はい」の回答について、「12 乳幼児健診・相談」が82.8%で最も多く、次いで「4 パパママ教室」が82.2%、「7 こんにちは赤ちゃん訪問」が82.1%、「5 妊産婦歯科健康診査」が81.4%となっています。

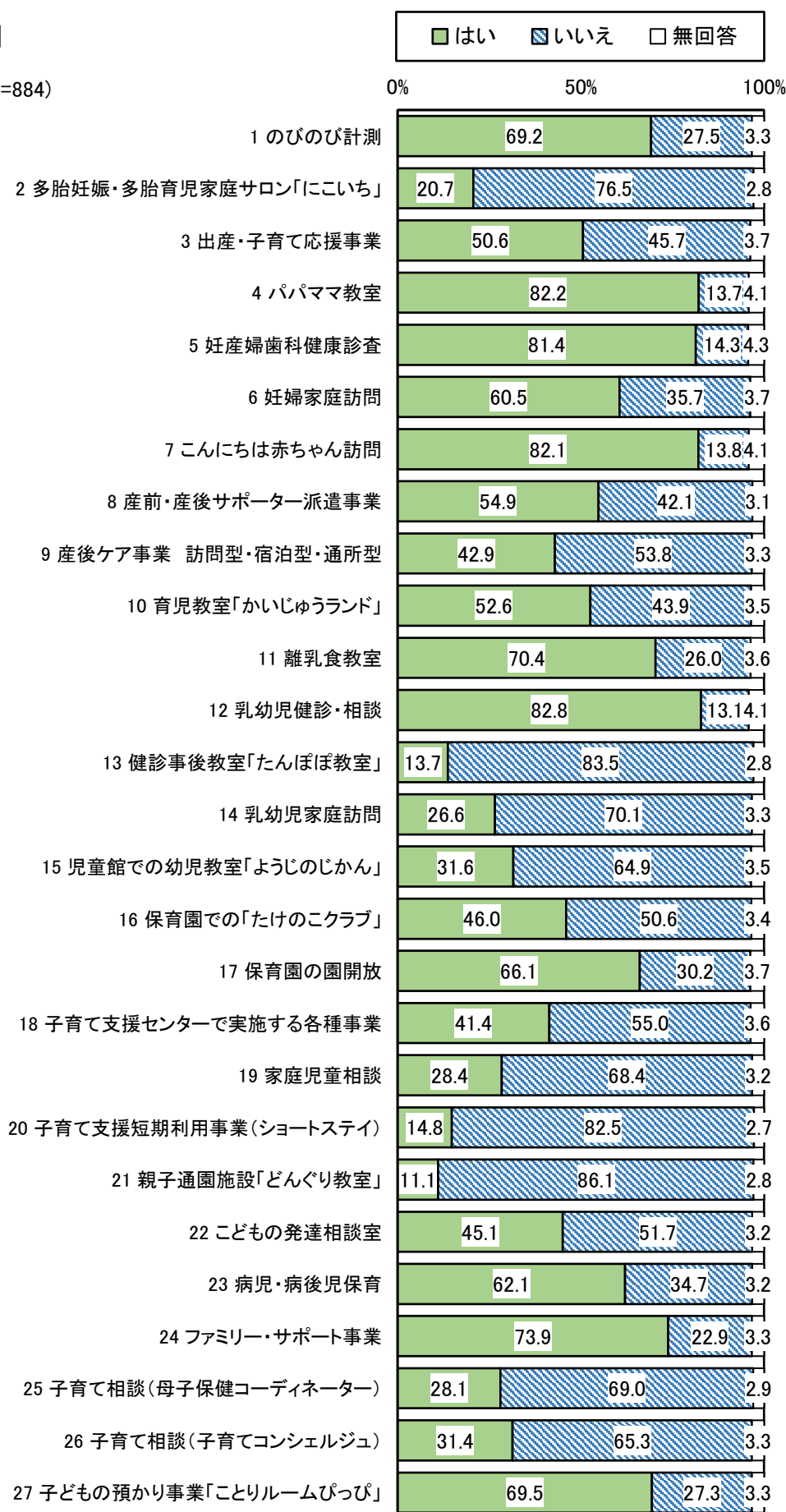
一方、「いいえ」の回答について、「21 親子通園施設「どんぐり教室」」が86.1%で最も多く、次いで「13 健診事後教室「たんぽぽ教室」」が83.5%、「20 子育て支援短期利用事業（ショートステイ）」が82.5%となっています。

小学生の「はい」の回答について、「24 ファミリー・サポート事業」が71.1%で最も多く、次いで「4 パパママ教室」が67.4%、「7 こんにちは赤ちゃん訪問」が66.6%、「12 乳幼児健診・相談」が66.2%となっています。

一方、「いいえ」の回答について、「21 親子通園施設「どんぐり教室」」と「20 子育て支援短期利用事業（ショートステイ）」がともに87.1%で最も多く、次いで「9 産後ケア事業 訪問型・宿泊型・通所型」が85.1%、「13 健診事後教室「たんぽぽ教室」」が84.3%となっています。

【就学前】

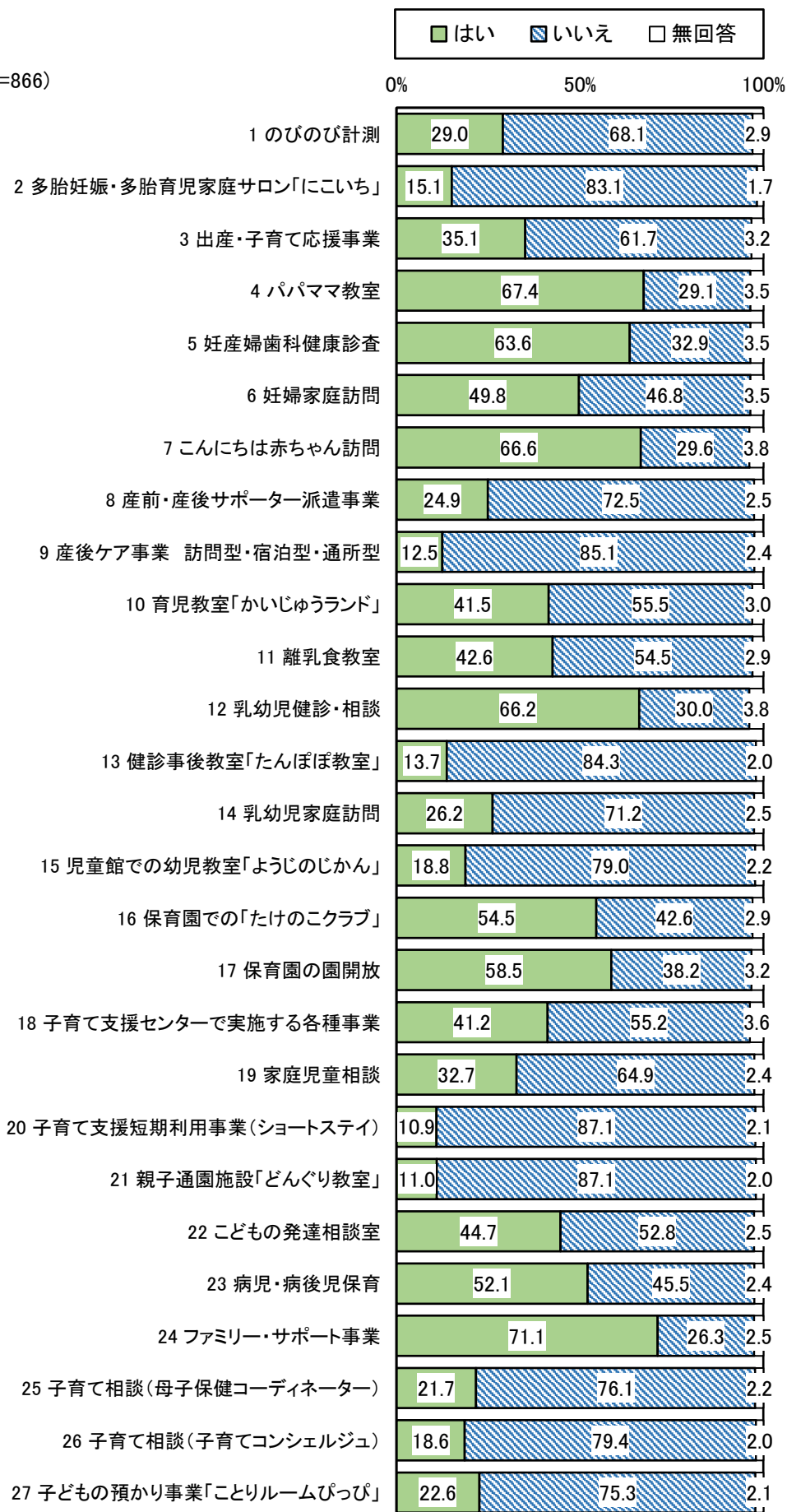
(n=884)



第2章 調査結果

【小学生】

(n=866)



(5) 各種事業の利用状況

問 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものはありますか。①～㉔の事業ごとに、A～Cのそれぞれについてお答えください。

【就学前：問19、小学生：問15】

就学前の「現在利用している」の回答について、「12 乳幼児健診・相談」が14.1%で最も多くなっています。

また、「利用していた」の回答について、「7 こんにちは赤ちゃん訪問」が68.6%で最も多く、次いで「12 乳幼児健診・相談」が50.8%、「5 妊産婦歯科健康診査」が50.3%となっています。

一方、「利用したことがない」の回答について、「20 子育て支援短期利用事業（ショートステイ）」が93.1%で最も多く、次いで「2 多胎妊娠・多胎育児家庭サロン「にこいち」」が92.3%、「9 産後ケア事業 訪問型・宿泊型・通所型」と「21 親子通園施設「どんぐり教室」」がともに91.7%となっています。

小学生の「現在利用している」の回答について、「24 ファミリー・サポート事業」が2.9%で最も多くなっています。

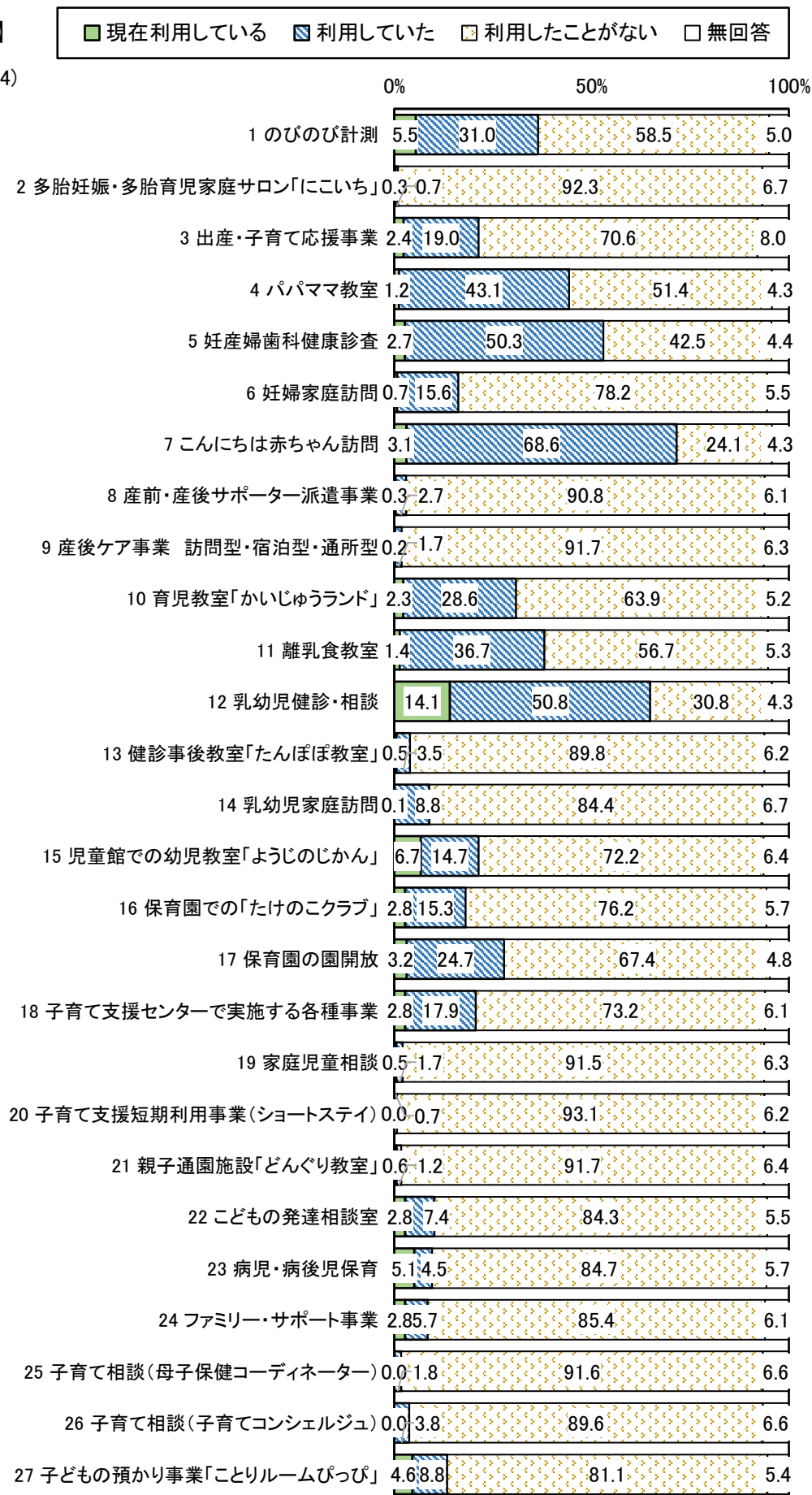
また、「利用していた」の回答について、「12 乳幼児健診・相談」が49.9%で最も多く、次いで「7 こんにちは赤ちゃん訪問」が49.4%、「4 パパママ教室」が38.5%となっています。

一方、「利用したことがない」の回答について、「20 子育て支援短期利用事業（ショートステイ）」が90.0%で最も多く、次いで「25 子育て相談（母子保健コーディネーター）」が89.3%、「26 子育て相談（子育てコンシェルジュ）」が88.9%となっています。

第2章 調査結果

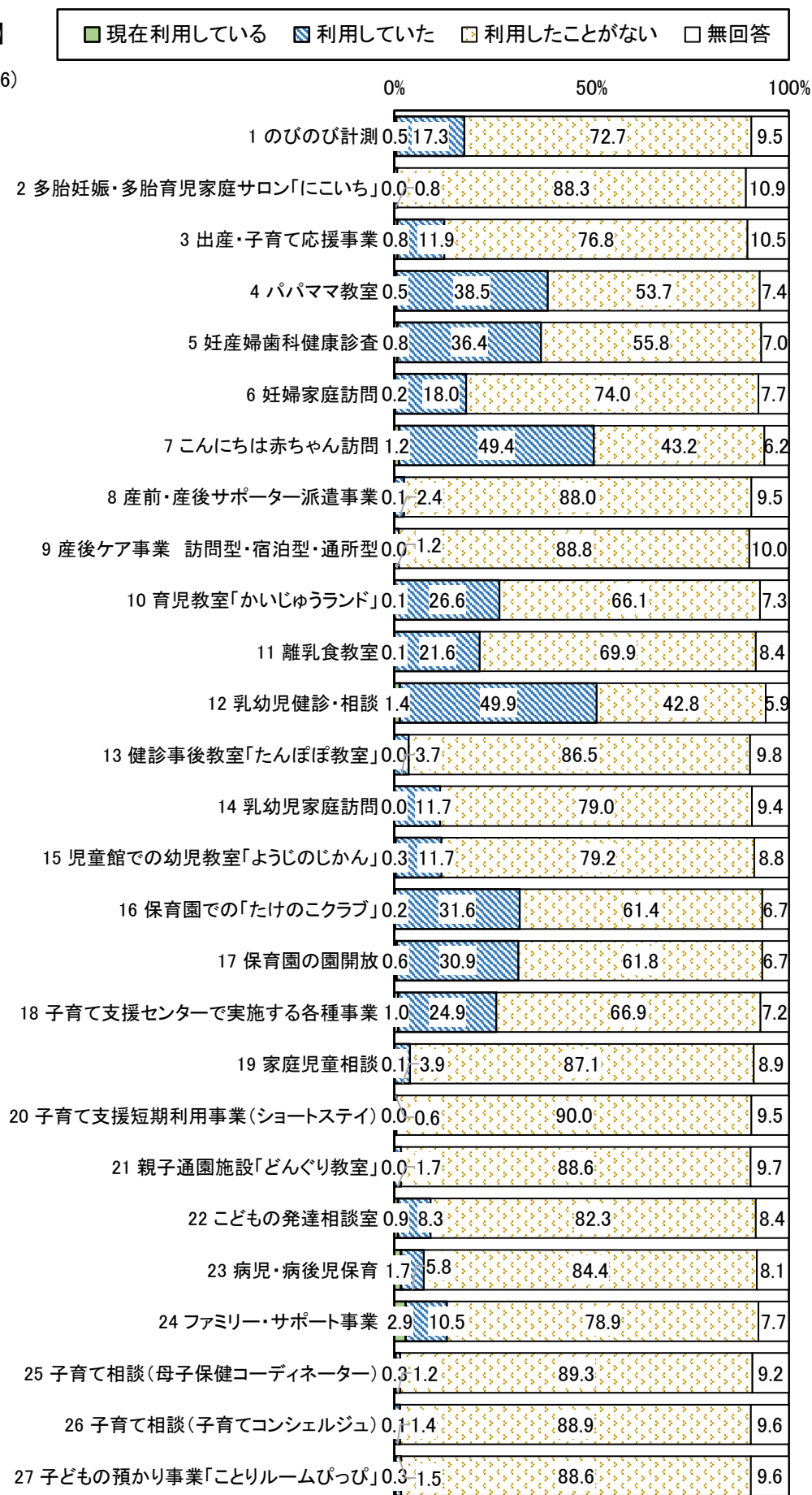
【就学前】

(n=884)



【小学生】

(n=866)



(6) 各種事業の利用意向

問 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものはありますか。①～㉔の事業ごとに、A～Cのそれぞれについてお答えください。

【就学前：問19、小学生：問15】

就学前の「はい」の回答について、「27 子どもの預かり事業「ことりルームぴっぴ」」が46.0%で最も多く、次いで「12 乳幼児健診・相談」が44.5%、「7 こんにちは赤ちゃん訪問」が32.1%、「23 病児・病後児保育」が44.1%となっています。

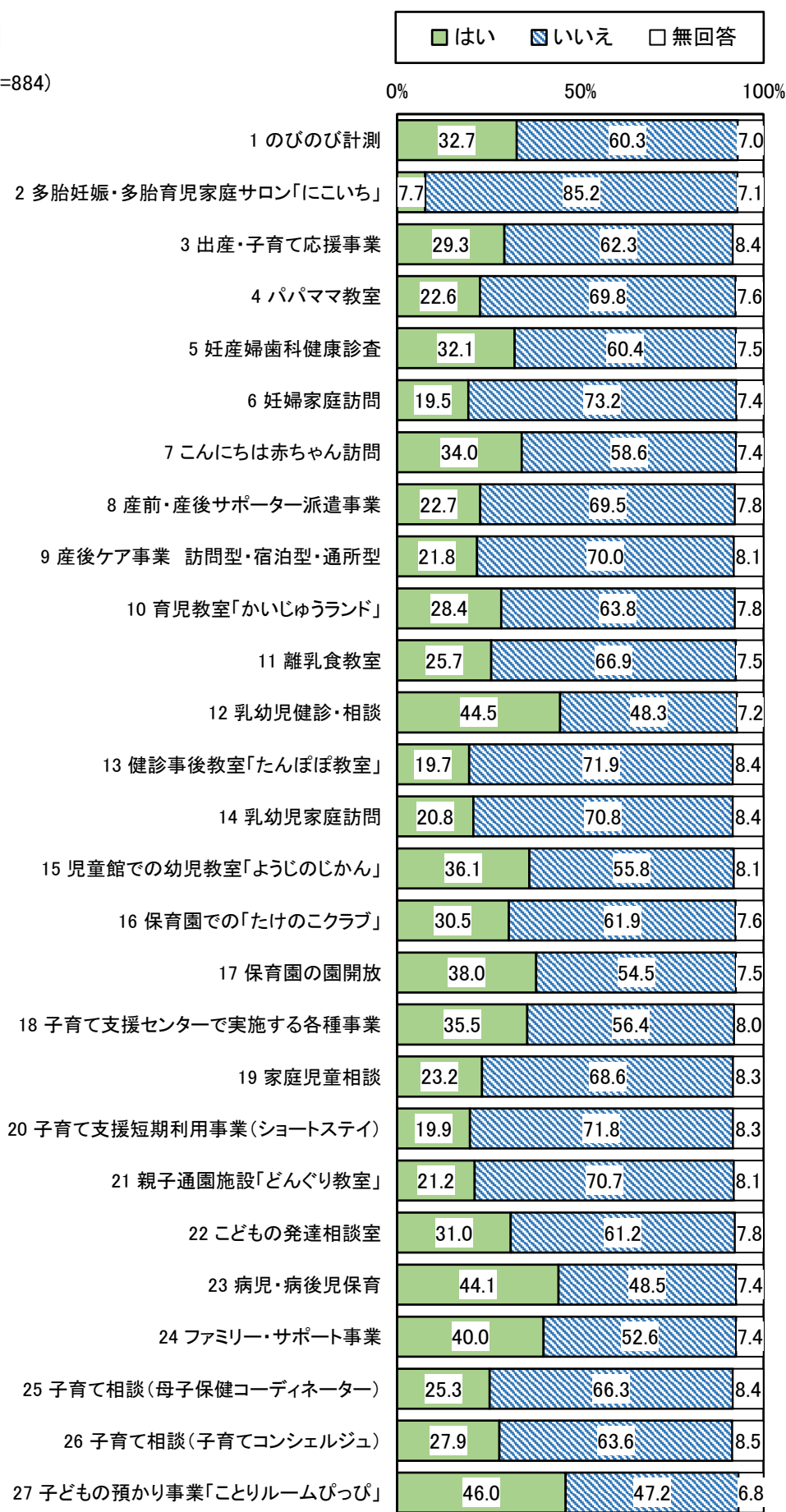
一方、「いいえ」の回答について、「2 多胎妊娠・多胎育児家庭サロン「にこいち」」が85.2%で最も多く、次いで「6 妊婦家庭訪問」が73.2%、「13 健診事後教室「たんぽぽ教室」」が71.9%となっています。

小学生の「はい」の回答について、「24 ファミリー・サポート事業」が16.9%で最も多く、次いで「23 病児・病後児保育」が13.3%、「22 こどもの発達相談室」が11.3%となっています。

一方、「いいえ」の回答について、「2 多胎妊娠・多胎育児家庭サロン「にこいち」」が83.9%で最も多く、次いで「21 親子通園施設「どんぐり教室」」が82.6%、「11 離乳食教室」が82.1%となっています。

【就学前】

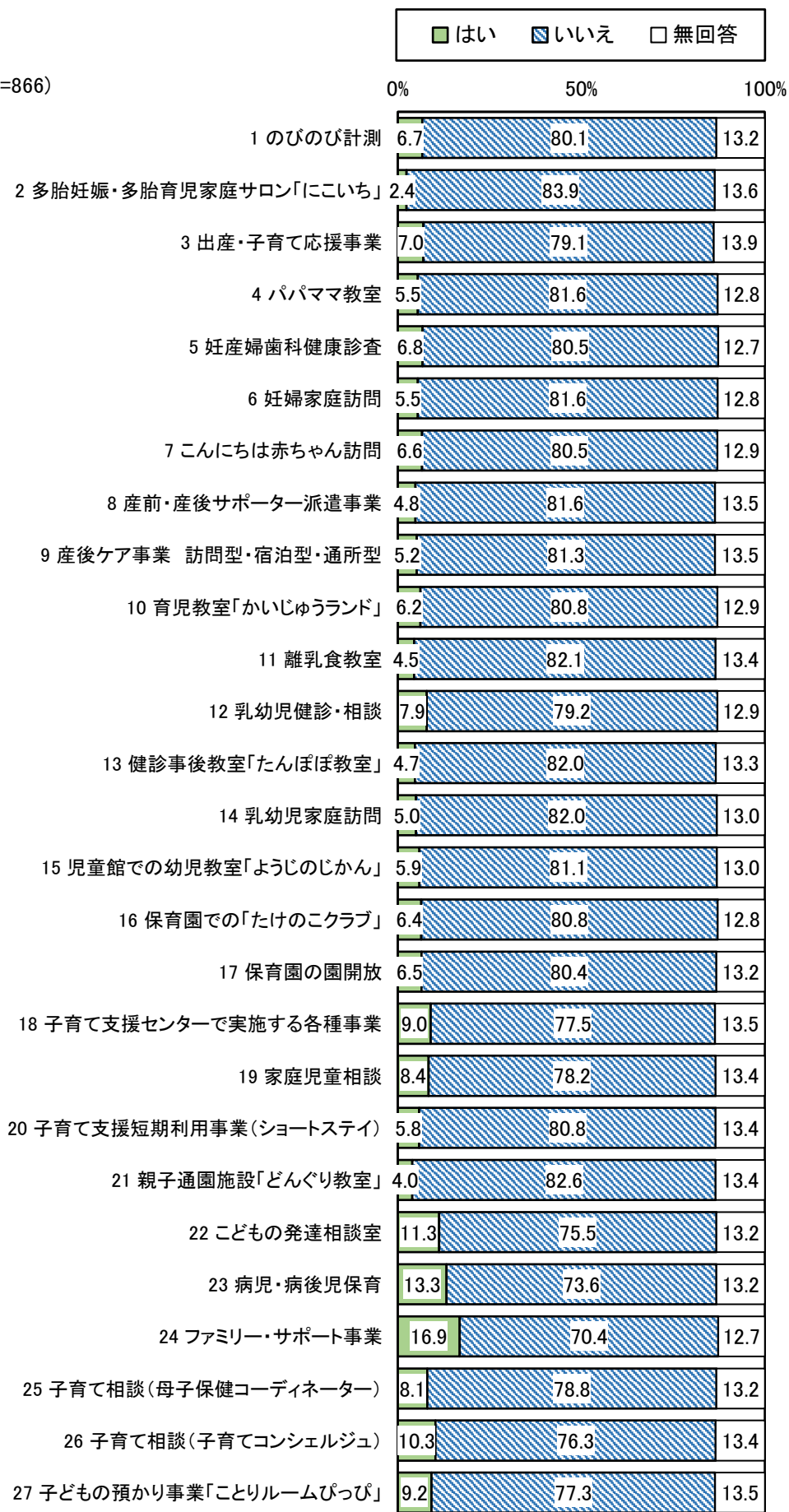
(n=884)



第2章 調査結果

【小学生】

(n=866)



7 児童館の利用状況について（小学生のみ）

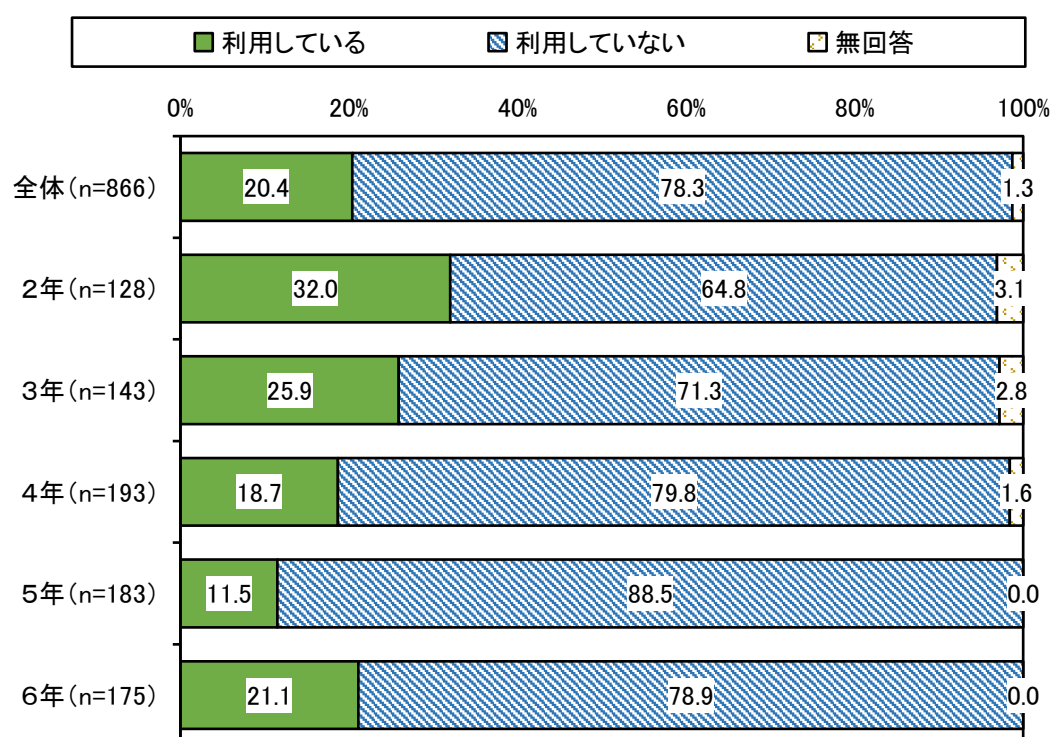
（1）児童館の利用状況

問 封筒のあて名のお子さんは、現在、児童館（青少年児童センターを含む）を利用していますか。
また、利用している方はおよその利用回数（頻度）をご記入ください。【小学生：問1 3】

「利用している」が20.4%、「利用していない」が78.3%となっています。

学年別にみると、「2年」が32.0%と他の学年に比べて多くなっています。

●小学生 学年別

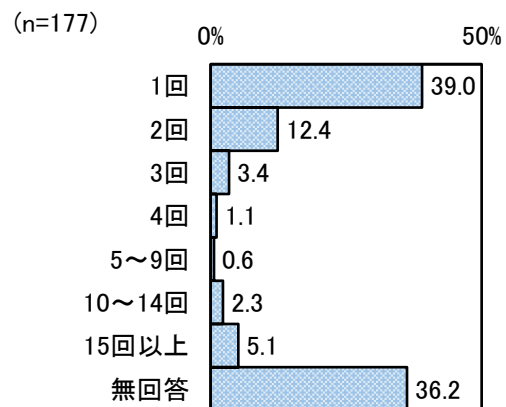
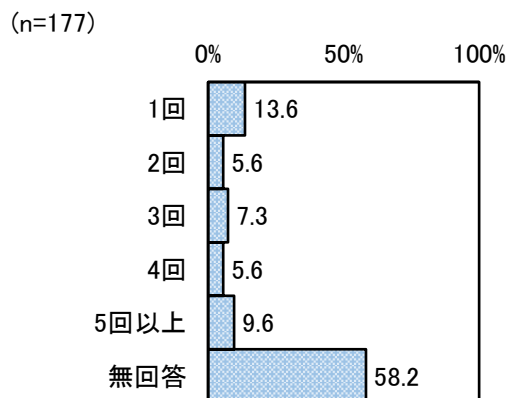


1週あたりの利用日数は、「1回」が最も多くなっています。

また、1か月あたりの利用回数は、「1回」が最も多くなっています。

○1週あたりの利用日数

○1か月あたりの利用回数

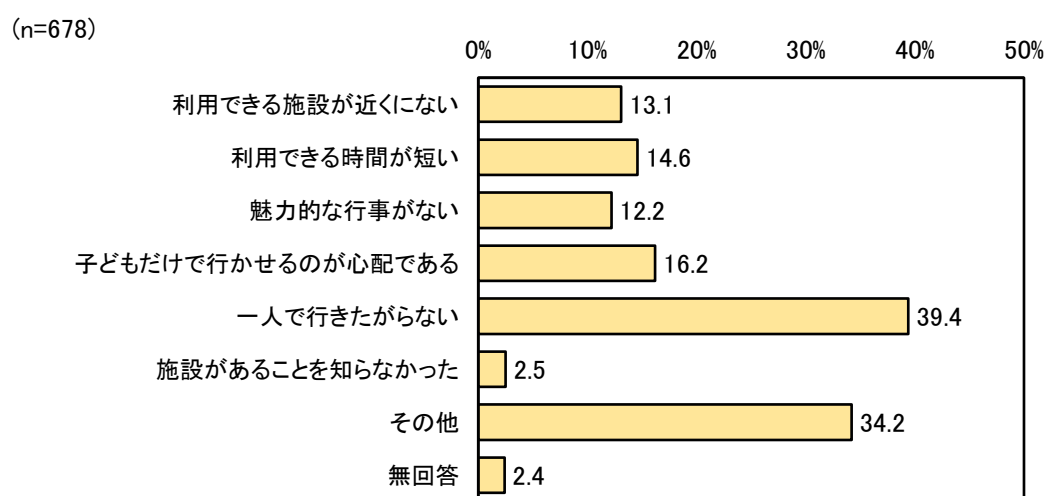


(2) 児童館を利用していない理由

問 封筒のあて名のお子さんが児童館（青少年児童センターを含む）を利用していない理由は何ですか。【小学生：問13-1】

「一人で行きたがらない」が39.4%で最も多く、次いで「子どもだけで行かせるのが心配である」が16.2%、「利用できる時間が短い」が14.6%、「利用できる施設が近くにない」が13.1%、「魅力的な行事がない」が12.2%などとなっています。

学年別にみると、いずれの学年も「一人で行きたがらない」が最も多くなっています。



●小学生 学年別

	利用できる施設が近くにない	利用できる時間が短い	魅力的な行事がない	子どもだけで行かせるのが心配である	一人で行きたがらない	施設があることを知らなかった	その他	無回答
全体 (n=678)	13.1	14.6	12.2	16.2	39.4	2.5	34.2	2.4
2年 (n=83)	16.9	19.3	10.8	30.1	37.3	2.4	26.5	1.2
3年 (n=102)	17.6	13.7	4.9	29.4	33.3	0.0	35.3	2.0
4年 (n=154)	15.6	15.6	13.0	17.5	41.6	4.5	27.9	3.2
5年 (n=162)	13.6	14.8	11.1	6.8	41.4	3.7	39.5	1.9
6年 (n=138)	7.2	11.6	20.3	6.5	37.7	0.7	41.3	2.2

※「1年」については調査をしていません

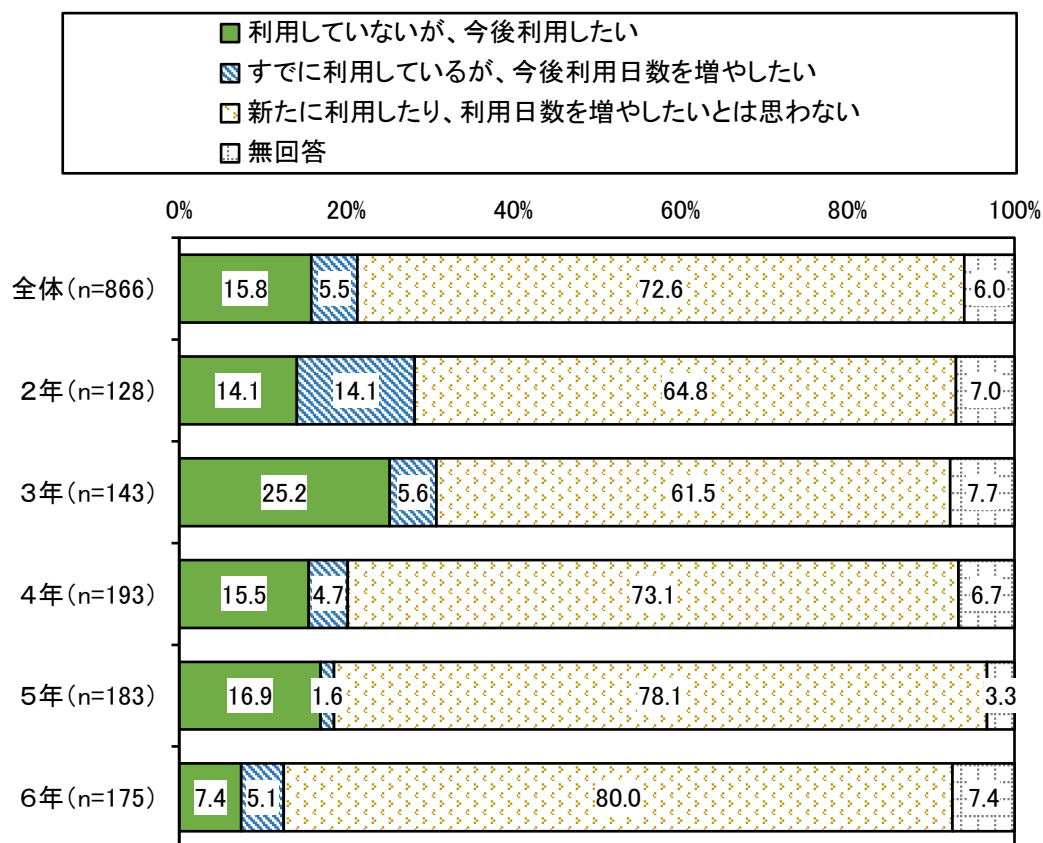
(3) 児童館の利用希望

問 児童館（青少年児童センターを含む）について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。また、おおよその利用回数（頻度）をご記入ください。【小学生：問14】

「利用していないが、今後利用したい」が15.8%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が5.5%、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が72.6%となっています。

学年別にみると、「3年」で「利用していないが、今後利用したい」が25.2%と他の学年に比べて多くなっています。

●小学生 学年別



「利用していないが、今後利用したい」人の1週あたりの利用日数について、「1回」が最も多くなっています。

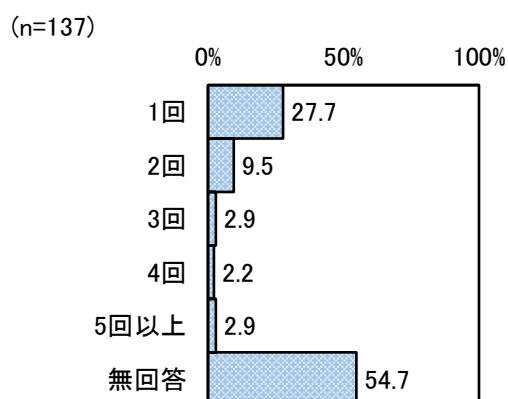
また、1か月あたりの利用回数について、「1回」が最も多くなっています。

「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」人の1週あたりの利用日数について、「1回」が最も多くなっています。

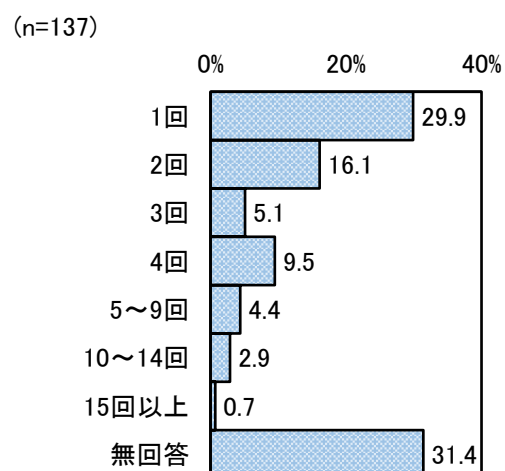
また、1か月あたりの利用回数について、「2回」が最も多くなっています。

【利用していないが、今後利用したい】

○ 1週あたりの利用日数

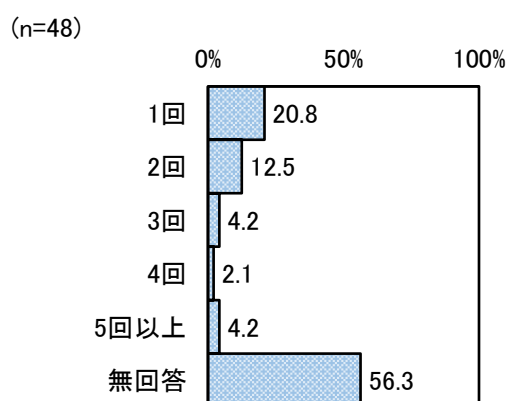


○ 1か月あたりの利用回数

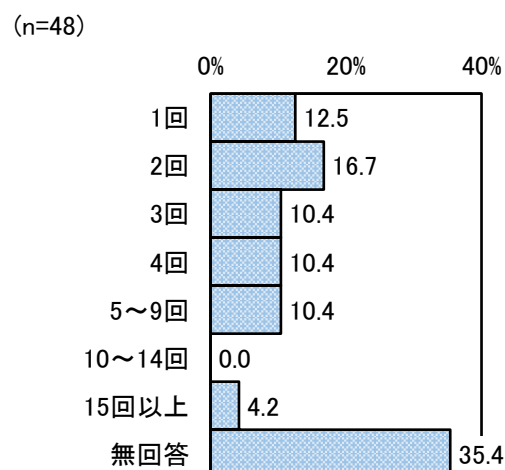


【すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい】

○ 1週あたりの利用日数



○ 1か月あたりの利用回数



8 土曜・休日や長期休暇中の幼稚園や保育所などの「定期的」な利用希望について

(1) 定期的な教育・保育の事業の土曜日、日曜・祝日の利用状況

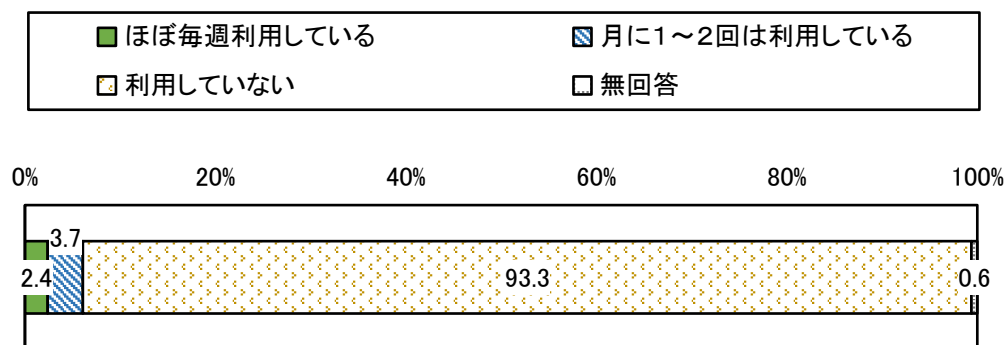
問 封筒のあて名のお子さんについて、土曜日や日曜日・祝日に、幼稚園や保育所などを定期的に利用していますか。若しくは、利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。また、希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。【就学前：問20A】

現在の土曜日の利用状況について、「ほぼ毎週利用している」が2.4%、「月に1～2回は利用している」が3.7%、「利用していない」が93.3%となっています。

現在の日曜・祝日の利用状況について、「ほぼ毎週利用している」が0.3%、「月に1～2回は利用している」が1.2%、「利用していない」が97.6%となっています。

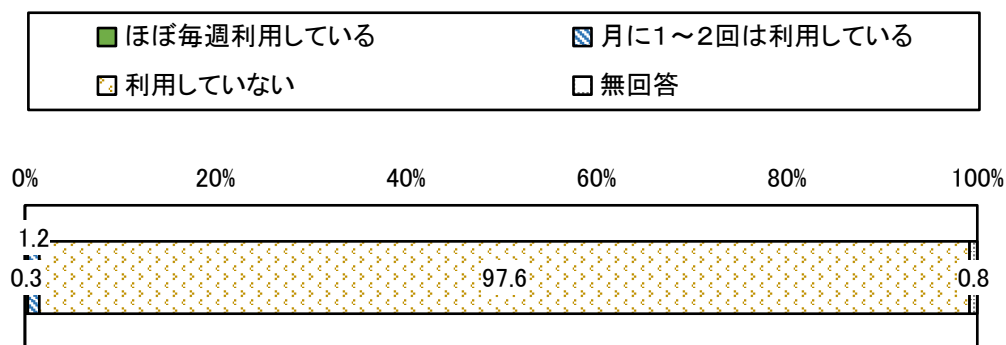
(1) 土曜日

(n=884)



(2) 日曜・祝日

(n=884)



(2) 定期的な教育・保育の事業の土曜日、日曜・祝日の利用希望

問 封筒のあて名のお子さんについて、土曜日や日曜日・祝日に、幼稚園や保育所などを定期的に利用していますか。若しくは、利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。また、希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。【就学前：問20B】

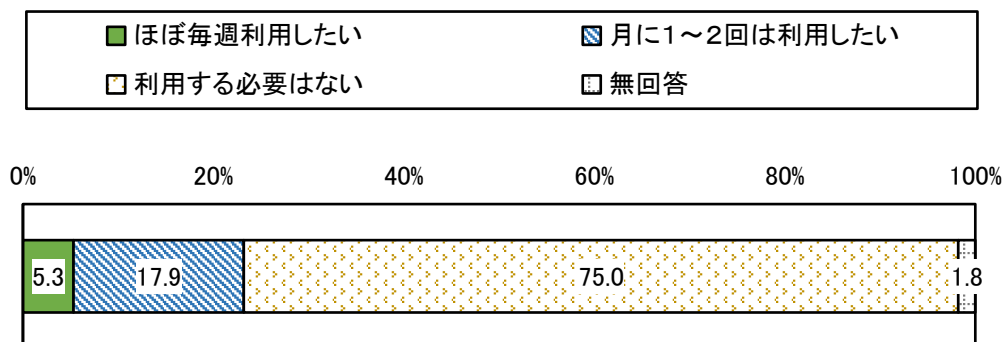
今後の土曜日の利用希望について、「ほぼ毎週利用したい」が5.3%、「月に1～2回は利用したい」が17.9%、「利用する必要はない」が75.0%となっています。

利用を希望する人の利用開始時刻について、「8時～9時」が41.5%で最も多く、次いで「9時～10時」が33.7%、「7時～8時」が12.7%となっています。

利用を希望する人の利用終了時刻について、「18時～19時」が27.3%で最も多く、次いで「17時～18時」が18.0%、「15時～16時」が16.6%となっています。

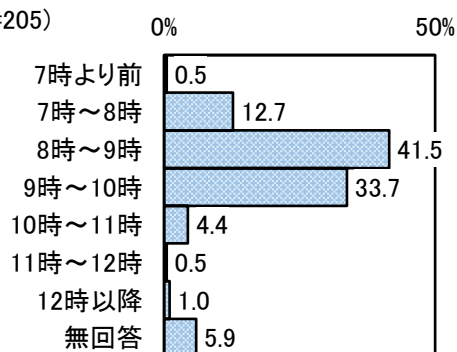
(1) 土曜日

(n=884)



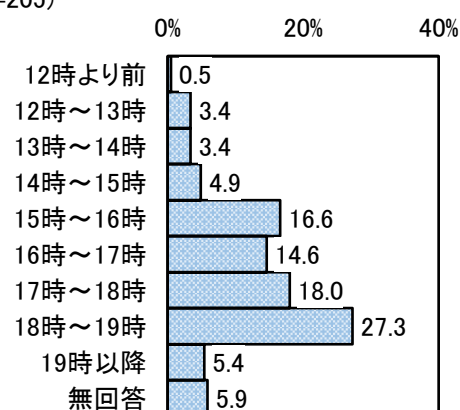
○利用開始時刻

(n=205)



○利用終了時刻

(n=205)



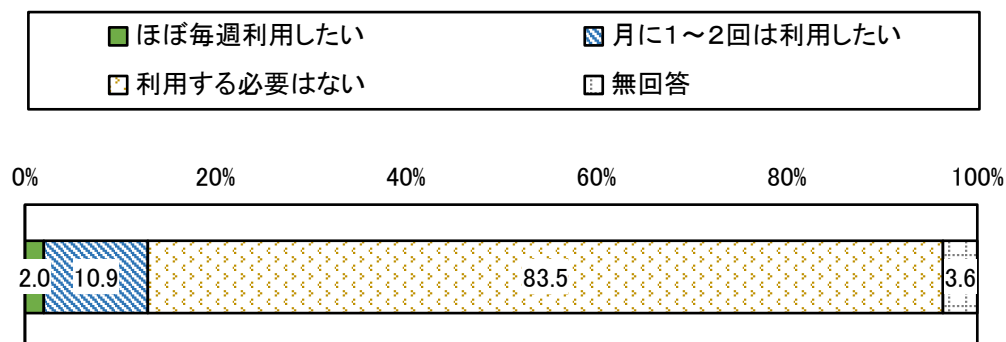
今後の日曜・祝日の利用希望について、「ほぼ毎週利用したい」が2.0%、「月に1～2回は利用したい」が10.9%、「利用する必要はない」が83.5%となっています。

利用を希望する人の利用開始時刻について、「8時～9時」が39.5%で最も多く、次いで「9時～10時」が32.5%、「7時～8時」が18.4%となっています。

利用を希望する人の利用終了時刻について、「18時～19時」が29.8%で最も多く、次いで「17時～18時」が22.8%、「15時～16時」が16.7%となっています。

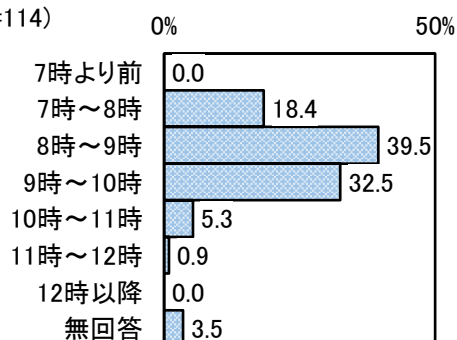
(2) 日曜・祝日

(n=884)



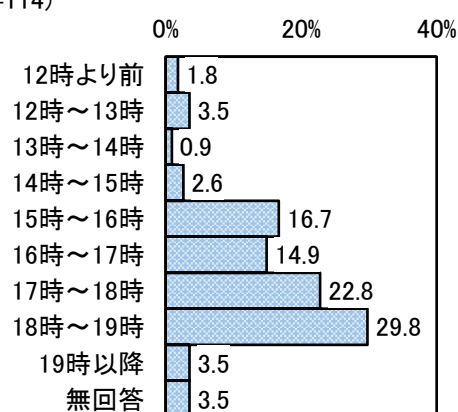
○利用開始時刻

(n=114)



○利用終了時刻

(n=114)



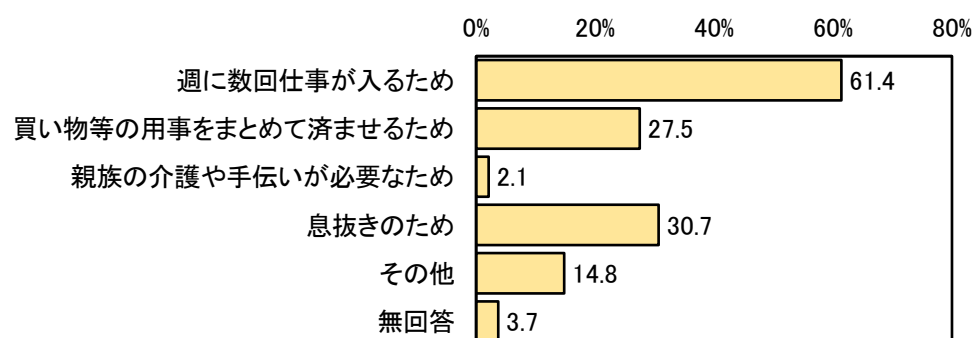
(3) 土曜・日曜・祝日に、たまに利用したい理由

問20-1は、問20 **B今後の希望** (1) または (2) で「2.月に1~2回は利用したい」を選んだ方にお尋ねします。

問 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。【就学前：問20-1】

「週に数回仕事が入るため」が61.4%で最も多く、次いで「息抜きのため」が30.7%、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が27.5%、「親族の介護や手伝いが必要なため」が2.1%などとなっています。

(n=189)



(4) 定期的な教育・保育の事業の長期休暇期間の利用希望

封筒のあて名のお子さんが「幼稚園」を利用している方にお尋ねします。

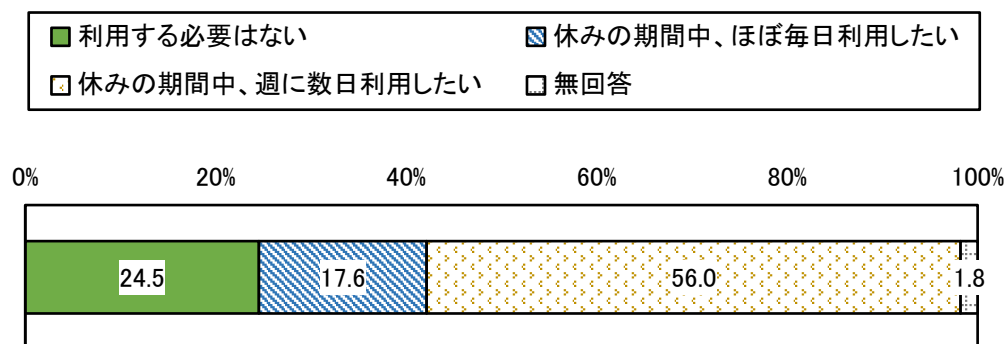
問 夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中に幼稚園や保育所の利用を希望しますか。また、希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。【就学前：問21】

「利用する必要はない」が24.5%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が17.6%、「休みの期間中、週に数日利用したい」が56.0%となっています。

利用を希望する人の利用開始時刻について、「9時～10時」が52.7%で最も多く、次いで「8時～9時」が35.3%となっています。

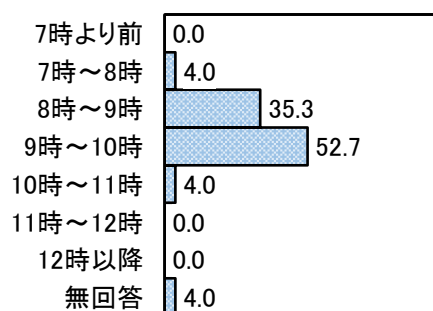
利用を希望する人の利用終了時刻について、「15時～16時」が39.8%で最も多く、次いで「14時～15時」が19.4%、「16時～17時」が18.9%となっています。

(n=273)



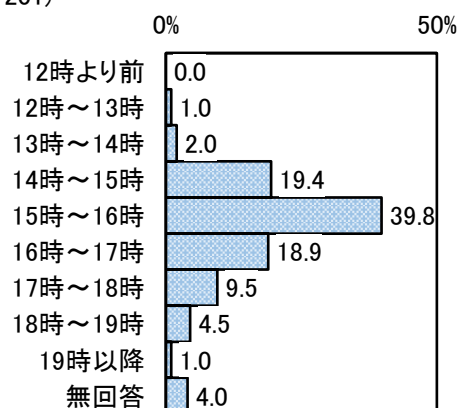
○利用開始時刻

(n=201)



○利用終了時刻

(n=201)



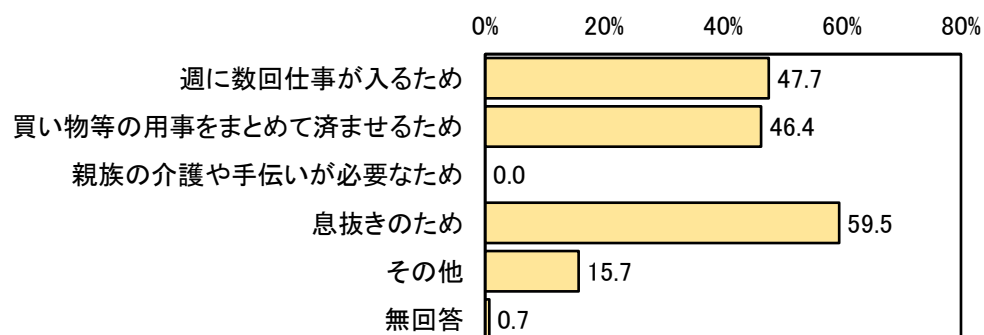
(5) 長期休暇期間中、たまに利用したい理由

問21で「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」を選んだ方にお尋ねします。

問 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。【就学前：問21-1】

「息抜きのため」が59.5%で最も多く、次いで「週に数回仕事が入るため」が47.7%、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が46.4%などとなっています。

(n=153)



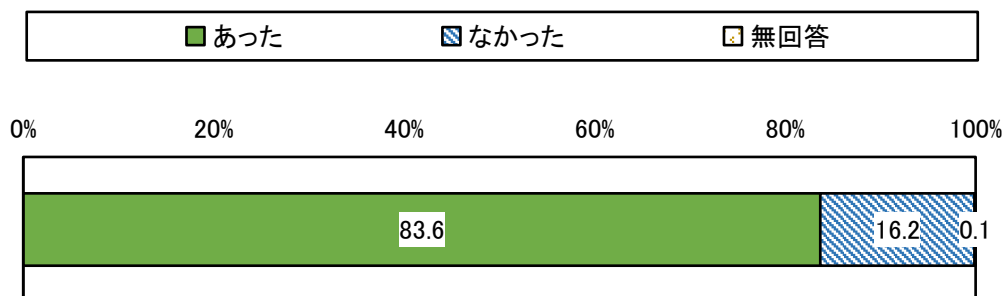
9 病気になったときの対応について

(1) 病気やケガで通常の事業が利用できなかったこと

問 この1年間に、封筒のあて名のお子さんが病気やケガで普段利用している幼稚園や保育所などが利用できなかったことはありますか。【就学前：問22】

「あった」が83.6%、「なかった」が16.2%となっています。

(n=678)



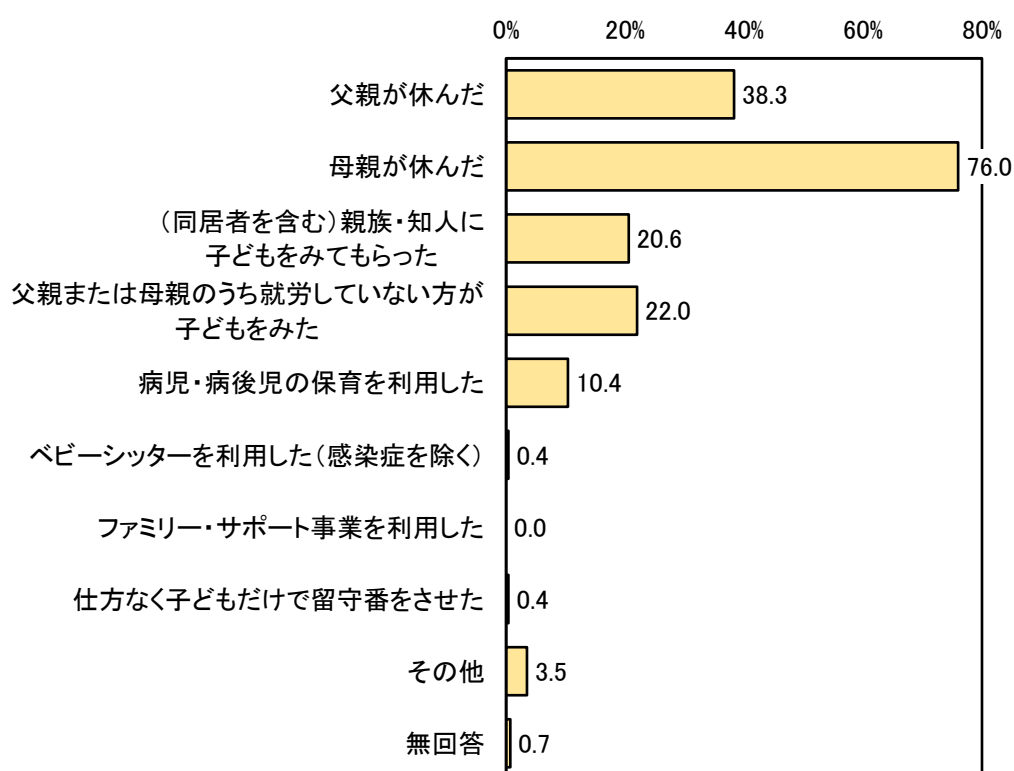
(2) 事業が利用できなかった場合の対処方法

問22で「1. あった」を選んだ方にお尋ねします。

問 この1年間に、病気やケガで普段利用している幼稚園や保育所などを利用できなかった場合の対処方法は何ですか。また、その日数は概ね何日ですか（半日程度の場合も1日とカウントしてください）。【就学前：問22-1】

「母親が休んだ」が76.0%で最も多く、次いで「父親が休んだ」が38.3%、「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」が22.0%、「（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」が20.6%、「病児・病後児の保育を利用した」が10.4%などとなっています。

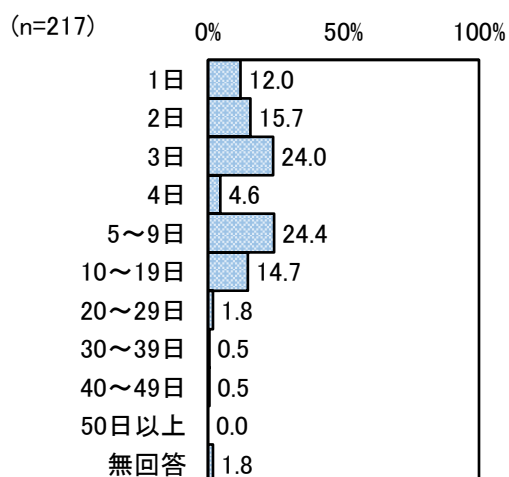
(n=567)



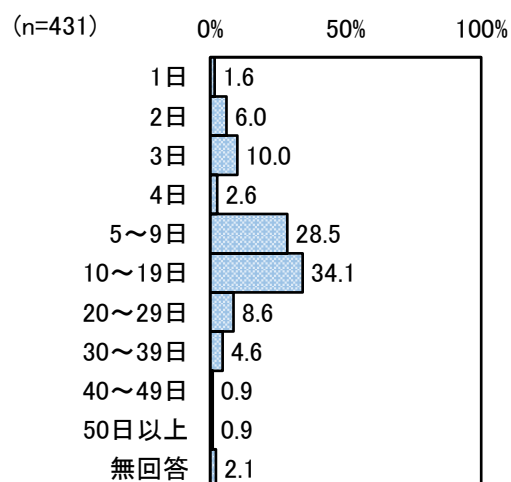
第2章 調査結果

【1年間の対処日数】

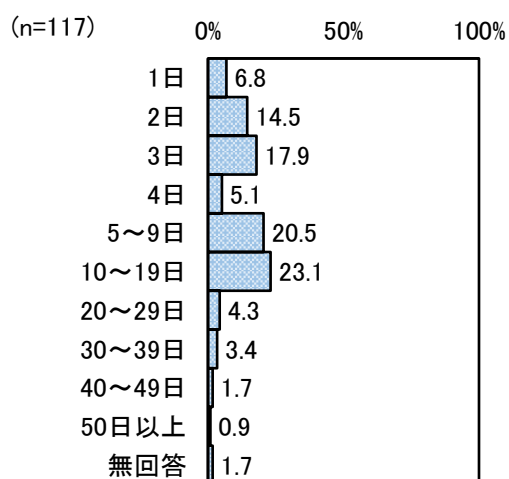
○父親が休んだ



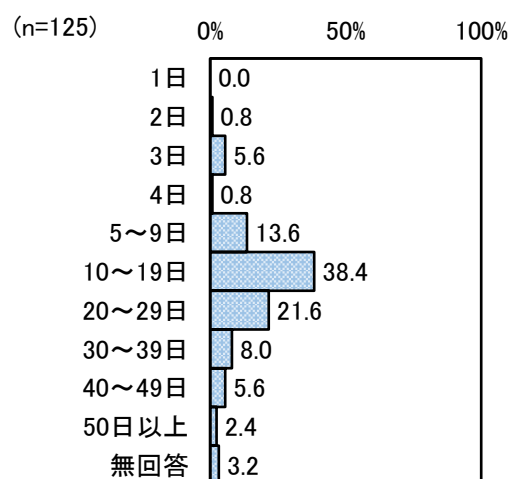
○母親が休んだ



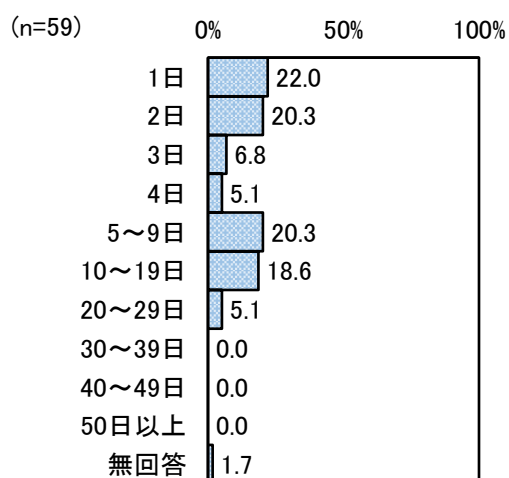
○親族・知人にみてもらった



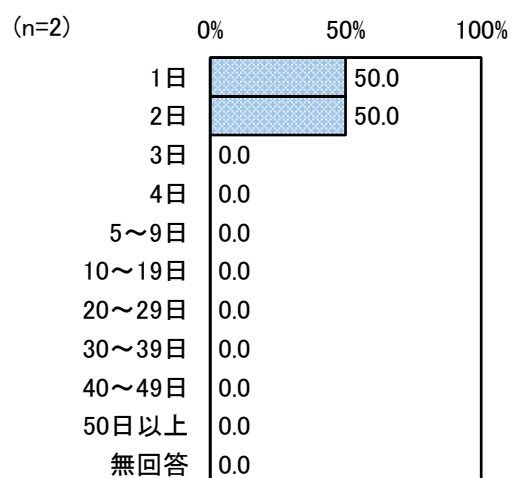
○父母のうち就労していない方が子どもをみた



○病児・病後児の保育を利用した

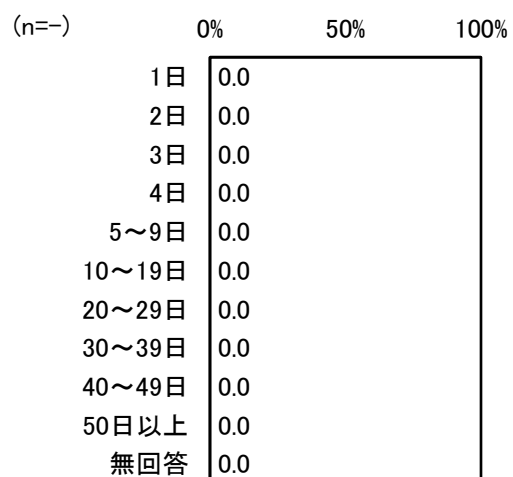


○ベビーシッターを利用した

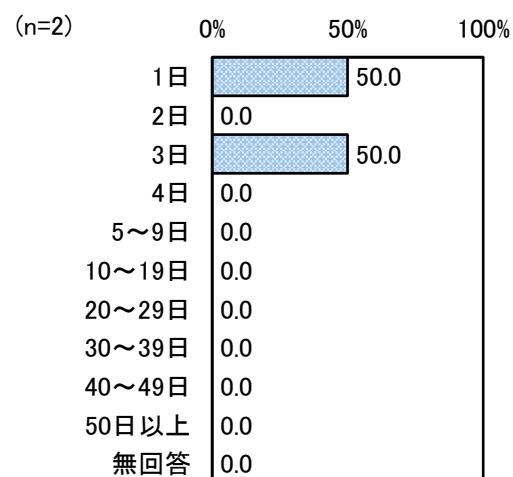


【1年間の対処日数】(続き)

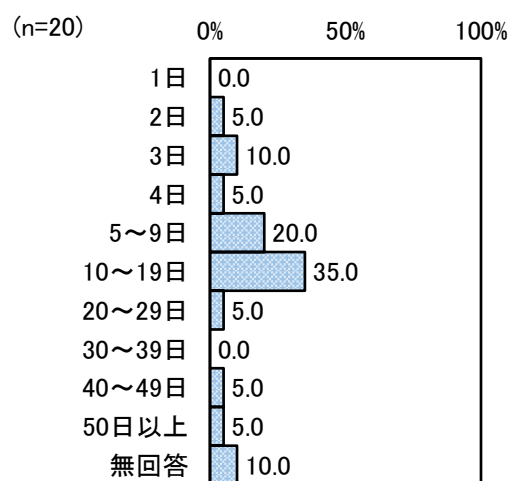
○ファミリー・サポート事業を利用した



○子どもだけで留守番をさせた



○その他の対処



(3) 病児・病後児保育施設等の利用希望（就学前児童）

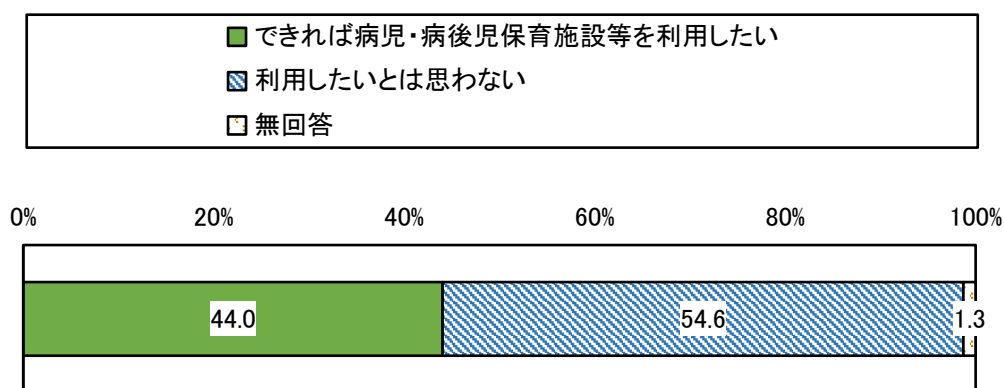
問22-1で「1.」または「2.」を選んだ方にお尋ねします。

問 その際、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と思いましたか。また、その場合の日数はどれくらいありますか。【就学前：問22-2】

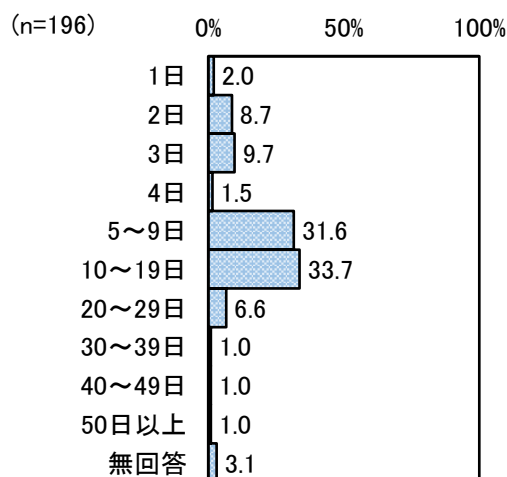
「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が44.0%で、「利用したいとは思わない」が54.6%となっています。

利用したい人の1年間の利用日数について、「10～19日」が33.7%で最も多く、次いで「5～9日」が31.6%などとなっています。

(n=445)



○ 1年間の利用日数

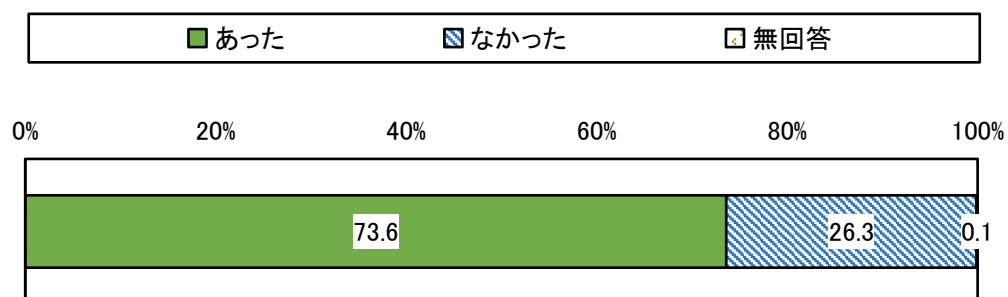


(4) 病気やケガで小学校への登校ができなかったこと

問 この1年間に、封筒のあて名のお子さんが病気やケガで小学校への登校ができなかったことはありますか。【小学生：問16】

「あった」が73.6%、「なかった」が26.3%となっています。

(n=866)



(5) 小学校への登校ができなかった場合の対処方法

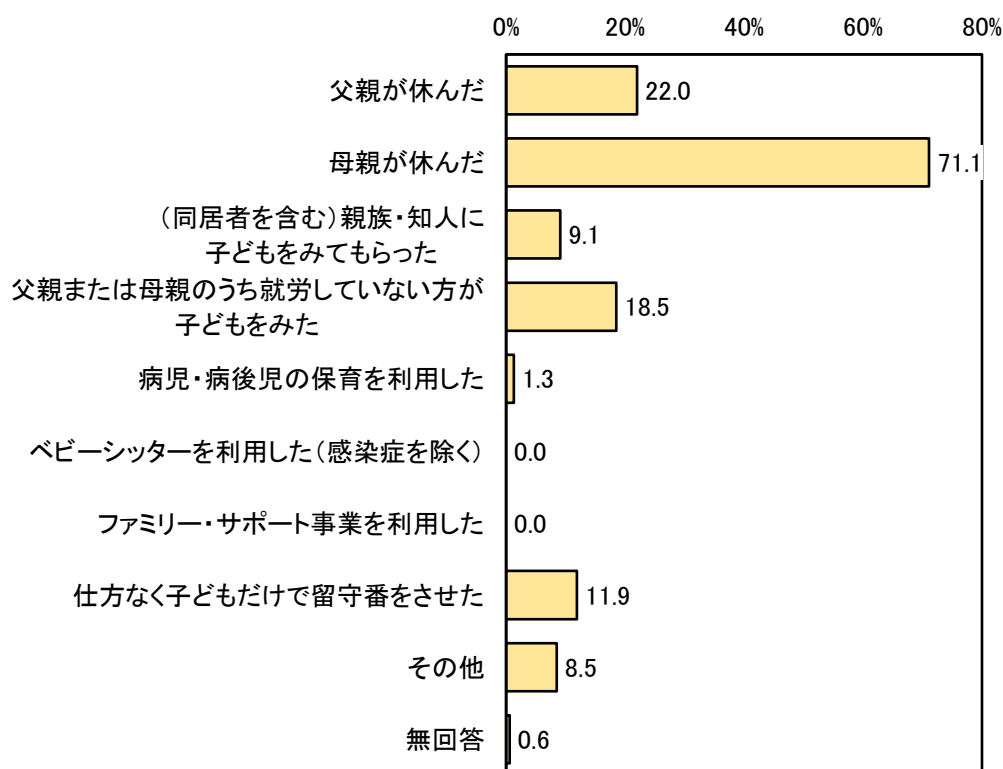
問16で「1. あった」を選んだ方にお尋ねします。

問 この1年間に、病気やケガで小学校への登校ができなかった場合の対処方法は何ですか。また、その日数は概ね何日ですか（半日程度の場合も1日とカウントしてください）。

【小学生：問16-1】

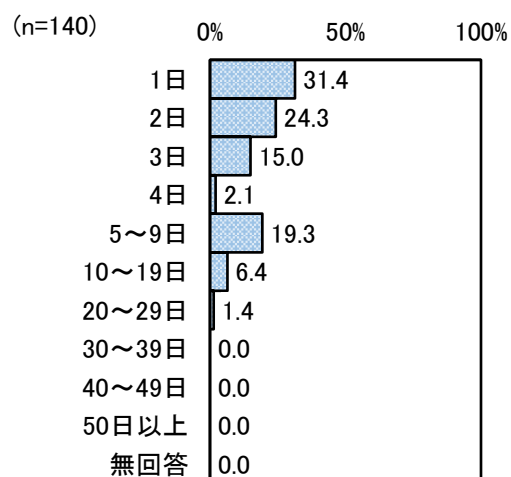
「母親が休んだ」が71.1%で最も多く、次いで「父親が休んだ」が22.0%、「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」が18.5%、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」が11.9%、「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」が9.1%などとなっています。

(n=637)

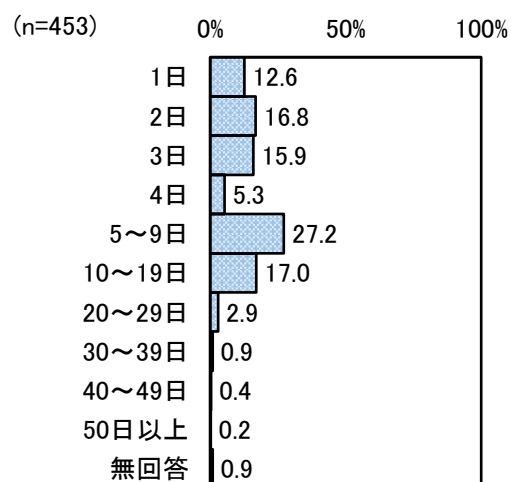


【1年間の対処日数】

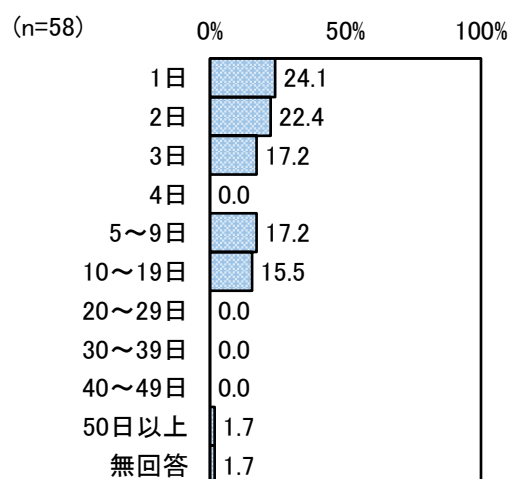
○父親が休んだ



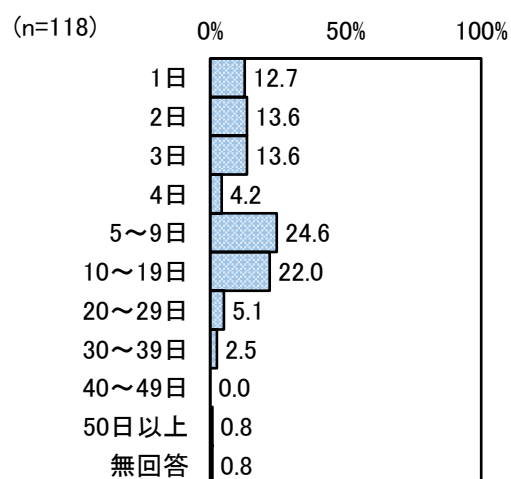
○母親が休んだ



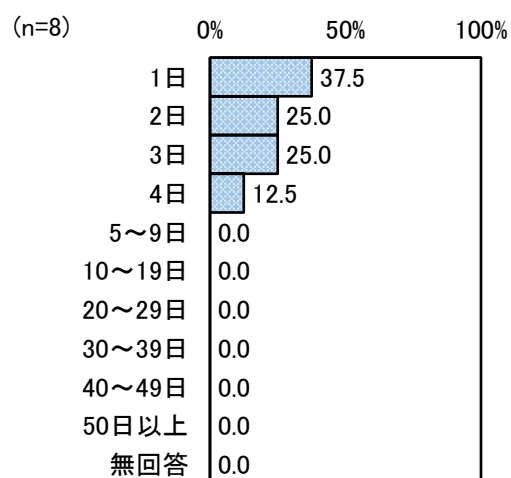
○親族・知人にみてもらった



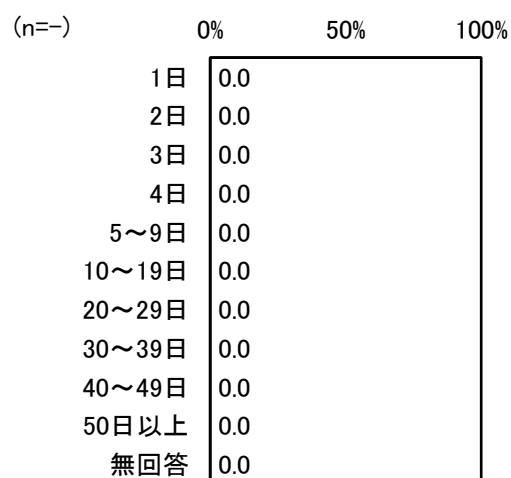
○父母のうち就労していない方が子どもをみた



○病児・病後児の保育を利用した



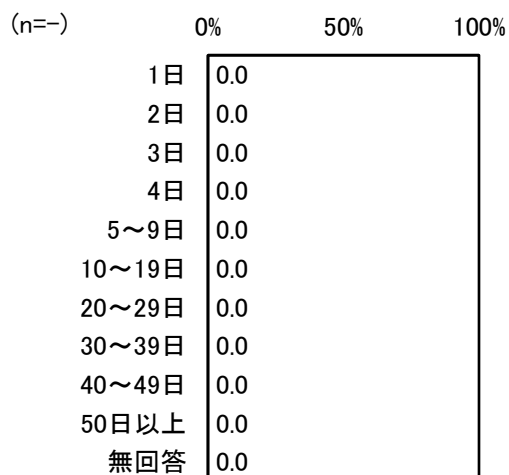
○ベビーシッターを利用した



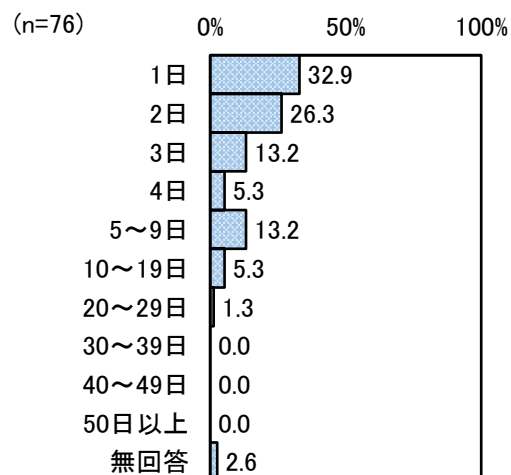
第2章 調査結果

【1年間の対処日数】（続き）

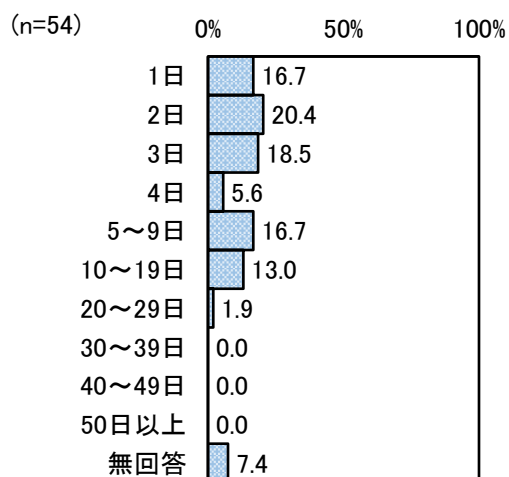
○ファミリー・サポート事業を利用した



○子どもだけで留守番をさせた



○その他の対処



(6) 病児・病後児保育施設等の利用希望（小学生）

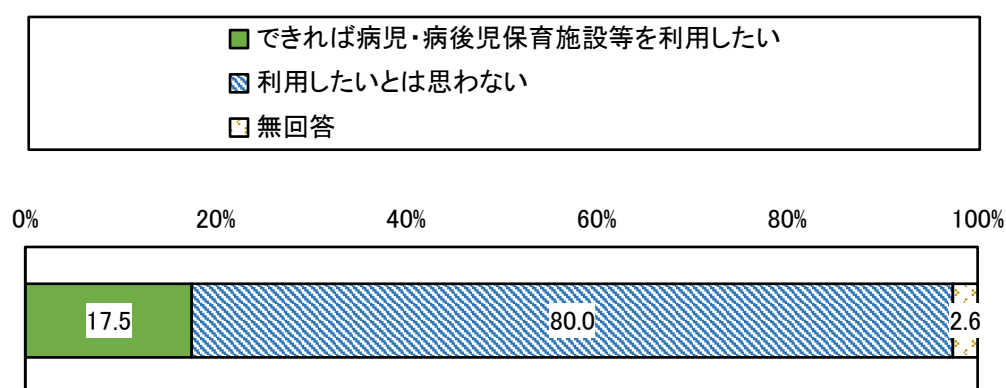
問16-1で「1.」または「2.」を選んだ方にお尋ねします。

問 その際、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と思いましたか。また、その場合の日数はどれくらいありますか。【小学生：問16-2】

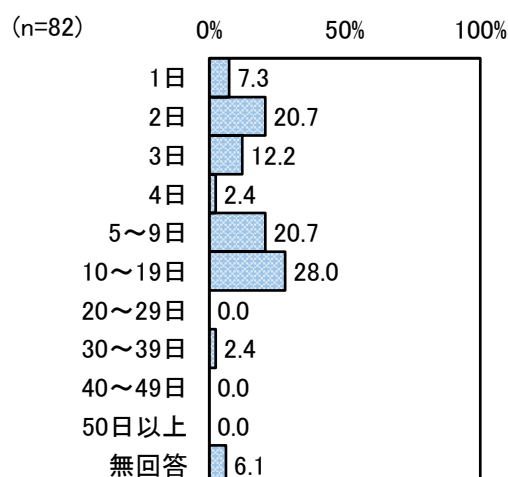
「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が17.5%、「利用したいとは思わない」が80.0%となっています。

利用したい人の1年間の利用日数について、「10～19日」が28.0%で最も多く、次いで「2日」と「5～9日」がともに20.7%などとなっています。

(n=469)



○1年間の利用日数



10 不定期の幼稚園や保育所などの利用や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

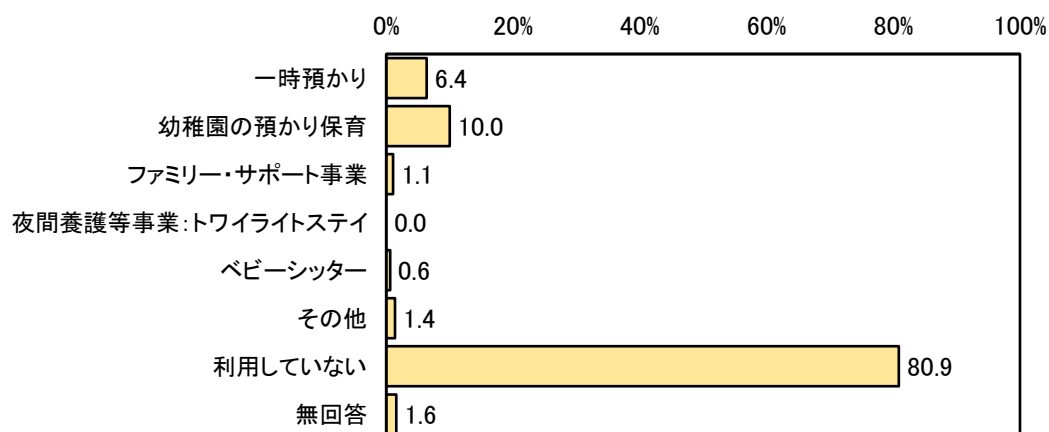
(1) 利用している不定期の教育・保育の事業

問 不定期な保育や子どもの病気のため以外)で、子どもを預かるサービスを不定期に利用しましたか。また、その日数はおおよそ何日でしたか(半日程度の場合も1日とカウントしてください)。
【就学前：問23】

「一時預かり」が6.4%、「幼稚園の預かり保育」が10.0%、「ファミリー・サポート事業」が1.1%、「夜間養護等事業：トワイライトステイ」が0.0%、「ベビーシッター」が0.6%となっています。

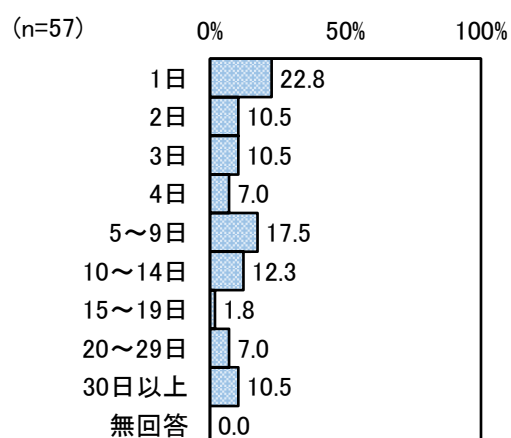
また、「利用していない」が80.9%となっています。

(n=884)

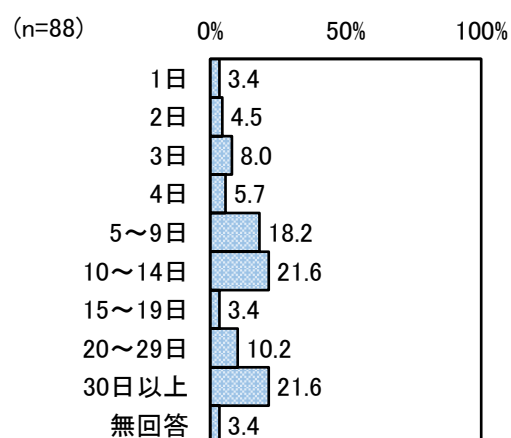


【1年間の利用日数】

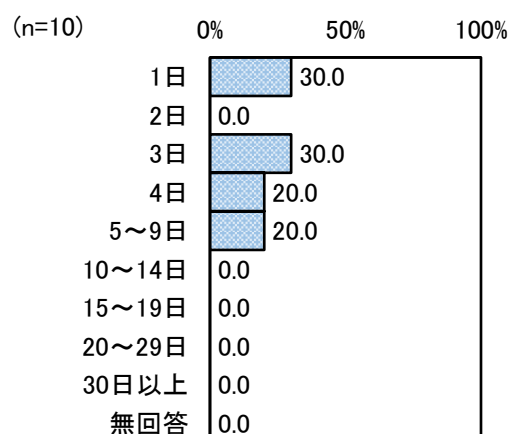
○一時預かり



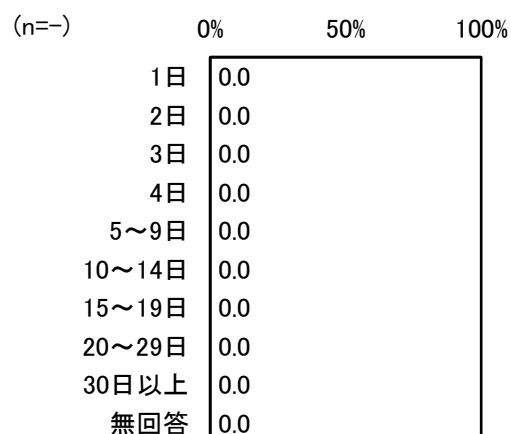
○幼稚園の預かり保育



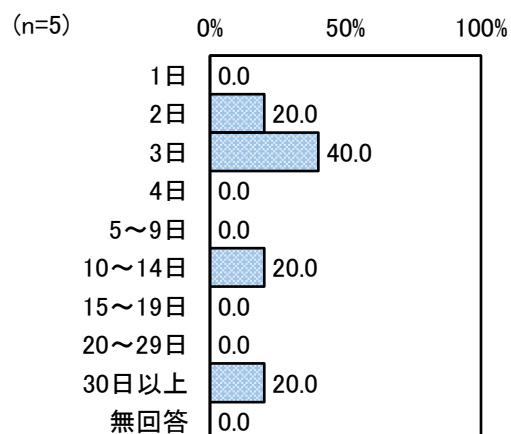
○ファミリー・サポート事業



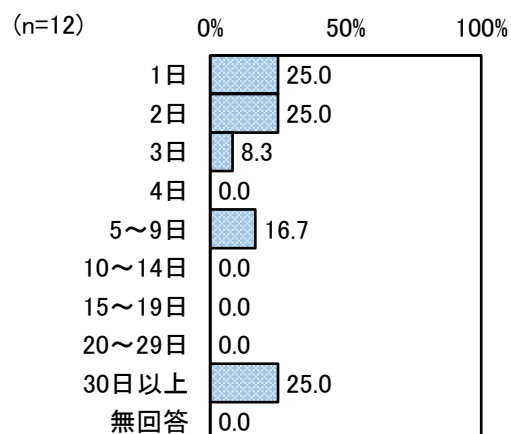
○夜間養護等事業（トワイライトステイ）



○ベビーシッター



○その他



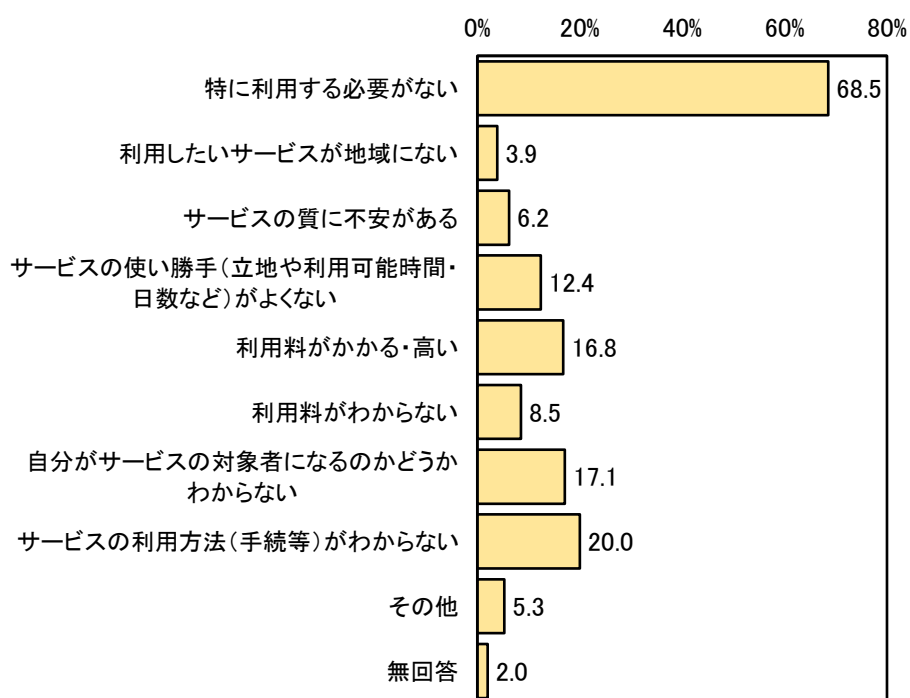
(2) 不定期の教育・保育の事業を利用していない理由

問23で「7. 利用していない」を選んだ方にお尋ねします。

問 利用していない理由は何ですか。【就学前：問23-1】

「特に利用する必要がない」が68.5%で最も多く、次いで「サービスの利用方法（手続等）がわからない」が20.0%、「自分がサービスの対象者になるのかどうか わからない」が17.1%、「利用料がかかる・高い」が16.8%、「サービスの使い勝手（立地や利用可能時間・日数など）がよくない」が12.4%などとなっています。

(n=715)



(3) 私用等の目的での事業の利用希望

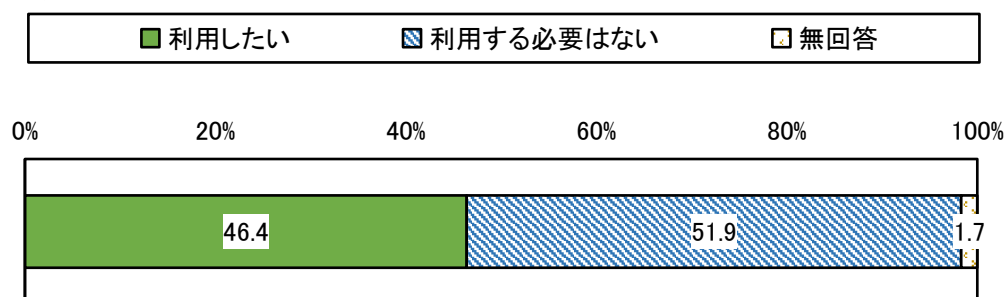
問 封筒のあて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で一時預かり等の事業を利用する必要があると思いますか。また、その目的は何ですか。【就学前：問2 4】

「利用したい」が46.4%、「利用する必要はない」が51.9%となっています。

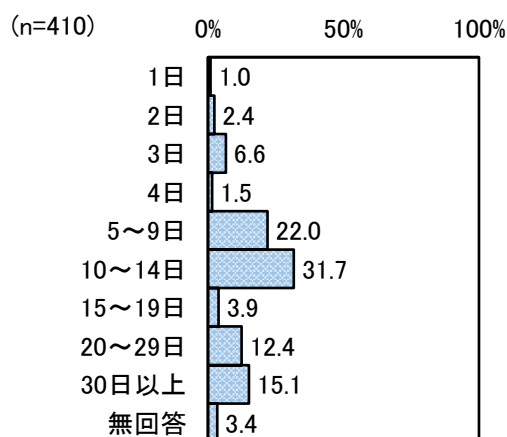
利用したい場合の1年間の合計日数について、「10～14日」が31.7%で最も多く、次いで「5～9日」が22.0%、「30日以上」が15.1%となっています。

事業の利用目的について、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が71.0%で最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等」が51.0%、「不定期の就労」が32.9%などとなっています。

(n=884)



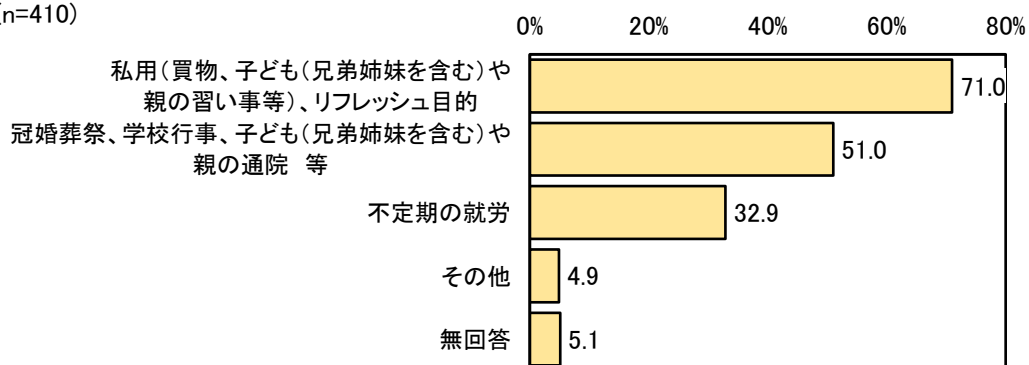
○利用したい場合の1年間の合計日数



第2章 調査結果

○事業の利用目的

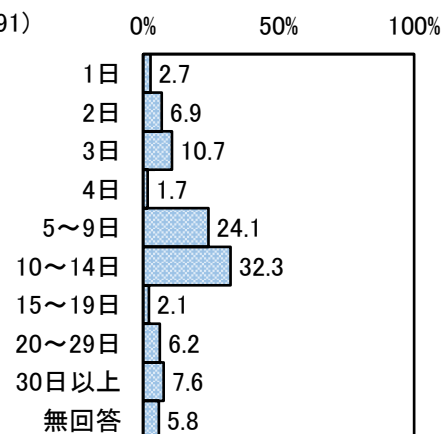
(n=410)



【1年間に必要な日数】

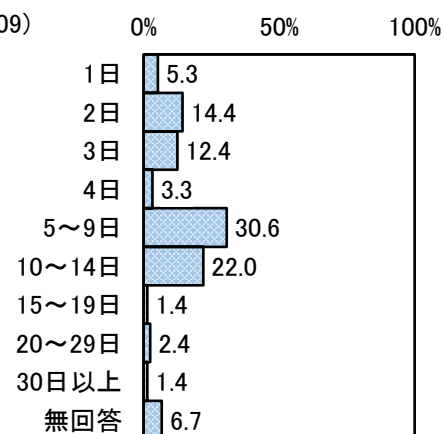
・私用、リフレッシュ目的

(n=291)



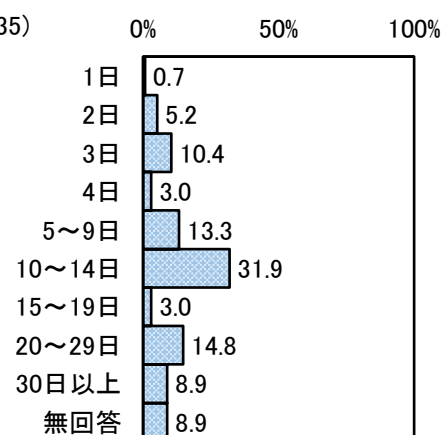
・冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等

(n=209)



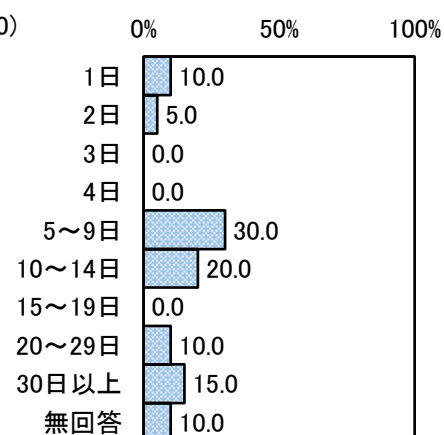
・不定期の就労

(n=135)



・その他の目的

(n=20)



(4) 望ましいサービス

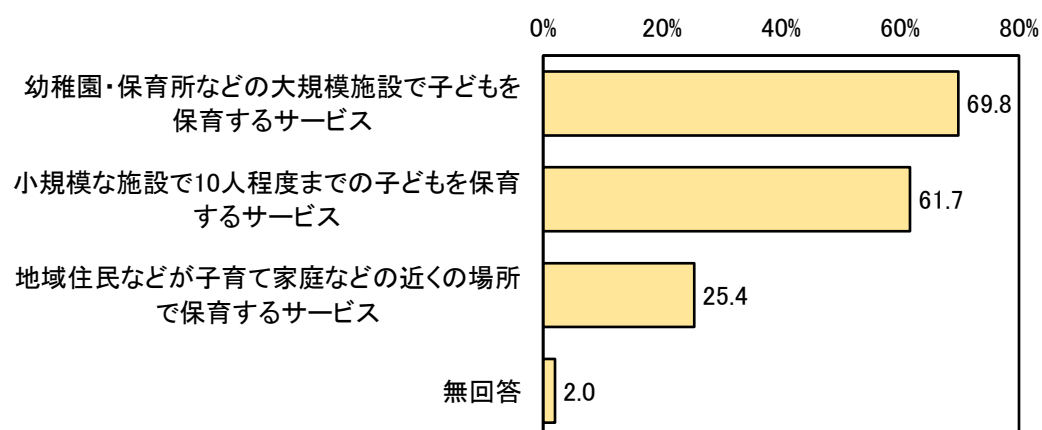
問24で「1. 利用したい」を選んだ方にお尋ねします。

問 問24の目的でお子さんを預ける場合、どのサービスが望ましいと思いますか。

【就学前：問24-1】

「幼稚園・保育所などの大規模施設で子どもを保育するサービス」が69.8%で最も多く、次いで「小規模な施設で10人程度までの子どもを保育するサービス」が61.7%、「地域住民などが子育て家庭などの近くの場所で保育するサービス」が25.4%となっています。

(n=410)



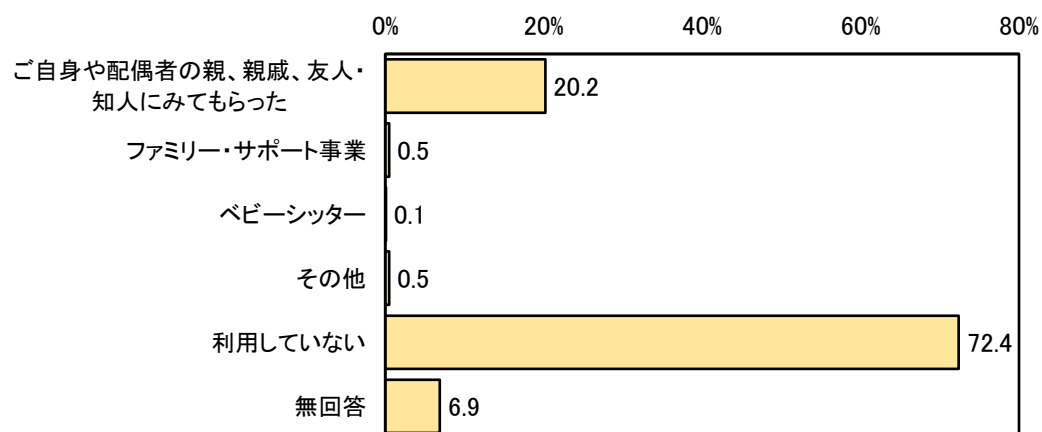
(5) 私用等の目的での事業の利用状況（小学生）

問 この1年間に、封筒のあて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的（子どもの病気のため以外）で、子どもを預かるサービスを不定期的に利用しましたか。また、その日数はおよそ何日でしたか（半日程度の場合も1日とカウントしてください）。【小学生：問18】

「ご自身や配偶者の親、親戚、友人・知人にみてもらった」が20.2%、「ファミリー・サポート事業」が0.5%、「ベビーシッター」が0.1%などとなっています。

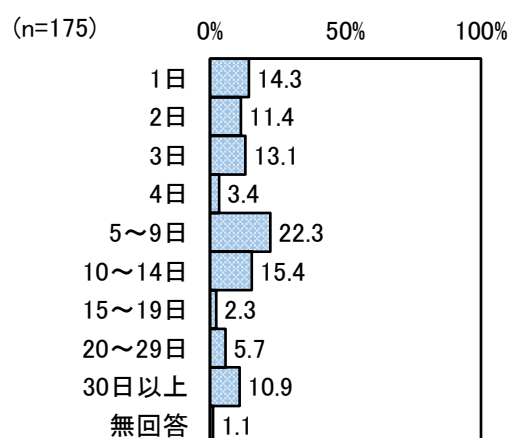
また、「利用していない」が72.4%となっています。

(n=866)

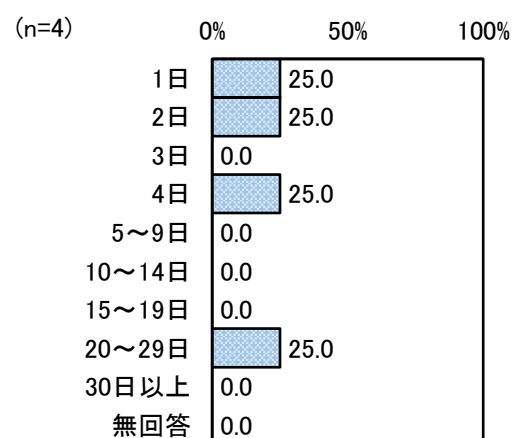


【1年間の利用日数】

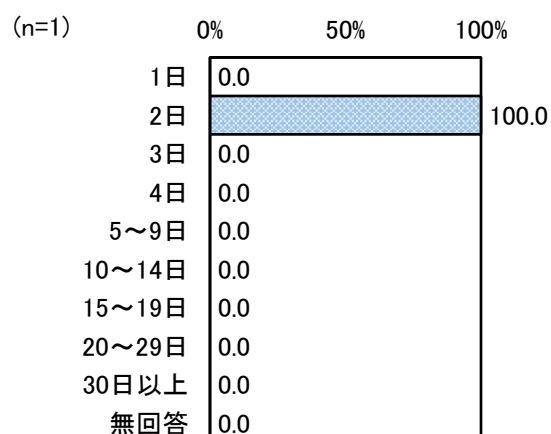
○自身や配偶者の親、親戚、友人・知人



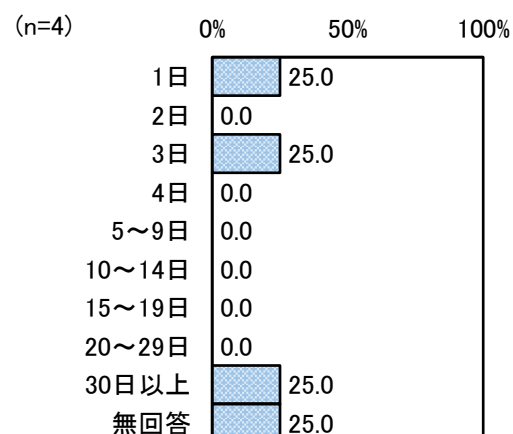
○ファミリー・サポート事業



○ベビーシッター



○その他



(6) 保護者の用事により泊りがけで家族以外にみてもらわなければならない必要
(就学前)

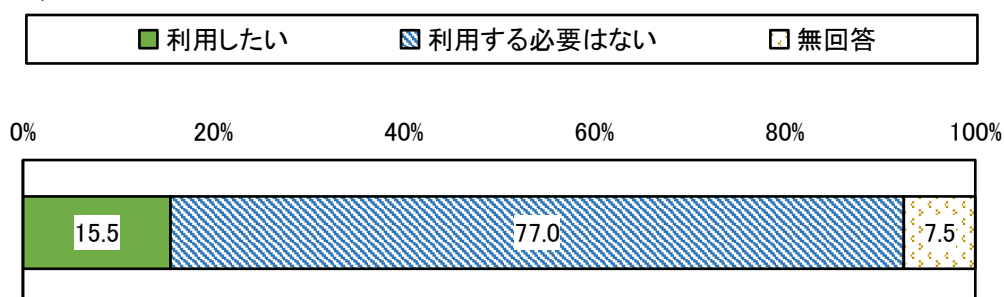
問 封筒のあて名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。また、「1. 利用したい」を選んだ方は、利用したい理由を回答してください。あわせて、利用したい日数はおよそ何日ですか。【就学前：問25】

「利用したい」が15.5%、「利用する必要はない」が77.0%となっています。

「利用したい」人の利用したい理由について、「保護者や家族の病気」が73.0%で最も多く、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」が64.2%、「冠婚葬祭」が40.1%となっています。

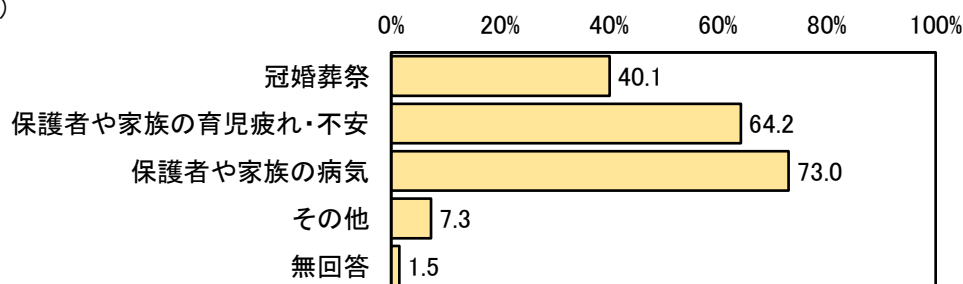
【利用意向】

(n=884)



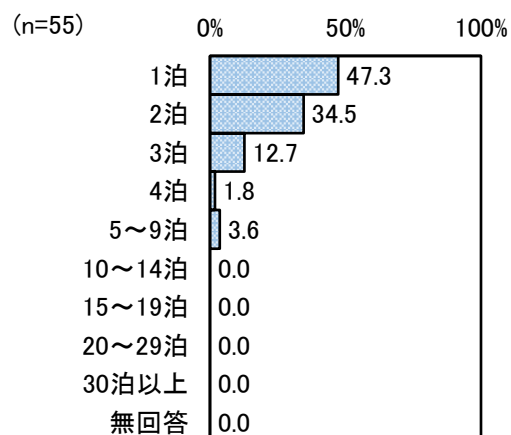
【利用したい理由】

(n=137)

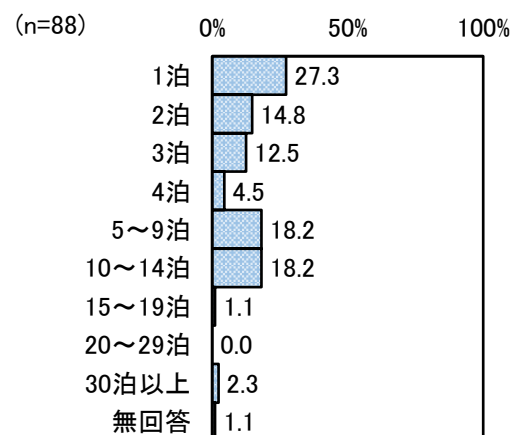


【利用したい日数】

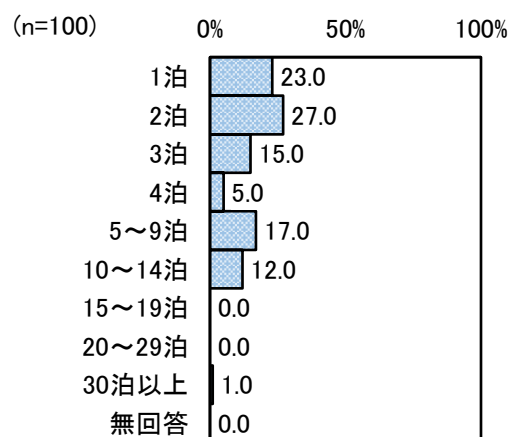
○冠婚葬祭



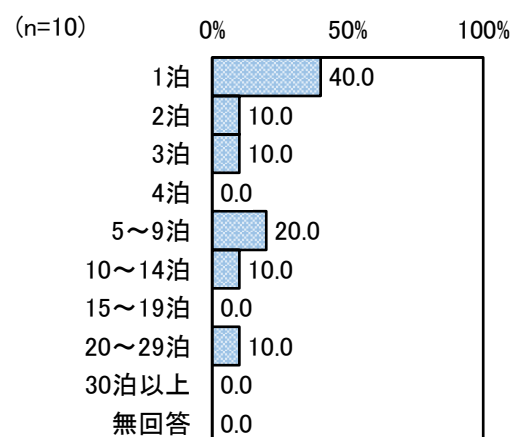
○保護者や家族の育児疲れ・不安



○保護者や家族の病気



○その他



(7) 保護者の用事により泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかったこと
(小学生)

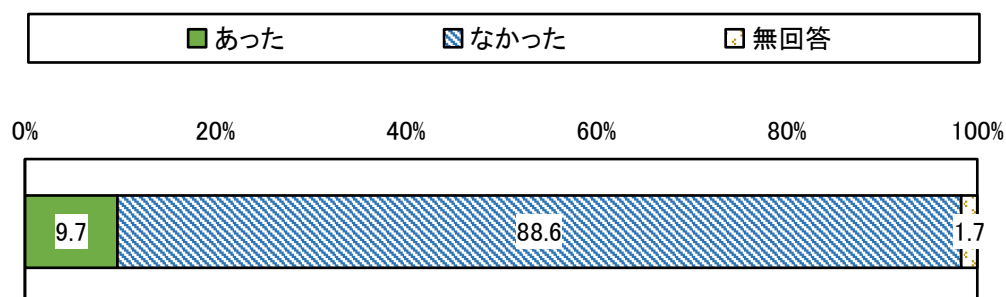
問 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、封筒のあて名のお子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならなかったことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。また、あった場合、その対処方法は何ですか。その日数はおよそ何日ですか。【小学生：問19】

「あった」が9.7%、「なかった」が88.6%となっています。

「あった」人の対象方法について、「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」が84.5%で最も多く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」が13.1%、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」が7.1%、「子育て支援短期利用事業（ショートステイ）を利用した」が1.2%などとなっています。

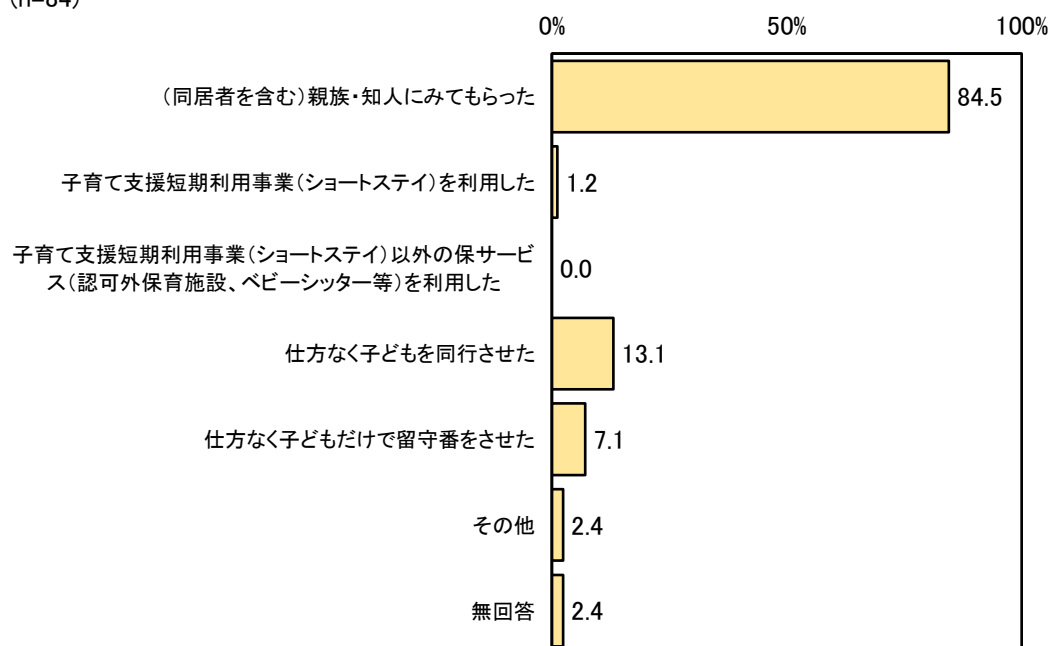
【家族以外にみてもらわなければならなかったことの有無】

(n=866)



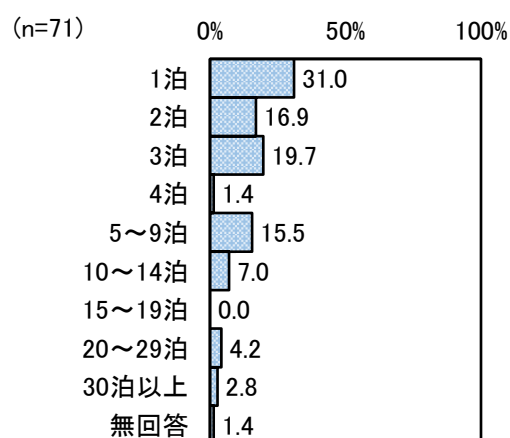
【対処方法】

(n=84)

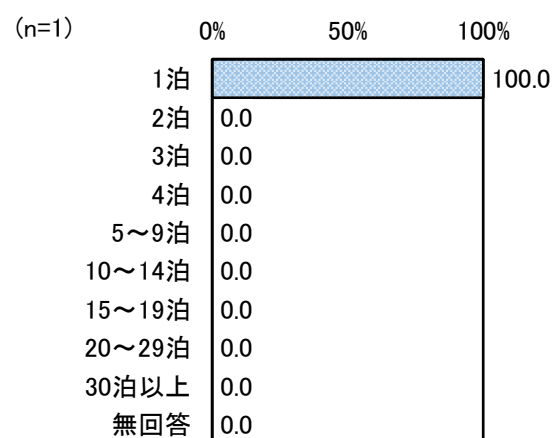


【1年間の対処泊数】

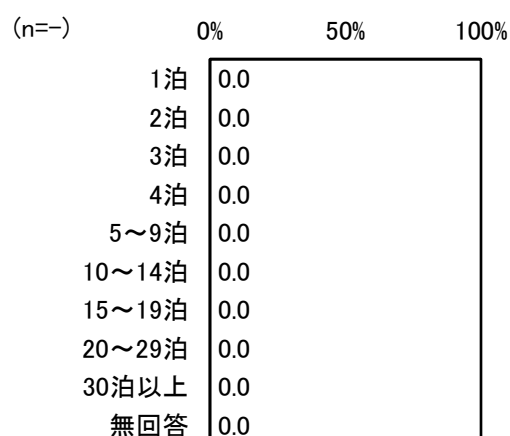
・親族・知人にみてもらった



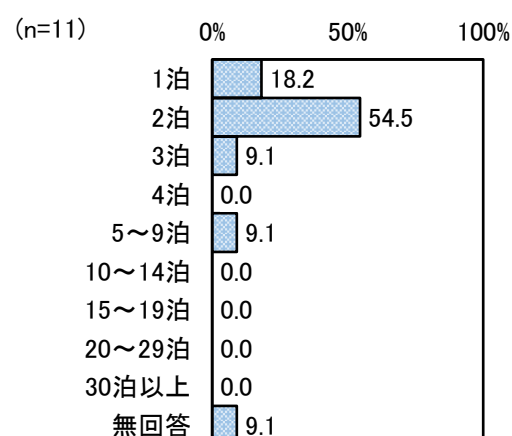
・子育て短期入所生活援助事業を利用した



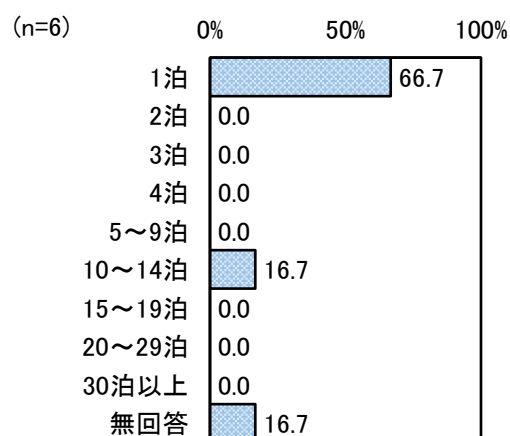
・その他の保育事業を利用した



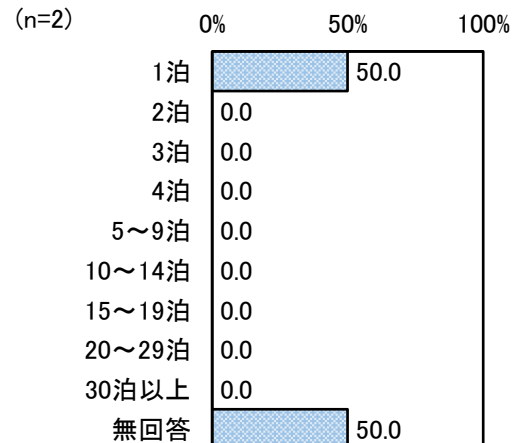
・子どもを同行させた



・子どもだけで留守番をさせた



・その他



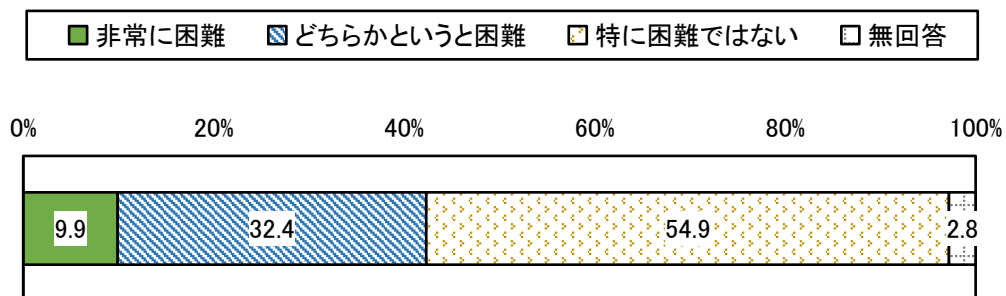
(8) 親族・知人にみてもらった場合の困難度（小学生）

問19で「1.（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」を選んだ方にお尋ねします。

問 その場合の困難度はどの程度でしたか。【小学生：問19-1】

「非常に困難」が9.9%、「どちらかという困難」が32.4%、「特に困難ではない」が54.9%となっています。

(n=71)



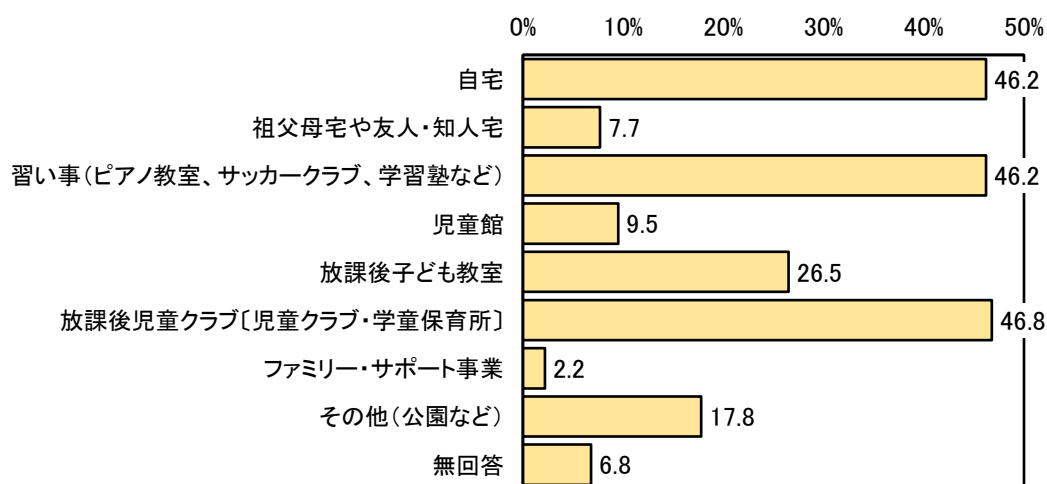
1 1 小学校就学後の放課後の過ごし方について【就学前：5歳以上のみ】

(1) 希望する低学年時の放課後の過ごし方

問 封筒のあて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。また、希望する週あたり日数は何日ですか。【就学前：問26】

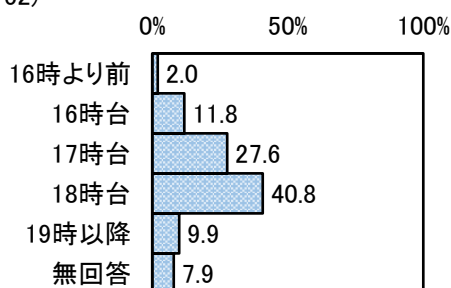
「放課後児童クラブ〔児童クラブ・学童保育所〕」が46.8%で最も多く、次いで「自宅」が46.2%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が46.2%、「放課後子ども教室」が26.5%、「その他（公園など）」が17.8%などとなっています。

(n=325)



○放課後児童クラブ（学童保育）の利用終了時刻

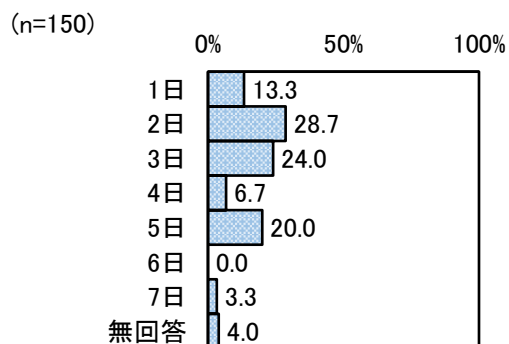
(n=152)



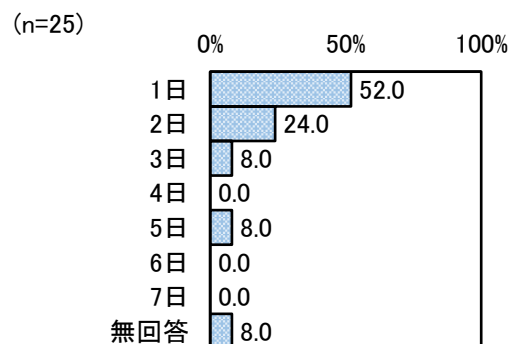
第2章 調査結果

【1週あたりの利用日数】

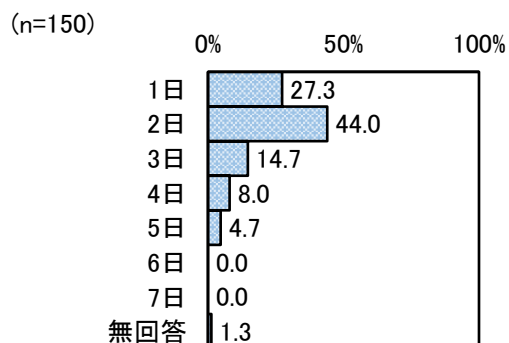
○自宅



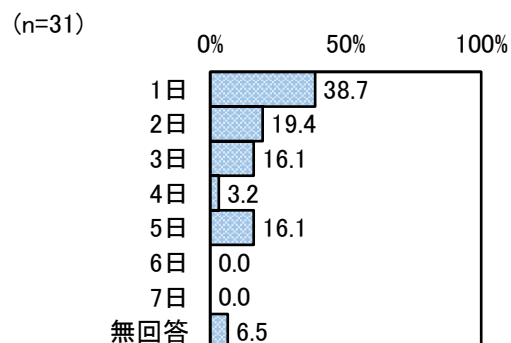
○祖父母宅や友人・知人宅



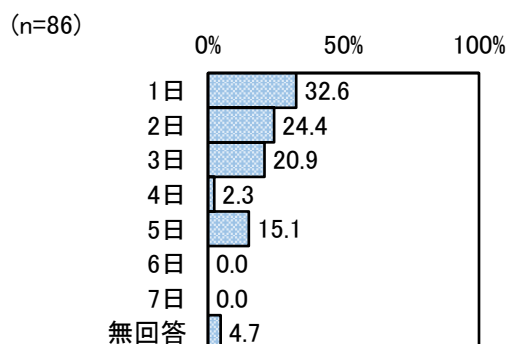
○習い事



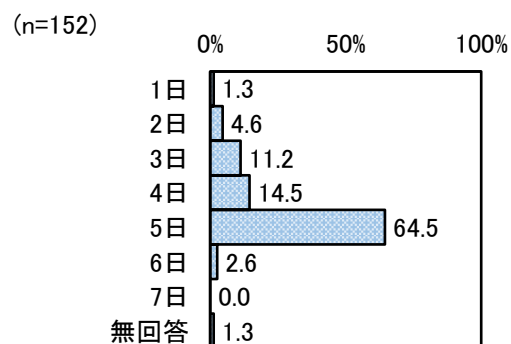
○児童館



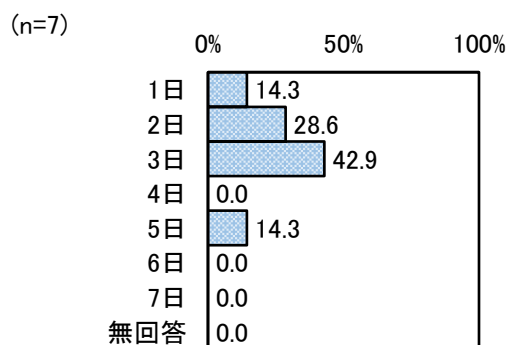
○放課後子ども教室



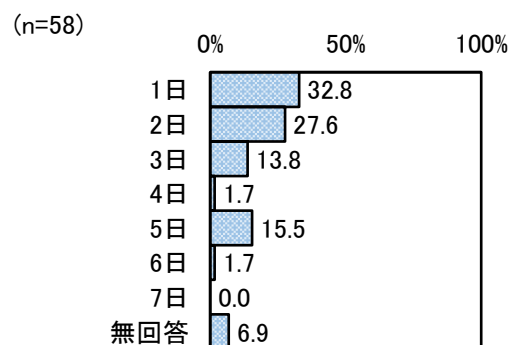
○放課後児童クラブ



○ファミリー・サポート・センター



○その他の過ごし方

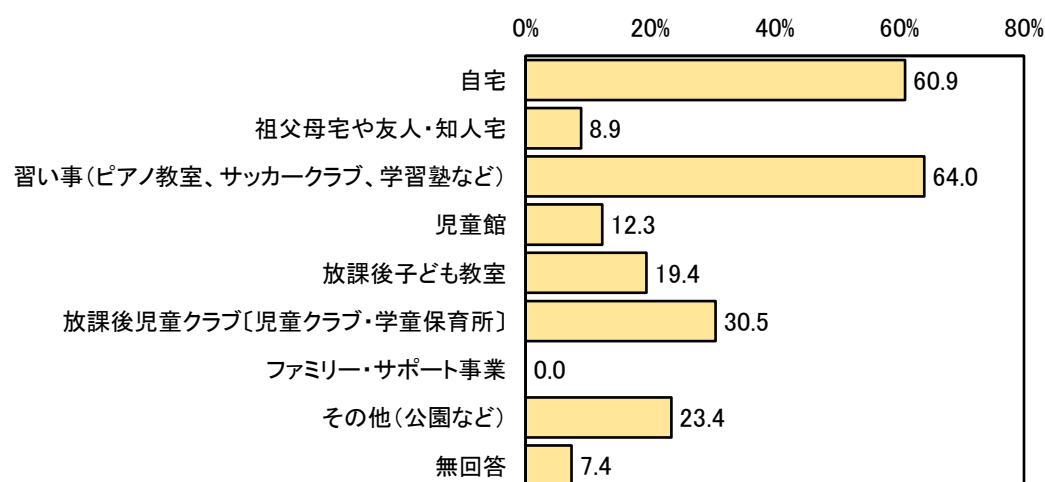


(2) 希望する高学年時の放課後の過ごし方

問 封筒のあて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。また、希望する週あたり日数は何日ですか。【就学前：問27】

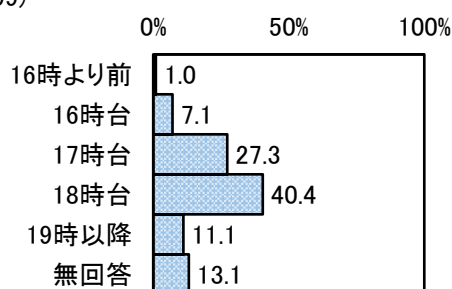
「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が64.0%で最も多く、次いで「自宅」が60.9%、「放課後児童クラブ〔児童クラブ・学童保育所〕」が30.5%、「その他（公園など）」が23.4%、「放課後子ども教室」が19.4%などとなっています。

(n=325)



○放課後児童クラブ（学童保育）の利用終了時刻

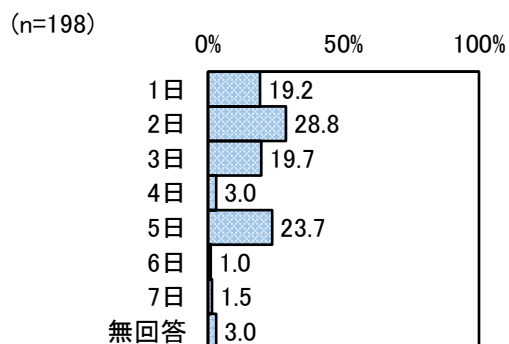
(n=99)



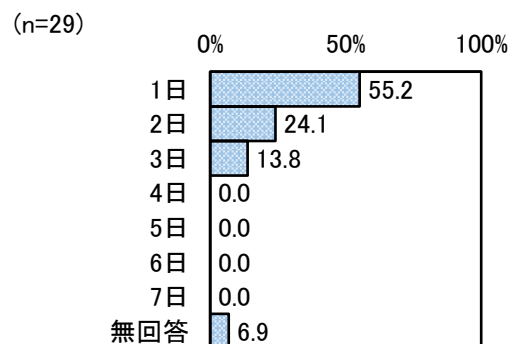
第2章 調査結果

【1週あたりの利用日数】

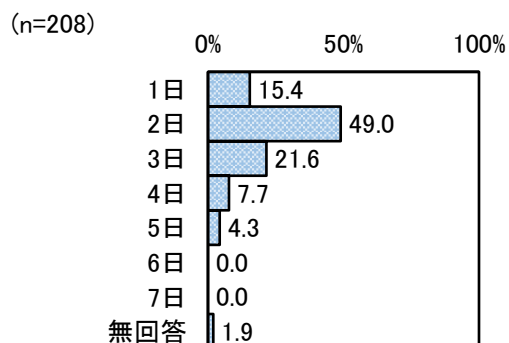
○自宅



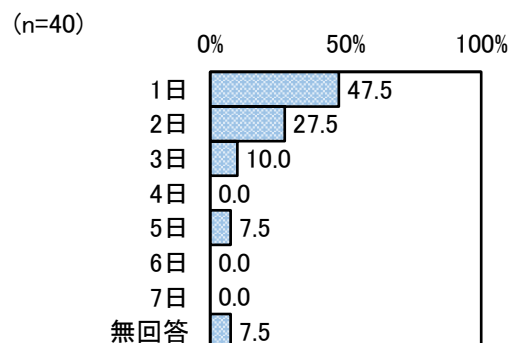
○祖父母宅や友人・知人宅



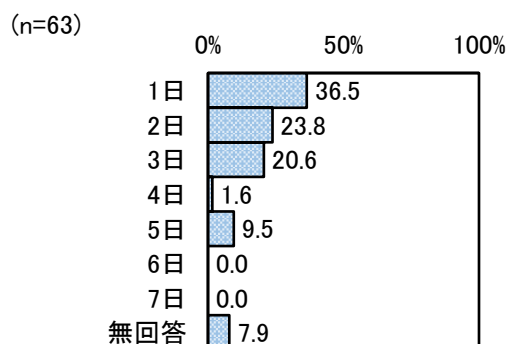
○習い事



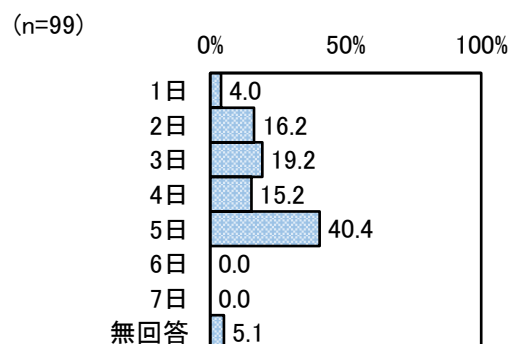
○児童館



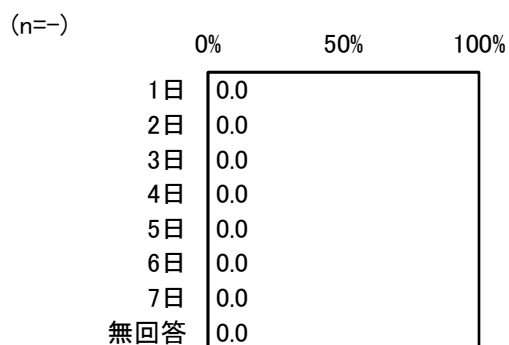
○放課後子ども教室



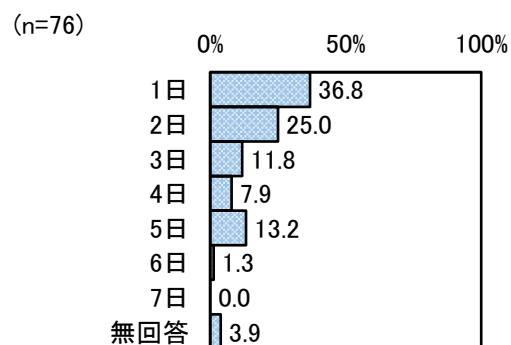
○放課後児童クラブ



○ファミリー・サポート・センター



○その他の過ごし方



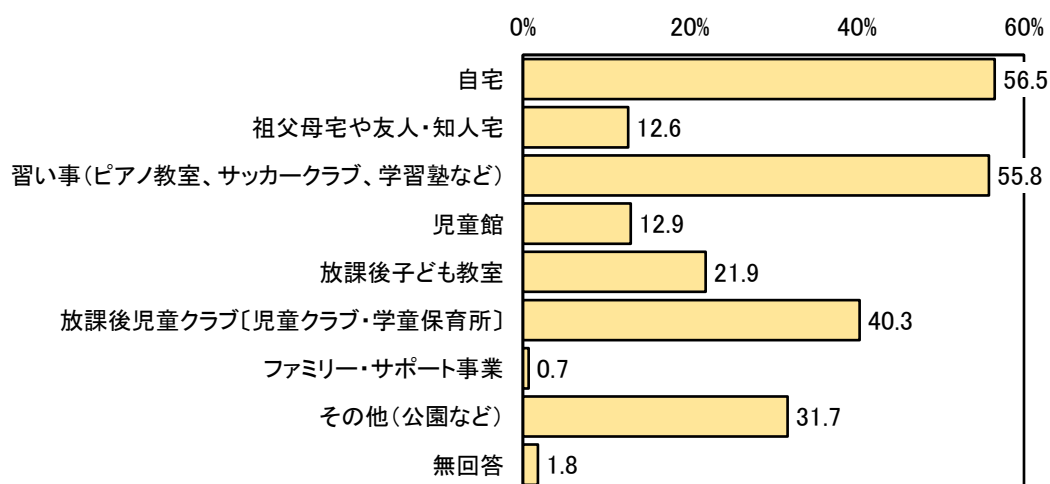
1 2 放課後の過ごし方について【小学生：小学校1～3年生のみ】

(1) 希望する低学年時の放課後の過ごし方

問 封筒のあて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。また、希望する週あたり日数は何日ですか。【小学生：問20】

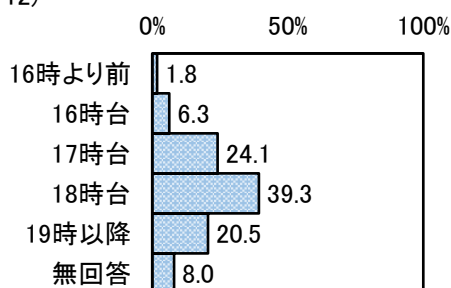
「自宅」が56.5%で最も多く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が55.8%、「放課後児童クラブ〔児童クラブ・学童保育所〕」が40.3%、「その他（公園など）」が31.7%、「放課後子ども教室」が21.9%などとなっています。

(n=278)



○放課後児童クラブ（学童保育）の利用終了時刻

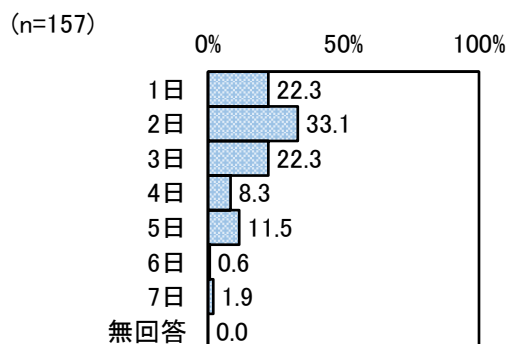
(n=112)



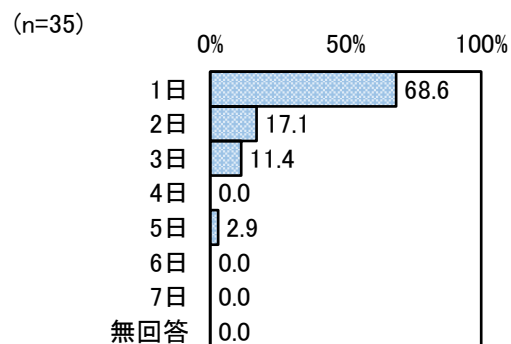
第2章 調査結果

【1週あたりの利用日数】

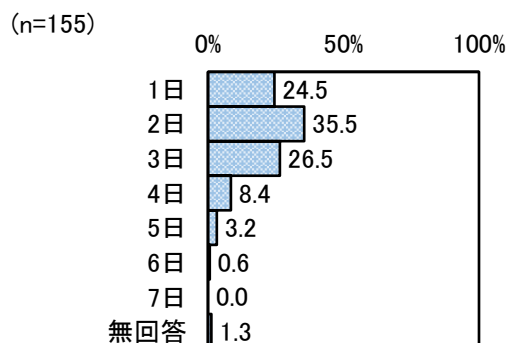
○自宅



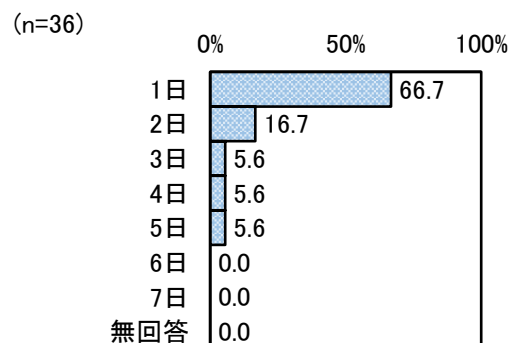
○祖父母宅や友人・知人宅



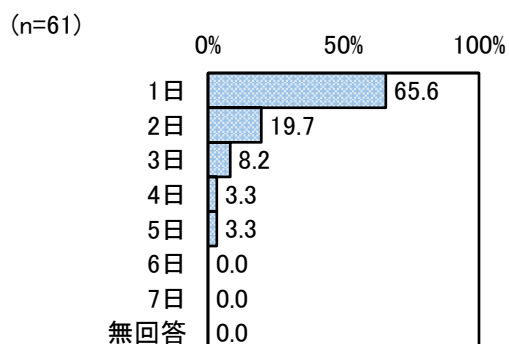
○習い事



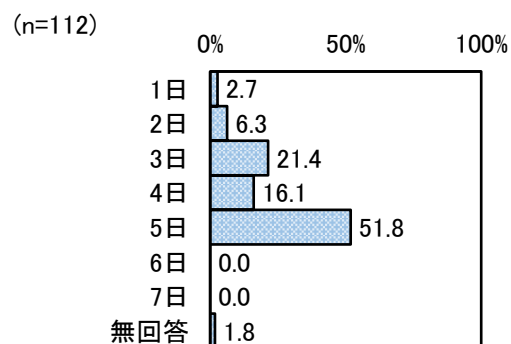
○児童館



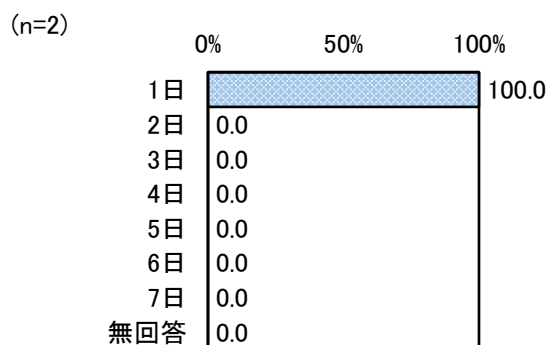
○放課後子ども教室



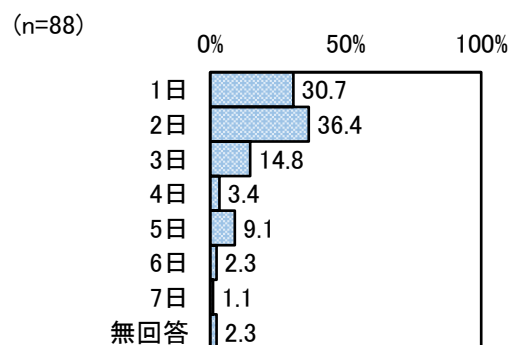
○放課後児童クラブ



○ファミリー・サポート・センター



○その他の過ごし方

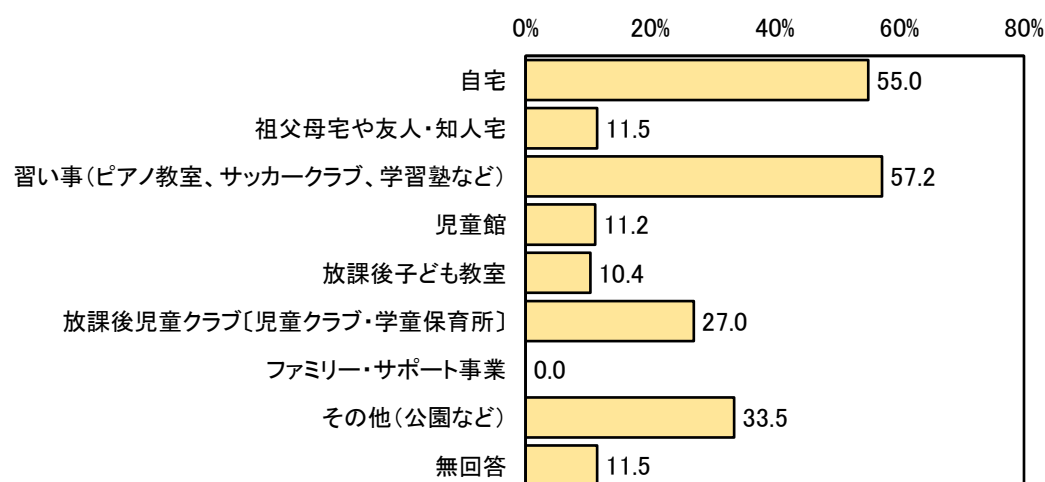


(2) 希望する高学年時の放課後の過ごし方

問 封筒のあて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。また、希望する週あたり日数は何日ですか。【小学生：問21】

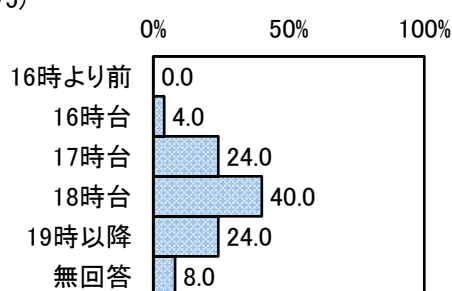
「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が57.2%で最も多く、次いで「自宅」が55.0%、「その他（公園など）」が33.5%、「放課後児童クラブ〔児童クラブ・学童保育所〕」が27.0%、「祖父母宅や友人・知人宅」が11.5%などとなっています。

(n=278)



○放課後児童クラブ（学童保育）の利用終了時刻

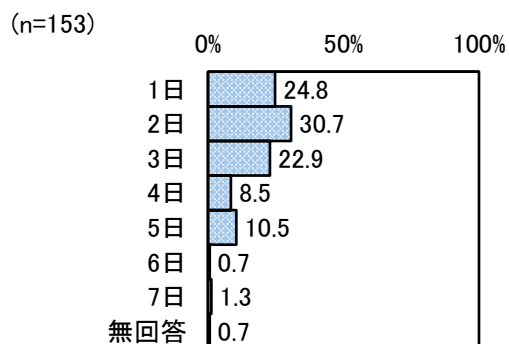
(n=75)



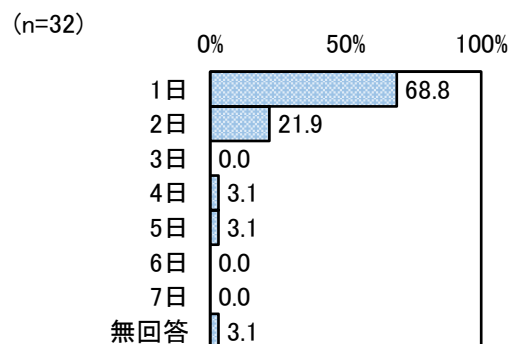
第2章 調査結果

【1週あたりの利用日数】

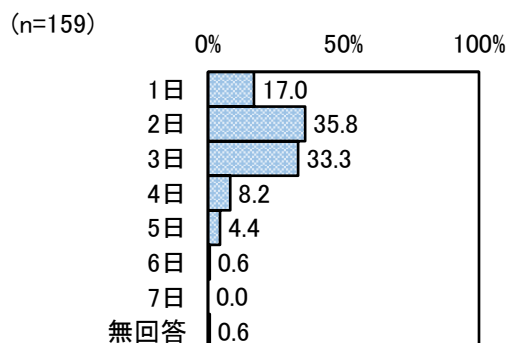
○自宅



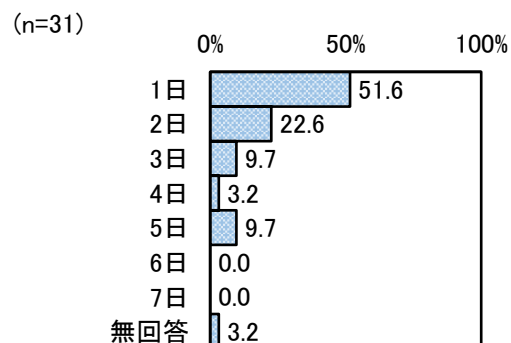
○祖父母宅や友人・知人宅



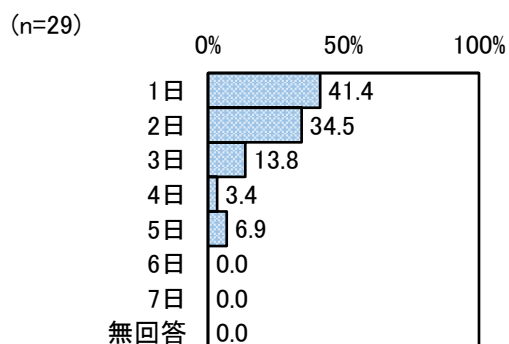
○習い事



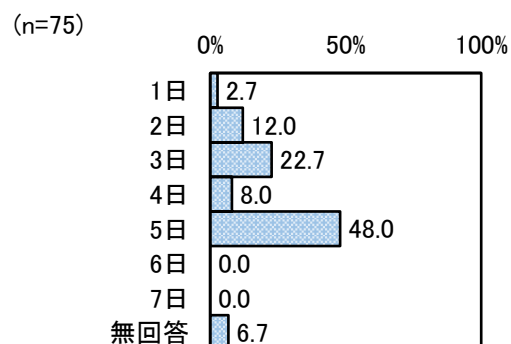
○児童館



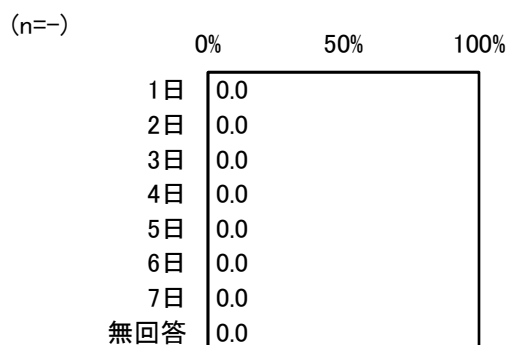
○放課後子ども教室



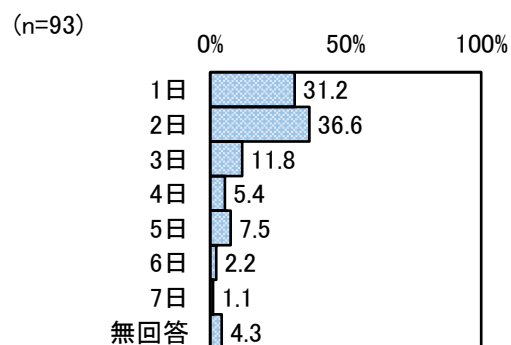
○放課後児童クラブ



○ファミリー・サポート・センター



○その他の過ごし方



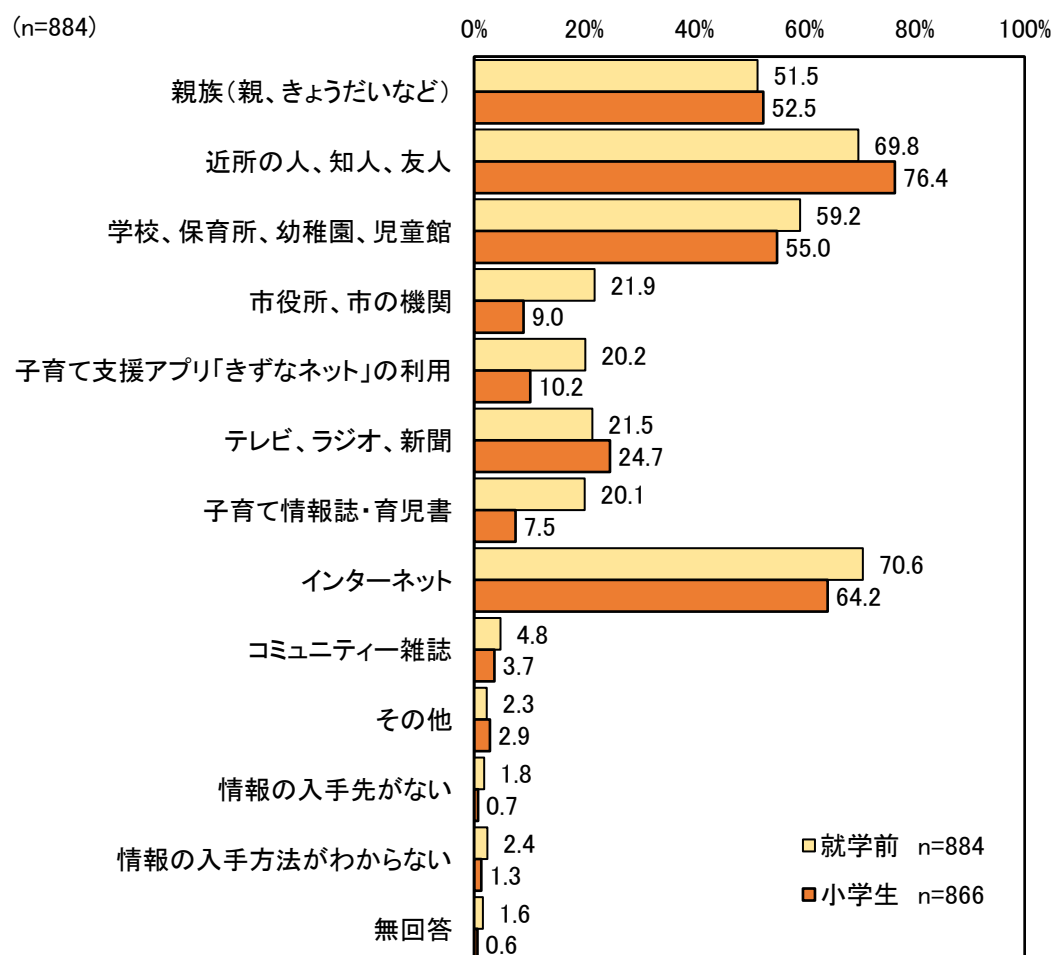
1.3 情報提供について

(1) 情報の入手手段

問 子育てに関する情報をどのように入手していますか。【就学前：問28、小学生：問22】

就学前では、「インターネット」が70.6%で最も多く、次いで「近所の人、知人、友人」が69.8%、「学校、保育所、幼稚園、児童館」が59.2%、「親族（親、きょうだいなど）」が51.5%、「市役所、市の機関」が21.9%などとなっています。

小学生では、「近所の人、知人、友人」が76.4%で最も多く、次いで「インターネット」が64.2%、「学校、保育所、幼稚園、児童館」が55.0%、「親族（親、きょうだいなど）」が52.5%、「テレビ、ラジオ、新聞」が24.7%などとなっています。

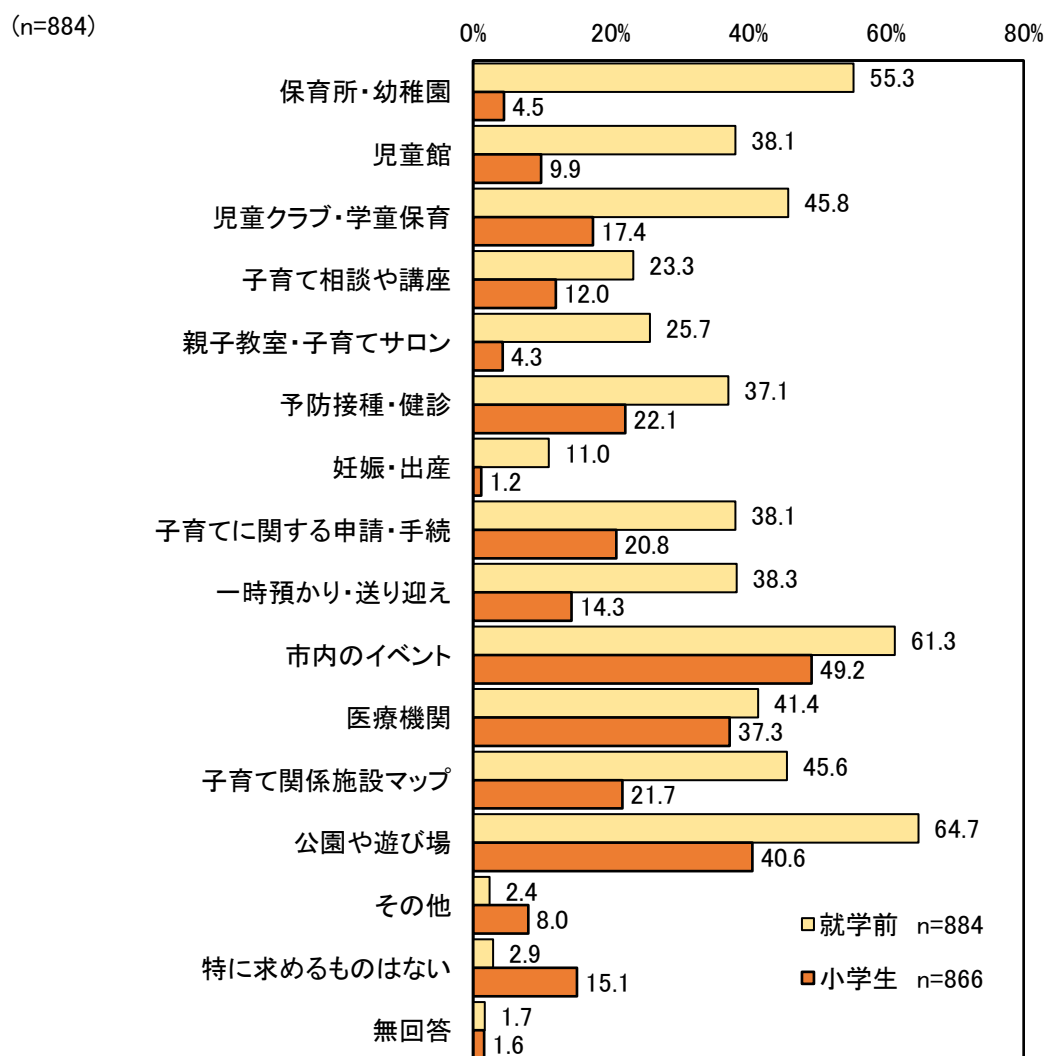


(2) 知りたい情報

問 子育てに関してどのような情報を知りたいですか。【就学前：問29、小学生：問23】

就学前では、「公園や遊び場」が64.7%で最も多く、次いで「市内のイベント」が61.3%、「保育所・幼稚園」が55.3%、「児童クラブ・学童保育」が45.8%、「子育て関係施設マップ」が45.6%などとなっています。

小学生では、「市内のイベント」が49.2%で最も多く、次いで「公園や遊び場」が40.6%、「医療機関」が37.3%、「予防接種・健診」が22.1%、「子育て関係施設マップ」が21.7%などとなっています。



1.4 子育てやお子さんについて

(1) 受けさせたい教育

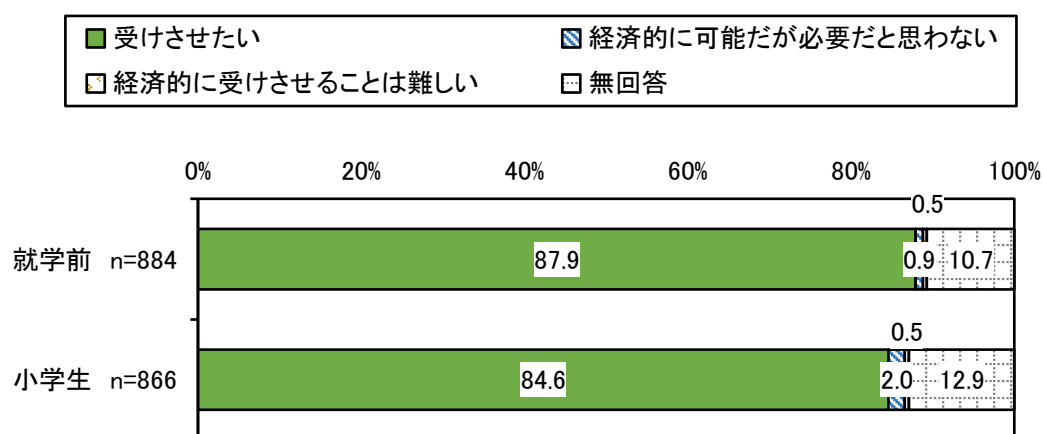
問 あなたの家庭では、お子さんにどの段階まで教育を受けさせたいですか。

【就学前：問30、小学生：問24】

高校までの教育について、就学前では、「受けさせたい」が87.9%、「経済的に可能だが必要だと思わない」が0.9%、「経済的に受けさせることは難しい」が0.5%となっています。

小学生では、「受けさせたい」が84.6%、「経済的に可能だが必要だと思わない」が2.0%、「経済的に受けさせることは難しい」が0.5%となっています。

【高校までの教育】

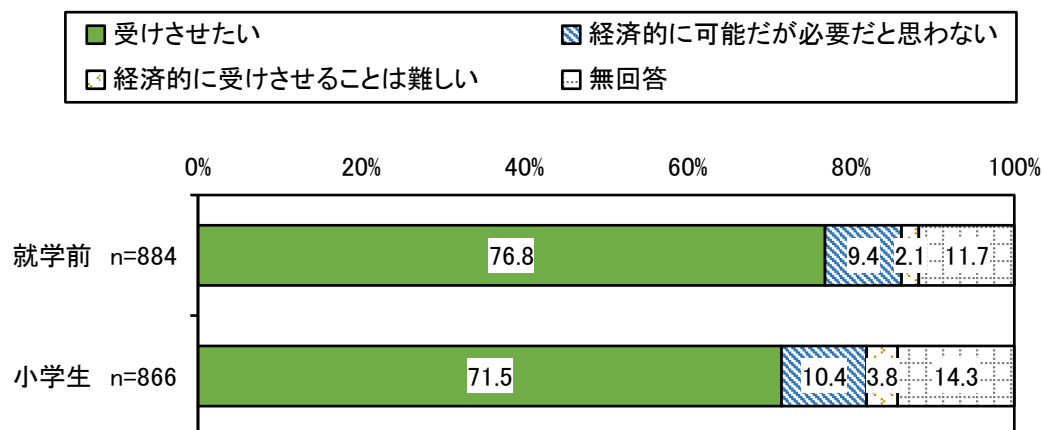


第2章 調査結果

短大・専門学校までの教育について、就学前では、「受けさせたい」が76.8%、「経済的に可能だが必要だと思わない」が9.4%、「経済的に受けさせることは難しい」が2.1%となっています。

小学生では、「受けさせたい」が71.5%、「経済的に可能だが必要だと思わない」が10.4%、「経済的に受けさせることは難しい」が3.8%となっています。

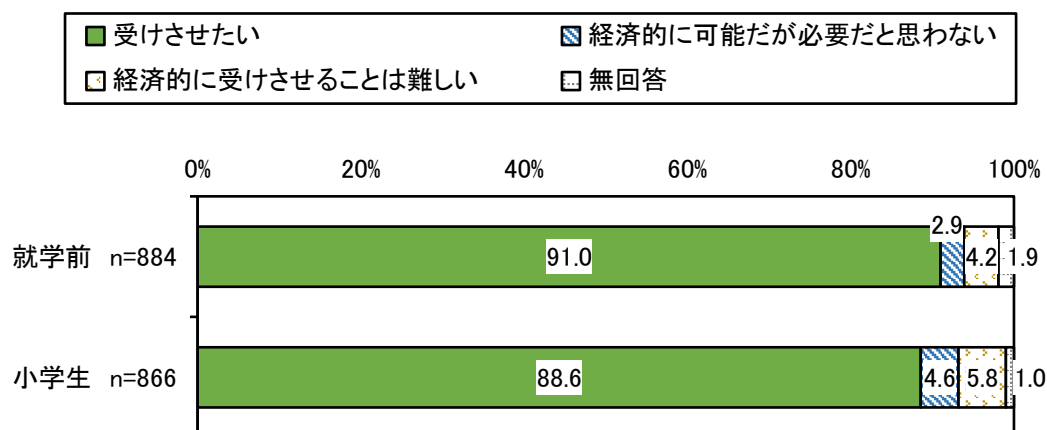
【短大・専門学校までの教育】



大学までの教育について、就学前では、「受けさせたい」が91.0%、「経済的に可能だが必要だと思わない」が2.9%、「経済的に受けさせることは難しい」が4.2%となっています。

小学生では、「受けさせたい」が88.6%、「経済的に可能だが必要だと思わない」が4.6%、「経済的に受けさせることは難しい」が5.8%となっています。

【大学までの教育】



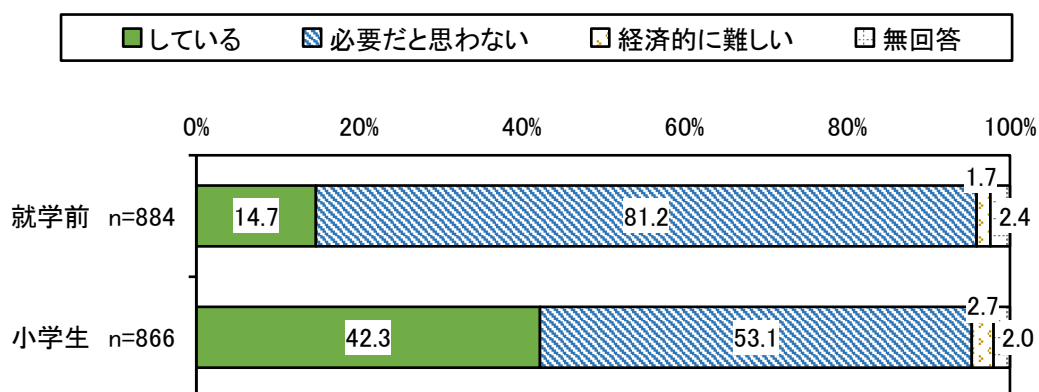
(2) 家庭内のイベント

問 あなたの家庭では、お子さんに次のことをしていますか。【就学前：問31、小学生：問25】

「毎月おこづかいを渡す」について、就学前では、「している」が14.7%、「必要だと思わない」が81.2%、「経済的に難しい」が1.7%となっています。

小学生では、「している」が42.3%で最も多く、次いで「必要だと思わない」が53.1%、「経済的に難しい」が2.7%となっています。

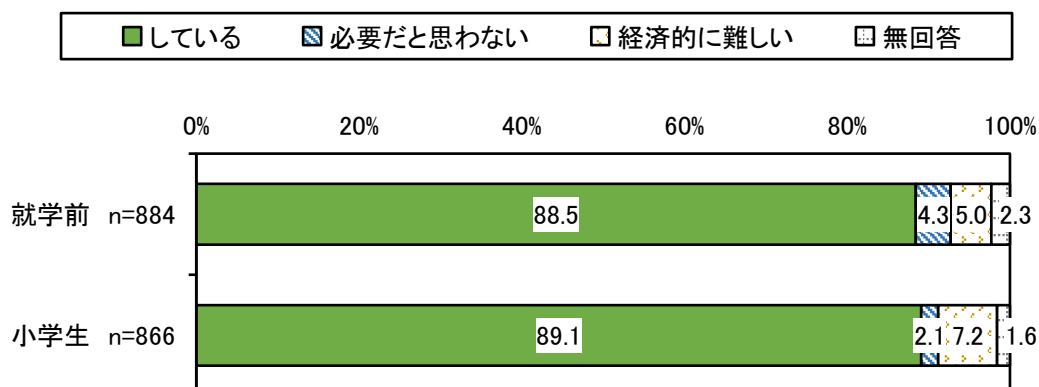
【毎月おこづかいを渡す】



「1に1回くらい家族旅行へ行く」について、就学前では、「している」が88.5%、「必要だと思わない」が4.3%、「経済的に難しい」が5.0%となっています。

小学生では、「している」が89.1%、「必要だと思わない」が2.1%、「経済的に難しい」が7.2%となっています。

【1に1回くらい家族旅行へ行く】



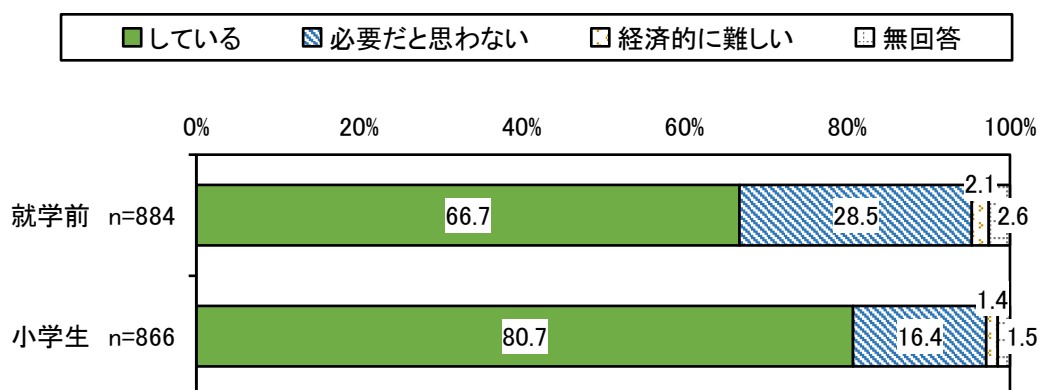
第2章 調査結果

「正月のお年玉をあげる」について、就学前では、「している」が 66.7%、「必要だと思わない」が 28.5%、「経済的に難しい」が 2.1%となっています。

小学生では、「している」が 80.7%、「必要だと思わない」が 16.4%、「経済的に難しい」が 1.4%となっています。

【正月のお年玉をあげる】

(n=884)

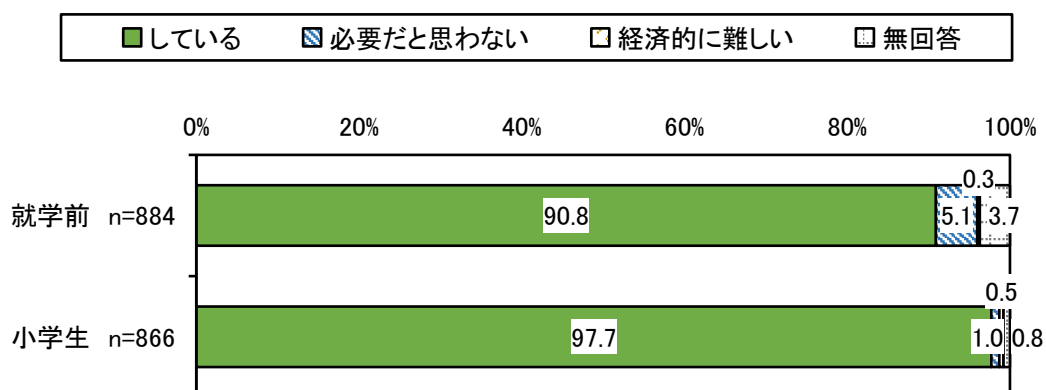


「子どもの学校行事などへ親が参加する」について、就学前では、「している」が 90.8%、「必要だと思わない」が 5.1%、「経済的に難しい」が 0.3%となっています。

小学生では、「している」が 97.7%、「必要だと思わない」が 1.0%、「経済的に難しい」が 0.5%となっています。

【子どもの学校行事などへ親が参加する】

(n=884)



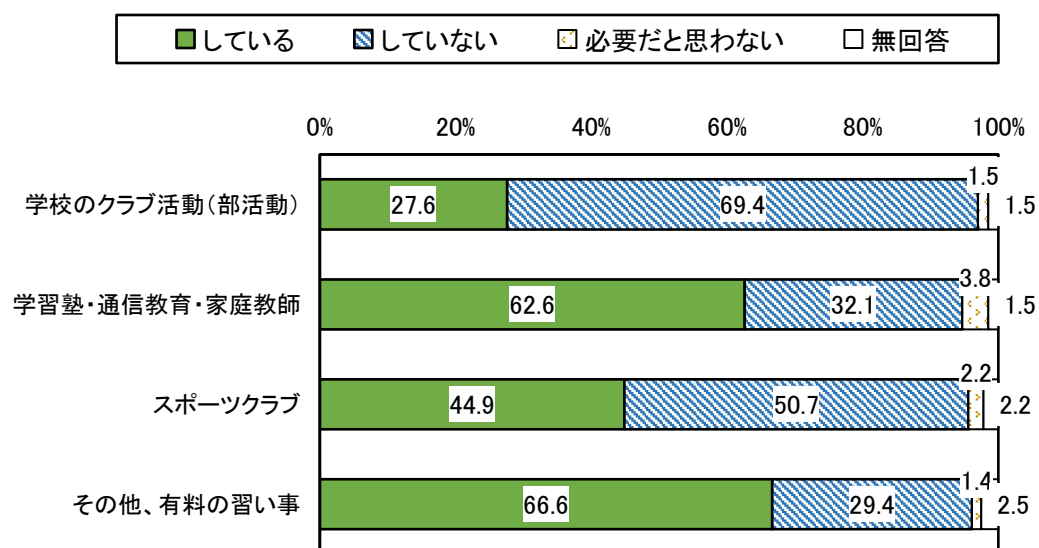
(3) クラブ活動、習い事等について（小学生）

問 お子さんは、学校の行事やクラブ活動（部活動）、有料の習い事等をしていますか。

【小学生：問26】

「学習塾・通信教育・家庭教師」は「している」が62.6%と他と比べて多くなっています。
一方、「学校のクラブ活動（部活動）」は「していない」が69.4%と他と比べて多くなっています。

(n=866)



(4) 相談先

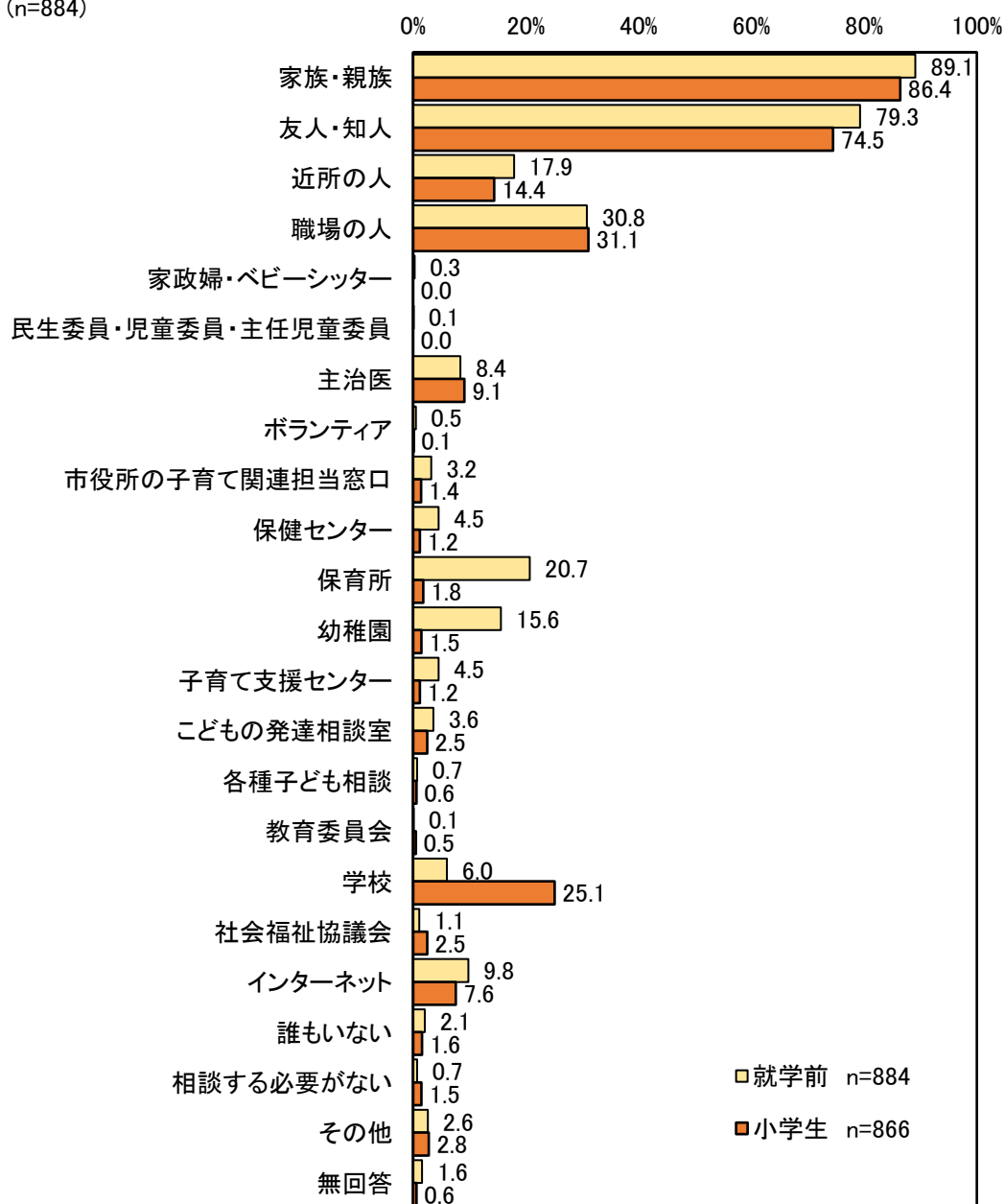
問 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は誰（どこ）ですか。

【就学前：問32、小学生：問17】

就学前では、「家族・親族」が89.1%で最も多く、次いで「友人・知人」が79.3%、「職場の人」が30.8%、「保育所」が20.7%、「近所の人」が17.9%などとなっています。

小学生では、「家族・親族」が86.4%で最も多く、次いで「友人・知人」が74.5%、「職場の人」が31.1%、「学校」が25.1%、「近所の人」が14.4%などとなっています。

(n=884)



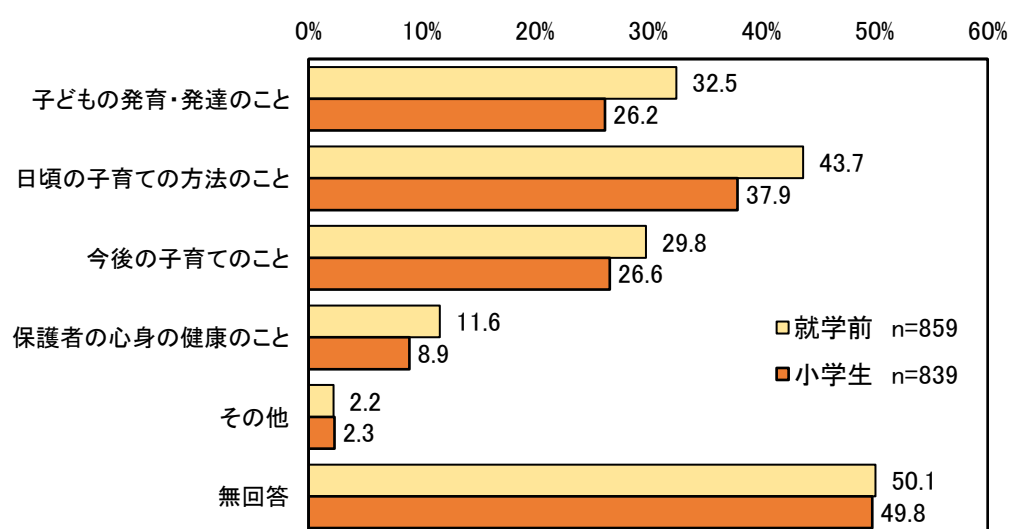
(5) 相談内容

問 記入日時点、1番の相談相手にどのような相談をしていますか。

【就学前：問32-1、小学生：問17-1】

就学前では、「日頃の子育ての方法のこと」が43.7%で最も多く、次いで「子どもの発育・発達のこと」が32.5%、「今後の子育てのこと」が29.8%、「保護者の心身の健康のこと」が11.6%となっています。

小学生では、「日頃の子育ての方法のこと」が37.9%で最も多く、次いで「今後の子育てのこと」が26.6%、「子どもの発育・発達のこと」が26.2%、「保護者の心身の健康のこと」が8.9%となっています。

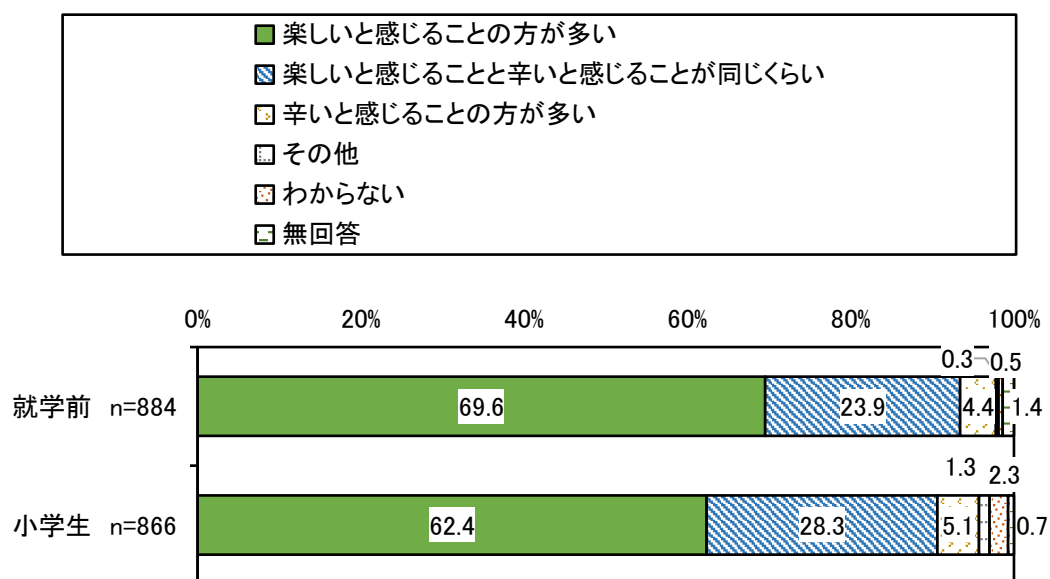


(6) 子育てに感じていること

問 あなたは、自分にとって子育てを楽しんでいることが多いと思いますか。それとも辛いと感じることが多いと思いますか。【就学前：問33、小学生：問27】

就学前では、「楽しいと感じることの方が多い」が 69.6%、「楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい」が 23.9%、「辛いと感じることの方が多い」が 4.4%となっています。

小学生では、「楽しいと感じることの方が多い」が 62.4%、「楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい」が 28.3%、「辛いと感じることの方が多い」が 5.1%となっています。

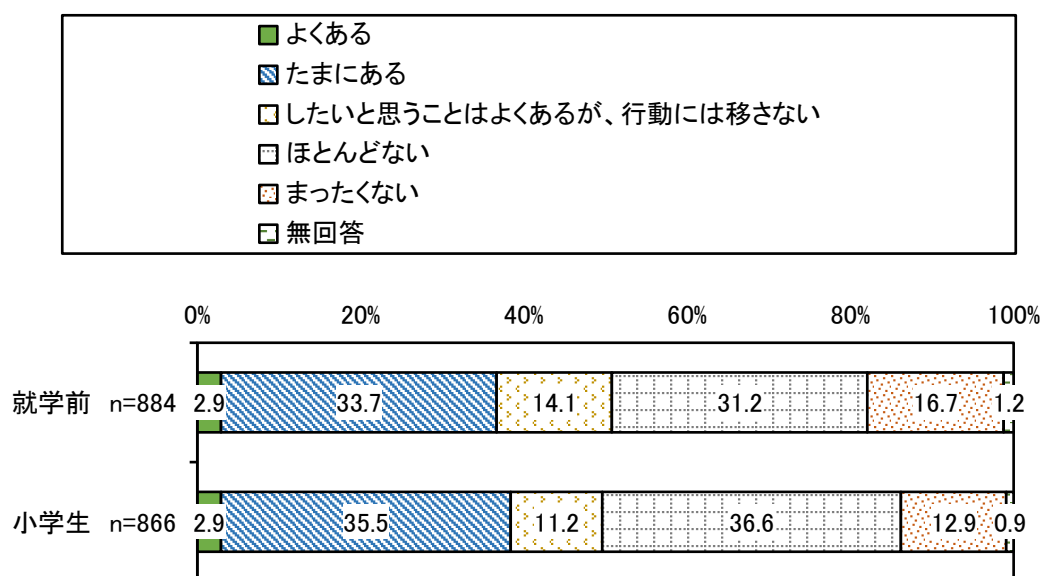


(7) 子どもへの虐待

問 子どもに対して、思わずたいたり、子どもの心を傷つけてしまうような言動をしたり、子どもの相手や世話をしないことがありますか。【就学前：問34、小学生：問28】

就学前では、「よくある」が2.9%で最も多く、次いで「たまにある」が33.7%、「したいと思うことはよくあるが、行動には移さない」が14.1%、「ほとんどない」が31.2%、「まったくない」が16.7%となっています。

小学生では、「よくある」が2.9%、「たまにある」が35.5%、「したいと思うことはよくあるが、行動には移さない」が11.2%、「ほとんどない」が36.6%、「まったくない」が12.9%となっています。



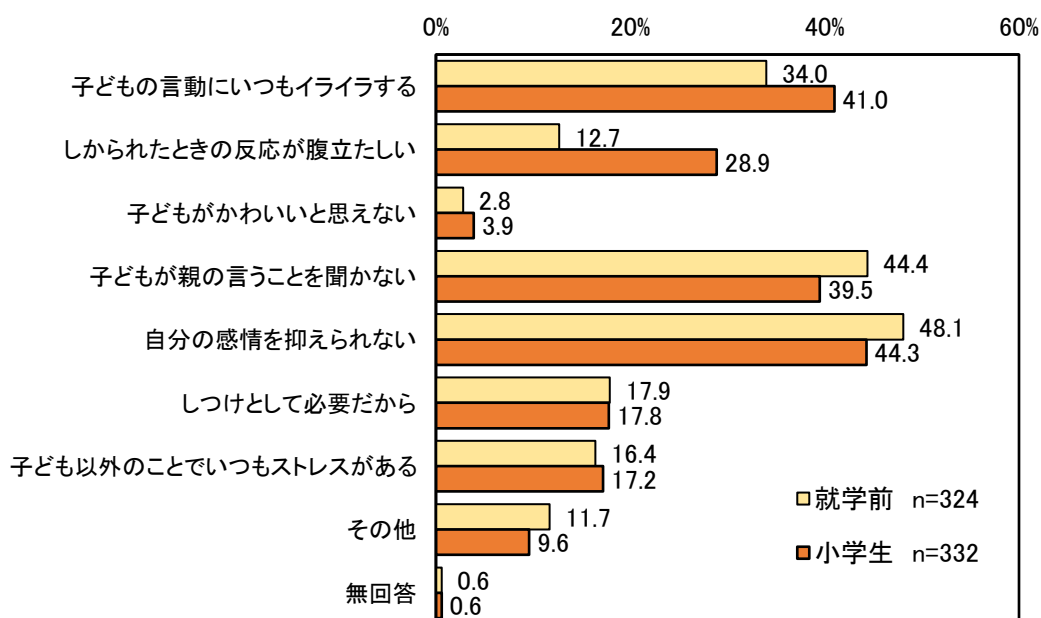
(8) 子どもへの虐待の原因

問34で「1. よくある」または「2. たまにある」を選んだ方にお尋ねします。

問 思わずたいたり、子どもの心を傷つけてしまうような言動をしたり、子どもの相手や世話をしないことがある原因はどこにあると思いますか。【就学前：問34-1、小学生：問28-1】

就学前では、「自分の感情を抑えられない」が48.1%で最も多く、次いで「子どもが親の言うことを聞かない」が44.4%、「子どもの言動にいつもイライラする」が34.0%、「しつけとして必要だから」が17.9%、「子ども以外のことでいつもストレスがある」が16.4%などとなっています。

小学生では、「自分の感情を抑えられない」が44.3%で最も多く、次いで「子どもの言動にいつもイライラする」が41.0%、「子どもが親の言うことを聞かない」が39.5%、「しかられたときの反応が腹立たしい」が28.9%、「しつけとして必要だから」が17.8%などとなっています。



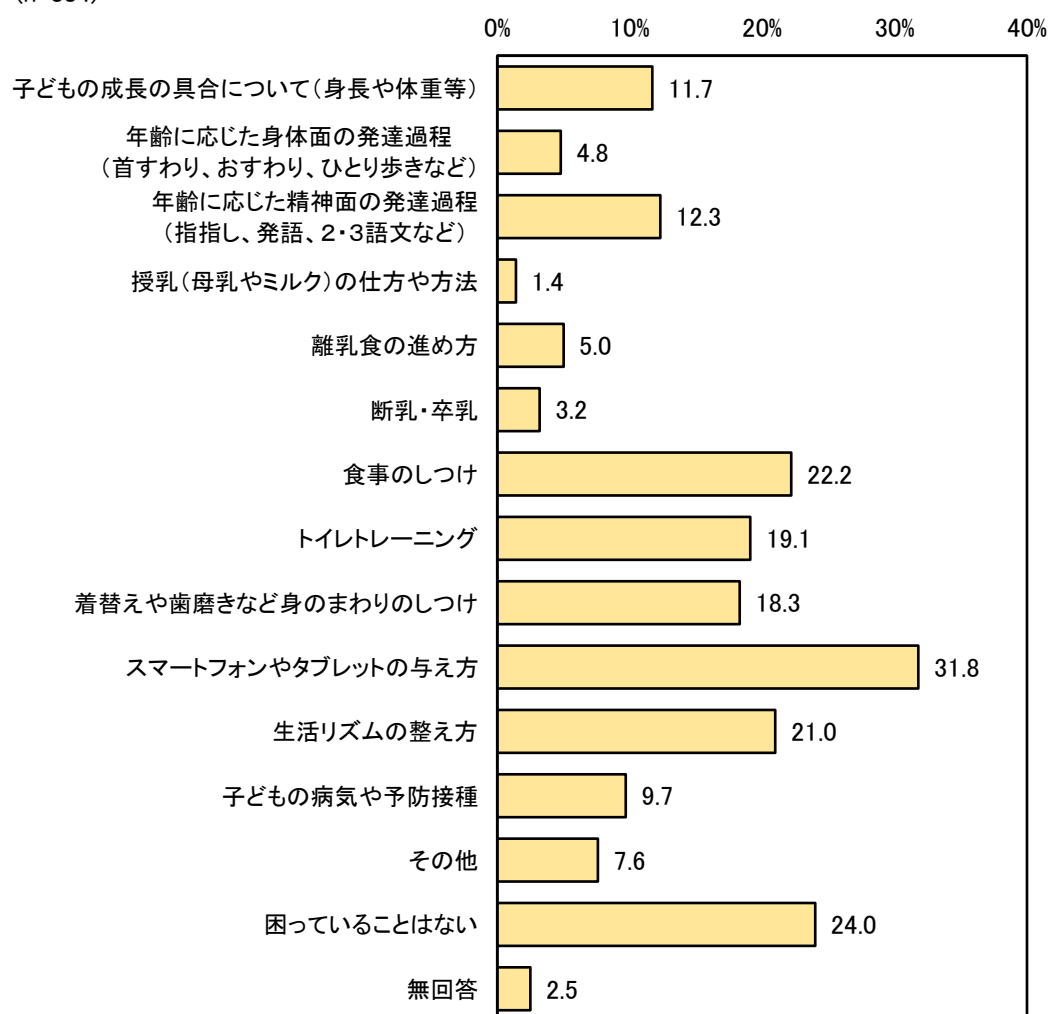
(9) 子どもの成長発達・育児についての困りごと

問 お子さんの成長発達・育児のことで、現時点で困っていることは何ですか。【就学前：問35】

「スマートフォンやタブレットの与え方」が31.8%で最も多く、次いで「食事のしつけ」が22.2%、「生活リズムの整え方」が21.0%、「トイレトレーニング」が19.1%、「着替えや歯磨きなど身のまわりのしつけ」が18.3%などとなっています。

また、「困っていることはない」が24.0%となっています。

(n=884)



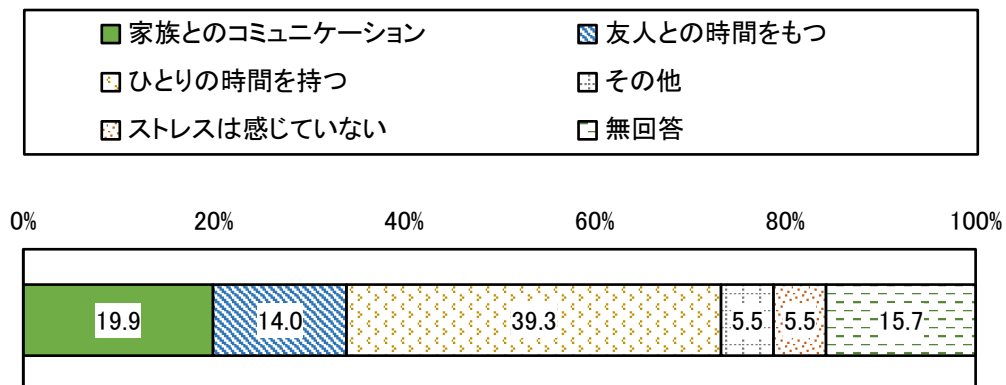
(10) ストレスの発散方法

問 あなたは、育児でのストレスをどのように発散していますか。【就学前：問36】

「家族とのコミュニケーション」が19.9%、「友人との時間をもつ」が14.0%、「ひとりの時間を持つ」が39.3%となっております。

また、「ストレスは感じていない」が5.5%となっております。

(n=884)

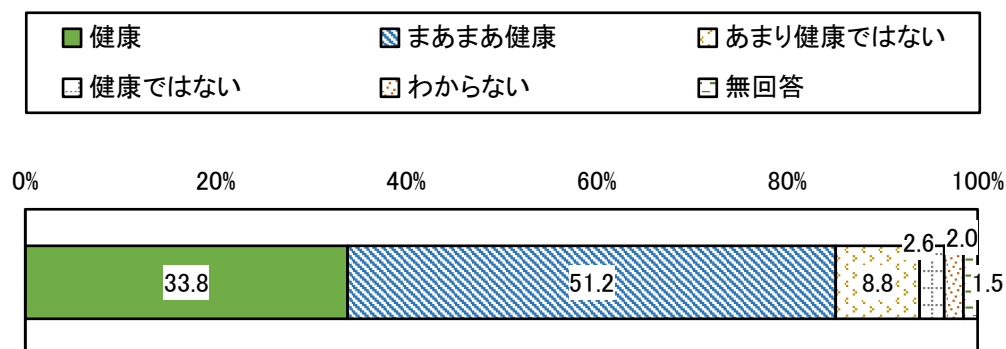


(11) 自身の健康状態

問 あなたは、自分自身が健康だと思いますか。【就学前：問37】

「健康」が33.8%で最も多く、次いで「まあまあ健康」が51.2%、「あまり健康ではない」が8.8%、「健康ではない」が2.6%、「わからない」が2.0%となっています。

(n=884)

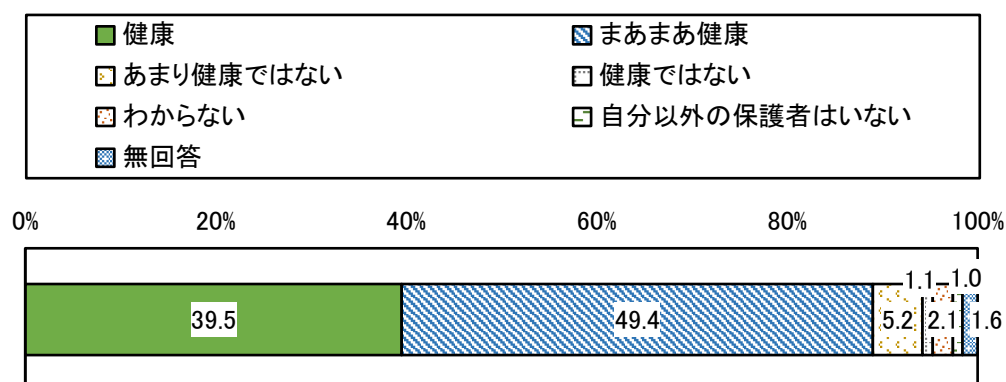


(12) 自身以外の健康状態

問 あなた以外の保護者は健康だと思いますか。【就学前：問38】

「健康」が39.5%で最も多く、次いで「まあまあ健康」が49.4%、「あまり健康ではない」が5.2%、「健康ではない」が1.1%、「わからない」が2.1%となっています。

(n=884)



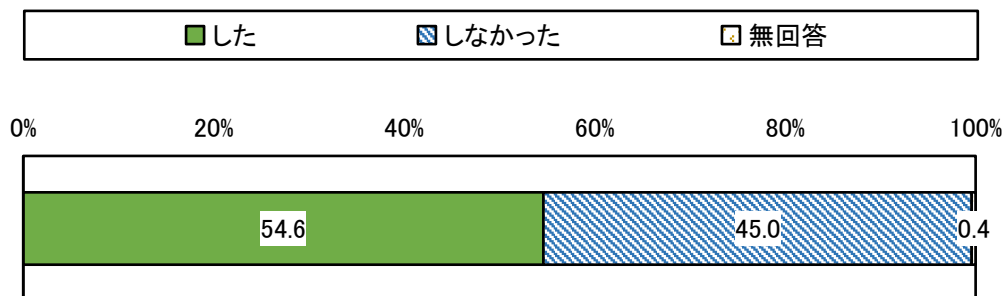
1.5 妊娠・出産について（就学前児童のみ）

（1）里帰りの有無

問 妊娠・出産の時期に里帰りをしましたか。【就学前：問39】

「した」が54.6%、「しなかった」が45.0%となっています。

(n=240)



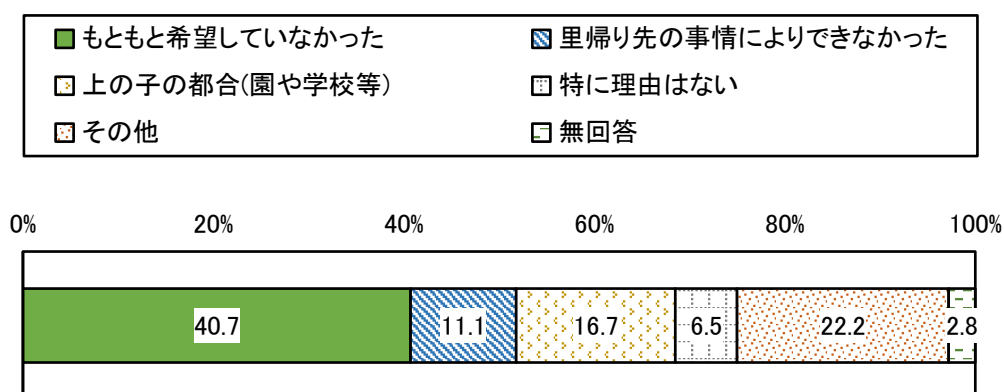
（2）里帰りをしなかった理由

問39で「2. しなかった」を選んだ方にお尋ねします。

問 里帰りをしなかった理由は何ですか。【就学前：問39-1】

「もともと希望していなかった」が40.7%、「里帰り先の事情によりできなかった」が11.1%、「上の子の都合(園や学校等)」が16.7%、「特に理由はない」が6.5%となっています。

(n=108)

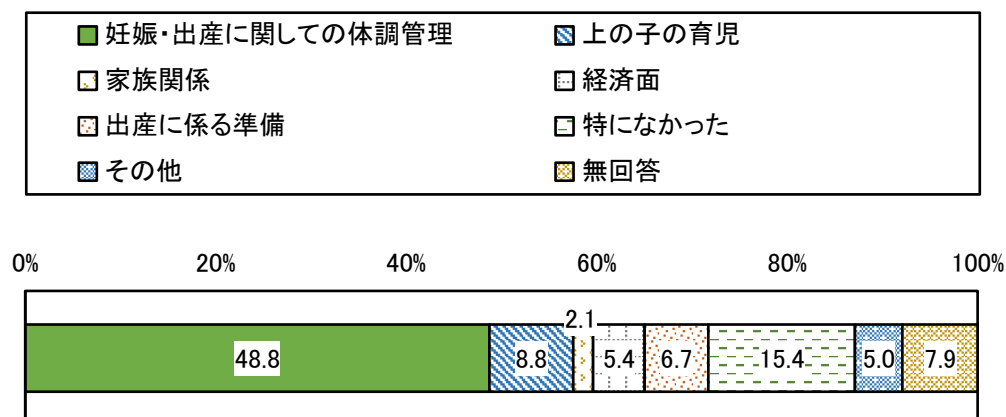


(3) 妊娠・出産期の困りごと

問 妊娠・出産の時期に一番困ったことは何でしたか。【就学前：問40】

「妊娠・出産に関しての体調管理」が48.8%で最も多く、次いで「上の子の育児」が8.8%、「家族関係」が2.1%、「経済面」が5.4%、「出産に係る準備」が6.7%となっています。また、「特になかった」が15.4%となっています。

(n=240)

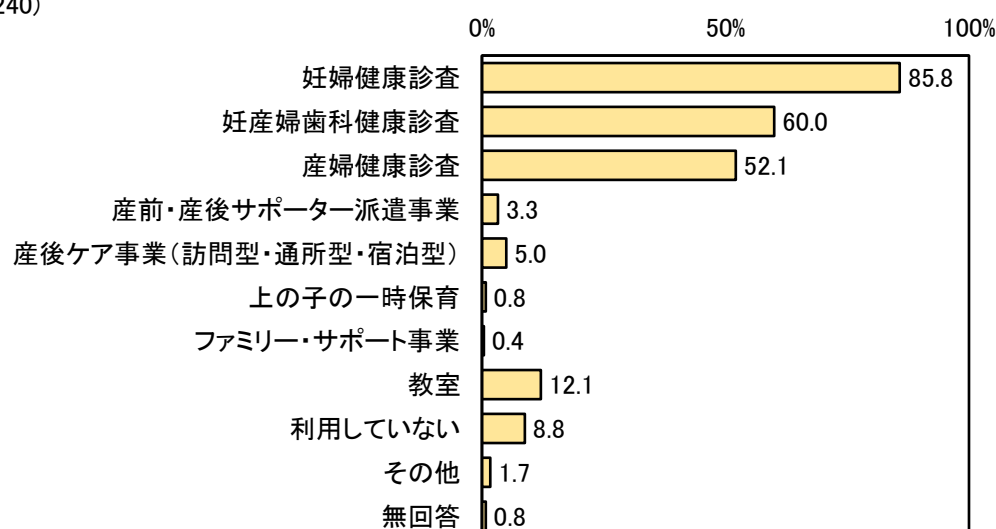


(4) 妊娠・出産期に利用した支援

問 妊娠・出産の時期に実際に利用した支援は何でしたか。【就学前：問41】

「妊婦健康診査」が85.8%で最も多く、次いで「妊産婦歯科健康診査」が60.0%、「産婦健康診査」が52.1%、「教室」が12.1%、「産後ケア事業（訪問型・通所型・宿泊型）」が5.0%などとなっています。

(n=240)



(5) 妊娠・出産期にあったらよかった、利用すればよかった支援

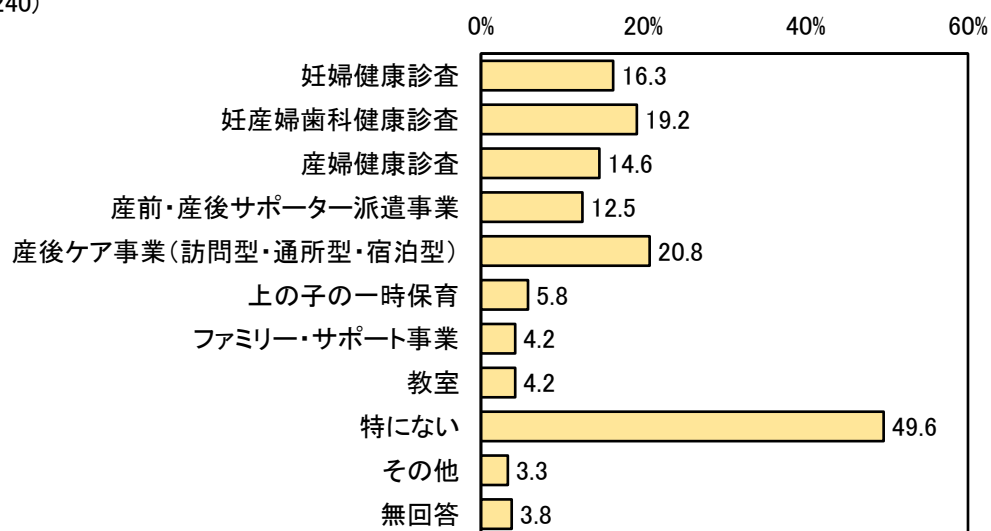
問 妊娠・出産の時期にあったらよかった、利用すればよかった支援は何でしたか。

【就学前：問42】

「産後ケア事業（訪問型・通所型・宿泊型）」が20.8%で最も多く、次いで「妊産婦歯科健康診査」が19.2%、「妊婦健康診査」が16.3%、「産婦健康診査」が14.6%、「産前・産後サポーター派遣事業」が12.5%などとなっています。

また、「特にない」が49.6%となっています。

(n=240)

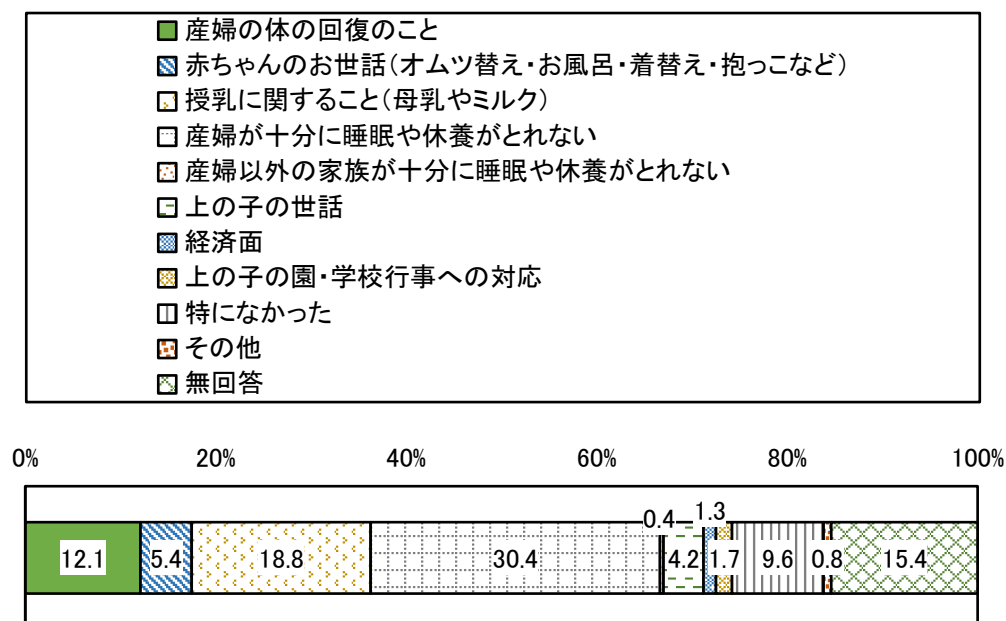


(6) 産院退院後から産後2か月までの時期に一番困ったこと

問 産院退院後から産後2か月までの時期に一番困ったことは何でしたか。【就学前：問43】

「産婦が十分に睡眠や休養がとれない」が30.4%で最も多く、次いで「授乳に関すること（母乳やミルク）」が18.8%、「産婦の体の回復のこと」が12.1%、「赤ちゃんのお世話（オムツ替え・お風呂・着替え・抱っこなど）」が5.4%、「上の子の世話」が4.2%などとなっています。

(n=240)



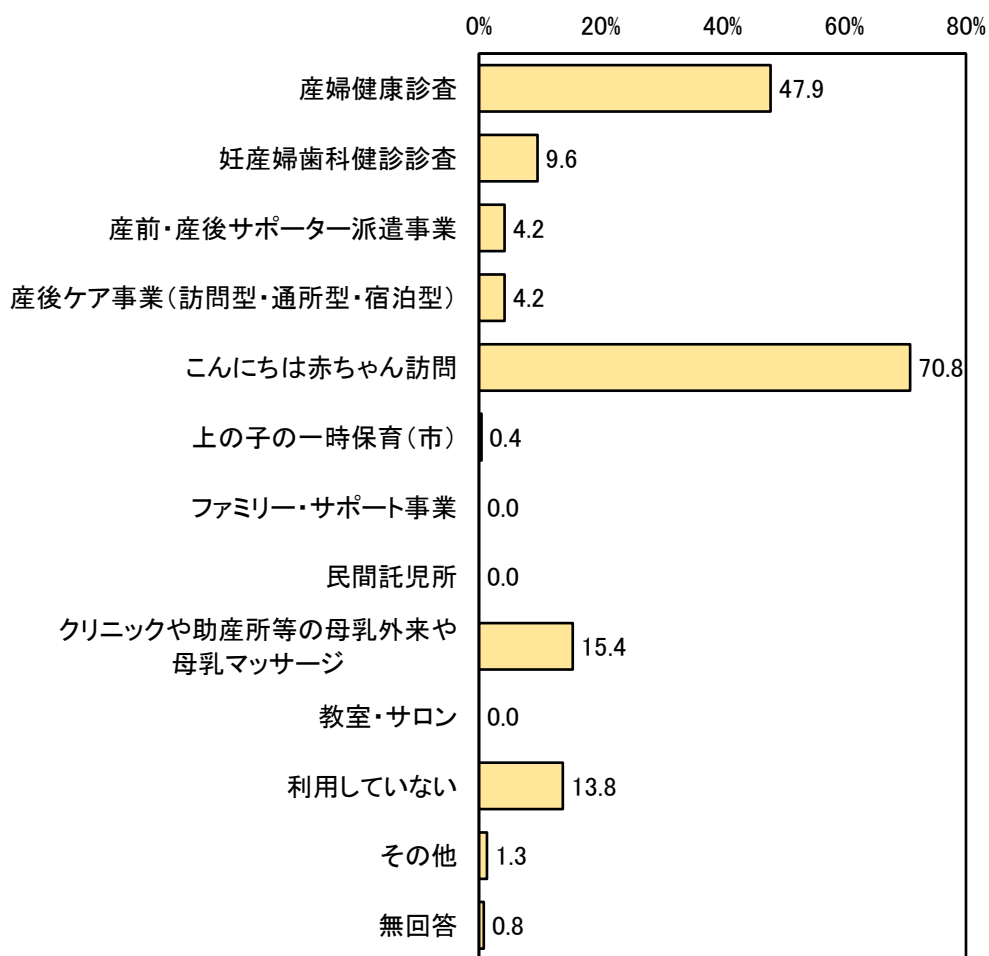
(7) 産院退院後から産後2か月までの時期に実際に利用した支援

問 産院退院後から産後2か月までの時期に実際に利用した支援は何でしたか。【就学前：問44】

「こんにちは赤ちゃん訪問」が70.8%で最も多く、次いで「産婦健康診査」が47.9%、「クリニックや助産所等の母乳外来や母乳マッサージ」が15.4%、「妊産婦歯科健診診査」が9.6%、「産前・産後サポーター派遣事業」と「産後ケア事業（訪問型・通所型・宿泊型）」がともに4.2%となっています。

また、「利用していない」が13.8%となっています。

(n=240)



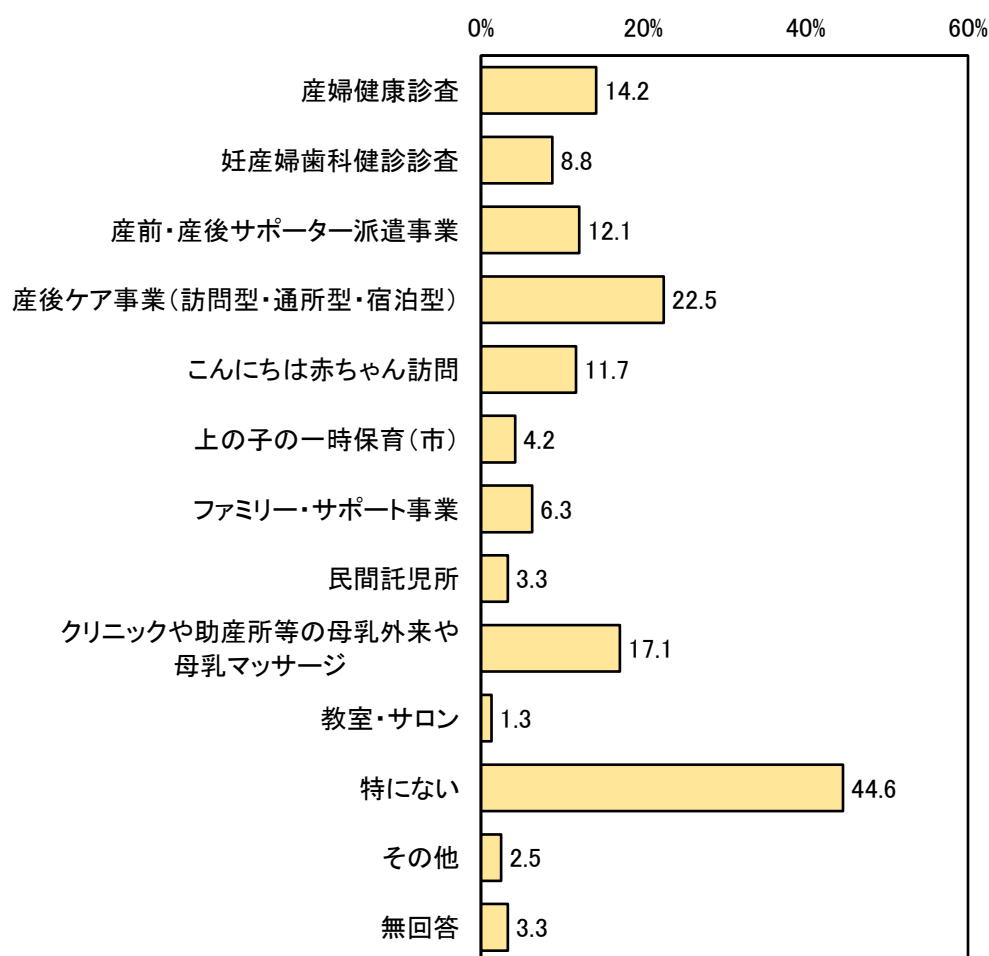
(8) 産院退院後から産後2か月までの時期にあったらよかった、利用すればよかった支援

問 産院退院後から産後2か月までの時期にあったらよかった、利用すればよかった支援は何でしたか。【就学前：問45】

「産後ケア事業（訪問型・通所型・宿泊型）」が22.5%で最も多く、次いで「クリニックや助産所等の母乳外来や母乳マッサージ」が17.1%、「産婦健康診査」が14.2%、「産前・産後サポーター派遣事業」が12.1%、「こんにちは赤ちゃん訪問」が11.7%などとなっています。

また、「特にない」が44.6%となっています。

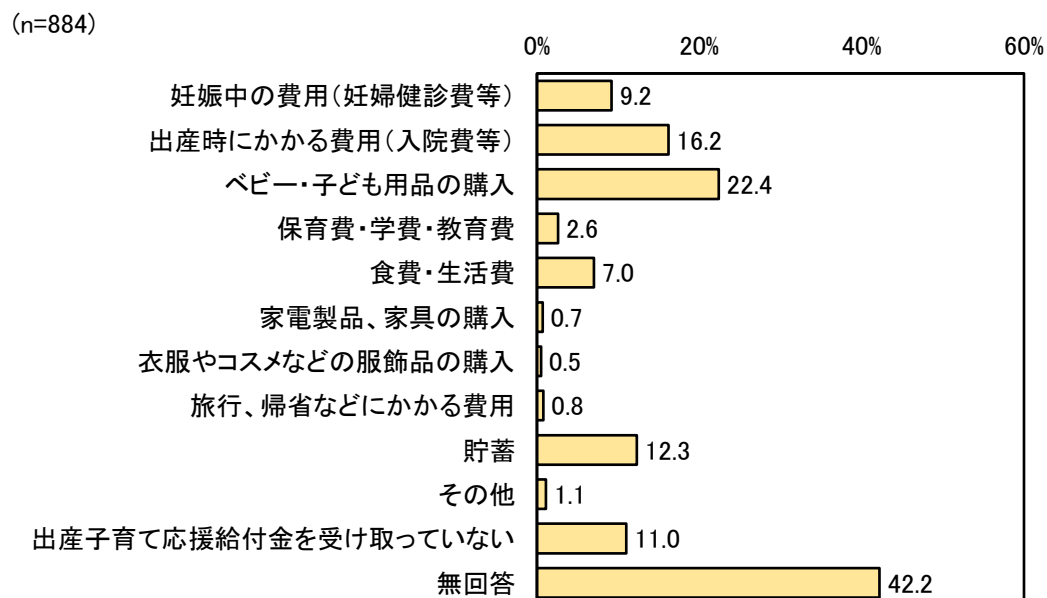
(n=240)



(9) 出産子育て応援給付金の用途

問 出産子育て応援給付金は何に使いましたか。【就学前：問46】

「ベビー・子ども用品の購入」が22.4%で最も多く、次いで「出産時にかかる費用（入院費等）」が16.2%、「貯蓄」が12.3%、「妊娠中の費用（妊婦健診費等）」が9.2%、「食費・生活費」が7.0%となっています。



1.6 子育て全般について

(1) 両親の子育てへの関わり

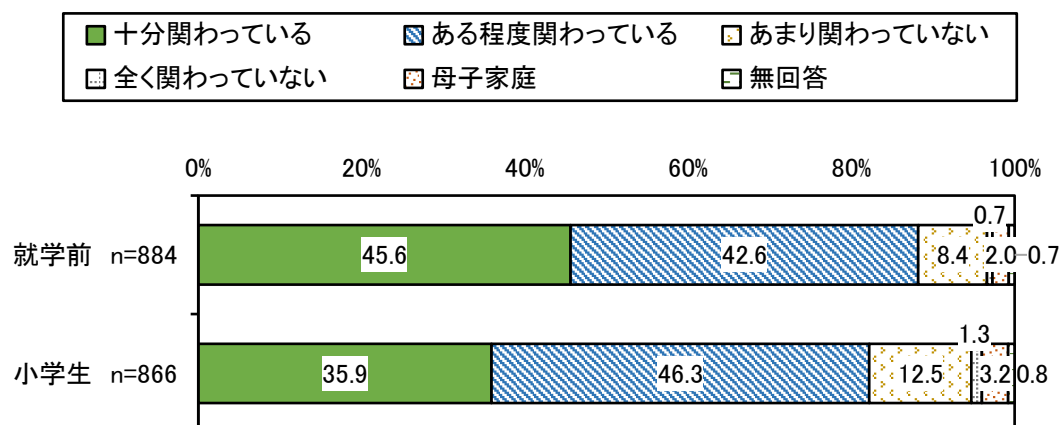
問 封筒のあて名のお子さんのご両親は、子育てにどの程度関わっていますか。

【就学前：問47、小学生：問29】

父親の子育てへのかかわりについて、就学前では、「十分関わっている」が45.6%、「ある程度関わっている」が42.6%、「あまり関わっていない」が8.4%、「全く関わっていない」が0.7%となっています。

小学生では、「十分関わっている」が35.9%、「ある程度関わっている」が46.3%、「あまり関わっていない」が12.5%、「全く関わっていない」が1.3%となっています。

【父親】



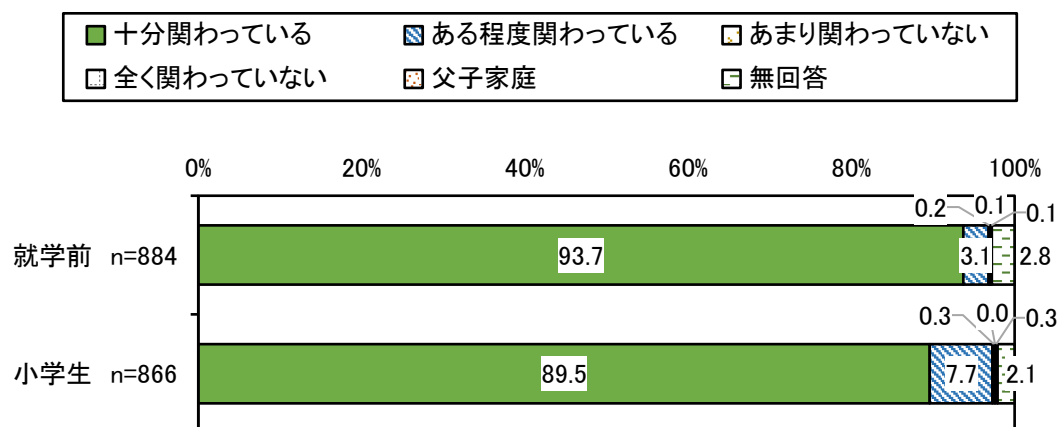
第2章 調査結果

母親の子育てへのかかわりについて、就学前では、「十分関わっている」が93.7%で最も多く、次いで「ある程度関わっている」が3.1%、「あまり関わっていない」が0.2%、「全く関わっていない」が0.1%となっています。

小学生では、「十分関わっている」が89.5%で最も多く、次いで「ある程度関わっている」が7.7%、「あまり関わっていない」が0.3%、「全く関わっていない」が0.0%となっています。

【母親】

(n=884)



(2) 育児休暇の取得の有無

問 封筒のあて名のお子さんが生まれてから今までに育児休暇を取得しましたか。

【就学前：問48、小学生：問30】

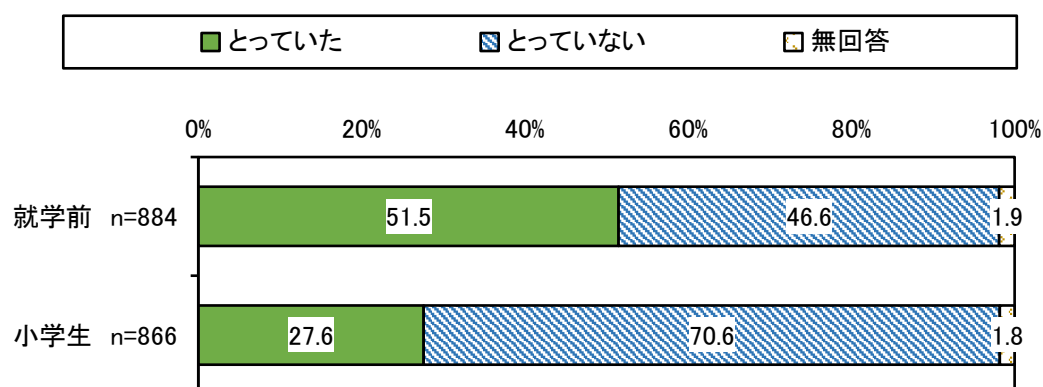
「自分」の育児休暇の取得について、就学前では、「とっていた」が51.5%、「とっていない」が46.6%となっています。

小学生では、「とっていた」が27.6%、「とっていない」が70.6%となっています。

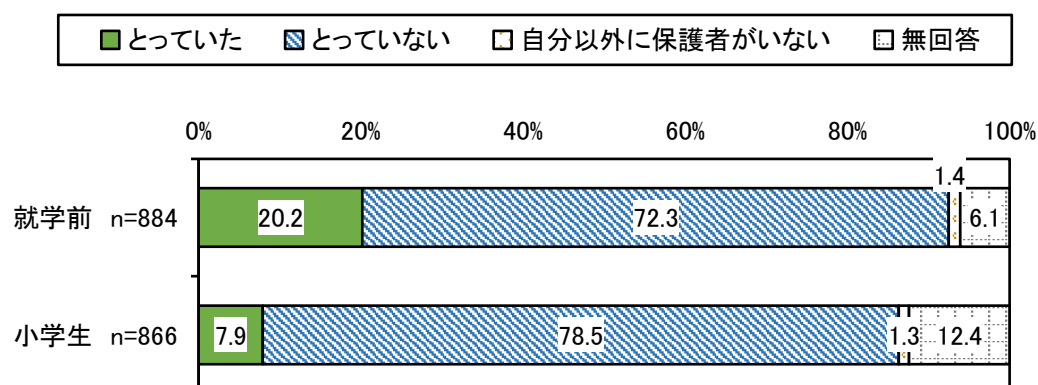
「自分以外」の育児休暇の取得について、就学前では、「とっていた」が20.2%、「とっていない」が72.3%となっています。

小学生では、「とっていた」が7.9%、「とっていない」が78.5%となっています。

【自分】



【自分以外】



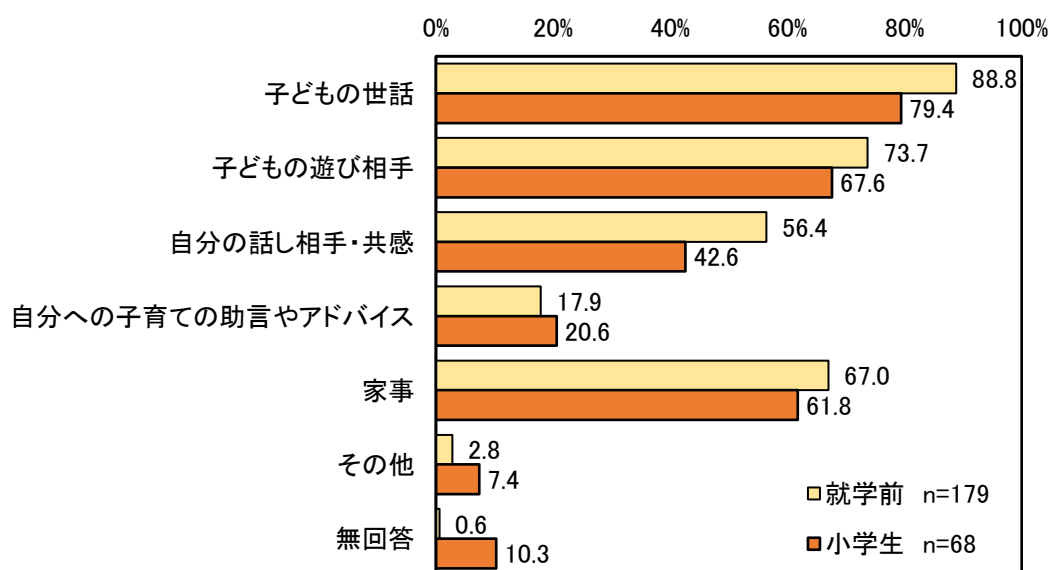
(3) 自分以外の保護者がした支援

問 自分以外の保護者が育児休暇をとった時、自分以外の保護者が休暇中にした支援は何ですか。

【就学前：問48-1、小学生：問30-1】

就学前では、「子どもの世話」が88.8%で最も多く、次いで「子どもの遊び相手」が73.7%、「家事」が67.0%、「自分の話し相手・共感」が56.4%、「自分への子育ての助言やアドバイス」が17.9%などとなっています。

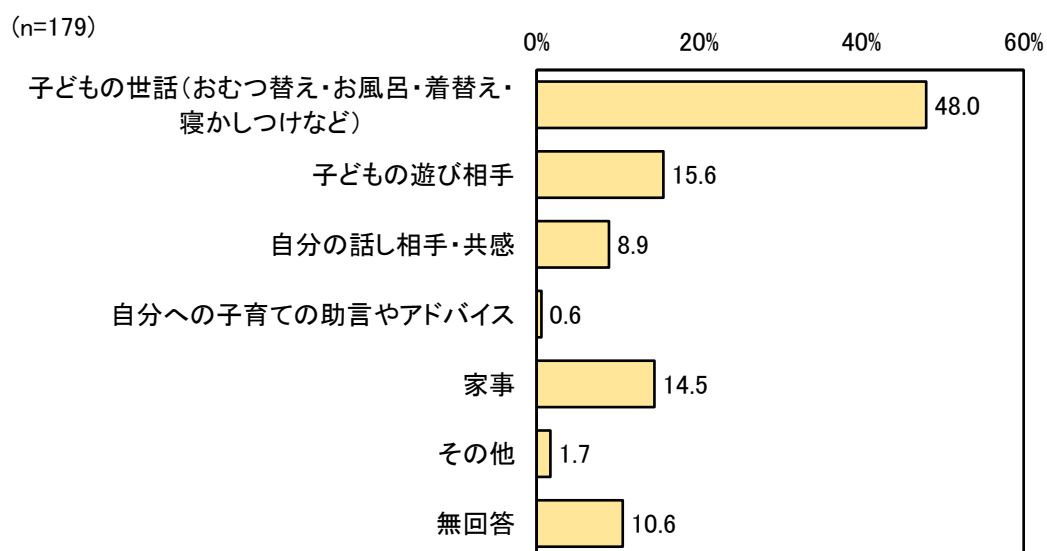
小学生では、「子どもの世話」が79.4%で最も多く、次いで「子どもの遊び相手」が67.6%、「家事」が61.8%、「自分の話し相手・共感」が42.6%、「自分への子育ての助言やアドバイス」が20.6%などとなっています。



(4) 自分以外の保護者に求める支援（就学前）

問 自分以外の保護者に求める1番の支援は何ですか。【就学前：問4 8－2】

「子どもの世話（おむつ替え・お風呂・着替え・寝かしつけなど）」が48.0%で最も多く、次いで「子どもの遊び相手」が15.6%、「家事」が14.5%、「自分の話し相手・共感」が8.9%、「自分への子育ての助言やアドバイス」が0.6%などとなっています。



第3章 自由記述

自由記述欄について、就学前児童保護者529名、小学生保護者123名の方から回答いただきました。回答については、以下のとおりです。

(1) 就学前児童保護者

ア 「保育園」に関する回答

分野	回答数
育休退園制度の廃止	41
保育園の運営	23
保育園の入所要件等	20
保育園の整備	12
保育料	9
病児保育	8
一時保育	7

主な意見

育休退園制度の廃止
育休退園制度を廃止してほしい。生まれたばかりの子と上の子を家でみるのは難しい。上の子は保育園での楽しさや遊び方を知っているがゆえに思う存分遊べないことで、親は遊んであげられないことで大きなストレスを感じる。
育休退園制度を早急に廃止し、子育てしやすい環境を整えて欲しい。1年程で職場復帰するが、児が育休退園前と同じ保育所に入れる保証がなく、親子とも精神的な負担が大きい。周囲には育休退園を避けるため、あえて4歳差で第二子を検討している家庭も多い。近隣の市と比較して対策が遅れていると感じる。
保育園の運営
先生方の負荷軽減と園児たちの安全のため、年小以上のクラスにも1クラスに保育士を2人以上にしてほしい。トイレや着替え、トラブル対応など、1人の保育士では園児を見れないと思う。
保育園や児童クラブの受け入れ時間を長くしてほしい。勤務地が遠いことで勤務時間が短くなり、児が大きくなるにつれて正社員で働き続けることが難しくなる。
お盆や年末年始の保育所利用についてアンケートがあり、必要な場合は仕事のシフト表を提出する。他に同様の人もいたため、職場の担当者から微妙な顔をされた。結局、休むことはできたが、担当から「長久手市は厳しいね」と言われた。

保育園の入所要件等
出生月がいつであっても保育園に入りやすい環境を整えてほしい。職場復帰できないのは、本当に困る。
ただでさえ家事や仕事で貴重な時間が、姉妹が同じ園に入れないことで、更に削られる。1月に転園が決まったが、慣らしで仕事も休まなければならない。児が園の先生に心を許すまで、また時間がかかるなどと考えただけで色々と不安。
専門職でパート、アルバイトで週1、2回の勤務など、どのような勤務形態であっても、利用しやすい保育園の整備をしてほしい。

保育園の整備
東小学校区で、保育園の数が圧倒的に足りていない。両親ともに働いていても、保育園に入れない状況が続いている。急激に子育て世代が転入したことが理由だと思うが、住宅が増えている地域での保育園増設をお願いしたい。
近所の保育園に入所できなくてとても困っています。保育園、および募集枠の増枠をお願いいたします。

保育料
0～3才までの保育料が高すぎる。兄弟がいるが、年齢が離れていると保育料の減額がないことが納得できない。
第二子の保育料を無料にしてほしい。

病児保育
保育園児の兄妹が病気になり、看護休暇を6か月で消化し、有給を25日以上使って看病した。それでも足りず、夫にも休んでもらうこともあった。病児保育は3回ほど利用したが、利用枠が少なく頼れないので、病児保育の充実をお願いしたい。又は、ベビーシッター等利用した際の補助をお願いしたい。
病児保育は利用しやすく、金額も高くないのでとても助かっている。時間に関係なく、LINEで予約がとれるのもすごくありがたい。
病児保育の枠の空きが少なく、利用できないことが多い。もう少し充実させてほしい。
病児保育の利用は急に必要になるが、その時に枠がない。預かる条件で受診することがあるなど利用に関してハードルが高い。実際には利用不可能なので、利用要件を緩和したり、受け入れ人数を増やすなどしてほしい。

一時保育
一時保育を利用できる条件を緩くしてほしい。
一時利用できる保育施設が充分でない。実際利用できないことが多い。

イ 「幼稚園」に関する回答

分野	回答数
幼稚園の預かり	10
幼稚園の整備	3

主な意見

幼稚園の預かり	
児が幼稚園に通っていて、夏休みなどの長期休み時に、園で預かり保育を行ってない日に仕事が入った場合、1、2日なら有休でなんとかなるが、それ以上の時はどうしたら良いかわからない。	
幼稚園の先生にはよくしてもらっているが、通常時の預かり時間がもう少し長ければ、もう少し長く働けるのと思う。	
幼稚園の長期休暇中の預かり保育を充実させてほしい。夏休みや冬休みは気候的に公園にでかけることも難しいが、幼稚園児を一日中家の中で見るのは不可能。幼稚園に通わせながらパートをしている人は預け先探しに奔走するが、パート代よりもシッター代が上回る。幼稚園に児を通わせている母親は疲弊している。	
幼稚園に入る説明会等で長期休み中の預かり保育の実施日数などの説明がなく、利用したくてもできない状況である。児を幼稚園に通わせながらパート等でも働けるようなサポートがあればありがたい。	
幼稚園の整備	
長久手市には、公立幼稚園がないので、児は名東区の公立幼稚園に通っている。長久手にも公立幼稚園、又は公立こども園があればと思う。転勤族だが、公立がないことに驚いた。	
長久手市内に幼稚園を充実させて欲しい。	

ウ 「市の事業・施設」に関する回答

分野	回答数
経済的な支援等	64
公園	21
公共交通・Nバス	13
ことりルーム「ぴっぴ」（子ども預かり施設）	13
児童館	12
交通安全・道路	11
子育て支援センター	10
新たな施設整備	10
相談体制	9
子育て関連情報発信	8

主な意見

経済的な支援等
子ども手当の充実、習いごと費用、小学生給食費無料など金銭的な支援が必要。金銭的な余裕が心の余裕につながるケースもあると思う。
父母が共に就労し、かつ父母共に不定休の職業に就いていると小一の壁が高く、不安。フルタイムで働いていると習い事をさせることも難しい。下校後に学童保育だけではなく放課後預かりサービスで預かってもらっている。英会話やプログラミング等受けさせてあげたいが、費用が高く気軽に毎日は利用できない。少しでも補助金制度があればありがたい。
国の施策にとらわれず、市独自で第三子以降への補助など、子育て支援をお願いしたい。
経済的に苦しいと、子育てもゆとりが持てない。全ての家庭に行き渡るような給付金などの支援があると助かる。
長い目で見た支援も大切だが、今すぐの支援があると嬉しい。例えば、未就園児はおむつ代又はおむつ現品を支給。援助があると助かる。
母子家庭でフルタイム勤務をしている。業務上、出張が多く、日帰りだとしんどい。泊まりの預かり支援があれば利用したい。 必死に働いた結果、年収制限によりひとり親手当等がうけられない状態だが、働くのを辞めて、手当や給付金をうける方法もあると思いはじめた。多少貧しくても子供と一緒に居る時間も長くなるし、働かなくて良いならそうしたい。せめて、働くママの支援を収入制限なしで拡充してもらえともっとのびのびと仕事も育児もがんばれる。

公園
市内の公園のトイレを新しくしてほしい。できれば子供用があると子ども1人でもトイレができるようになる。
長久手は各地域に大小様々な公園があり、管理されているので、子どもと色々な公園に行けるのはとてもいい。
共生ステーションや児童館の長期休みや午後などの利用は、小学生が多くなるので乳児が遊べる場所が少なくなる。公園の整備も引き続きよろしくお願いしたい。
遊具が充実している大きな公園が少ない。他の市町村（特に三河）は魅力的なところが多い。平均年齢が最も低い若い町なら、もっと遊ぶところがあっても良い。
児の年齢の関係なく遊べる場所がほしい。外あそび（プレーパーク）をまちわびている。

公共交通・Nバス
長久手市は公園も多くリニモに乗ってモリコロもいける。とても児を育てやすい環境である。ボランティアの方の交通安全活動にも助かっている。
Nバスは時々利用しており、助かっている。時間、本数（特に藤が丘駅行き）が増えてくると助かるかなと、思う。大阪には、市が運営し、事前に利用者が行き先、乗車場所を指定して、どこでも300円で乗れるものオンデマンドバスがあり、とても便利だった。私は車を運転できないため、幼児2人連れて駅前に行くのも大変、長久手市もこのようなサービスがあるといいなと思う。
Nバスの乗車無料があることにより、児童館に行ったり、お祭りへ行ったり、市内のショッピングに行く機会が多く、子供も楽しんでいたので、ぜひ続けてほしい。

ことりルーム「ぴっぴ」（子ども預かり施設）
ことりルーム「ぴっぴ」は、お弁当の持ち込みをOKにして、お昼の休憩なく預かって欲しい。職員の方も優しく安心して預けられる場所なので、とても有り難く利用している。
ことりルーム「ぴっぴ」をかなり活用し、とても助かった。現在は幼稚園に通園した事もあり、利用する事がなくなったが、今後下の子や転居準備などの預け先として利用したい。可能であれば、利用時間を延長して長く頂けられたらと思う。放課後デイや療育施設がもう少し増えてもらえれば、キャンセル待ちなどの待機も少なくなるかと思う。
ぴことりルーム「ぴっぴ」の1日利用を検討して欲しい。

児童館
児童館のスケジュールをHPから見られるようにしてほしい。幼児のじかん以外の児童館でのイベントは児童館に行くと紙をもらわないとわからない。手間だとは思いますが、月に1回の事なので、どうかしてほしい。HPでも確認できるようになったら、広報誌や児童館だより等に言載してほしい。
児童館で飲食できるスペースがあると良い。
北児童館の質がとてもよく、利用している。

交通安全・道路
道がガタガタでベビーカーを押しにくい所が多い。Nバスにベビーカーのまま乗りにくい雰囲気なので、抱っこひもをしてベビーカーを担いで乗るが、朝は特に人が多く、迷惑かけてしまいそうで必要最低限しか乗れない。もっと気軽に乗りたいと思う。
登園、降園時の交通安全環境を見直して欲しい。園の周りは交通量が多く、危険を感じながら登園している。降園時は、暗いのに十分な街灯もない。園の出入口から駐車場の間だけでも、ガードレール、カーブミラーや道路に登園ルートと分かるよう標識を設置する等、小さな子どもの安全を考えて欲しい。 幼児は、交通ルールを完全に理解できず、親も布団等の大荷物で手が塞がってしまうと、児が飛び出してしまい、怖い思いをしたことがあった。
通学路が、狭い歩道のない道で危険に感じる。 歩道のある道を通った方がいいと思う。
子育て支援センター
子育て支援事業は、育休中によく利用した。支援センターや児童館の方々にもいろいろと声をかけていただき、嬉しかったのを覚えている。
子育て支援センターへ一度見学へ行った時、施設が古いと感じた。トイレ、授乳室など整っているとは言えないので、子供のためには行った方が遊べるんだろうと思うが、なかなか行きたいとは思えない。
未就園児は、子育て支援センターなどの行事に参加したいと思っても参加できる枠が少なく、すぐにうまるので参加できなかった。回数を増やすなどして参加人数が増えるといいと思う。
名古屋では各保育園に子育て支援センターが併設されており、そこにはスタッフがいつもいて、子どもを見てくれたり話し相手になってくれたりするそうである。私自身長久手の子育て支援センターはよく利用しているが、他に利用者がいない場合や他の利用者同士で仲良くされている場合などは少し寂しい。スタッフが遊ぶ部屋に常駐して声をかけたり一緒に遊んでくれれば、もっと利用したくなる人が増えると思う。
子育て支援センターだけでなく、ハイハイ期やヨチヨチ歩きの赤ちゃんから安全に遊べるような無料の室内施設がたくさんあるとうれしい。

新たな施設整備

引っ越してきたが、保育園や発達支援等で大変お世話になっている。子育ては思っていたよりも何倍も大変で、市役所や保健センター、こどもの発達相談室などいろいろな所で助けをいただき感謝している。

気になっていることをは、長久手は公園、児童館が多いが、小学生がいるとボールがすごい早さでとんできたり、集まってこっちをみてきたり、お互いに遊び方に少し気をつかう時がある。例えば、春日井のぐりんぐりん、一宮のこどもっちぱーくのような室内で遊べる（無料だとうれしい）所ができると嬉しい。遊ぶ場所の選択肢がふえるとありがたい。

相談体制

電話訪問など定期的にあると良いと思った。何か困っているわけではないが、1日中赤ちゃんを2人だと、大人と話したいなと思うこともあったし、具体的に「～大丈夫か？」とかきいてもらえると、気づけることもあると思う。

こどもが4才になると、定期的な健診等がないので、気軽に子育てについて相談できない。自分から電話するほどではないけれど、少し聞いてみたいことなどがあったりするので、小学校入学前くらいまでは、健診のようなかたちで、相談できる機会があると嬉しい。

子育て関連情報発信

乳児でも通える場所、行事など分かりやすくまとめたもの（用紙等）を月ごとに送ってくれれば分かりやすく、夫婦で共有しやすい。

長久手市は、自治会などに入っていないと親子イベントや共生ステーションの子育て支援を知る手段が無いに等しい。昨今において、共働きの場合自治会に入ると負担が大きく、デメリットの方が多いので入らない家族が多いと思う。イベントの告知などは回覧板などではなく、もっと別の方法での告知を考えてみてはどうか。市役所のホームページも知りたい情報までの階層が深く調べにくいので、もっとわかりやすくしてほしい。

アンケートを通して一時預かりや土日預かり制度があることなどを知った。自分自身で市のサポート情報を取りに行く必要があると感じたが、どこで情報を得られるのかも分からない。通っている園を通してサポート制度を教えていただけたら助かる。

エ 「小学校・放課後の過ごし方」に関する回答

分野	回答数
児童クラブ	38
学童	9
部活	5

主な意見

児童クラブ
放課後児童クラブを学びもできるようにするなど、もう少し充実するといいなと思う。
児童クラブを母親が働いていない場合も利用出来たらうれしい。
来年度から夏休み等の長期休暇のあずかりが可能となり選択肢が増えとてもありがたい。就労以外でも保護者の通院・兄弟の行事等イレギュラーな用事でもあずけられる名古屋市のトワイライトのような支援があると助かる。
小学生の児童クラブの受け入れ時間を 19 時まで延長してほしい。保育園は 19 時までなのに児童クラブは 18 時までで困る。

学童
現在、上の子が学童を利用しており、来年度はながくてひろばを希望したが、学童とながくてひろばで金銭面で親の負担の差が大きいと思う。
学童は市からの補助金だけでなく、役員会や係の仕事など親が休日や仕事の合間に行う業務を、一部、市を通じて業者に委託するなどにはできないか。
放課後児童クラブの拡充を予定しているようだが、学童との住み分けが曖昧であると感じている。それぞれのメリットデメリットをもっと分かりやすくしていただき、かつ利用しやすいものにして欲しい。違いを書き連ねられてもよく分からないので、一步踏み込んだ資料が欲しい。(どんな家庭ならこっちがオススメとか例があると分かりやすい。)

部活
市内の小中学校の部活がなくなってしまうととても残念。教員の方の負担軽減は賛成なので、外部の講師など存続してほしい。金銭的、時間的に通うことはムリだけど部活なら！とスポーツや音楽への入り口になっていると思う。金管バンドの楽器など使われずに余ったものに対し、管理費がかかるくらいなら、市民バンドをつくるなどしてもいいのではと思う。

部活
小学校と中学校での部活が突然なくなり、困っている親や子供が多い。部活動を通じて、子供が成長していくので大切だと思う。授業後に部活があると、働いている親の負担がなく安心できる。外部に貸して、バスケットボール、サッカーなどできるようにする助かる。中学校にどのような部活があるのか分からないが、同じような部活があると子供達は授業後も友達と一緒に部活動ができるのでよいと思う。

オ その他の回答

分野	回答数
社会の意識改革	16

主な意見

社会の意識改革
男性の育休は中小企業だと大企業以上に取得が難しい。法律レベルで『必ず両親ともに最低〇〇週（もしくはヶ月）取得すること』と決めていないと取得は難しいと思う。
地域の保育環境が整っていても、自分の職場の制度が寛容にならない限り結局時間も取れないし利用ができない。
母親がフルタイム勤務と子育てを両立させるには多くの弊害があり、市政の働きかけや保育環境の整備だけではなく、企業や社会の意識変化が必要だと痛感している。もっと働きたいが、今は無理だと感じている。
家族が経営している会社で働いた場合、育児休暇がないので、地域でそのサポートがあったらうれしい。

(2) 小学生保護者

分野	回答数
経済的な支援	19
部活	13
児童クラブ	11
学童	4
遊び場	4
子どもの医療費	4
教育環境	4
預り先	4

主な意見

経済的な支援
学校にかかる費用がかかりすぎる。ノート、テスト、教材…多すぎる。ムダもたくさんある。彫刻刀なんてなんで買わないといけないのか？毎日使う物じゃないし使う頻度も少ないのだから学校で用意すればいいのでは？
高校授業料無償化の所得制限の見直しや給食制度の導入を進めて欲しい。
各種の子育て支援は所得制限を完全撤廃し、親の収入によらずに全ての子供が平等に支援を受けられるようにして欲しい。
積極的な経済支援が必要。時間的にも経済的にもゆとりはない
公立でも給食、教材、修学旅行、制服、用品とけっこう出費が嵩む。学校関連以外でも衣食住、友達関係、習い事など、避けられない出費は多いので、せめて、学校費は制服等も含めて無料で用意してもらえると助かる。長期休みなど特に、居場所が必要。長小学区は施設やトワイライトなど省かれている感じがある。教育は学校法人じゃないところも含めて同等のものに関しては補助してもらえると助かる。

部活
小中学校での部活動をやってほしい。外部委託等でも良いし、有料でも良い。授業が終わってから学校内ですぐ部活ができると良い。
小学校の部活がなくなったことが、とても残念。学校で運動を十分にしてくれたら、健康的な生活ができる。現在の5年生は何とか部活はあるが、日数も少なく、時間も短いのでやる気が起きない。名古屋市の小学校では、外部に委託して運動をさせるようにしていると聞く。取り入れて欲しい。習い事でスポーツをさせるのは経済的にも、試合や練習に週末朝から付き合ったりと負担が大きすぎる。部活がちょうどいい。
部活がなくなってしまったことが残念。今はキャリア教室が学校で開催されており、それに参加しているが、有料でも良いので部活が復活すると嬉しい。

部活
小・中学校の部活をぜひ復活させてほしい。学校の延長で音楽や美術・スポーツ等に触れる機会がなくなるのは、子供にとって大きな機会の損失である。学校外での参加となると親子ともに金銭的・時間的にきつくなり、チャレンジすることが出来なくなる。特に芸術系は受け皿もなく、本当に残念と思う。先生方の負担はぜひ減らしてほしいので、そのうえでの部活継続をぜひお願いする。
小・中学校の部活動を外部委託（有料）でもいいので、今後も継続してやって欲しい。

児童クラブ
名古屋市のトワイライトのように好きな時に連れて行き、子供を朝から夕方まで預かってくれる施設を作ってほしい。現状の放課後子供教室は、決まった曜日しか行けなかったり、長期休暇中は午後からしか預けられなかったりと、学童に預けられないけれど働いているママさん達へのサポートが不十分だと感じる。
保育園は19時まで預かってくれたが、小学生になって、児童クラブは18時までなのがとても不思議だった。そのため、民間の学童に高い利用料を払って通うしかなかった。児童クラブに通える家庭と、民間学童を利用せざるを得ない家庭の利用料の差がとても不公平だと思っている。フルタイムで働く母親に優しくして欲しい。
児童クラブの往復を親のお迎えなしで集団下校など実施して欲しい。児童クラブで学校以外の勉強も持って行ってやらせて欲しい。
来年度から長期休暇のみ児童クラブを利用できるようになったのは、とてもありがたい。子供が共生ステーションをよく利用しているので、そういった施設が充実すると、高学年の子供を持つ親とした安心できる。
働き方について、フルタイムかパートだけではなく、フリーランスもあるかと思う。勤務日数や時間が、融通がきく部分があるかと思うが、そういった働き方の人にも子供を預けられる場所が、金銭的に負担なくなると助かる。幼稚園の延長保育のように、この日のこの時間だけ児童クラブを利用など、名古屋市のトワイライトのように利用できるものが市内のどの小学校でも整うことで、働きやすくなると感じる。

学童
学童保育所を民間運営にして父母の負担を軽くして欲しい。
学童保育所を廃止して児童クラブに一本化して欲しい。学童を素人の父母が運営するのは結構大変で負担になる。

遊び場
規制が多く、子供の遊び場が少ない。
体力・運動能力の低下あるいは二極化が進んでいるので、長久手市の自然を生かしたアスレチックみたいな遊びながら体力を向上できる施設があるといいと思う。地域のスポーツ施設はなかなか予約も取れないほど混み合い、スポーツをしようと呼びかけはあるものの、場所が無い。住む人が増えたとしても市内で遊んだり運動したりする場所がなければ、市外に出てやるしか無い。できれば市民が市内で活動できるようになると、もっと子育てしやすい、住みたい街になるのでは無いかと思う。あと、子ども達にあったらいいなと思う施設やお店を絵に描いてもらったり意見を出してもらったりするのも、大人からは出てこない新しい発見があると思う。
子どもの医療費
高校生までの医療費無料を早急をお願いしたい。同じ高校生でありながら、いろいろなところで格差を感じている。その中でも医療費はどうにもならない出費でありながら高額にもなるので、他の市町村がうらやましくなる。持病を抱えている子が高校生になってから本当に負担が大きくなった。ぜひ早急をお願いしたい。
高校生までの医療費補助をお願いしたい。小・中学校の部活はなくさないで、別の方法でやれるよう検討してほしい。
医療費助成は18歳まで通院も対象にしてほしい。私立高校の授業料無償化の所得制限枠を拡大してほしい。
教育環境
教育内容及び教員の質の向上。
学校での過ごし方やルールを窮屈に感じているよう。連帯責任は最悪なルールなのでやめてほしい。数値的成果を掲示する等の競争を促すものは、最大限の配慮がなければ子どもが傷つき、また「このように傷つけてよい」と教えていることになる。 病欠、学級閉鎖、不登校などで、学校を休んだ時にはタブレットで授業配信をしてはどうか。スクールカウンセラー相談がすぐに予約満杯になってしまい、なかなか利用できない。増やすことはできないか。学校の体制を見直す必要性を感じている。
預り先
学級閉鎖になると、本人が元気でも仕事を休まなくてはならないので、本人の体調に問題が無ければ預かってもらえる施設があると有り難い。
転入だったため、当初の学童等の申込みも出来ず（入るのは難しいと言われた。）、仕事をしたくても、子どもの預かり先がなく、短時間で仕事を探すことになった。使いたい時に使えるような仕組みがあると助かる。
小学生の預け先について、選択肢が少なく感じる。

資料編 調査票

就学前児童保護者

長久手市民のみなさまへ 子育てアンケート調査ご協力をお願い (就学前児童用)

日頃より、市政にご理解とご協力をたまわり、誠にありがとうございます。

この調査は、2025年度からの5年間を計画期間とする「第3期子ども・子育て支援事業計画」の策定に向け、子育て支援に関する各サービスについて、皆様の「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握し、子育て支援環境の充実を図るため、市内にお住まいの就学前のお子さんがいらっしゃるご家庭の中から、無作為に選んだ2,000人の保護者の方に、ご協力をお願いするものです。調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

なお、ご回答いただいた調査内容は、統計的に処理しますので、ご回答いただいた内容で個人が特定されることはありません。

2023年12月 長久手市長 佐藤 有美

【 記入にあたってのお願い 】

1. 封筒のあて名のお子さんについて、ご記入ください。
2. アンケートは、お子さんの保護者の方がご記入ください。
3. 選択肢がある場合には、番号を○印で囲んでください。
4. 数字（年齢や時間等）をお尋ねする質問では、枠内に具体的な数字をご記入ください。
また、時間については24時間制でご記入ください。
5. 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印や案内に従ってお答えください。
6. 保育サービスなどの子育て支援サービスについてお尋ねする質問がありますが、これらの質問は、あくまで今後の利用希望などを把握するための質問であり、実際のサービスの利用条件（例：保育所の入所要件など）をすべて示しているものではありません。実際のサービスの利用条件などについては、市担当課窓口にご相談ください。

■記入後は、同封の返送用封筒に入れて、**12月28日（木）まで**にポストへお入れください（切手は不要です）。

■アンケートは、インターネットでも回答できます。パソコン、スマートフォン又はタブレットのいずれかをを用いて、次のURL又は二次元バーコードからアクセスし、画面の案内に従って下記のID、パスワードを入力し、質問項目にお答えください。

(URL) <https://wsurvey.jp/s.php?clear=1&a=nagakute-171>



■この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

【お問合せ先】

〒480-1196 長久手市岩作城の内60番地1
長久手市 子ども部 子ども未来課
TEL: 0561-56-0616

ID: ●●●●●●●●
パスワード: ×××××××

お住まいの地域について

問1 お住まいの小学校区はどちらですか。【○は1 つだけ】 不明な場合は地名を記入してください。

1. 長久手小 2. 西小 3. 東小 4. 北小 5. 南小 6. 市が洞小

【不明な場合】長久手市（ ） 記入例：長久手市（岩作城の内）

封筒のあて名のお子さんをご家族の状況について

問2 封筒のあて名のお子さんについてお聞きします。

①封筒のあて名のお子さんの生年月をご記入ください。【数字で記入】

西暦 20 年 月 生まれ

②封筒のあて名のお子さんの性別をお答えください。【○は1つだけ】

1. 男 2. 女

③封筒のあて名のお子さんは第何子ですか。【○は1つだけ】

1. 第1子 2. 第2子 3. 第3子 4. 第4子 5. 第5子以降

問3 封筒のあて名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。封筒のあて名のお子さんを含めた人数をご記入ください。また、2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、一番下の方の生年月月をご記入ください。【数字で記入】

きょうだい数： 人 西暦 20 年 月 生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。封筒のあて名のお子さんからみた関係でお答えください。

【○は1つだけ】

1. 母親 2. 父親 3. その他（ ）

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。【○は1つだけ】

1. 配偶者がいる 2. 配偶者はいない

問6 封筒のあて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。【○は1つだけ】

1. 父母ともに
2. 主に母親
3. 主に父親
4. 主に祖父母
5. その他 ()

問7 お子さんと生計を共にしている方全員の収入を合わせたおおよそ「世帯の総収入（年間のボーナス含む手取り額）」を教えてください。【〇は1つだけ】

1. 0円	6. 300～400万円未満	11. 800～900万円未満
2. 1～50万円未満	7. 400～500万円未満	12. 900～1,000万円未満
3. 50～100万円未満	8. 500～600万円未満	13. 1,000万円以上
4. 100～200万円未満	9. 600～700万円未満	14. 不明
5. 200～300万円未満	10. 700～800万円未満	

子どもをめぐる環境について

問8 日頃、封筒のあて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。【〇はあてはまるものすべて】

- | | |
|-------------------------------------|----------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる | } ⇒問8-2へ |
| 2. 緊急時若しくは、用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる | |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | |
| 4. 緊急時若しくは、用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる | |
| 5. いずれもない | |

問8-1は、問8で「1.」または「2.」を選んだ方にお尋ねします。

問8-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

【〇はあてはまるものすべて】

- | |
|---|
| 1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |
| 2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である |
| 3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある |
| 6. その他 () |

問8-2は、問8で「3.」または「4.」を選んだ方にお尋ねします。

問8-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

【〇はあてはまるものすべて】

- | |
|---|
| 1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |
| 2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である |
| 3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある |
| 6. その他 () |

保護者の働いている状況について

問9 母親の働いている状況（自営業、家族従事者含む）をお尋ねします。

（父子家庭の場合は記入は不要です）【○は1つだけ】

- | | |
|--|---------------------------|
| 1. フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）で働いており、産休・育休・介護休業中ではない | } ⇒ 4頁 問10、5頁 問12へ |
| 2. フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）で働いているが、産休・育休・介護休業中である | |
| 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で働いており、産休・育休・介護休業中ではない | |
| 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で働いているが、産休・育休・介護休業中である | |
| 5. 以前は働いていたが、現在は働いていない | |
| 6. これまで働いたことがない | |

→ **問9-1・2は、問9で「1.」～「4.」を選んだ方にお尋ねします。**

問9-1 1週間あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

【数字で記入】

1週間あたり： 日	1日あたり 時間
--	---

→ 問9-2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。【数字で記入】

※時間は、必ず（例）08時00分～18時30分のように、24時間制でお答えください。

家を出る時刻： 時 分	帰宅時刻： 時 分
---	---

問10 父親の働いている状況（自営業、家族従事者含む）をお尋ねします。

（母子家庭の場合は記入は不要です）【○は1つだけ】

- | | |
|--|-------------|
| 1. フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）で働いており、産休・育休・介護休業中ではない | } ⇒ 5頁 問12へ |
| 2. フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）で働いているが、産休・育休・介護休業中である | |
| 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で働いており、産休・育休・介護休業中ではない | |
| 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で働いているが、産休・育休・介護休業中である | |
| 5. 以前は働いていたが、現在は働いていない | |
| 6. これまで働いたことがない | |

→ 問10-1・2は、問10で「1.」～「4.」を選んだ方にお尋ねします。

問10-1 1週間あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

【数字で記入】

1週間あたり：		日	1日あたり		時間
---------	----------------------	---	-------	----------------------	----

→ 問10-2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。【数字で記入】

※時間は、必ず（例）08時00分～18時30分のように、24時間制でお答えください。

家を出る時刻：		時		分	帰宅時刻：		時		分
---------	----------------------	---	----------------------	---	-------	----------------------	---	----------------------	---



問11は、問9または問10で「3.」または「4.」（パート・アルバイト等で働いている）を選んだ方にお尋ねします。

問11 フルタイムへの転職希望はありますか。【○は1つだけ】

(1) 母親

1. フルタイム（週5日程度・1日8時間程度の就労）への転職希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム（週5日程度・1日8時間程度の就労）への転職希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で働き続けることを希望
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイム（週5日程度・1日8時間程度の就労）への転職希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム（週5日程度・1日8時間程度の就労）への転職希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で働き続けることを希望
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

問12は、問9または問10で「5. 以前は働いていたが、現在は働いていない」または「6. これまで働いたことがない」を選んだ方にお尋ねします。

問12 働きたいという希望はありますか。【○は1つだけ】

また、該当する箇所に数字をご記入ください。【数字で記入】

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい（働く予定はない） 2. 今から1年後またはそれ以降、一番下の子どもが 歳になった頃に働きたい	
3. すぐにでも、若しくは1年以内に働きたい	
希望する働き方	1. フルタイム（週5日程度・1日8時間程度の就労） 2. パート・アルバイト等 ⇒1週あたり： 日、1日あたり： 時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい（働く予定はない） 2. 今から1年後またはそれ以降、一番下の子どもが 歳になった頃に働きたい	
3. すぐにでも、若しくは1年以内に働きたい	
希望する働き方	1. フルタイム（週5日程度・1日8時間程度の就労） 2. パート・アルバイト等 ⇒1週あたり： 日、1日あたり： 時間

平日の定期的な幼稚園・保育所などの利用状況について

問13 封筒のあて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などを月単位で定期的に利用していますか。

【○は1つだけ】

1. 利用している 2. 利用していない ⇒ **7頁 問13-5へ**

→問13-1～4は、問13で「1. 利用している」を選んだ方にお尋ねします。

問13-1 封筒のあて名のお子さんは、平日どのような幼稚園や保育所などを利用していますか。
年間を通じて定期的に利用している事業をお答えください。 【○はあてはまるものすべて】

1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）
2. 幼稚園の預かり保育
（通常の就園時間に利用し、さらに時間を延長して定期的に預かってもらうサービス）
3. 認可保育所（市役所に申し込んで入る公立保育所や私立保育園）
4. 認定こども園（施設の中に幼稚園と保育所がある施設）
5. 小規模な保育施設
（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員が概ね6～19人のもの）
6. 家庭的保育（保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業）
7. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）
8. 自治体の認証・認定保育施設（認可保育所ではないが自治体が認証・認定した施設）
9. その他の認可外の保育施設
10. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）
11. ファミリー・サポート事業（地域住民が子どもを預かる事業）
12. その他（ ）

→問13-2 平日に定期的にご利用している幼稚園や保育所などについて、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週間あたり何日、1日あたり何時間（何時から何時まで）かお答えください。【数字で記入】

※時間は、必ず(例)08時00分～18時30分のように、24時間制でお答えください。

(1) 現在

1 週あたり： 日

1日あたり： 時間 (時 分～ 時 分)

(2) 希望

1 週あたり： 日

1日あたり： 時間 (時 分～ 時 分)

➤ 7頁 問13-3、13-4△

問13-3～4は、問13で「1. 利用している」を選んだ方にお尋ねします。

.....➡問13-3 現在、利用している幼稚園や保育所などの場所はどこですか。

【○は1つだけ】

1. 長久手市内 2. 他の市区町村

.....➡問13-4 平日に幼稚園や保育所などを利用している理由は何ですか。

【○はあてはまるものすべて】

1. 子どもの教育や発達のため
2. 子どもが満3歳（年少の年齢）になったため
3. 子育てをしている父母どちらかが現在働いている
4. 子育てをしている父母どちらかが働く予定である／仕事を探している
5. 子育てをしている父母どちらかが家族・親族などを介護している
6. 子育てをしている父母どちらかに病気や障がいがある
7. 子育てをしている父母どちらかが学生である
8. その他（

問13-5は、問13で「2. 利用していない」を選んだ方にお尋ねします。

問13-5 定期的に幼稚園や保育所などを利用していない理由は何ですか。

【○はあてはまるものすべて】

1. (子どもの教育や発達のため、子どもの母親が父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、幼稚園や保育所などに空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 利用したいが、子どもがまだ小さいため

⇒ (歳くらいになったら利用しようと考えている)

9. その他 (

すべての方にお尋ねします。

問14 現在、利用している、利用していないにかかわらず、封筒のあて名のお子さんの平日の幼稚園や保育所利用などのうち、「定期的に」利用したいものをお答えください。

【○はあてはまるものすべて】

※これらを利用するためには、一定の金銭的負担が必要となります。

※保護者の就労状況は問わないことを前提にお答えください。

- | |
|---|
| 1. 幼稚園（通常の就園時間の利用） |
| 2. 幼稚園の預かり保育
（通常の就園時間に利用し、さらに時間を延長して定期的に預かってもらうサービス） |
| 3. 認可保育所（市役所に申し込んで入る公立保育所や私立保育園） |
| 4. 認定こども園（施設の中に幼稚園と保育所がある施設） |
| 5. 小規模な保育施設
（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員が概ね6～19人のもの） |
| 6. 家庭的保育（保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業） |
| 7. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設） |
| 8. 自治体の認証・認定保育施設（認可保育所ではないが自治体が認証・認定した施設） |
| 9. その他の認可外の保育施設 |
| 10. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業） |
| 11. ファミリー・サポート事業（地域住民が子どもを預かる事業） |
| 12. その他（ ） |

→ 問14-1は、問14で「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「2. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間に利用し、さらに時間を延長して定期的に預かってもらうサービス）」を選んだ方にお尋ねします（該当しない方は問15へ）。

問14-1 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。【○は1つだけ】

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

すべての方にお尋ねします。

問15 幼稚園や保育所などを利用したい場所はどこですか。【○は1つだけ】

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 長久手市内 | 2. 他の市区町村 |
|----------|-----------|

問16 0歳児における子育てに対する考えは以下のどれにあたりますか。現在のあなたの考えに最も近いものをお答えください。対象のお子さんが1歳児以上のときは、0歳児だったときのことを振り返り、お答えください。【○は1つだけ】

- | |
|--|
| 1. 育児休業制度が整っていれば、今後1年以上は在宅で子育てをしたい |
| 2. 一時預かりなど、不定期な保育サービスを利用できれば、今後1年以上は在宅で子育てをしたい |
| 3. すぐにでも、若しくは1年以内に就労したいので、保育サービスを利用したい |

地域の子育て支援事業の利用状況について

問17 封筒のあて名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、子育てに関する講座を受講したり、情報提供を受けたりする場で、長久手市では、市役所西庁舎1階に「子育て支援センター」があります）を利用していますか。【○はあてはまるものすべて】
また、利用している方はおおよその利用回数（頻度）をご記入ください。【数字で記入】

1. 地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター）

⇒1週あたり： 回 若しくは 1か月あたり： 回程度

2. その他、市で実施している類似の事業（例：児童館での幼児教室、保育園でのたけのこクラブ等）

（具体名： ）

⇒1週あたり： 回 若しくは 1か月あたり： 回程度

3. 利用していない

→ 問17-1は、問17で「3. 利用していない」を選んだ方にお尋ねします。

問17-1 封筒のあて名のお子さんが地域子育て支援拠点事業を利用していない理由は何ですか。
【○はあてはまるものすべて】

1. 利用できる施設が近くにない

6. 一人では施設を利用しにくい

2. 公共交通が不便である

7. 施設があることを知らなかった

3. 駐車場が狭い

8. その他（ ）

4. 利用できる時間が短い

9. 利用する必要がある

5. 魅力的な事業がない

問18 子育て支援センターで行っているような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。【○は1つだけ】
また、おおよその利用回数（頻度）をご記入ください。【数字で記入】

1. 利用していないが、今後利用したい

⇒1週あたり： 回 若しくは 1か月あたり： 回程度

2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

⇒1週あたり： 回 若しくは 1か月あたり： 回程度

3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問19 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものはありますか。①～㉔の事業ごとに、A～Cのそれぞれについてお答えください。

【○はそれぞれ1つだけ】

※事業の内容については、別紙をご覧ください。

	【 A 】 知っている		【 B 】 利用したことがある			【 C 】 今後利用したい	
	はい	いいえ	現在利用している	利用していた	利用したことがない	はい	いいえ
① のびのび計測 (児童館・保健センター)	1	2	1	2	3	1	2
② 多胎妊娠・多胎育児家庭サロン 「にこいち」	1	2	1	2	3	1	2
③ 出産・子育て応援事業	1	2	1	2	3	1	2
④ パパママ教室	1	2	1	2	3	1	2
⑤ 妊産婦歯科健康診査	1	2	1	2	3	1	2
⑥ 妊婦家庭訪問	1	2	1	2	3	1	2
⑦ こんにちは赤ちゃん訪問	1	2	1	2	3	1	2
⑧ 産前・産後サポーター派遣事業	1	2	1	2	3	1	2
⑨ 産後ケア事業 訪問型・宿泊型・通所型	1	2	1	2	3	1	2
⑩ 育児教室「かいじゅうランド」	1	2	1	2	3	1	2
⑪ 離乳食教室	1	2	1	2	3	1	2
⑫ 乳幼児健診・相談	1	2	1	2	3	1	2
⑬ 健診事後教室「たんぼぼ教室」	1	2	1	2	3	1	2
⑭ 乳幼児家庭訪問	1	2	1	2	3	1	2
⑮ 児童館での幼児教室「ようじのじかん」	1	2	1	2	3	1	2
⑯ 保育園での「たけのこクラブ」	1	2	1	2	3	1	2
⑰ 保育園の園開放	1	2	1	2	3	1	2
⑱ 子育て支援センターで実施する各種事業	1	2	1	2	3	1	2
⑲ 家庭児童相談	1	2	1	2	3	1	2
⑳ 子育て支援短期利用事業 (ショートステイ)	1	2	1	2	3	1	2
㉑ 親子通園施設「どんぐり教室」	1	2	1	2	3	1	2
㉒ こどもの発達相談室	1	2	1	2	3	1	2
㉓ 病児・病後児保育	1	2	1	2	3	1	2
㉔ ファミリー・サポート事業	1	2	1	2	3	1	2
㉕ 子育て相談 (母子保健コーディネーター)	1	2	1	2	3	1	2
㉖ 子育て相談 (子育てコンシェルジュ)	1	2	1	2	3	1	2
㉗ 子どもの預かり事業 「ことりルームびっぴ」	1	2	1	2	3	1	2

土曜・休日や長期休暇中の幼稚園や保育所などの
「定期的」な利用希望について

問20 封筒のあて名のお子さんについて、土曜日や日曜日・祝日に、幼稚園や保育所などを定期的に利用していますか。若しくは、利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。【○は1つだけ】
また、希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。【数字を記入】
※時間は、必ず（例）08時00分～18時30分のように、24時間制でお答えください。
※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

A 現状

(1) 土曜日

1. ほぼ毎週利用している
2. 月に1～2回は利用している
3. 利用していない

(2) 日曜・祝日

1. ほぼ毎週利用している
2. 月に1～2回は利用している
3. 利用していない

B 今後の希望

(1) 土曜日

1. ほぼ毎週利用したい
2. 月に1～2回は利用したい
3. 利用する必要はない
- 利用したい時間帯
□ 時 □ 分から □ 時 □ 分まで

(2) 日曜・祝日(保護者の父母ともに勤務など保育の必要性が条件となります。また、平日に代替休日
を設ける必要があります。)

1. ほぼ毎週利用したい
2. 月に1～2回は利用したい
3. 利用する必要はない
- 利用したい時間帯
□時 □分から □時 □分まで

→問20-1は、問20「**B今後の希望**」(1)または(2)で「2.月に1~2回は利用したい」を選んだ方にお尋ねします。

問20-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。【○はあてはまるものすべて】

1. 週に数回仕事が入るため
2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いが必要なため
4. 息抜きのため
5. その他 ()

封筒のあて名のお子さんが「幼稚園」を利用している方にお尋ねします。

問2-1 夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中に幼稚園や保育所の利用を希望しますか。【○は1つだけ】
また、希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。

※時間は、必ず（例）08時00分～18時30分のように、24時間制でお答えください。

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない

2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい

3. 休みの期間中、週に数日利用したい

利用したい時間帯（「2.」または「3.」を選んだ方）

□時 □分から □時 □分まで

→問2-1-1は、問2-1で「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」を選んだ方にお尋ねします。

問2-1-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。【○はあてはまるものすべて】

1. 週に数回仕事が入るため

4. 息抜きのため

2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため

5. その他（ ）

3. 親族の介護や手伝いが必要なため

病気になったときの対応について
(平日に幼稚園や保育所などを利用する方のみ)

問22～22-2は、平日に幼稚園や保育所などを定期的にご利用している保護者の方（6頁 問13で「1. 利用している」を選んだ方）にお尋ねします。
それ以外の方は14頁 問23にお進みください。

問22 この1年間に、封筒のあて名のお子さんが病気やケガで普段利用している幼稚園や保育所などが利用できなかったことはありますか。【○は1つだけ】

1. あった

2. なかった ⇒ 14頁 問23へ

問22-1は、問22で「1. あった」を選んだ方にお尋ねします。

問22-1 この1年間に、病気やケガで普段利用している幼稚園や保育所などを利用できなかった場合の対処方法はありますか。【○はあてはまるものすべて】

また、その日数は概ね何日ですか（半日程度の場合も1日とカウントしてください）。

【数字を記入】

1. 父親が休んだ-----年間

--	--

 日

2. 母親が休んだ-----年間 日

3. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった -----> 年間

--

 日

4. 父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた-----▶ 年間 日

5. 病児・病後児の保育を利用した-----年間 月 日

6. ベビーシッターを利用した ----- 年間 日

7. ファミリー・サポート事業を利用した ----- 年間 日
(感染症を除く)

8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた-----▶ 年間 日

9. その他 () -----> 年間

--

 日

問22-2は、問22-1で「1.」または「2.」を選んだ方にお尋ねします。

問22-2 その際、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と思いましたか。

【○は1つだけ】 また、その場合の日数はどれくらいありますか。【数字を記入】

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい-----▶年間 月 日

2. 利用したいとは思わない

病児・病後児保育とは、

児童（生後6か月経過後の翌月～小学校6年生）が病気、または病気回復期にあって集団保育が困難な期間、保育所・医療機関等に付設された専用スペース等において保育及び看護ケアを行う保育サービスです。

なお、病児・病後児保育施設等の利用には一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の診察を受け、その診断書を施設に提出するなどの手続が必要です。

〈1人あたり1回の利用料〉

6時間未満…2,000円/回 6～8時間…3,000円/回 8～10時間…4,000円/回

不定期の幼稚園や保育所などの利用や宿泊を伴う
一時預かり等の利用について

問23 この1年間に、封筒のあて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的（日中の定期的な保育や子どもの病気のため以外）で、子どもを預かるサービスを不定期に利用しましたか。

【○はあてはまるものすべて】

また、その日数はおよそ何日でしたか（半日程度の場合も1日とカウントしてください）。

【数字を記入】

1. 一時預かり (保育所などで一時的に子どもを保育するサービス)	年間		日
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かるサービスを不定期に利用している場合)	年間		日
3. ファミリー・サポート事業 (地域住民が子どもを預かる事業)	年間		日
4. 夜間養護等事業：トワイライトステイ (児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業)	年間		日
5. ベビーシッター	年間		日
6. その他 ()	年間		日
7. 利用していない			

問23-1は、問23で「7. 利用していない」を選んだ方にお尋ねします。

問23-1 利用していない理由は何ですか。【○はあてはまるものすべて】

1. 特に利用する必要がない	6. 利用料がわからない
2. 利用したいサービスが地域にない	7. 自分がサービスの対象者になるのかどうか わからない
3. サービスの質に不安がある	8. サービスの利用方法（手続等）がわからない
4. サービスの使い勝手（立地や利用可能時間・ 日数など）がよくない	9. その他 ()
5. 利用料がかかる・高い	

問24 封筒のあて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で一時預かり等の事業を利用する必要があると思いますか。【○は1つだけ】また、その目的は何ですか。【○はあてはまるものすべて】

必要な日数は概ね何日ですか。【数字を記入】

1. 利用したい	合計年間		日
1. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的			
2. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等			
3. 不定期の就労			
4. その他 ()			
2. 利用する必要はない			

15頁 問24-1へ

問24-1は、問24で「1.利用したい」を選んだ方にお尋ねします。

問24-1 問24の目的でお子さんを預ける場合、どのサービスが望ましいと思いますか。
【○はあてはまるものすべて】

1. 幼稚園・保育所などの大規模施設で子どもを保育するサービス
2. 小規模な施設で10人程度までの子どもを保育するサービス
3. 地域住民などが子育て家庭などの近くの場所で保育するサービス (例：ファミリー・サポート事業等)

問25 封筒のあて名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。【○は1つだけ】

また、「1.利用したい」を選んだ方は、利用したい理由を回答してください。
【○はあてはまるものすべて】

あわせて、利用したい日数はおよそ何日ですか。【数字を記入】

1. 利用したい	計		泊
┌ ├ └	1. 冠婚葬祭 ----->		泊
	2. 保護者や家族の育児疲れ・不安 ----->		泊
	3. 保護者や家族の病気 ----->		泊
	4. その他 () ----->		泊
2. 利用する必要はない			

小学校就学後の放課後の過ごし方について

問26・27は、封筒のあて名のお子さんが5歳以上の方にお尋ねします。
5歳未満の方は17頁 問28へお進みください。

問26 封筒のあて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。【○はあてはまるものすべて】

また、希望する週あたり日数は何日ですか。【数字を記入】

「放課後児童クラブ〔児童クラブ・学童保育所〕」の場合は、利用を希望する時間もご記入ください。

※時間は必ず（例）18時00分のように24時間制でご記入ください。

1. 自宅 -----▶ 週 日くらい
 2. 祖父母宅や友人・知人宅 -----▶ 週 日くらい
 3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など） -----▶ 週 日くらい
 4. 児童館^{注1} -----▶ 週 日くらい
 5. 放課後子ども教室^{注2} -----▶ 週 日くらい
 6. 放課後児童クラブ〔児童クラブ・学童保育所〕 -----▶ 週 日くらい
- ⇒下校時から 時 分まで
7. ファミリー・サポート事業 -----▶ 週 日くらい
 8. その他（公園など） -----▶ 週 日くらい

注1：児童館で行う放課後児童クラブを利用する場合は「6.」に回答

注2：放課後に学校内で、地域の方々の協力により、様々な体験・自主学習・交流活動を行う事業。西小学校、南小学校、東小学校、北小学校（2019年4月より）で実施。

問27 封筒のあて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。【○はあてはまるものすべて】

また、希望する週あたり日数は何日ですか。【数字を記入】

「放課後児童クラブ〔児童クラブ・学童保育所〕」の場合は、利用を希望する時間もご記入ください。

※時間は必ず（例）18時00分のように24時間制でご記入ください。

※先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅 -----▶ 週 日くらい
 2. 祖父母宅や友人・知人宅 -----▶ 週 日くらい
 3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など） -----▶ 週 日くらい
 4. 児童館 -----▶ 週 日くらい
 5. 放課後子ども教室 -----▶ 週 日くらい
 6. 放課後児童クラブ〔児童クラブ・学童保育所〕 -----▶ 週 日くらい
- ⇒下校時から 時 分まで
7. ファミリー・サポート事業 -----▶ 週 日くらい
 8. その他（公園など） -----▶ 週 日くらい

情報提供について

問28 子育てに関する情報をどのように入手していますか。【○はあてはまるものすべて】

1. 親族（親、きょうだいなど）	7. 子育て情報誌・育児書
2. 近所の人、知人、友人	8. インターネット
3. 学校、保育所、幼稚園、児童館	9. コミュニティー雑誌
4. 市役所、市の機関 （保健センター・子育て支援センター・子育てコンシェルジュ等）	10. その他（ ）
5. 子育て支援アプリ「きずなネット」の利用	11. 情報の入手先がない
6. テレビ、ラジオ、新聞	12. 情報の入手方法がわからない

問29 子育てに関してどのような情報を知りたいですか。【○はあてはまるものすべて】

1. 保育所・幼稚園	9. 一時預かり・送り迎え
2. 児童館	10. 市内のイベント
3. 児童クラブ・学童保育	11. 医療機関
4. 子育て相談や講座	12. 子育て関係施設マップ
5. 親子教室・子育てサロン	13. 公園や遊び場
6. 予防接種・健診	14. その他（ ）
7. 妊娠・出産	15. 特に求めるものはない
8. 子育てに関する申請・手続	

子育てやお子さんについて

問30 あなたのご家庭では、お子さんにどの段階まで教育を受けさせたいですか。

【○はそれぞれについて、1つだけ】

	1. 受けさせたい	2. 経済的に可能だが 必要だと思わない	3. 経済的に受けさせることは難しい
高校までの教育	1	2	3
短大・専門学校までの教育	1	2	3
大学までの教育	1	2	3

問3 1 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。

【〇はそれぞれについて、1つだけ】

	1. している	していない	
		2. 必要だと思わない	3. 経済的に難しい
毎月おこづかいを渡す	1	2	3
1年に1回くらい家族旅行へ行く	1	2	3
正月のお年玉をあげる	1	2	3
子どもの学校行事などへ親が参加する	1	2	3

問3 2 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は誰（どこ）ですか。

【〇はあてはまるものすべて】

1. 家族・親族	12. 幼稚園
2. 友人・知人	13. 子育て支援センター
3. 近所の人	14. こどもの発達相談室
4. 職場の人	15. 各種子ども相談
5. 家政婦・ベビーシッター	16. 教育委員会
6. 民生委員・児童委員・主任児童委員	17. 学校
7. 主治医	18. 社会福祉協議会
8. ボランティア	19. インターネット
9. 市役所の子育て関連担当窓口	20. 誰もいない
10. 保健センター	21. 相談する必要がある
11. 保育所	22. その他（ ）

問3 2-1 は、問3 2で「20. 誰もいない」または「21. 相談する必要がある」以外を
選んだ方にお尋ねします（該当しない方は問3 3へ）。

問3 2-1 記入日時点、1番の相談相手にどのような相談をしていますか。

【〇はあてはまるものすべて】

1. 子どもの発育・発達のこと	4. 保護者の心身の健康のこと
2. 日頃の子育ての方法のこと	5. その他（ ）
3. 今後の子育てのこと	

問33 あなたは、自分にとって子育てを楽しんでいることが多いと思いますか。それとも辛いと感じることが多いと思いますか。【○は1つだけ】

1. 楽しいと感じることの方が多い
2. 楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい
3. 辛いと感じることの方が多い
4. その他 ()
5. わからない

問34 子どもに対して、思わずたいたり、子どもの心を傷つけてしまうような言動をしたり、子どもの相手や世話をしないことがありますか。【○は1つだけ】

1. よくある	4. ほとんどない
2. たまにある	5. まったくない
3. したいと思うことはよくあるが、行動には移さない	

→ 問34で「1. よくある」または「2. たまにある」に○をつけた方にお尋ねします。

問34-1 思わずたいたり、子どもの心を傷つけてしまうような言動をしたり、子どもの相手や世話をしないことがある原因はどこにあると思いますか。【○はあてはまるものすべて】

1. 子どもの言動にいつもイライラする	5. 自分の感情を抑えられない
2. しかられたときの反応が腹立たしい	6. しつけとして必要だから
3. 子どもがかわいいと思えない	7. 子ども以外のことでいつもストレスがある
4. 子どもが親の言うことを聞かない	8. その他 ()

問35 お子さんの成長発達・育児のことで、現時点で困っていることは何ですか。

【○はあてはまるものすべて】

1. 子どもの成長の具合について（身長や体重等）	8. トイレトレーニング
2. 年齢に応じた身体面の発達過程（首すわり、おすわり、ひとり歩きなど）	9. 着替えや歯磨きなど身のまわりのしつけ
3. 年齢に応じた精神面の発達過程（指指し、発語、2・3語文など）	10. スマートフォンやタブレットの与え方
4. 授乳（母乳やミルク）の仕方や方法	11. 生活リズムの整え方
5. 離乳食の進め方	12. 子どもの病気や予防接種
6. 断乳・卒乳	13. その他 ()
7. 食事のしつけ	14. 困っていることはない

問36 あなたは、育児でのストレスをどのように発散していますか。【○は1つだけ】

1. 家族とのコミュニケーション	4. その他 ()
2. 友人との時間をもつ	5. ストレスは感じていない
3. ひとりの時間を持つ	

問37 あなたは、自分自身が健康だと思いますか。【○は1つだけ】

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. 健康 | 4. 健康ではない |
| 2. まあまあ健康 | 5. わからない |
| 3. あまり健康ではない | |

問38 あなた以外の保護者は健康だと思いますか。【○は1つだけ】

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1. 健康 | 4. 健康ではない |
| 2. まあまあ健康 | 5. わからない |
| 3. あまり健康ではない | 6. 自分以外の保護者はいない |

妊娠・出産について

問39～45は、封筒のあて名のお子さんが3歳未満の方にお尋ねします。
3歳以上の方は22頁 問46へお進みください。

問39 妊娠・出産の時期に里帰りをしましたか。【○は1つだけ】

- | | |
|-------|------------------|
| 1. した | 2. しなかった ⇒問39-1へ |
|-------|------------------|

問39で「2. しなかった」に○をつけた方にお尋ねします。

問39-1 里帰りをしなかった理由は何ですか。【○は1つだけ】

- | | |
|---------------------|------------|
| 1. もともと希望していなかった | 4. 特に理由はない |
| 2. 里帰り先の事情によりできなかった | 5. その他 () |
| 3. 上の子の都合(園や学校等) | |

問40 妊娠・出産の時期に一番困ったことは何でしたか。【○は1つだけ】

- | | |
|-------------------|------------|
| 1. 妊娠・出産に関しての体調管理 | 5. 出産に係る準備 |
| 2. 上の子の育児 | 6. 特になかった |
| 3. 家族関係 | 7. その他 () |
| 4. 経済面 | |

問41 妊娠・出産の時期に実際に利用した支援は何でしたか。【○はあてはまるものすべて】

- | | |
|------------------------|-----------------|
| 1. 妊婦健康診査 | 6. 上の子の一時保育 |
| 2. 妊産婦歯科健康診査 | 7. ファミリー・サポート事業 |
| 3. 産婦健康診査 | 8. 教室(内容:) |
| 4. 産前・産後サポーター派遣事業 | 9. 利用していない |
| 5. 産後ケア事業(訪問型・通所型・宿泊型) | 10. その他 () |

問4 2 妊娠・出産の時期にあったらよかった、利用すればよかった支援は何でしたか。

【〇はあてはまるものすべて】

1. 妊婦健康診査	6. 上の子の一時保育
2. 妊産婦歯科健康診査	7. ファミリー・サポート事業
3. 産婦健康診査	8. 教室（内容： ）
4. 産前・産後サポーター派遣事業	9. 特にない
5. 産後ケア事業（訪問型・通所型・宿泊型）	10. その他（ ）

問4 3 産院退院後から産後2か月までの時期に一番困ったことは何でしたか。【〇は1つだけ】

1. 産婦の体の回復のこと	6. 上の子の世話
2. 赤ちゃんのお世話（オムツ替え・お風呂・着替え・抱っこなど）	7. 経済面
3. 授乳に関すること（母乳やミルク）	8. 上の子の園・学校行事への対応
4. 産婦が十分に睡眠や休養がとれない	9. 特になかった
5. 産婦以外の家族が十分に睡眠や休養がとれない	10. その他（ ）

問4 4 産院退院後から産後2か月までの時期に実際に利用した支援は何でしたか。

【〇はあてはまるものすべて】

1. 産婦健康診査	7. ファミリー・サポート事業
2. 妊産婦歯科健康診査	8. 民間託児所
3. 産前・産後サポーター派遣事業	9. クリニックや助産所等の母乳外来や母乳マッサージ
4. 産後ケア事業（訪問型・通所型・宿泊型）	10. 教室・サロン（内容： ）
5. こんにちは赤ちゃん訪問	11. 利用していない
6. 上の子の一時保育（市）	12. その他（ ）

問4 5 産院退院後から産後2か月までの時期にあったらよかった、利用すればよかった支援は何でしたか。【〇はあてはまるものすべて】

1. 産婦健康診査	7. ファミリー・サポート事業
2. 妊産婦歯科健康診査	8. 民間託児所
3. 産前・産後サポーター派遣事業	9. クリニックや助産所等の母乳外来や母乳マッサージ
4. 産後ケア事業（訪問型・通所型・宿泊型）	10. 教室・サロン（内容： ）
5. こんにちは赤ちゃん訪問	11. 特にない
6. 上の子の一時保育（市）	12. その他（ ）

問46 出産子育て応援給付金は何に使いましたか。【○はあてはまるものすべて】

1. 妊娠中の費用（妊婦健診費等）	7. 衣服やコスメなどの服飾品の購入
2. 出産時にかかる費用（入院費等）	8. 旅行、帰省などにかかる費用
3. ベビー・子ども用品の購入	9. 貯蓄
4. 保育費・学費・教育費	10. その他（ ）
5. 食費・生活費	11. 出産子育て応援給付金を受け取っていない
6. 家電製品、家具の購入	

子育て全般について

すべての方にお尋ねします。

問47 封筒のあて名のお子さんのご両親は、子育てにどの程度関わっていますか。

【最もあてはまるものをそれぞれ1つずつに○】

父	母
1. 十分関わっている	1. 十分関わっている
2. ある程度関わっている	2. ある程度関わっている
3. あまり関わっていない	3. あまり関わっていない
4. 全く関わっていない	4. 全く関わっていない
5. 母子家庭	5. 父子家庭

問48 封筒のあて名のお子さんが生まれてから今までに育児休暇を取得しましたか。

【最もあてはまるものをそれぞれ1つずつに○】

※仕事をしていなかった方は「とっていない」を選択してください。

自分	自分以外
1. とっていた	1. とっていた ⇒問48-1、48-2へ
2. とっていない	2. とっていない
	3. 自分以外に保護者がいない

問48-1、48-2は、問48の「自分以外」で「1. とっていた」に○をつけた方にお尋ねします。

問48-1 自分以外の保護者が育児休暇をとった時、自分以外の保護者が休暇中にした支援は何ですか。【○はあてはまるものすべて】

1. 子どもの世話 （おむつ替え・お風呂・着替え・寝かしつけなど）	4. 自分への子育ての助言やアドバイス
2. 子どもの遊び相手	5. 家事
3. 自分の話し相手・共感	6. その他（ ）

問48-2 自分以外の保護者に求める1番の支援は何ですか。【○は1つだけ】

1. 子どもの世話 （おむつ替え・お風呂・着替え・寝かしつけなど）	4. 自分への子育ての助言やアドバイス
2. 子どもの遊び相手	5. 家事
3. 自分の話し相手・共感	6. その他（ ）

問４９ 最後に、教育・保育環境の充実など子育て環境や支援に関してご意見・ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
切手は貼らずに同封の返信用封筒に入れ、ご投函ください。

◆本市では、各種アンケート調査実施に際して全市共通のアンケートを実施しています。
下記URLまたは二次元バーコードからアクセスし、ぜひご協力ください。
(表紙のID、パスワードを使用してログインください)
なお、回答は任意であり、強制するものではありません。



長久手市共通アンケート：<https://wsurvey.jp/s.php?clear=1&a=nagakute-170>

小学生保護者

長久手市民のみなさまへ 子育てアンケート調査ご協力のお願い (小学生用)

日頃より、市政にご理解とご協力をたまわり、誠にありがとうございます。

この調査は、2025年度からの5年間を計画期間とする「第3期子ども・子育て支援事業計画」の策定に向け、子育て支援に関する各サービスについて、皆様の「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握し、子育て支援環境の充実を図るため、市内にお住まいの小学生のお子さんがいらっしゃるご家庭の中から、無作為に選んだ2,000人の保護者の方に、ご協力をお願いするものです。調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

なお、ご回答いただいた調査内容は、統計的に処理しますので、ご回答いただいた内容で個人が特定されることはありません。

2023年12月 長久手市長 佐藤 有美

【 記入にあたってのお願い 】

1. 封筒のあて名のお子さんについて、ご記入ください。
2. アンケートは、お子さんの保護者の方がご記入ください。
3. 選択肢がある場合には、番号を○印で囲んでください。
4. 数字（年齢や時間帯等）をお尋ねする質問では、枠内に具体的な数字をご記入ください。
また、時間については24時間制でご記入ください。
5. 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印や案内に従ってお答えください。
6. 保育サービスなどの子育て支援サービスについてお尋ねする質問がありますが、これらの質問は、あくまで今後の利用希望などを把握するための質問であり、実際のサービスの利用条件（例：保育所の入所要件など）をすべて示しているものではありません。実際のサービスの利用条件などについては、市担当課窓口にご相談ください。

■記入後は、同封の返送用封筒に入れて、**12月28日（木）まで**にポストへお入れください（切手は不要です）。

■アンケートは、インターネットでも回答できます。パソコン、スマートフォン又はタブレットのいずれかを用いて、次のURL又は二次元バーコードからアクセスし、画面の案内に従って下記のID、パスワードを入力し、質問項目にお答えください。

(URL) <https://wsurvey.jp/s.php?clear=1&a=nagakute-172>



■この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

【お問合せ先】

〒480-1196 長久手市岩作城の内 60 番地 1
長久手市 子ども部 子ども未来課
TEL : 0561-56-0616

ID : ●●●●●●●●
パスワード : ××××××××

お住まいの地域について

問1 お住まいの小学校区はどちらですか。【○は一つだけ】

- | | | | | | |
|---------|-------|-------|-------|-------|---------|
| 1. 長久手小 | 2. 西小 | 3. 東小 | 4. 北小 | 5. 南小 | 6. 市が洞小 |
|---------|-------|-------|-------|-------|---------|

封筒のあて名のお子さんご家族の状況について

問2 封筒のあて名のお子さんについてお聞きします。

①封筒のあて名のお子さんの生年月月をご記入ください。【数字で記入】

西暦	20		年		月	生まれ
----	----	----------------------	---	----------------------	---	-----

②封筒のあて名のお子さんの性別をお答えください。【○は1つだけ】

- | | |
|------|------|
| 1. 男 | 2. 女 |
|------|------|

③封筒のあて名のお子さんは第何子ですか。【○は1つだけ】

- | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|----------|
| 1. 第1子 | 2. 第2子 | 3. 第3子 | 4. 第4子 | 5. 第5子以降 |
|--------|--------|--------|--------|----------|

問3 封筒のあて名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。封筒のあて名のお子さんを含めた人数をご記入ください。また、2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、一番下の子の方の生年月月をご記入ください。【数字で記入】

きょうだい数：		人	西暦	20		年		月	生まれ
---------	----------------------	---	----	----	----------------------	---	----------------------	---	-----

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。封筒のあて名のお子さんからみた関係でお答えください。

【○は1つだけ】

- | | | |
|-------|-------|--------------------------------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他（ <input type="text"/> ） |
|-------|-------|--------------------------------|

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。【○は1つだけ】

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者はいない |
|-----------|------------|

問6 封筒のあて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。【○は1つだけ】

- | | |
|----------|--------------------------------|
| 1. 父母ともに | 4. 主に祖父母 |
| 2. 主に母親 | 5. その他（ <input type="text"/> ） |
| 3. 主に父親 | |

問7 お子さんと生計を共にしている方全員の収入を合わせたおおよそ「世帯の総収入（年間のボーナス含む手取り額）」を教えてください。【〇は1つだけ】

- | | | |
|----------------|-----------------|-------------------|
| 1. 0円 | 6. 300～400万円未満 | 11. 800～900万円未満 |
| 2. 1～50万円未満 | 7. 400～500万円未満 | 12. 900～1,000万円未満 |
| 3. 50～100万円未満 | 8. 500～600万円未満 | 13. 1,000万円以上 |
| 4. 100～200万円未満 | 9. 600～700万円未満 | 14. 不明 |
| 5. 200～300万円未満 | 10. 700～800万円未満 | |

子どもをめぐる環境について

問8 日頃、封筒のあて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。【〇はあてはまるものすべて】

- | | |
|-------------------------------------|-----------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる | } ⇒ 問8-2へ |
| 2. 緊急時若しくは、用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる | |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | |
| 4. 緊急時若しくは、用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる | |
| 5. いずれもない | |

問8-1は、問8で「1.」または「2.」を選んだ方にお尋ねします。

問8-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

【〇はあてはまるものすべて】

- | |
|---|
| 1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |
| 2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である |
| 3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある |
| 6. その他（ ） |

問8-2は、問8で「3.」または「4.」を選んだ方にお尋ねします。

問8-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

【〇はあてはまるものすべて】

- | |
|---|
| 1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |
| 2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である |
| 3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある |
| 6. その他（ ） |

保護者の働いている状況について

問9 母親の働いている状況（自営業、家族従事者含む）をお尋ねします。

（父子家庭の場合は記入は不要です）【○は1つだけ】

- | | |
|--|---------------------------|
| 1. フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）で働いており、産休・育休・介護休業中ではない | } ⇒ 4頁 問10、5頁 問12へ |
| 2. フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）で働いているが、産休・育休・介護休業中である | |
| 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で働いており、産休・育休・介護休業中ではない | |
| 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で働いているが、産休・育休・介護休業中である | |
| 5. 以前は働いていたが、現在は働いていない | |
| 6. これまで働いたことがない | |

→ **問9-1・2は、問9で「1.」～「4.」を選んだ方にお尋ねします。**

問9-1 1週間あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

【数字で記入】

1週間あたり： 日 1日あたり 時間

問9-2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。【数字で記入】

※時間は、必ず（例）08時00分～18時30分のように、24時間制でお答えください。

家を出る時刻： 時 分 帰宅時刻： 時 分

問10 父親の働いている状況（自営業、家族従事者含む）をお尋ねします。
（母子家庭の場合は記入は不要です）【○は1つだけ】

- | | |
|--|-------------|
| 1. フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）で働いており、産休・育休・介護休業中ではない | } ⇒ 5頁 問12へ |
| 2. フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）で働いているが、産休・育休・介護休業中である | |
| 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で働いており、産休・育休・介護休業中ではない | |
| 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で働いているが、産休・育休・介護休業中である | |
| 5. 以前は働いていたが、現在は働いていない | |
| 6. これまで働いたことがない | |

→ 問10-1・2は、問10で「1.」～「4.」を選んだ方にお尋ねします。

問10-1 1週間あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

【数字で記入】

1週間あたり： 日

1日あたり 時間

→ 問10-2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。【数字で記入】

※時間は、必ず（例）08時00分～18時30分のように、24時間制でお答えください。

家を出る時刻： 時 分 帰宅時刻： 時 分

問11は、問9または問10で「3.」または「4.」（パート・アルバイト等で働いている）を選んだ方にお尋ねします。

問11 フルタイムへの転職希望はありますか。【○は1つだけ】

（1）母親

1. フルタイム（週5日程度・1日8時間程度の就労）への転職希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム（週5日程度・1日8時間程度の就労）への転職希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で働き続けることを希望
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

（2）父親

1. フルタイム（週5日程度・1日8時間程度の就労）への転職希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム（週5日程度・1日8時間程度の就労）への転職希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で働き続けることを希望
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

問12は、問9または問10で「5. 以前は働いていたが、現在は働いていない」または「6. これまで働いたことがない」を選んだ方にお尋ねします。

問12 働きたいという希望はありますか。【○は1つだけ】

また、該当する箇所を数字をご記入ください。【数字で記入】

（1）母親

1. 子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）
 2. 今から1年後またはそれ以降、一番下の子どもが 歳になった頃に働きたい
 3.

すぐにでも、若しくは1年以内に働きたい
- 希望する働き方
1. フルタイム（週5日程度・1日8時間程度の就労）
 2. パート・アルバイト等
- ⇒1週あたり： 日、1日あたり： 時間

（2）父親

1. 子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）
 2. 今から1年後またはそれ以降、一番下の子どもが 歳になった頃に働きたい
 3.

すぐにでも、若しくは1年以内に働きたい
- 希望する働き方
1. フルタイム（週5日程度・1日8時間程度の就労）
 2. パート・アルバイト等
- ⇒1週あたり： 日、1日あたり： 時間

児童館の利用状況について

問13 封筒のあて名のお子さんは、現在、児童館（青少年児童センターを含む）を利用していますか。

【○は1つだけ】

また、利用している方はおおよその利用回数（頻度）をご記入ください。【数字で記入】

1. 利用している
⇒ 1週あたり： 回 若しくは1か月あたり： 回程度

2. 利用していない

→ 問13-1は、問13で「2. 利用していない」を選んだ方にお尋ねします。

→問13-1は、問13で「2. 利用していない」を選んだ方にお尋ねします。

問13-1 封筒のあて名のお子さんが児童館（青少年児童センターを含む）を利用していない理由は何ですか。

【○はあてはまるものすべて】

1. 利用できる施設が近くにない
2. 利用できる時間が短い
3. 魅力的な行事がない
4. 子どもだけで行かせるのが心配である
5. 一人で行きたがらない
6. 施設があることを知らなかった
7. その他（ ）

問14 児童館（青少年児童センターを含む）について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。【○は1つだけ】

また、おおよその利用回数（頻度）をご記入ください。【数字で記入】

1. 利用していないが、今後利用したい

⇒1週あたり： 回 若しくは1か月当たり 回程度

2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

⇒1週あたり：更に 回 若しくは1か月当たり：更に 回程度

3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問15 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものはありますか。①～㉔の事業ごとに、A～Cのそれぞれについてお答えください。

【○はそれぞれ1つだけ】

※事業の内容については、別紙をご覧ください。

	【 A 】 知っている		【 B 】 利用したことがある			【 C 】 今後利用したい	
	はい	いいえ	現在利用している	利用していた	利用したことがない	はい	いいえ
① のびのび計測 (児童館・保健センター)	1	2	1	2	3	1	2
② 多胎妊娠・多胎育児家庭サロン 「にこいち」	1	2	1	2	3	1	2
③ 出産・子育て応援事業	1	2	1	2	3	1	2
④ パパママ教室	1	2	1	2	3	1	2
⑤ 妊産婦歯科健康診査	1	2	1	2	3	1	2
⑥ 妊婦家庭訪問	1	2	1	2	3	1	2
⑦ こんにちは赤ちゃん訪問	1	2	1	2	3	1	2
⑧ 産前・産後サポーター派遣事業	1	2	1	2	3	1	2
⑨ 産後ケア事業 訪問型・宿泊型・通所型	1	2	1	2	3	1	2
⑩ 育児教室「かいじゅうランド」	1	2	1	2	3	1	2
⑪ 離乳食教室	1	2	1	2	3	1	2
⑫ 乳幼児健診・相談	1	2	1	2	3	1	2
⑬ 健診事後教室「たんぼぼ教室」	1	2	1	2	3	1	2
⑭ 乳幼児家庭訪問	1	2	1	2	3	1	2
⑮ 児童館での幼児教室「ようじのじかん」	1	2	1	2	3	1	2
⑯ 保育園での「たけのこクラブ」	1	2	1	2	3	1	2
⑰ 保育園の園開放	1	2	1	2	3	1	2
⑱ 子育て支援センターで実施する各種事業	1	2	1	2	3	1	2
⑲ 家庭児童相談	1	2	1	2	3	1	2
㉑ 子育て支援短期利用事業 (ショートステイ)	1	2	1	2	3	1	2
㉒ 親子通園施設「どんぐり教室」	1	2	1	2	3	1	2
㉓ こどもの発達相談室	1	2	1	2	3	1	2
㉔ 病児・病後児保育	1	2	1	2	3	1	2
㉕ ファミリー・サポート事業	1	2	1	2	3	1	2
㉖ 子育て相談 (母子保健コーディネーター)	1	2	1	2	3	1	2
㉗ 子育て相談 (子育てコンシェルジュ)	1	2	1	2	3	1	2
㉘ 子どもの預かり事業 「ことりルームびっぴ」	1	2	1	2	3	1	2

病気になったときの対応について

問16 この1年間に、封筒のあて名のお子さんが病気やケガで小学校への登校ができなかったことはありますか。【○は1つだけ】

1. あった

2. なかった ⇒ 9頁 問17へ

→ 問16-1は、問16で「1. あった」を選んだ方にお尋ねします。

問16-1 この1年間に、病気やケガで小学校への登校ができなかった場合の対処方法は何ですか。

【○はあてはまるものすべて】

また、その日数は概ね何日ですか（半日程度の場合も1日とカウントしてください）。

【数字を記入】

1. 父親が休んだ -----▶	年間	□	日
2. 母親が休んだ -----▶	年間	□	日
3. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった -----▶	年間	□	日
4. 父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた -----▶	年間	□	日
5. 病児・病後児の保育を利用した -----▶	年間	□	日
6. ベビーシッターを利用した -----▶	年間	□	日
7. ファミリー・サポート事業を利用した -----▶ (感染症を除く)	年間	□	日
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた -----▶	年間	□	日
9. その他 () -----▶	年間	□	日

→ 問16-2は、問16-1で「1.」または「2.」を選んだ方にお尋ねします。

問16-2 その際、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と思いましたか。

【○は1つだけ】また、その場合の日数はどれくらいありますか。【数字を記入】

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい -----▶	年間	□	日
2. 利用したいとは思わない			

病児・病後児保育とは、

児童（生後6か月経過後の翌月～小学校6年生）が病気、または病気回復期にあつて集団保育が困難な期間、保育所・医療機関等に付設された専用スペース等において保育及び看護ケアを行う保育サービスです。

なお、病児・病後児保育施設等の利用には一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の診察を受け、その診断書を施設に提出するなどの手続が必要です。

〈1人あたり1回の利用料〉

6時間未満…2,000 円/回 6～8時間…3,000 円/回 8～10 時間…4,000 円/回

不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

すべての方にお尋ねします。

問17 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は誰（どこ）ですか。

【〇はあてはまるものすべて】

1. 家族・親族	12. 幼稚園
2. 友人・知人	13. 子育て支援センター
3. 近所の人	14. こどもの発達相談室
4. 職場の人	15. 各種子ども相談
5. 家政婦・ベビーシッター	16. 教育委員会
6. 民生委員・児童委員・主任児童委員	17. 学校
7. 主治医	18. 社会福祉協議会
8. ボランティア	19. インターネット
9. 市役所の子育て関連担当窓口	20. 誰もいない
10. 保健センター	21. 相談する必要がある
11. 保育所	22. その他（ ）

問17-1は、問17で「20. 誰もいない」または「21. 相談する必要がある」以外を選んだ方にお尋ねします（該当しない方は問18へ）。

問17-1 記入日時点、1番の相談相手にどのような相談をしていますか。

【〇はあてはまるものすべて】

1. 子どもの発育・発達のこと	4. 保護者の心身の健康のこと
2. 日頃の子育ての方法のこと	5. その他（ ）
3. 今後の子育てのこと	

問18 この1年間に、封筒のあて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的（子どもの病気のため以外）で、子どもを預かるサービスを不定期に利用しましたか。

【〇はあてはまるものすべて】

また、その日数はおおよそ何日でしたか（半日程度の場合も1日とカウントしてください）。

【数字を記入】

1. ご自身や配偶者の親、親戚、友人・知人にみてもらった（同居している場合も含む）	年間		日
2. ファミリー・サポート事業（地域住民が子どもを預かる事業）	年間		日
3. ベビーシッター	年間		日
4. その他（ ）	年間		日
5. 利用していない			

問19 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、封筒のあて名のお子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。【○は1つだけ】

また、あった場合、その対処方法は何ですか。【○はあてはまるものすべて】

その日数はおよそ何日ですか。【数字を記入】

1. あった	
1. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	年間 泊
2. 子育て支援短期利用事業（ショートステイ）を利用した （児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	年間 泊
3. 子育て支援短期利用事業（ショートステイ）以外の保育 サービス（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	年間 泊
4. 仕方なく子どもを同行させた	年間 泊
5. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	年間 泊
6. その他（ ）	年間 泊
2. なかった	

問19-1は、問19で「1. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」を選んだ方にお尋ねします。

問19-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。【○は1つだけ】

1. 非常に困難 2. どちらかというと困難 3. 特に困難ではない

放課後の過ごし方について

問20・21は、封筒のあて名のお子さんが小学校1～3年生の方にお尋ねします。
4年生以上の方は12頁 問21へお進みください。

問20 封筒のあて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。【○はあてはまるものすべて】
また、希望する週あたり日数は何日ですか。【数字を記入】
「放課後児童クラブ〔児童クラブ・学童保育所〕」の場合は、利用を希望する時間をご記入ください。
※時間は必ず（例）18時00分のように24時間制でご記入ください。

1. 自宅 -----▶ 週 日くらい
 2. 祖父母宅や友人・知人宅 -----▶ 週 日くらい
 3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など） -----▶ 週 日くらい
 4. 児童館^{注1} -----▶ 週 日くらい
 5. 放課後子ども教室^{注2} -----▶ 週 日くらい
 6. 放課後児童クラブ〔児童クラブ・学童保育所〕 -----▶ 週 日くらい
- ⇒下校時から 時 分まで
7. ファミリー・サポート事業 -----▶ 週 日くらい
 8. その他（公園など） -----▶ 週 日くらい

注1：児童館で行う放課後児童クラブを利用する場合は「6.」に回答

注2：放課後に学校内で、地域の方々の協力により、様々な体験・自主学習・交流活動を行う事業。西小学校、南小学校、東小学校、北小学校（2019年4月より）で実施。

問21 封筒のあて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。【○はあてはまるものすべて】
また、希望する週あたり日数は何日ですか。【数字を記入】
「放課後児童クラブ〔児童クラブ・学童保育所〕」の場合は、利用を希望する時間をご記入ください。
※時間は必ず（例）18時00分のように24時間制でご記入ください。
※先のこととなりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅 -----▶ 週 日くらい
 2. 祖父母宅や友人・知人宅 -----▶ 週 日くらい
 3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など） -----▶ 週 日くらい
 4. 児童館 -----▶ 週 日くらい
 5. 放課後子ども教室 -----▶ 週 日くらい
 6. 放課後児童クラブ〔児童クラブ・学童保育所〕 -----▶ 週 日くらい
- ⇒下校時から 時 分まで
7. ファミリー・サポート事業 -----▶ 週 日くらい
 8. その他（公園など） -----▶ 週 日くらい

情報提供について

問2-2 子育てに関する情報をどのように入手していますか。【〇はあてはまるものすべて】

1. 親族（親、きょうだいなど）	7. 子育て情報誌・育児書
2. 近所の人、知人、友人	8. インターネット
3. 学校、保育所、幼稚園、児童館	9. コミュニティー雑誌
4. 市役所、市の機関 （保健センター・子育て支援センター・子育てコンシェルジュ等）	10. その他（ ）
5. 子育て支援アプリ「きずなネット」の利用	11. 情報の入手先がない
6. テレビ、ラジオ、新聞	12. 情報の入手方法がわからない

問2-3 子育てに関してどのような情報を知りたいですか。【〇はあてはまるものすべて】

1. 保育所・幼稚園	9. 一時預かり・送り迎え
2. 児童館	10. 市内のイベント
3. 児童クラブ・学童保育	11. 医療機関
4. 子育て相談や講座	12. 子育て関係施設マップ
5. 親子教室・子育てサロン	13. 公園や遊び場
6. 予防接種・健診	14. その他（ ）
7. 妊娠・出産	15. 特に求めるものはない
8. 子育てに関する申請・手続	

子育てやお子さんについて

問2-4 あなたのご家庭では、お子さんにどの段階まで教育を受けさせたいですか。

【〇はそれぞれについて、1つだけ】

	1. 受けさせたい	2. 経済的に可能だが 必要だと思わない	3. 経済的に受けさせることは難しい
高校までの教育	1	2	3
短大・専門学校までの教育	1	2	3
大学までの教育	1	2	3

問25 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。

【○はそれぞれについて、1つだけ】

	1. している	していない	
		2. 必要だと思わない	3. 経済的に難しい
毎月おこづかいを渡す	1	2	3
1年に1回くらい家族旅行へ行く	1	2	3
正月のお年玉をあげる	1	2	3
子どもの学校行事などへ親が参加する	1	2	3

問26 お子さんは、学校の行事やクラブ活動（部活動）、有料の習い事等をしていますか。

【○はそれぞれについて、1つだけ】

学校のクラブ活動（部活動）	1. している	2. していない	3. 必要だと思わない
学習塾・通信教育・家庭教師	1. している	2. していない	3. 必要だと思わない
スポーツクラブ	1. している	2. していない	3. 必要だと思わない
その他、有料の習い事	1. している	2. していない	3. 必要だと思わない

問27 あなたは、自分にとって子育てを楽しんでいることが多いと思いますか。それとも辛いと感じることが多いと思いますか。【○は1つだけ】

1. 楽しいと感じることの方が多い
2. 楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい
3. 辛いと感じることの方が多い
4. その他（ ）
5. わからない

問28 子どもに対して、思わずたいたり、子どもの心を傷つけてしまうような言動をしたり、子どもの相手や世話をしないことがありますか。【○は1つだけ】

1. よくある	4. ほとんどない
2. たまにある	5. まったくない
3. したいと思うことはよくあるが、行動には移さない	

→ 問28で「1. よくある」または「2. たまにある」に○をつけた方にうかがいます。

問28-1 思わずたいたり、子どもの心を傷つけてしまうような言動をしたり、子どもの相手や世話をしないことがある原因はどこにあると思いますか。【○はあてはまるものすべて】

1. 子どもの言動にいつもイライラする	5. 自分の感情を抑えられない
2. しかられたときの反応が腹立たしい	6. しつけとして必要だから
3. 子どもがかわいいと思えない	7. 子ども以外のことでいつもストレスがある
4. 子どもが親の言うことを聞かない	8. その他（ ）

子育て全般について

すべての方にお尋ねします。

問29 封筒のあて名のお子さんのご両親は、子育てにどの程度関わっていますか。

【最もあてはまるものをそれぞれ1つずつに○】

父	母
1. 十分関わっている	1. 十分関わっている
2. ある程度関わっている	2. ある程度関わっている
3. あまり関わっていない	3. あまり関わっていない
4. 全く関わっていない	4. 全く関わっていない
5. 母子家庭	5. 父子家庭

問30 封筒のあて名のお子さんが生まれてから今までに育児休暇を取得しましたか。

【最もあてはまるものをそれぞれ1つずつに○】

※仕事していなかった方は「とっていない」を選択してください。

自分	自分以外
1. とっていた	1. とっていた ⇒問30-1△
2. とっていない	2. とっていない
	3. 自分以外に保護者がいない

問30の「自分以外」で「1. とっていた」に○をつけた方にお尋ねします。

問30-1 自分以外の保護者が育児休暇をとった時、自分以外の保護者が休暇中にした支援は何ですか。【○はあてはまるものすべて】

1. 子どもの世話 (おむつ替え・お風呂・着替え・寝かしつけなど)	4. 自分への子育ての助言やアドバイス
2. 子どもの遊び相手	5. 家事
3. 自分の話し相手・共感	6. その他 ()

問3 1 最後に、教育・保育環境の充実など子育て環境や支援に関してご意見・ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
切手は貼らずに同封の返信用封筒に入れ、ご投函ください。

◆本市では、各種アンケート調査実施に際して全市共通のアンケートを実施しています。
下記URLまたは二次元バーコードからアクセスし、ぜひご協力ください。
(表紙のID、パスワードを使用してログインください)
なお、回答は任意であり、強制するものではありません。



長久手市共通アンケート：<https://wsurvey.jp/s.php?clear=1&a=nagakute-170>

**長久手市 子育てに関するアンケート調査
調査結果報告書**

発行 令和6年3月

編集 長久手市 子ども部 子ども未来課

〒480-1196 愛知県長久手市岩作城の内 60 番地 1

Tel 0561-63-1111（代表）

Fax 0561-23-2100